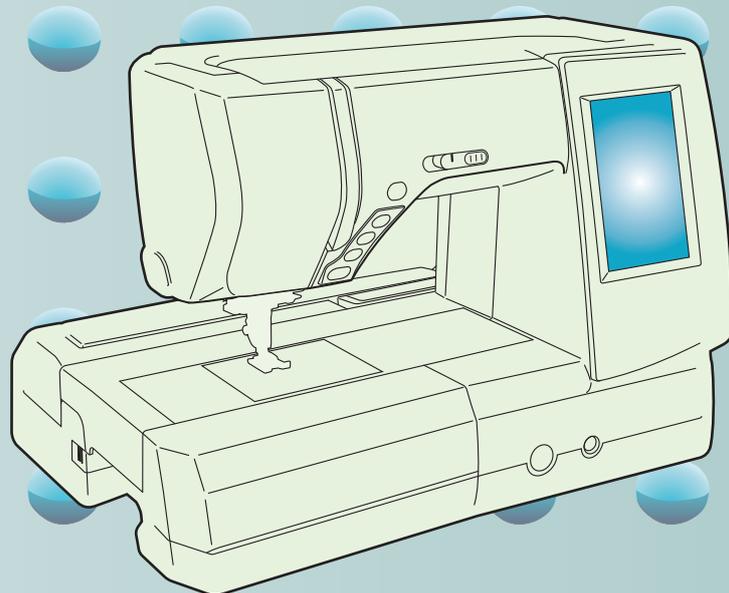


取扱説明書



JANOME

安全上のご注意

- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

危害・損害の程度を表わす表示

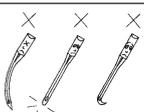
 警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	 注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------

本文中の図記号の意味

	▲記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。 図の中には具体的な注意内容を表示しています。(左図の場合は一般的な注意)
	⊘記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。 図の中には具体的な禁止内容を表示しています。(左図の場合は分解禁止)
	●記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 図の中には具体的な指示内容を表示しています。(左図の場合は一般的な強制)

 警告	感電・火災の原因になります。
 禁止	ストーブ、アイロンの近くなど温度の高いところでは使用しないでください。 ミシンの使用温度は5℃～35℃です。
 禁止	スプレー製品などを使用した部屋や、引火しやすい物の近くでは使用しないでください。
 必ず実行	一般家庭用、交流電源100Vでご使用ください。
 必ず実行	電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
 必ず電源プラグを抜く	以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 ・ミシンのそばを離れるとき ・ミシンを使用したあと ・ミシン使用中に停電したとき

 注意	感電・火災・けがの原因になります。
 禁止	フットコントローラーの上に物をのせないでください。また、ご使用の際は、周辺に糸くずやほこりがないことを確認してください。
 注意	お子様をご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してください。 
 注意	直線ぬい針が取り付けられている場合、および取り付けられている押さえの種類によっては、電源スイッチを切った状態ではすみ車をまわすと、針が針板や押さえにあたる場合がありますのでご注意ください。
 必ず実行	ミシンを持ち運ぶときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう一方の手をミシンにそえてください。 
 必ず実行	プラグ受けに、糸くずやほこりがたまらないようにしてください。
 必ず実行	針および押さえは、確実に固定してください。また、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。
 必ず実行	電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜いてください。
 必ず実行	以下のことを行うときは、ロックキーによりミシンをロック状態にするか、電源スイッチを切ってください。 ・押さえ、アタッチメントを交換するとき ・上糸、下糸をセットするとき ・針、針板を交換するとき
 必ず電源プラグを抜く	ミシンのお手入れを行うときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
 必ず電源プラグを抜く	ミシンに以下の異常があるときは速やかに使用を停止し、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。 ・正常に作動しないとき ・水にぬれたとき ・落下などにより破損したとき ・異常な臭い・音がするとき ・電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき

 注意	感電・火災・けがの原因になります。
 分解禁止	お客様自身での分解はしないでください。 
 接触禁止	ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はすみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。 
 禁止	ぬい中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。
 禁止	曲がった針や、先つぶれた針はご使用にならないでください。 
 禁止	このミシンを使用するときは、付属の専用電源コードを使用してください。付属の専用電源コードは、このミシン以外の電気製品には使用しないでください。
 禁止	ミシンの通風口はふさがらないでください。

目次(1)

◎お取り扱いについてのお願い	3	★自動返しぬい	37
◎各部のなまえ	4	★自動止めぬい	37
◎標準付属品と収納場所	5～6	★直線ぬい(左針位置)	38
●標準付属品	5～6	★三重ぬい	38
●収納場所(補助テーブル収納部)	6	★伸縮ぬい(ニットステッチ)	38
◎操作方法	7～19	★針板ガイドの使い方	39
●電源のつなぎ方	7	★直線ぬい用針板の使い方	40
★スタート/ストップボタンを使用する場合	7	★送りジョーズの使い方	40～41
★フットコントローラーを使用する場合	7	●しつけぬい	41
●操作ボタン	8～9	●かがりぬい	42～43
●速さの調節	10	★トリコットぬいたち目かがり	42
★スピードコントロールつまみ	10	★かがりぬい1	42
★フットコントローラー	10	★ニットステッチ	42
●画面(タッチパネル)	11	★かがりぬい2	43
●押さえ上げ	12	●その他の実用ぬい	43
●ニーリフト	12	◎ボタンホール	44～58
●面板レンズ	12～13	●ボタンホールの画面	44
●押さえ圧調節ダイヤル	13	●ボタンホールの種類と用途	45
●送り歯ドロップつまみ	13	●スクエアボタンホール	46～49
●送り調節ねじ(模様の形の調節)	14	★ボタンホールの調節画面	49
●ロックキーの使い方	15	●メモリーボタンホール (スクエアボタンホール)	50～51
●押さえの外し方、付け方	15	●ラウンドボタンホール	52
●押さえホルダーの外し方、付け方	16	●キーホールボタンホール	52
●針板の外し方、付け方	17	●ニットボタンホール	52
●針の取りかえ方	18	●芯入りボタンホール	53
●布に適した糸や針を選ぶ目安	19	●ボタンホール安定板の使い方	54
◎ぬう前の準備	20～26	●つくろいぬい(ダーニング)	55～56
●下糸の準備	20～23	●かんぬき止め	57
★ポビンの取り出し	20	●アイレット	58
★糸こまのセット	20	◎飾りぬい	59～73
★補助糸立て棒の使い方	20	●飾りぬいの画面	59～61
★下糸巻き	21～22	★模様選択画面	61
★ポビンのセット	22～23	●模様組み合わせモード	62～71
●上糸の準備	24～25	★模様組み合わせぬいの例	63
★上糸かけ	24	★反転キーの使い方	64～65
★糸通し	25	★模様頭出しキーの使い方	66
●下糸を針板の上に引き出す場合	26	★プレビュー機能	67
◎実用ぬい	27～43	★編集機能	68～69
●実用ぬいの画面	27	★模様全長表示機能	70～71
●実用ぬいの調節画面	28～34	●模様の長さ調節機能(エロンゲーション)	72
★ぬい目の幅調節キー	29	●つなぎ模様グループの使い方	73
★ぬい目のあらか調節キー	30	◎文字ぬい	74～79
★糸調子調節キー	31	●文字ぬいの画面	74～75
★ぬい目の幅(針位置)、ぬい目のあらか、 糸調子のオート値の変更	32	★模様選択画面	75
★布ガイド設定キー	33～34	●文字ぬいの例	76～79
●直線(直線状模様)ぬい	35～41	★統一糸調子機能	79
★直線ぬい(中針位置)	35～36		

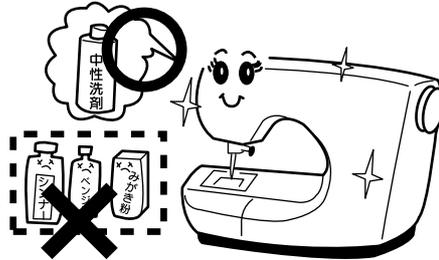
目 次 (2)

◎用途選択.....	80 ~ 103	★アップリケ模様.....	130
●用途選択の画面.....	80 ~ 82	●編集刺しゅう.....	131 ~ 138
★模様選択画面.....	82	●フリーアーム刺しゅう枠 (FA10a) の使い方.....	139
●地ぬい.....	83	◎模様データの保存・呼び出し.....	140 ~ 147
●縁かがり.....	84	●模様データの保存.....	140 ~ 144
●まつりぬい.....	85 ~ 86	●模様データの呼び出し.....	144 ~ 147
●シェルタック.....	87	★通常ぬい.....	144 ~ 145
●三つ巻きぬい.....	88	★刺しゅう.....	146 ~ 147
●ファスナー付け.....	89 ~ 91	◎ミシンの設定.....	148 ~ 159
●ギャザー.....	92	◎ミシンのお手入れ.....	160 ~ 161
●しつけ.....	93	●かまと送り歯、糸切り部の掃除.....	160
●ボタン付け.....	93 ~ 95	●糸案内カバーの掃除.....	161
●かんぬき止め.....	96	◎ミシンの調子が悪いときの直し方.....	162 ~ 163
●アップリケ.....	96 ~ 97	◎模様一覧表.....	164 ~ 172
●パッチワーク.....	98 ~ 99		
●キルティング.....	100 ~ 103		
★直線ぬい.....	100		
★とじぬい.....	101		
★フリーキルティング.....	101 ~ 102		
★刺し子風ステッチ.....	103		
★手ぬい風キルトぬい.....	103		
◎2本針ぬい.....	104 ~ 105		
◎刺しゅう.....	106 ~ 139		
●刺しゅうの準備.....	106 ~ 113		
★刺しゅうユニットの取り付け方.....	106		
★キャリッジアームの開放.....	107		
★刺しゅうユニットの取り外し方.....	108		
★押さえの交換.....	109		
★押さえ圧.....	109		
★針の交換.....	109		
★針板の交換.....	109		
★刺しゅう糸.....	110		
★芯地.....	110		
★刺しゅう枠とテンプレート.....	111		
★刺しゅう枠に布を張るとき.....	112		
★刺しゅう枠のキャリッジ取り付け.....	113		
★ぬい始めの糸かけ.....	113		
●ぬい方.....	114 ~ 130		
★内蔵模様の選択方法 (模様).....	114 ~ 115		
★内蔵模様の選択方法 (文字).....	116 ~ 117		
★刺しゅう実行画面.....	118 ~ 121		
★模様ぬい.....	122		
★フリンジ模様.....	123		
★文字刺しゅう選択画面.....	124		
★文字の組み合わせ.....	125 ~ 126		
★2-レター.....	127		
★ボーダー1と文字の組み合わせ.....	128		
★文字の削除・挿入.....	129		

◎お取り扱いについてのお願い

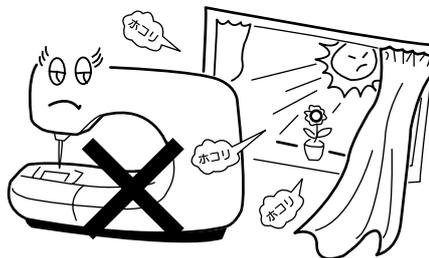
◇ご使用前に

- ① ほこりや油などでぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよくふいてください。
- ② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

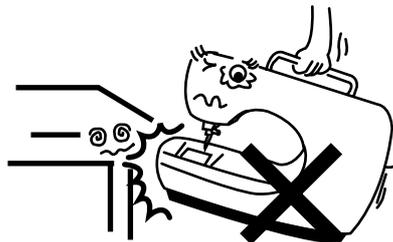


◇いつまでもご愛用いただくために

- ① 長時間日光に当てないでください。
- ② 湿気やほこりの多いところは避けてください。



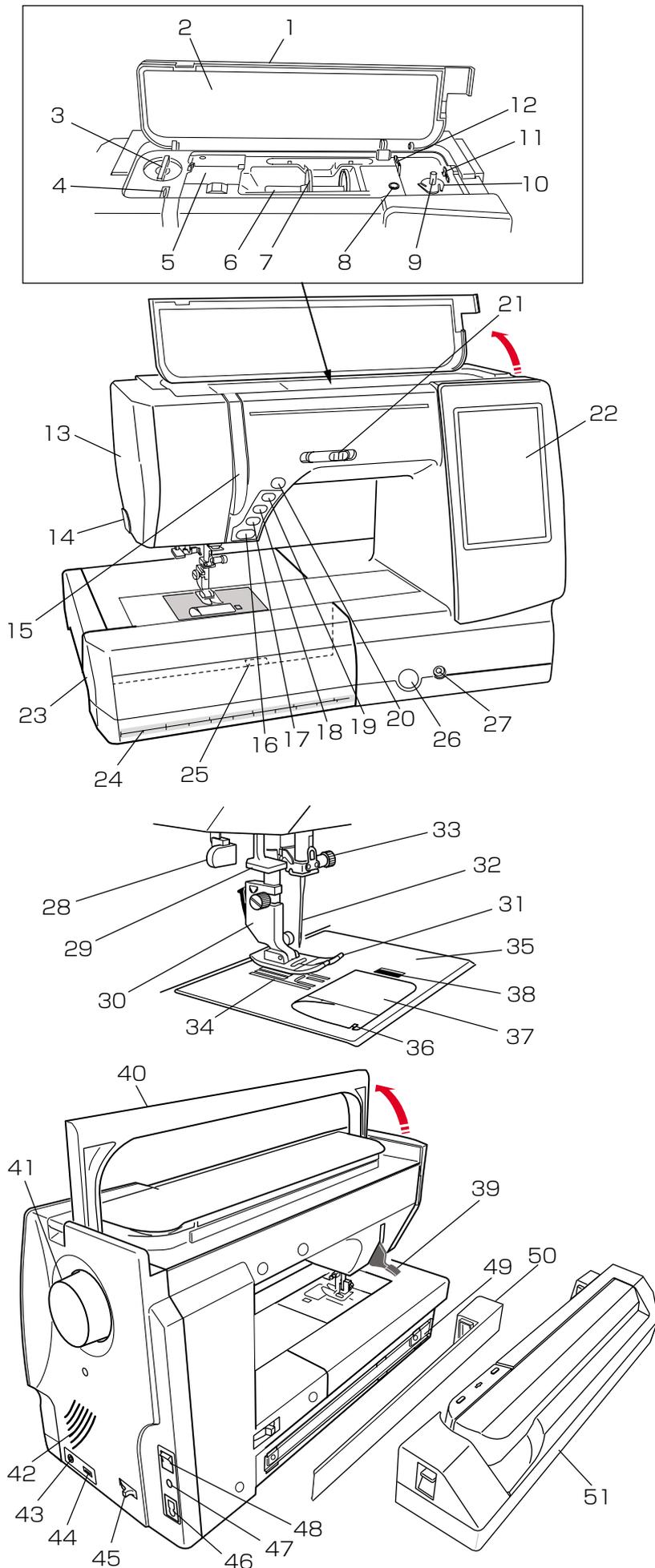
- ③ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。
ミシンを持ち運ぶときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう一方の手をミシンにそえてください。



◇修理・調整についてのご案内

万一不調になったり故障が生じたときは、「◎ミシンの調子が悪いときの直し方」(162ページ)により、点検・調整を行ってください。

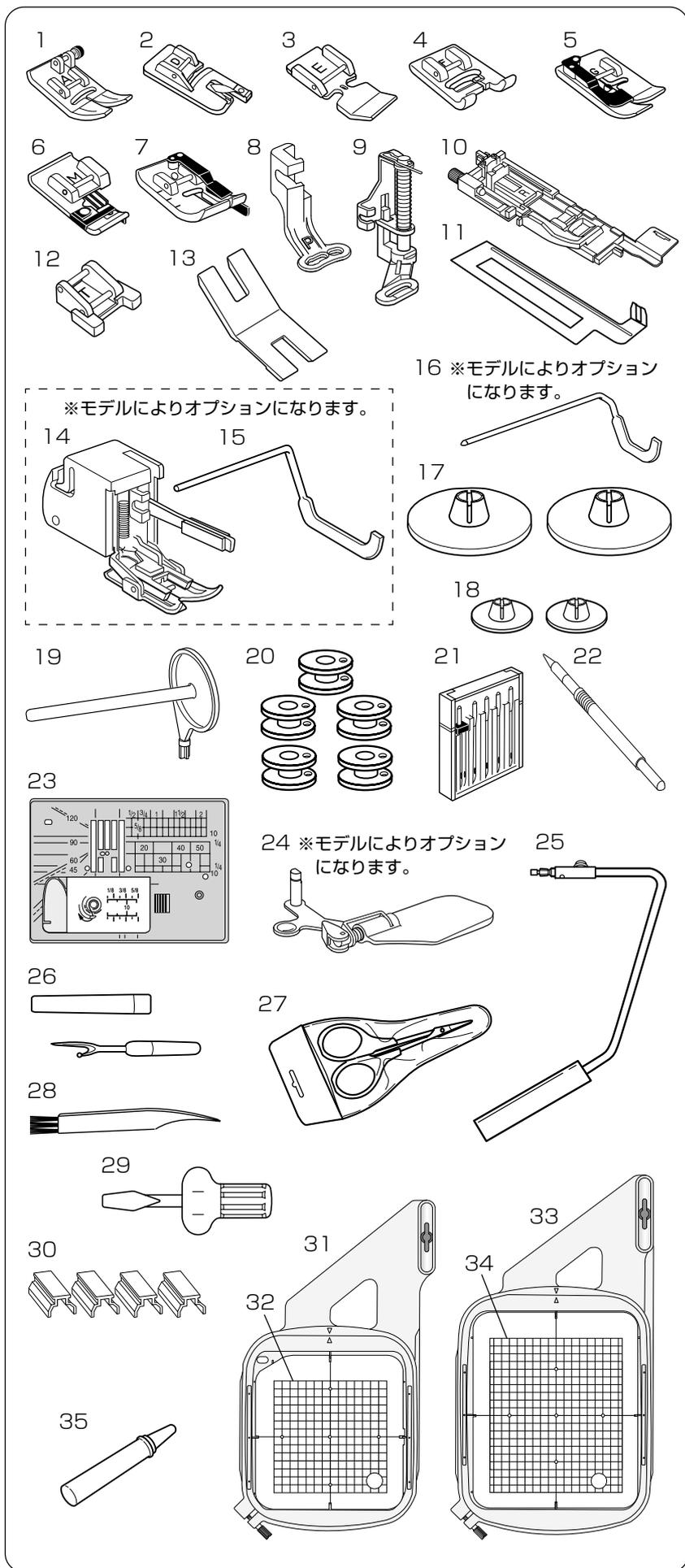
◎各部のなまえ



1. 天板
2. 早見板
3. 押さえ圧調節ダイヤル
4. 天びん
5. 糸案内カバー
6. 糸立て棒
7. 糸こま押さえ (大)
8. 補助糸立て棒取り付け穴
9. 糸巻き軸
10. 糸切りホルダー
11. ボビン押さえ
12. 糸切り (下糸巻き用)
13. 面板
14. 糸切り・糸押さえ
15. 糸案内板
16. スタート/ストップボタン
17. 返しぬいボタン
18. 止めぬいボタン
19. 上下停針ボタン
20. 糸切りボタン
21. スピードコントロールつまみ
22. 画面 (タッチパネル)
23. 補助テーブル
24. スケール (センチメートル/インチ表示)
25. 針板開放レバー
26. 送り調節ねじ
27. ニーリフト取り付け穴
28. ボタンホール切りかえレバー
29. 糸通しレバー
30. 押さえホルダー
31. 押さえ
32. 針
33. 針止めねじ
34. 送り歯
35. 針板
36. カッター (下糸切り用)
37. 角板
38. 角板開放ボタン
39. 押さえ上げ
40. 手さげハンドル
41. はずみ車
42. 通風口
43. 自動糸切り外部操作端子
44. USB 差し込み口
45. 送り歯ドロップつまみ
46. プラグ受け
47. フットコンローラープラグ受け
48. 電源スイッチ
49. 刺しゅうユニット取り付け部
50. 刺しゅうユニット取り付け部カバー
51. 刺しゅうユニット

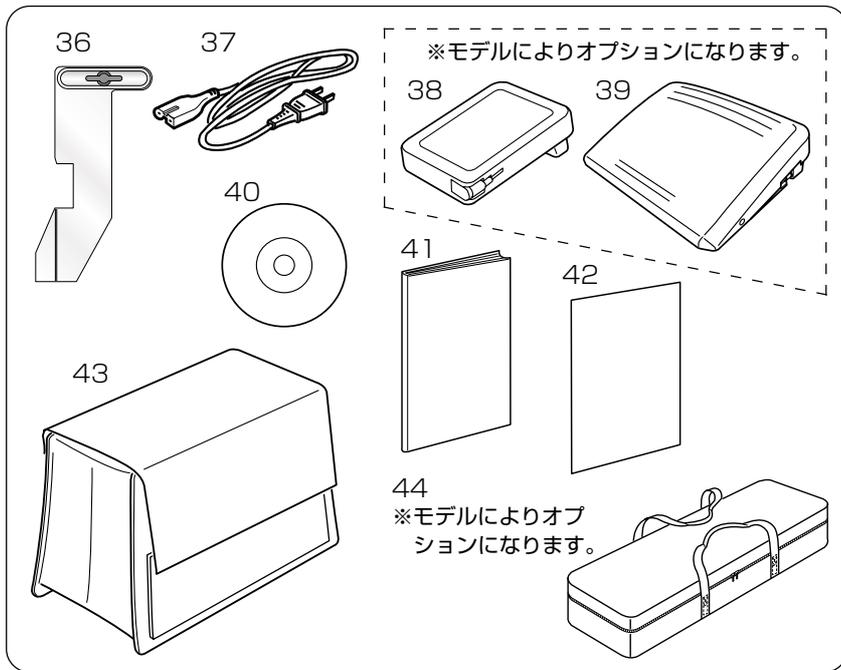
◎標準付属品と収納場所

●標準付属品



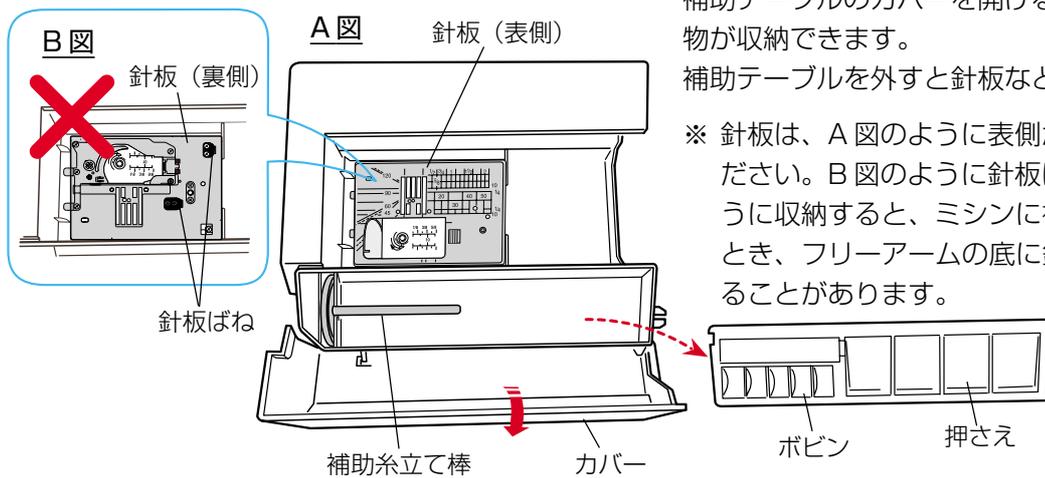
※使用例等は、〈 〉の中のページを参照してください。

1. A：基本押さえ〈35ページ〉
※ミシンの押さえホルダーに付いています。
2. D：三つ巻き押さえ〈88ページ〉
3. E：ファスナー押さえ〈89ページ〉
4. F：サテン押さえ〈35、57、97ページ〉
5. G：まつりぬい押さえ〈85ページ〉
6. M：縁かがり押さえ〈42ページ〉
7. O：パッチワーク押さえ〈98ページ〉
8. P：刺しゅう押さえ〈109ページ〉
9. PD-H：フリーキルト押さえ〈41、102ページ〉
10. R：ボタンホール押さえ〈35、46、55ページ〉
11. ボタンホール安定板〈54ページ〉
12. T：ボタン付け押さえ〈93ページ〉
13. ボタン付けプレート〈95ページ〉
14. 送りジョーズ〈40ページ〉
15. 定規棒〈41ページ〉
16. キルティングガイド〈100ページ〉
17. 糸こま押さえ（大）〔2個〕〈20ページ〉
※1個は、ミシンの糸立て棒に付いています。
18. 糸こま押さえ（小）〔2個〕〈20ページ〉
19. 補助糸立て棒〈20、104ページ〉
20. ボビン〔5個〕〈20ページ〉
※1個は、ミシンの内がまに入っています。
21. 針ケース〈19ページ〉
・ブルー針〔11番〕…2本
・レッド針〔14番〕…1本
・パープル針〔14番〕…1本
・2本針…1本
22. タッチペン〈11ページ〉
23. 直線ぬい用針板〈40ページ〉
24. 面板レンズ〈12ページ〉
25. ニーリフト〈12ページ〉
26. シームリッパー〈48ページ〉
27. はさみ
28. ミシンブラシ〈160、161ページ〉
29. ドライバー
30. 刺しゅう布保持用マグネットクリップ〈112ページ〉
31. SQ14a枠（マグネットクリップ付き標準刺しゅう枠）〈111ページ〉
32. SQ14a用テンプレート〈111ページ〉
33. RE20a枠（マグネットクリップ付き大型刺しゅう枠）〈111ページ〉
34. RE20a用テンプレート〈111ページ〉
35. かま用クリーナー〈160ページ〉



- 36. 布ガイド <33ページ>
- 37. 電源コード <7ページ>
- 38. フットコントローラー (標準タイプ) <7、10、41ページ>
- 39. フットコントローラー (大型タイプ)
- 40. 説明DVD
- 41. 取扱説明書
- 42. キー早見表
- 43. ミシンカバー
- 44. 刺しゅうユニットケース <108ページ>

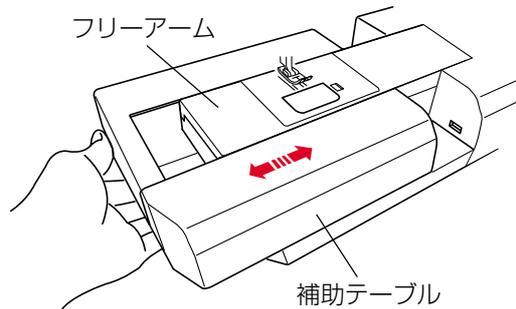
●収納場所 (補助テーブル収納部)



補助テーブルのカバーを開けると、押さえやボビン等の小物が収納できます。

補助テーブルを外すと針板などが収納できます。

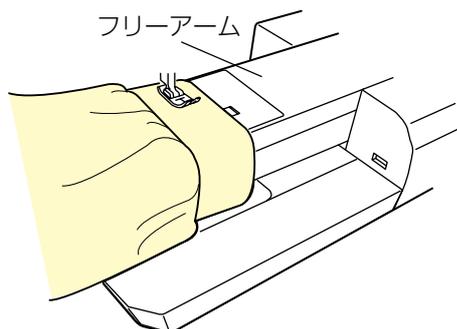
※ 針板は、A 図のように表側が見えるように収納してください。B 図のように針板ばねのある裏側が見えるように収納すると、ミシンに補助テーブルを取り付けたとき、フリーアームの底に針板ばねをぶつけて損傷することがあります。



【補助テーブルの外し方・取り付け方】

補助テーブルの下側に手をかけ、横に引いて外します。

取り付けるときは、フリーアームにそわせ、突き当たるまで押し込んで取り付けます。



フリーアームの使い方

補助テーブルを外すとフリーアームになります。そでぐちやすそなどのぬい、および袋物のくち端の始末に利用できます。

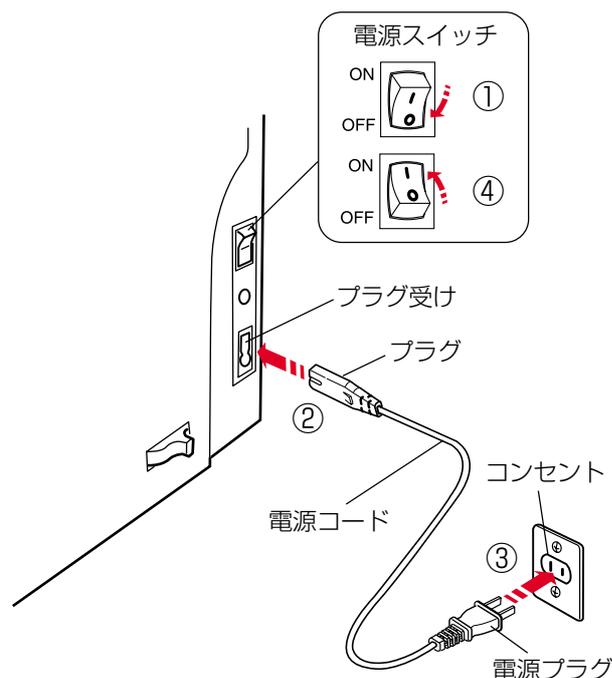
◎操作方法

●電源のつなぎ方

⚠ 警告

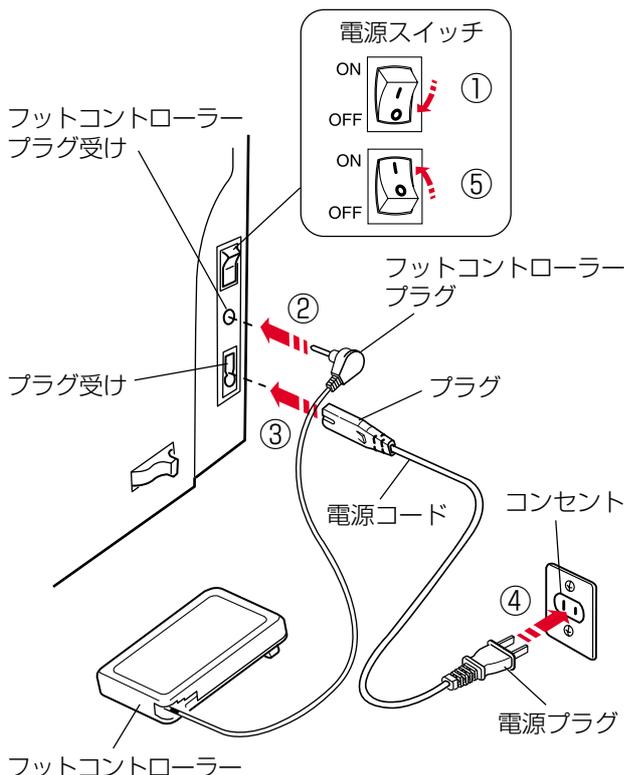
- 電源は、一般家庭用交流電源 100V でご使用ください。
ミシンを使わないときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災の原因になります。
- 電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
ほこりなどが付着していると湿気などにより絶縁不良となり火災の原因になります。

★スタート/ストップボタンを使用する場合



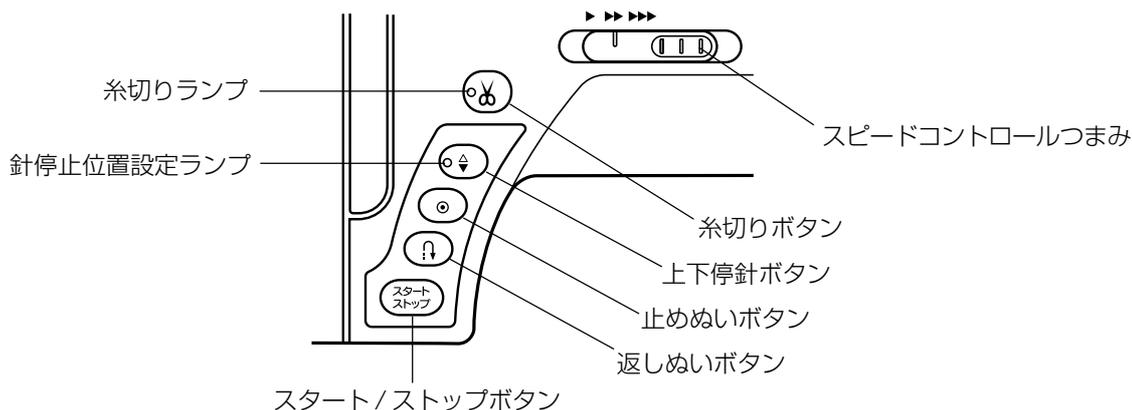
- ① 電源スイッチを「OFF」(切) にします。
 - ② 電源コードのプラグをプラグ受けに差し込みます。
 - ③ 電源プラグをコンセントに差し込みます。
 - ④ 電源スイッチを「ON」(入) にします。
- ※ 電源スイッチを入れると、ミシンの準備のための初期設定が数秒間行われます。
初期設定中は針などが動きますので、ミシンに触れないでください。

★フットコントローラーを使用する場合



- ※ フットコントローラーは、モデルによりオプションになります。(図は、標準タイプの場合です。)
- ① 電源スイッチを「OFF」(切) にします。
 - ② フットコントローラープラグをフットコントローラープラグ受けに差し込みます。
 - ③ 電源コードのプラグをプラグ受けに差し込みます。
 - ④ 電源プラグをコンセントに差し込みます。
 - ⑤ 電源スイッチを「ON」(入) にします。

●操作ボタン



【スタート/ストップボタン】

ボタンを押すと、ミシンはゆっくり動きはじめてからスピードコントロールつまみでセットした速さになります。(スロースタート機能)

もう一度押すと停止します。(通常は針が下の位置で停止します。)

※ ボタンのランプの色がミシン停止中は緑に、運転中は赤になります。

※ ボタンを押してスタートさせたときおよび停止させたときに、指をはなさないで押し続けているあいだは、ミシンは低速で動きます。

※ ミシンを停止したとき、通常は針が下の位置で停止しますが、針を上位置に停止することもできます。
「◎ミシンの設定／【通常ぬい設定】③針停止位置」(151 ページ)をごらんください。

※ 動きはじめの速度(スロースタート機能)は、かえることができます。
「◎ミシンの設定／【通常ぬい設定】④スロースタート調節」(152 ページ)をごらんください。

※ フットコントローラーを接続しているときは、スタート/ストップボタンは使用できません。

【返しぬいボタン】

■ 直線模様 | およびジグザグ模様  の場合

《ミシン停止中》(フットコントローラーを接続していないときのみ)

ボタンを押しているあいだは低速で返しぬいを行い、指をはなすとミシンは停止します。

《ミシン運転中》

ボタンを押しているあいだは返しぬいを行い、指をはなすと前進ぬいにもどります。

■ その他の模様の場合

ぬい途中にボタンが押されると、その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。
停止してから押した場合、運転再開後、その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

※ 実用ぬいグループの模様  およびボタンホールグループの模様  は、特殊な使い方になります。
(37、50、55、57 ページ参照)

【止めぬいボタン】

■ 直線模様 | およびジグザグ模様  の場合

ぬい途中にボタンが押されると、その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。
停止してから押した場合、運転再開後、その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

■ その他の模様の場合

ぬい途中にボタンが押されると、ボタンが押されたときの模様を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

停止してから押した場合、運転再開後、ボタンが押されたときの模様を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

※ ぬう前にボタンを押しておく、模様を1つだけぬったあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

【上下停針ボタン】

ミシンが停止しているときにボタンを押すと、針の位置が上にあるときは下に、下にあるときは上に移動させることができます。

【針停止位置設定ランプ】

針停止位置設定ランプが点灯している場合は、ミシンを停止したときの針の位置が「下位置停止」に設定されています。(ミシン購入時の設定状態)

針停止位置設定ランプが消えている場合は、ミシンを停止したときの針の位置が「上位置停止」に設定されています。

※ ミシンを停止したときの針位置の設定方法は、「◎ミシンの設定／【通常ぬい設定】③針停止位置」(151 ページ) をごらんください。

【糸切りボタン】

ぬい終わったあとボタンを押すと、上糸と下糸を自動的に切ります。(自動糸切り)
(針が布にささった状態でも、糸切りボタンを押すと針は上の位置に移動します。)

糸切り後は下糸を針板の上に引きあげないで、そのままの状態です。

※ 通常は、ぬい終わったあと糸切りボタンを押して上糸と下糸を切りますが、糸切りボタンを使用しないで、ぬい終わると同時に自動的に糸切りを行うこともできます。「◎ミシンの設定／【通常ぬい設定】⑧通常ぬいオートストップ時の糸切り」(153 ページ) をごらんください。

【糸切りランプ】

自動糸切り中にランプが点滅します。

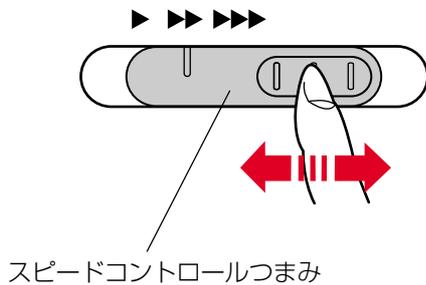
セットキーにより、通常ぬい設定の「通常ぬいオートストップ時の糸切り」が「ON」に設定されている場合は、常時ランプが点灯しています。

糸切りの注意事項

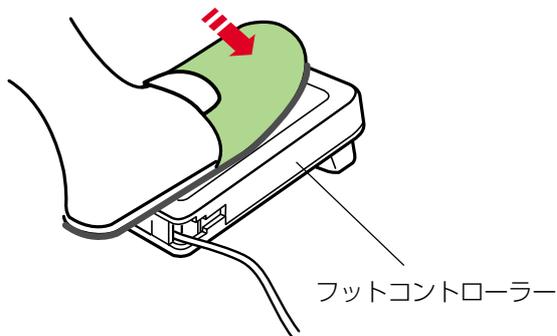
- 30 番および 30 番より太い糸や特殊な糸を切る場合、2 本針ぬいで糸を切る場合は、ミシンの面板に付いている糸切りを使用してください。
…「◎実用ぬい／●直線(直線状模様)ぬい／★直線ぬい(中針位置)／〔面板の糸切りの使い方〕欄」(36 ページ) 参照
- 糸こまの糸残りが少ないものは使用しないでください。糸がらみの原因になります。
- 糸切り部の掃除をときどき行ってください。糸切り部に糸くずがたまると故障の原因になります。
…「◎ミシンのお手入れ／●かまと送り歯、糸切り部の掃除」(160 ページ) 参照
- 糸が切れず糸がからんでしまった場合は、針板を外し、からんでいる糸を取り除いてください。
…「◎ミシンのお手入れ／●かまと送り歯、糸切り部の掃除」(160 ページ) 参照

●速さの調節

★スピードコントロールつまみ



★フットコントローラー



ぬう速さは、スピードコントロールつまみやフットコントローラーで調節します。

スピードコントロールつまみは、スタート/ストップボタン使用時のぬう速さを調節できます。

つまみの位置が右側になるほど速くなります。

※ フットコントローラー使用時は、フットコントローラーをいっぱい踏み込んだときの最高速度を調節できます。

※ フットコントローラーは、モデルによりオプションになります。（図は、標準タイプの場合です。）

フットコントローラーの踏みかげんで、ぬう速さが調節できます。

- 深く踏む→速くなる。
- 浅く踏む→遅くなる。

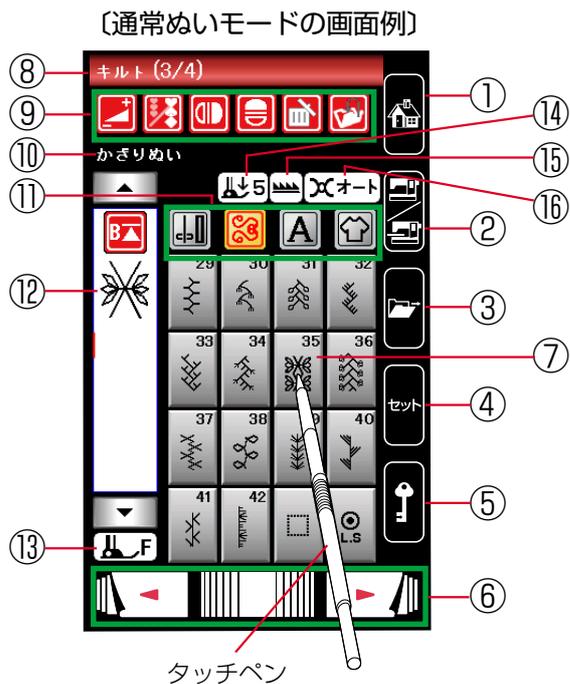
※ スピードコントロールつまみは、通常、いちばん右側の位置（最高速）にして、踏みかげんで調節してください。

初心者の方が細かいものをぬうときなどは低速側にしておくと、フットコントローラーをいっぱい踏み込んでもスピードが出ないので使いやすくなります。

⚠ 注意

- フットコントローラーの上に物を置かないようにしてください。けがや故障の原因になります。
- フットコントローラーを使用する際は、周辺に糸くずやほこりがないことを確認してください。動作不良を起こし、けが・故障の原因になります。

●画面（タッチパネル）



※ 画面のキーは付属のタッチペンか指で押してください。先のとがったものなどで押すと故障の原因になります。(タッチペンを使うことをおすすめします。)

① ホームキー

通常ぬいモードの場合は、現在表示されている画面から実用ぬいグループの模様選択画面の1ページ目にもどるときに使います。

※ もとの画面の上に重ねて表示されるウインドウ画面（画面の中に「×」マークの閉じるキーがある画面）の状態のときは使用できません。

刺しゅうモードの場合は、現在表示されている画面から刺しゅうモードの初期画面（「模様・文字・新規編集」選択画面）にもどるときに使います。

※ 模様選択画面、文字選択画面および編集画面を除くウインドウ画面の状態のときは使用できません。

② 通常ぬいモード/刺しゅうモード切りかえキー

通常ぬいを行う状態と刺しゅうを行う状態に切りかえるときに使います。

③ ファイルオープンキー（144ページ参照）

ミシンやUSBメモリに保存してある模様データを呼び出すときに使います。

④ セットキー（148ページ参照）

ミシンを初期の状態（購入時の設定状態）からお好みの状態に設定するときに使います。

⑤ ロックキー（15ページ参照）

押さえや針の交換、糸のセットを行うときなどに使います。

すべてのボタンやキーの操作を受け付けなくし、ミシンも動きません。ミシンが現在設定されている状態を保持したまま安全に押さえや針の交換、糸のセットなどを行うことができます。

⑥ ページキー

現在表示されている模様選択画面や設定画面の次または前のページ（画面）を表示させるときに使います。

右側の キーを押すと次のページ、左側の キーを押すと前のページにかわります。

押し続けると連続してかわります。

また、中央の帯状の キーを押しながら右側にスライドさせると次のページ、左側にスライドさせると前のページにかえることもできます。

⑦ 模様選択キー

模様を直接選んでぬうことができます。

⑧ 模様グループの名称とページが表示されます。

⑨ 選ばれている模様に変更されているぬい条件を変更したり、模様を組み合わせたり、取り消したり、模様データを保存するときなど、いろいろな模様の設定に使います。

⑩ 選ばれている模様の名称が表示されます。

⑪ 目的の模様が属している模様グループを選ぶときに使います。（27、44、59、74、80ページ参照）

⑫ 選ばれている模様のぬいイメージが表示されます。

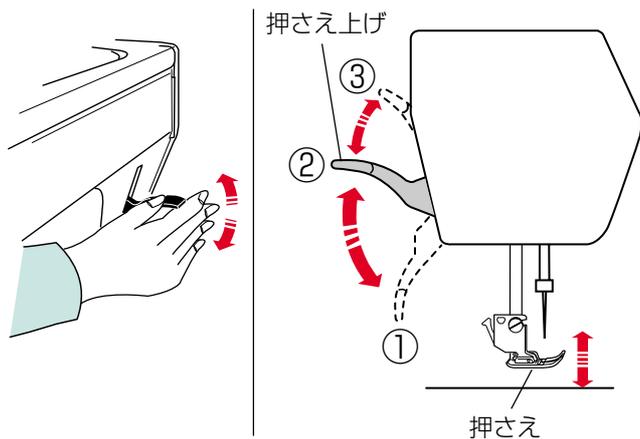
⑬ 選ばれている模様の代表的なぬいに適した押さえが表示されます。（ぬい目的によっては、使用する押さえは異なります。）

⑭ 選ばれている模様の代表的なぬいに適した押さえ圧の値が表示されます。（13ページ参照）

⑮ 現在の送り歯の設定状態（送り機能あり／なしの状態）が表示されます。（13ページ参照）

⑯ 糸調子（糸調子）の設定状態が表示されます。（31ページ参照）

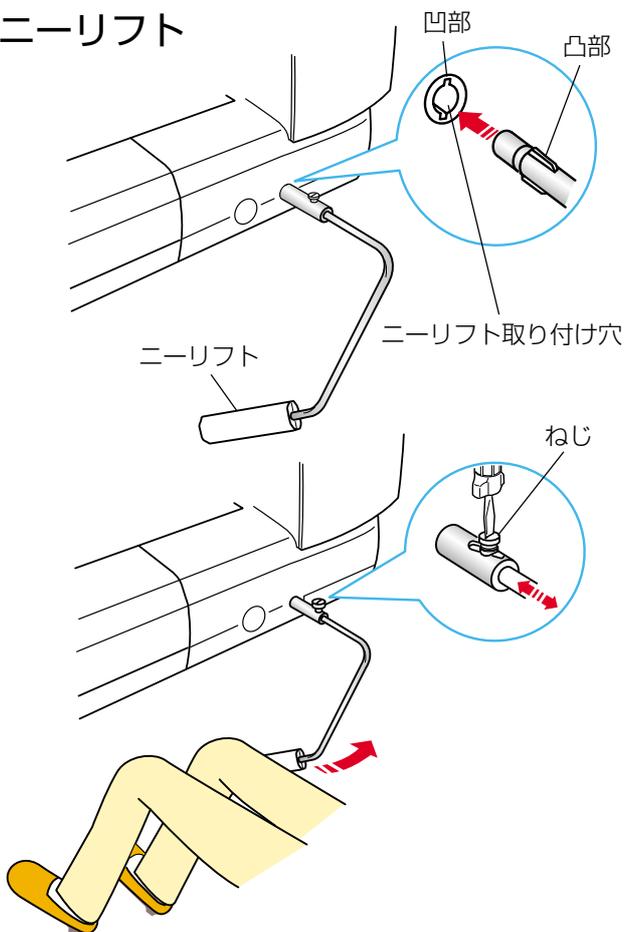
●押さえ上げ



押さえ上げで、押さえのあげ下げを行います。
普通にあげた位置よりさらに高くあげることもでき、厚い布を入れるときなどに利用できます。

- ① さげた位置 …ぬうときや糸通しを使って針に糸を通すときなど
- ② 普通にあげた位置 …布のセットや取り出し、上糸かけ、押さえの交換のときなど
- ③ さらにあげた位置（固定することはできません。） …厚い布を入れるときや針板を交換するときなど

●ニーリフト



ニーリフトを取り付けると、押さえ上げを使わないで押さえのあげ下げができます。
手を使わずにひざの動作で行いますのでキルトなどをぬうときに便利です。

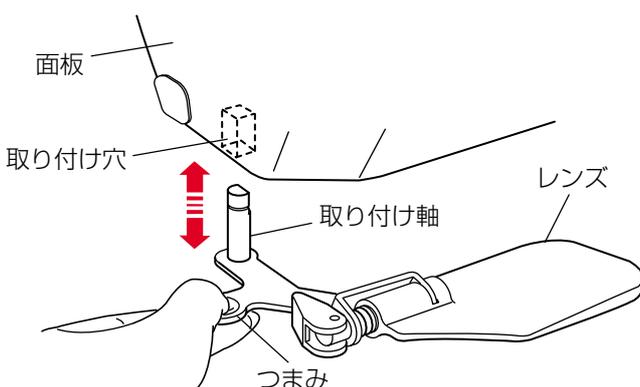
取り付けは、ニーリフトの凸部をニーリフト取り付け穴の凹部に合わせ、差し込みます。

ニーリフトの角度調節は、ねじをゆるめてニーリフトを出し入れし、お好みの角度の位置でねじをしめて固定します。

ひざを使ってニーリフトを右側に押すと押さえがあがり、もどすと押さえがさがります。

※ ぬい中は、ニーリフトに触れないように注意してください。

●面板レンズ



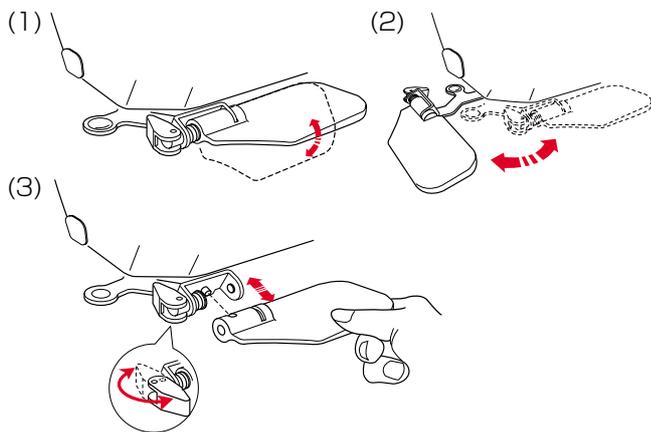
※ 面板レンズは、モデルによりオプションになります。

面板レンズをミシンに取り付けると針元が大きく見えるので、細かいぬい作業などに便利です。

【面板レンズの取り付け方、外し方】

面板レンズのつまみを持ち、図のようにレンズを正面に向けた位置で、面板レンズの取り付け軸をミシンの面板左側の取り付け穴に止まるまで押し込みます。

外す場合は、レンズを正面に向けた位置で面板レンズのつまみを下側にさげると取り外すことができます。

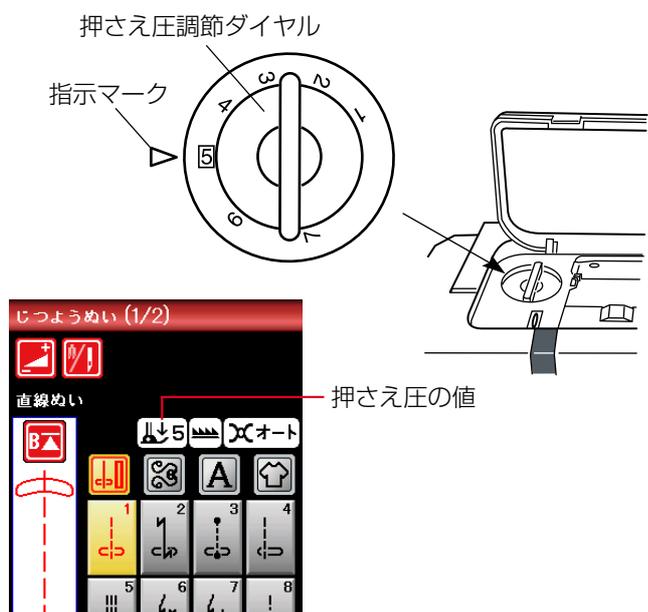


- (1) 面板レンズは、角度を調節できます。
- (2) 必要ない場合は、横に回転させることができます。
- (3) レンズだけを取り外すこともできます。

⚠ 注意

- 面板レンズで太陽光など強い光を見ないでください。目を損傷するおそれがあります。
- 面板レンズを直射日光など強い光が当たる場所に放置しないでください。火災の原因になります。
- 面板レンズは、ぶついたり、過度な力を加えないでください。けが・破損の原因になります。

●押さえ圧調節ダイヤル



模様を選ぶと、画面にその模様の代表的なぬいに適した押さえ圧の数値が表示されます。(一般的な模様は、普通地に適した数値を表示しています)

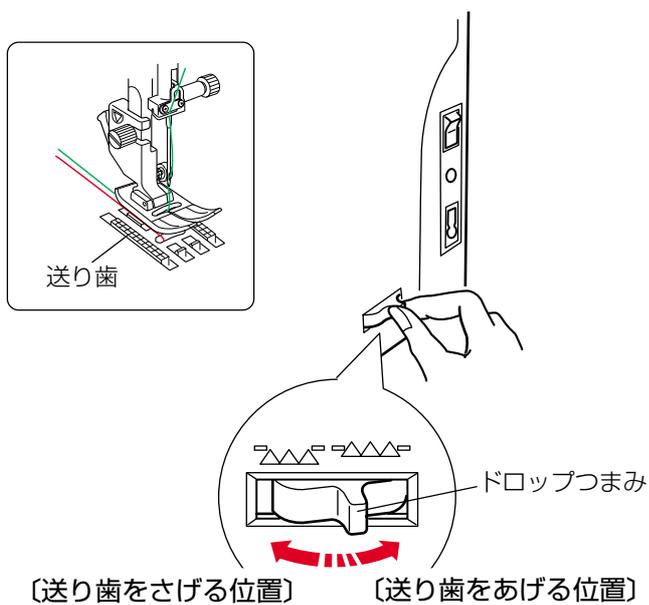
押さえ圧調節ダイヤルをまわして、表示されている数値を指示マークに合わせてください。

特殊なぬい方や布地の厚さによっては、数値を調節してください。

小さな数字に合わせて、押さえ圧は弱くなります。

※ 一般的な模様で、押さえ圧が「5」と表示されている場合は、普通地・厚物地は「4」～「7」、薄物地や伸縮性の布地は「1」～「4」の範囲で指示マークに合わせてください。

●送り歯ドロップつまみ



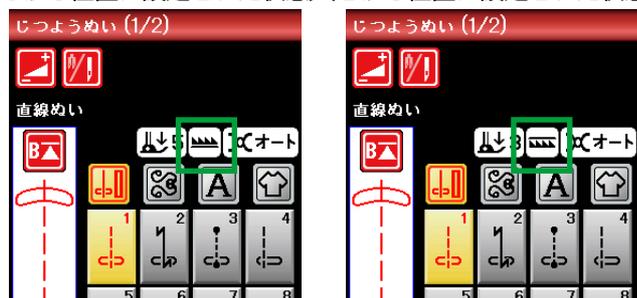
ドロップつまみで送り歯を常時さげた状態にし、布送り機能をなしにすることができます。

しつけぬいやボタン付け、フリーキルティングなどを行うときに使用します。

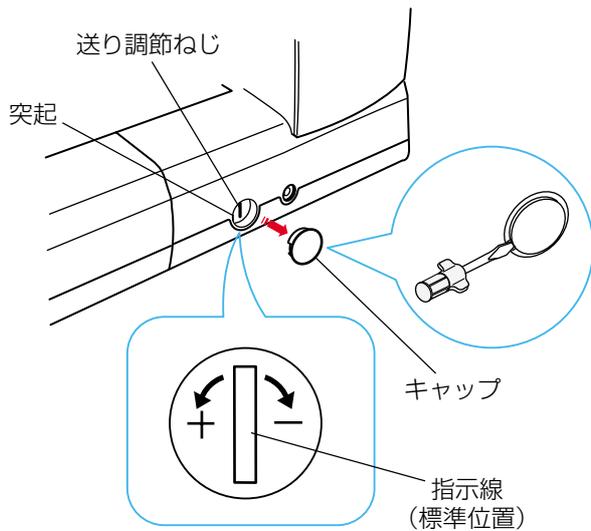
※ 送り歯をさげた場合、ぬいが終わったらドロップつまみを〔送り歯をあげる位置〕にもどし、はずみ車を手で手前にまわして送り歯があがることを確認してください。

※ 送り歯の設定状態が画面に表示されます。

(あげる位置に設定された状態) (さげる位置に設定された状態)



●送り調節ねじ（模様の形の調節）



通常ぬいの場合、布の種類、厚さ、ぬいの速さなどによっては模様の形がくずれて正しい形でぬえない場合があります。

実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをし、模様の形がくずれている場合は送り調節ねじで調節します。

キャップを外すと調節ができます。

キャップは、左側のすきまにドライバーを入れて外します。（キャップに傷が付かないように注意してください。）取り付けるときは、キャップの欠けている部分を左側にし、取り付け部の突起に合わせてはめ込みます。

※ 図のように指示線を垂直にした位置が、標準的な条件での模様を正しくぬえる目安の位置です。

※ 送り調節ねじの位置をかえた場合は、ぬい終わったあと標準位置（指示線が垂直位置）にもどしておいてください。

《模様の場合： の例》

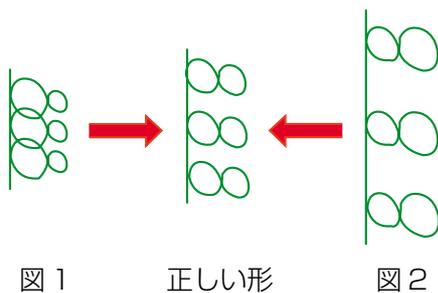


【模様の形の整え方】

図1のように模様がつまっているときは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図2のように模様が伸びているときは、送り調節ねじを「-」方向にまわします。

《文字の場合：「8」の例》

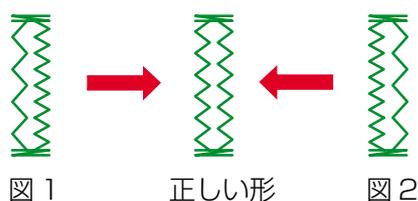


【文字の形の整え方】

図1のように文字がつまっているときは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図2のように文字が伸びているときは、送り調節ねじを「-」方向にまわします。

《ニットボタンホールの場合》



【ニットボタンホール の左右のぬい目のあらかの整え方】

図1のように左側があらいつきは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図2のように右側があらいつきは、送り調節ねじを「-」方向にまわします。

●ロックキーの使い方

押さえや押さえホルダーの交換、針板、針の交換、およびミシンに糸をセットするときなどは、安全のためにミシンをロック状態にするかミシンの電源スイッチを切って行います。

ロックキーを使用してミシンをロック状態にすると、すべてのボタンやキーの操作が受け付けられません。ミシンも動きません。

ミシンが現在設定されている状態を保持したまま、安全に押さえや針の交換、糸のセットなどを行うことができます。



① ロック状態にする場合は、ロックキーを押します。

ロック状態になったことを示すメッセージ画面が表示され、メッセージ画面が表示されているあいだは、すべてのボタンやキーの操作を受け付けず、ミシンも動きません。

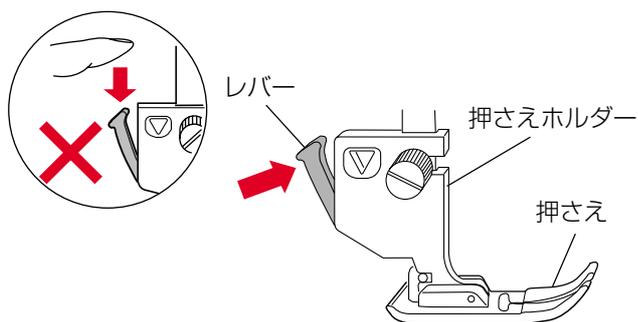
② ロック状態を解除する場合は、もう一度ロックキーを押します。

ミシンは、ロック状態にする前の状態にもどります。

●押さえの外し方、付け方

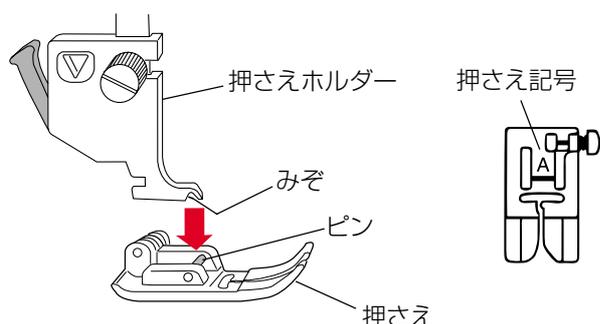
⚠ 注意

- ・ 押さえの取り外し・取り付けは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にするか、電源スイッチを切ってください。けがの原因になります。
- ・ 押さえは模様にあったものをご使用ください。押さえが合っていないと針が押さえにあたり、けがの原因になります。



【押さえの外し方】

- ① はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上げをあげます。
- ② 押さえホルダーのレバーをうしろ側から手前に押して、押さえを外します。



【押さえの付け方】

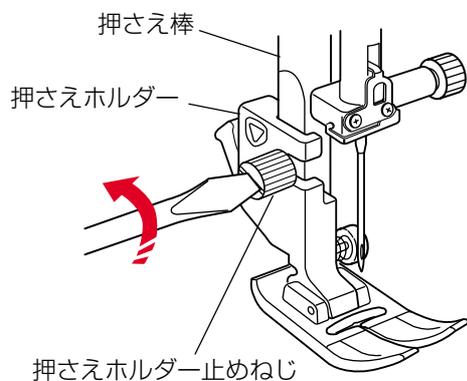
押さえのピンを押さえホルダーのみぞの真下において、押さえ上げをゆっくりさげます。

※ 押さえは、模様にあったものを使用してください。押さえには記号が付いています。

●押さえホルダーの外し方、付け方

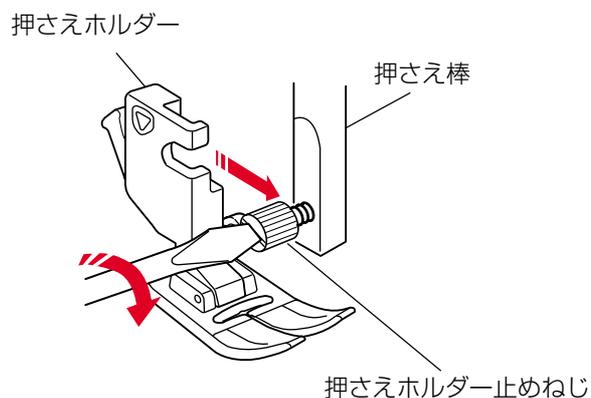
⚠ 注意

押さえホルダーの取り外し・取り付けは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にするか、電源スイッチを切ってください。けがの原因になります。



【押さえホルダーの外し方】

- ① はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上げをあげます。
- ② ドライバーで押さえホルダー止めねじを左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。



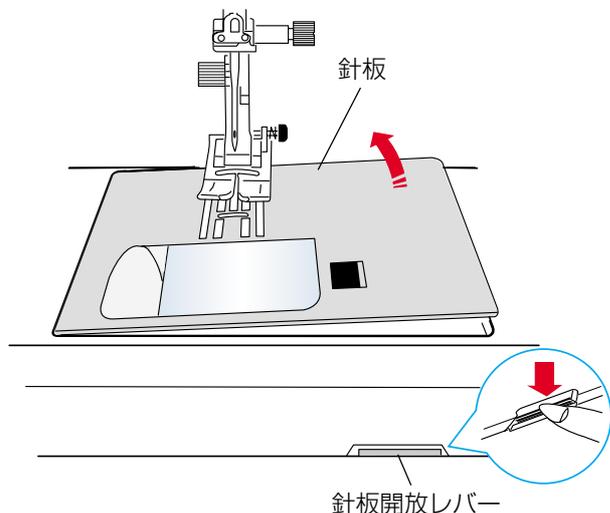
【押さえホルダーの付け方】

針と押さえ上げをあげた状態で、押さえ棒に押さえホルダーを取り付け、押さえホルダー止めねじをドライバーでしっかりしめます。

●針板の外し方、付け方

⚠ 注意

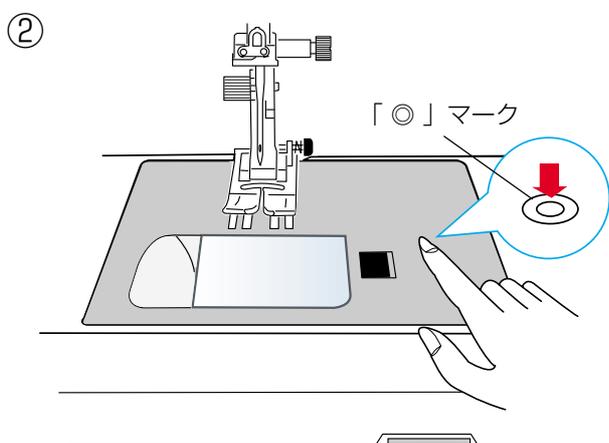
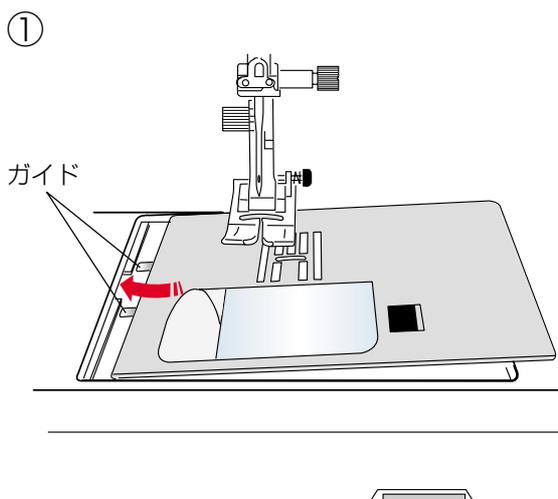
針板の交換は、必ずロックキーによりミシンをロック状態にするか、電源スイッチを切ってください。けがの原因になります。



【針板の外し方】

- ① 補助テーブルを外します。
- ② はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上げをあげます。
- ③ フリーアーム中央の下にある針板開放レバーをさげると、針板を外すことができます。
- ④ 押さえ上げをさらにあげ、針板を右側に抜き取ります。

【針板の付け方】

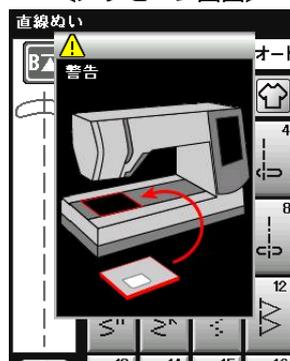


- ① 押さえ上げを普通にあげた位置よりさらにあげた状態で、ミシンの針板取り付け部左側に針板の2つのガイドを入れます。
- ② 針板右側にある「○」マークが付いている場所を「パチン」と音がするまで指でしっかりと押しつけて、針板を固定します。

※ 針板を取り付け後、ミシンの電源スイッチを入れ（ロックキーを使用した場合はロック状態を解除し）、はずみ車を手で手前にゆっくりまわして、針が針板にあたらないことを確認してください。

※ ミシンの電源スイッチが入っている場合は、針板が外れているあいだ、針板が外れていることを示すメッセージ画面が表示されています。針板を取り付けたとき、このメッセージ画面が消えることを確認してください。消えない場合は、もう一度取り付け直してください。

【メッセージ画面】

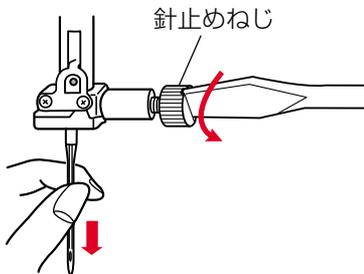


●針の取りかえ方

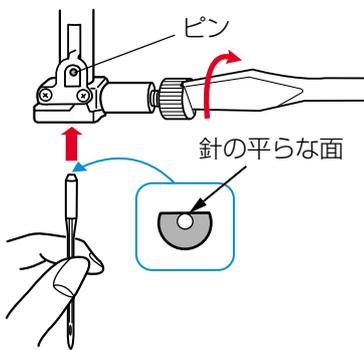
⚠ 注意

針の交換は、必ずロックキーによりミシンをロック状態にするか、電源スイッチを切ってください。けがの原因になります。

②



③

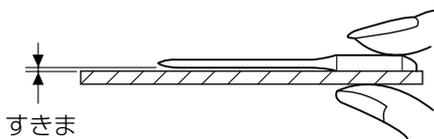


① はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上げをさげます。

② 針止めねじを手前に1～2回まわしてゆるめ、針を外します。

③ 取り付けは、針の平らな面を向こう側に向けてピンにあたるまで差し込み、針止めねじをドライバーでしっかりしめます。

※ 正しく針が付けられていないと、糸通しができないだけでなく、針がゆるんで針折れして危険です。



【針の調べ方】

針の平らな面を平らな物（針板など）に置いたとき、すきまが針先まで均等に見えるのが良い針です。

針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにしてください。

●布に適した糸や針を選ぶ目安

【通常ぬいの場合】

布の種類		糸	針
うすい布	ローン ジョーゼット トリコット	ポリエステル 90番	9番～11番 または ブルー針
普通の布	シーチング ジャージー 一般ウール地	絹糸 50番 綿糸 60番 ポリエステル、ナイロン 50番～90番	11番～14番 または ブルー針、レッド針
		綿糸 50番	14番またはレッド針
厚い布	デニム ツイード コート地	絹糸 50番 綿糸 40番～50番 ポリエステル 40番～50番	14番～16番 または レッド針
		ポリエステル 30番 綿糸 30番	16番

※ ブルー針〔11番〕・レッド針〔14番〕・パープル針〔14番〕は、標準付属品の針ケースに入っています。

※ 一般に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。この表を目安に糸と針を選び、試しぬいをして確かめてください。

※ 通常は、上糸と下糸は同じものを使用してください。

※ ブルー針（柄の部分が青色の針）およびパープル針（柄の部分が紫色の針）は、目とびの防止効果があります。（市販SP針も同様の効果があります。）

【刺しゅうの場合】

布の種類	糸	針
うすい布	ミシン刺しゅう糸	11番 または ブルー針
普通の布、ニット地		14番 または レッド針
厚い布		

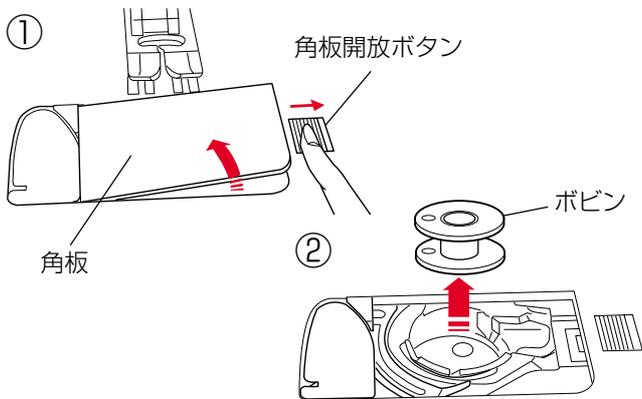
※ 刺しゅうの下糸は、刺しゅう専用下糸を使用してください。

※ レッド針を使用して目とびしやすい場合は、パープル（紫）針を使用すると防止効果があります。

◎ぬう前の準備

●下糸の準備

★ボビンの取り出し

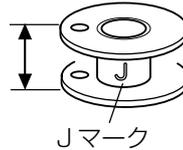


※ ナイロン透明糸およびメタリック糸は、下糸に使用しないでください。

- ① 押さえ上げをあげ、角板開放ボタンを右へずらして角板を外します。
- ② ボビンを取り出します。

お願い

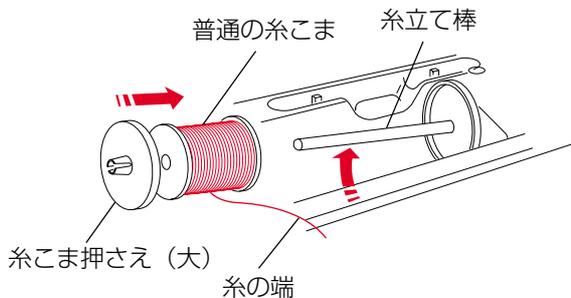
高さ
11.5mm



ボビンはJマーク付きの専用プラスチックボビンをおすすめします。市販の水平釜用プラスチックボビン（厚型、高さ11.5mm）も使用できます。他の紙ボビン等を使用すると、ぬい不良の原因になります。

★糸こまのセット

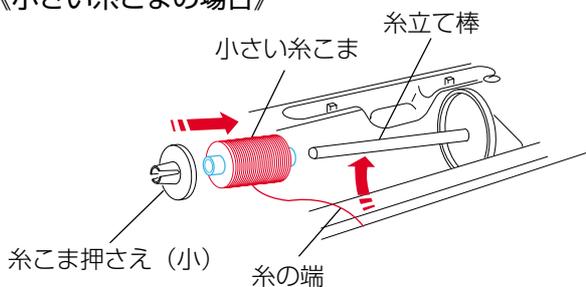
《普通の糸こまの場合》



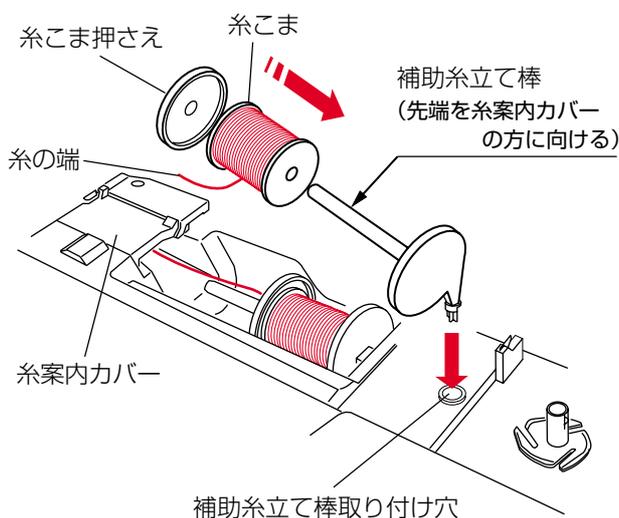
糸立て棒を軽くおこし、糸の端が糸こまの下から手前になるように糸こまを向けて糸立て棒に入れ、糸こま押さえを押しつけて糸こまを押さえます。

※ 普通の糸こまには糸こま押さえ (大) を、小さい糸こまには糸こま押さえ (小) を使います。

《小さい糸こまの場合》



★補助糸立て棒の使い方

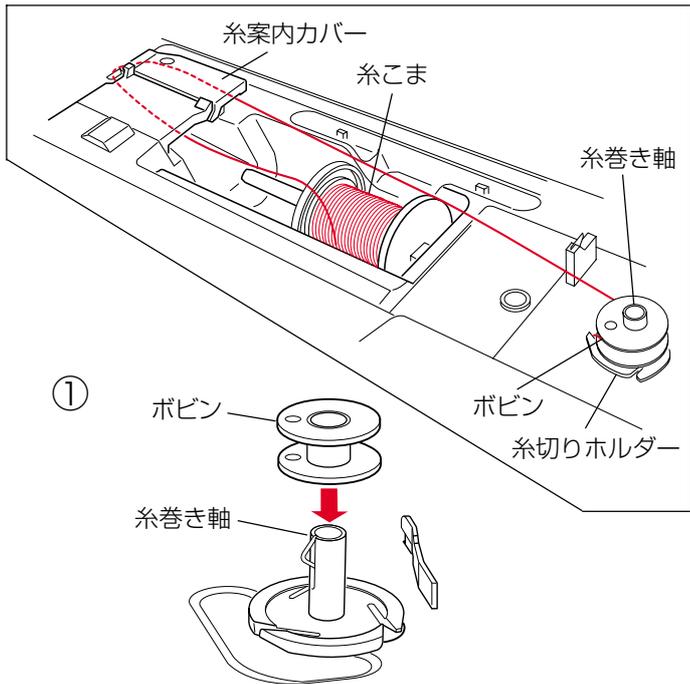


付属の補助糸立て棒は、ミシンに付いている糸立て棒に糸こまをセットした状態のまま別の糸こまで糸巻きをするときや、2本針ぬいのときなどに使います。

補助糸立て棒の先端を糸案内カバーの方に向けて、補助糸立て棒取り付け穴に差し込みます。(正しい位置に差し込んだ場合、補助糸立て棒は回転しないで固定されます。)

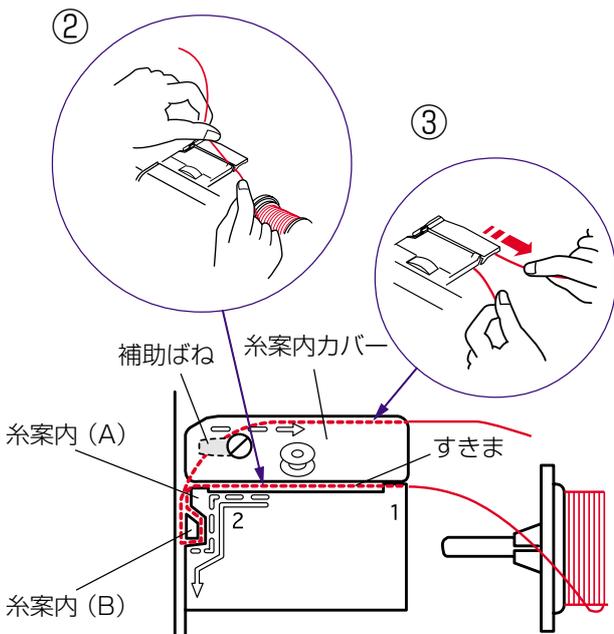
糸こまの向きや固定方法は、上記「★糸こまのセット」と同じです。

★下糸巻き



※ 糸巻きのときは、スピードコントロールつまみを最高速（いちばん右側の位置）にセットしてください。

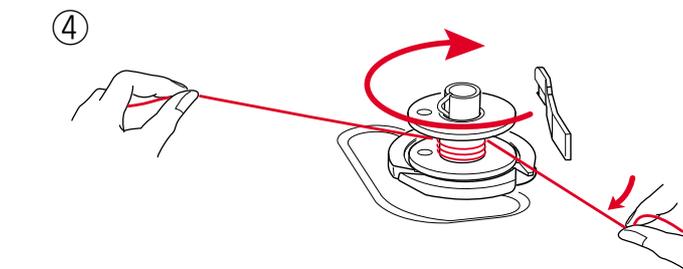
① 糸巻き軸にボビンを差し込みます。



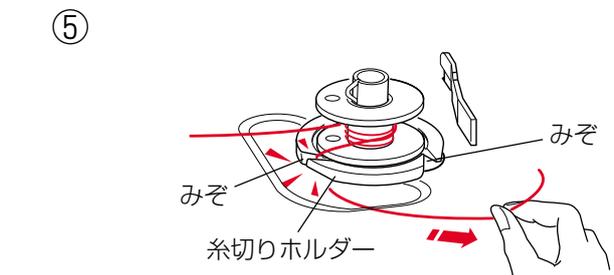
② 糸を両手で持ち、糸案内カバーのすきまに押し込みます。

③ 糸案内 (A) と糸案内 (B) に順に糸をかけ、糸案内カバーのうしろにまわして右に引き出します。

※ 糸を補助ばねの下に確実に通すために、糸こま側の糸を左手で持ち、引き出した糸を右手で強めに引いてください。

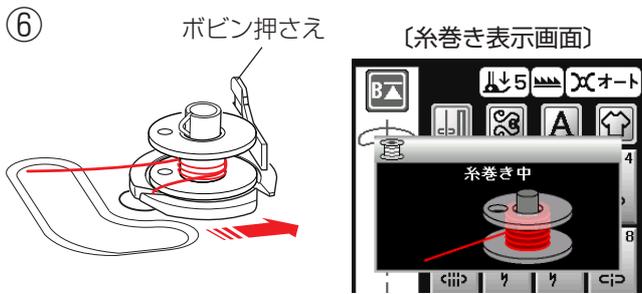


④ 右に引き出した糸を左手で押さえ、右手で糸の端をボビンに右まわり（時計方向）に4～5回巻きます。



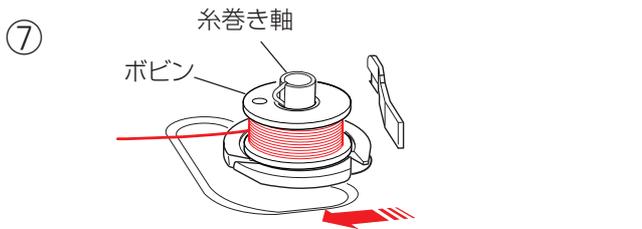
⑤ ボビンに4～5回巻いた糸を、ボビンの下にある糸切りホルダーのみぞに入れ、みぞにそって引いて糸を切ります。

※ みぞは3カ所あり、中にカッターが内蔵されています。



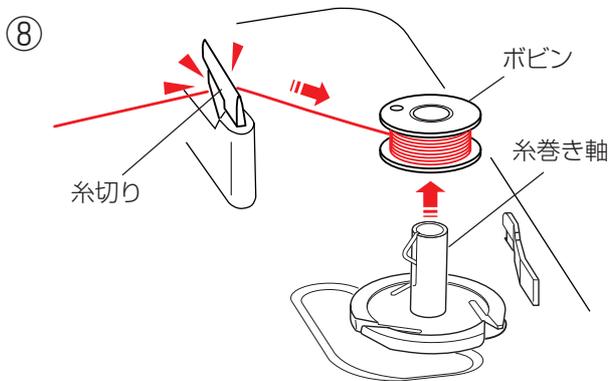
⑥ ボビンをボビン押さえの方に押しつけます。

※ 画面が左の「糸巻き中」の表示になります。



⑦ ミシンをスタートさせます。

巻き終わると自動的にボビンの回転が止まるので、ボビンの回転が止まったらミシンを停止し、ボビンを左にもどします。



※ ボビン (糸巻き軸) は、必ずミシンを停止してからもどしてください。

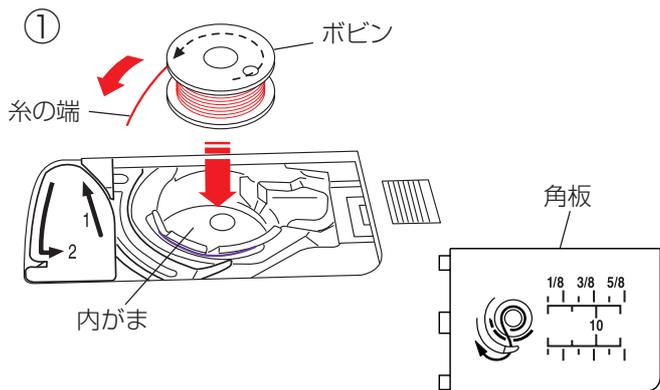
※ ミシンを停止しないで放置しておくと、安全のためにミシンがスタートしてから約90秒で自動停止します。

⑧ 糸巻き軸からボビンを外し、糸切りで糸を切ります。

★ボビンのセット

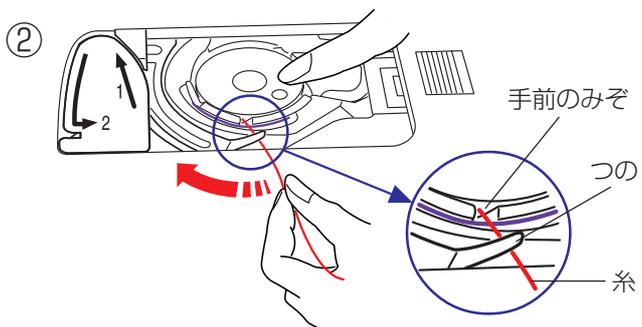
⚠ 注意

ボビンを内がまにセットするときは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にするか、電源スイッチを切ってください。けがの原因になります。



① 糸の端がボビンのうしろ側から矢印方向に出るように向けて (糸が左巻き)、ボビンを内がまに入れます。

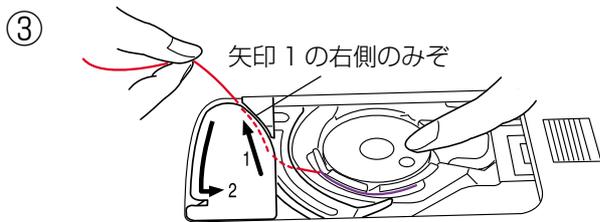
※ ボビンから引き出される糸の状態の図が角板に表示されています。



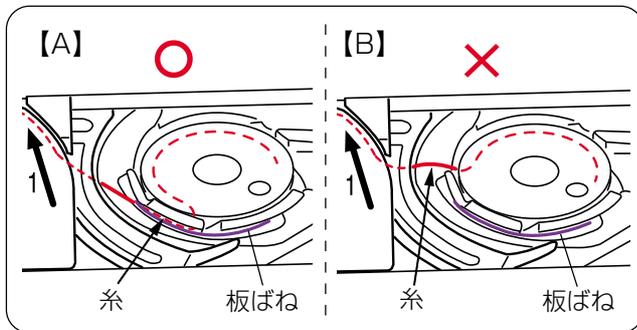
② ボビンが回転しないように、右手でボビンを軽く押さえます。

左手で糸の端を持ち、内がまの手前のみぞにかけ、さらに手前のつもの下をくぐらせます。

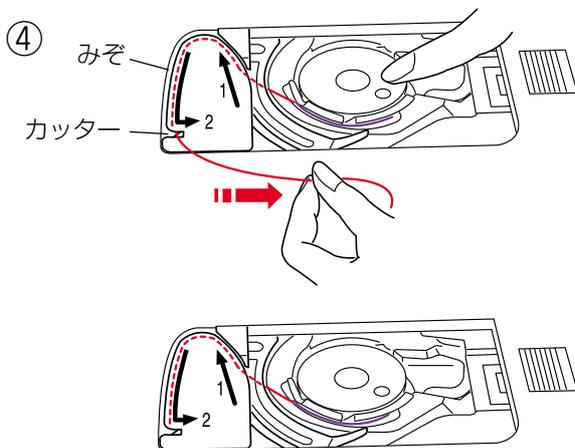
※ 糸を各部に確実にかけるために、手順④が終了するまで、右手でボビンを押さえた状態で行ってください。



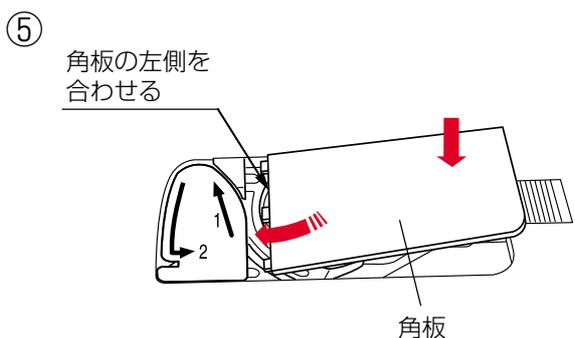
③ つのの下をくぐらせた糸を矢印1の方向に引きあげて矢印1の右側のみぞに入れます。



※ 手順②で、内がまの手前のみぞに糸がかかっていないと、内がまの板ばねのあいだに糸が入らず、ボビンから直接矢印1の右側のみぞに通ってしまいます。
(左図、【B】参照)
その場合は手順②からかけ直してください。
正しくかけられていないと、ぬい不良の原因になります。



④ そのままみぞにそって矢印2の方向に糸を通し、下側のカッターにかけてから右に水平に引いて糸を切ります。

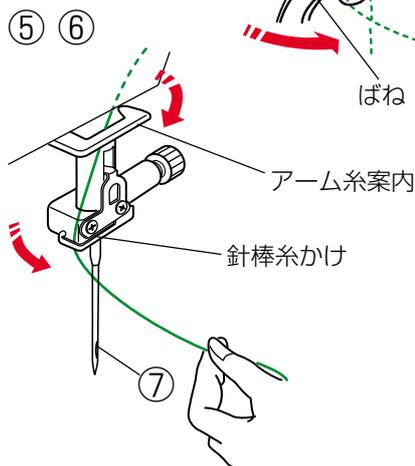
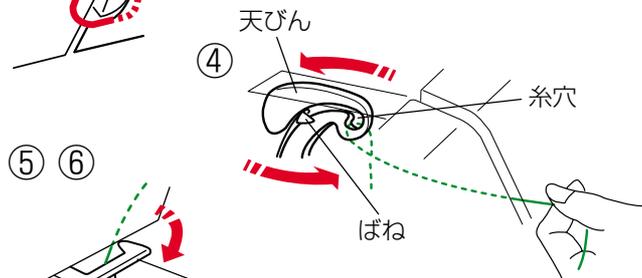
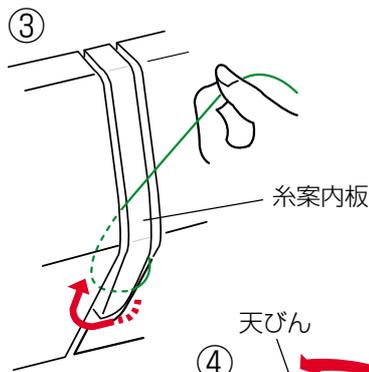
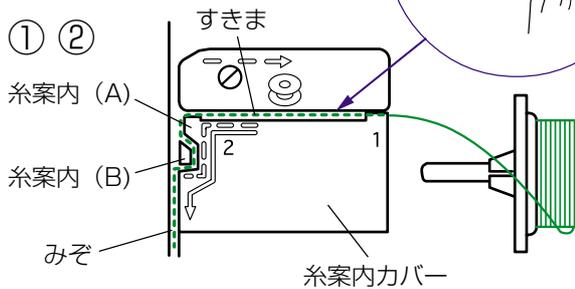
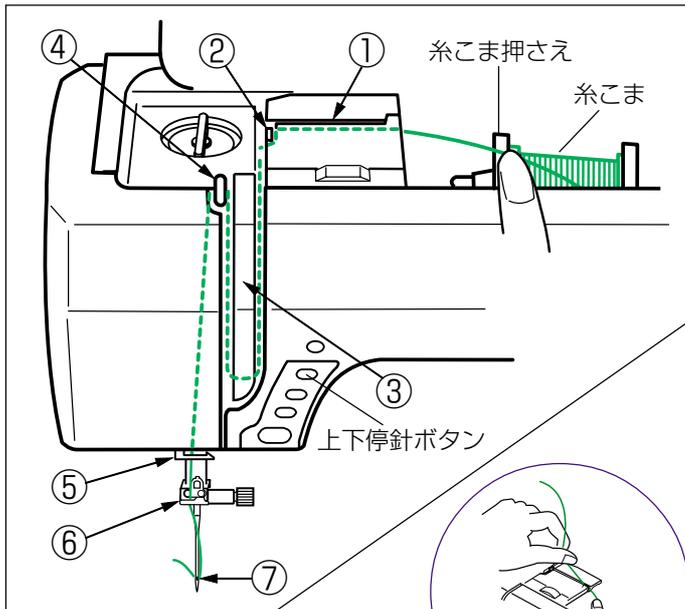


⑤ 角板を左側から合わせて取り付けます。

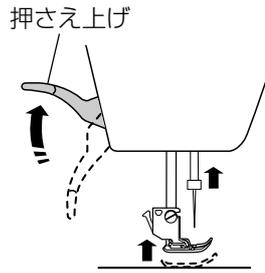
※ 通常は、下糸はこの状態のままでぬい始めることができます。
ぬい始めに下糸を針板の上に引き出す必要があるときは、「●下糸を針板の上に引き出す場合」(26ページ)をごらんください。

●上糸の準備

★上糸かけ



【準備】



1. 押さえ上げをあげます。
2. 電源スイッチを入れ、上下停針ボタンを押して針と天びんをあげます。
3. ロックキーを押してミシンをロック状態にするか、電源スイッチを切ります。

⚠ 注意

上糸をかけるときは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にするか、電源スイッチを切ってください。けがの原因になります。

※ 上糸かけは、必ず押さえ上げをあげて行ってください。押さえ上げがあがっていないと糸が正しくかけられず、ぬい不良の原因になります。

※ 上糸かけは、糸を各部に確実にかけるために、常に右手で糸こま側の糸を押さえながら、左手で強めに引いてかけてください。

※ 糸こまのセット方法は、「●下糸の準備／★糸こまのセット」(20ページ)をごらんください。

① 糸を両手で持ち、糸案内カバーのすきまに押し込みます。

② 右手で糸こま側の糸を押さえ、左手で糸案内 (A) と糸案内 (B) に順に糸をかけ、みぞにそって手前に「パチン」と音がするまで強めに引き出します。

③ 糸案内板の下をまわし、左上に引きあげます。

④ 天びんの右からうしろへまわして手前に引き、ばねを通過させて糸穴に入れ、まっすぐ下におろします。

⑤ アーム糸案内に右からかけます。

⑥ 針棒糸かけに左からかけます。

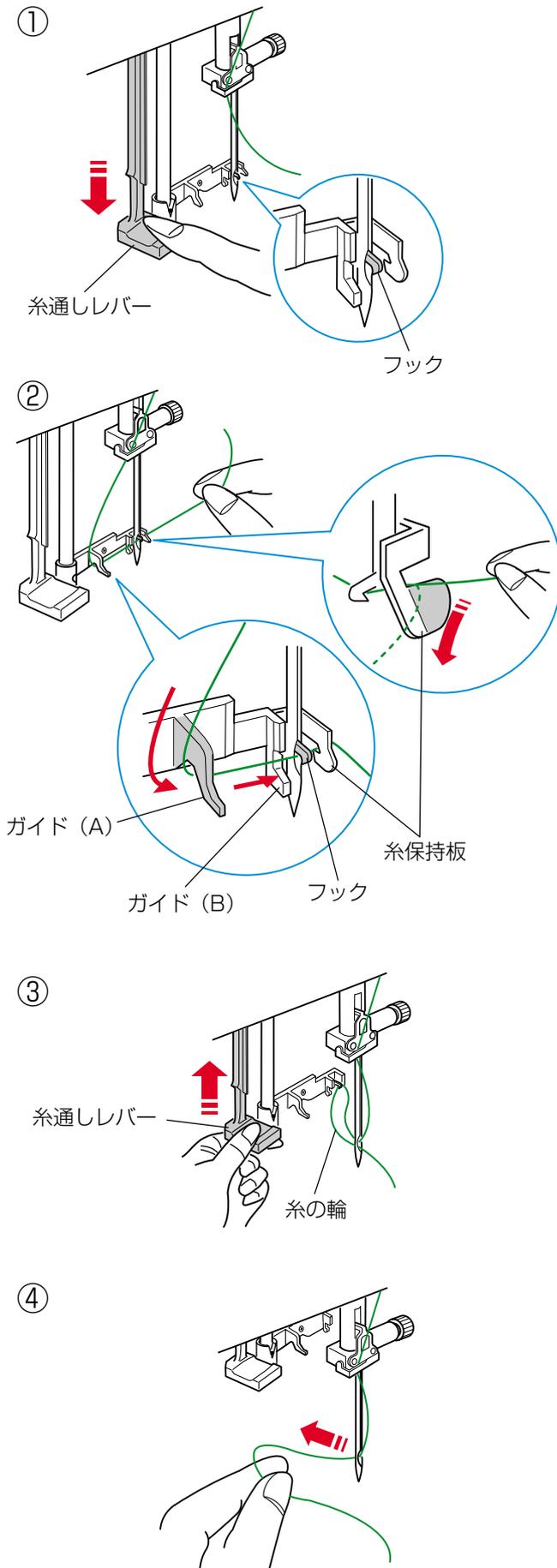
⑦ 糸通しを使って針に糸を通します。
糸通しの使い方は次ページをごらんください。

★糸通し

⚠ 注意

糸通しを使うときは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にするか、電源スイッチを切ってください。けがの原因になります。

- ※ 針は11番～16番、糸は50～90番が使用できます。
- ※ 2本針のときは、糸通しは使えません。



- ① 上糸かけのときに上下停針ボタンで針をあげた状態のまま、押さえ上げをさげます。糸通しレバーを止まるまでさげます。

- ※ 糸通しレバーが止まった位置で、針穴にフックが入っています。

- ② 糸をガイド (A) の左側から下にまわし、ガイド (B) のくぼみに下からそわせながら糸保持板に下からかけ、手前にたらししておきます。

- ※ 糸はフックの下を通ります。

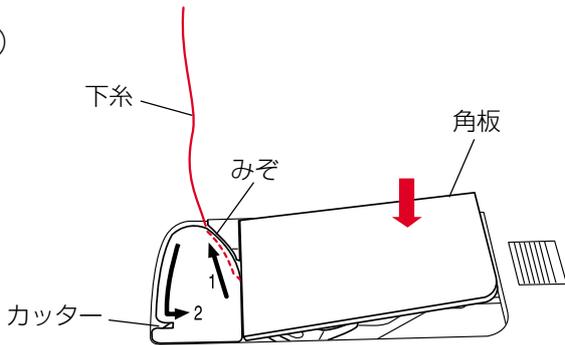
- ③ 糸通しレバーを静かにもどすと、糸の輪が引きあげられます。

- ④ 糸の輪を糸通しから外し、向こう側に引いて針穴から糸の端を引き出します。

●下糸を針板の上に引き出す場合

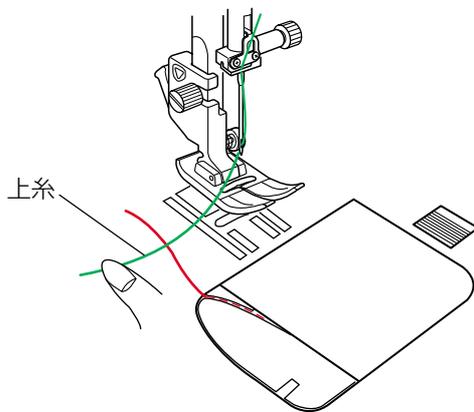
ギャザーやスモッキングなどをぬう場合のように、ぬい始めの下糸を長くする必要のあるときだけ、下記手順①～④の方法で下糸を針板の上に引き出してください。

①



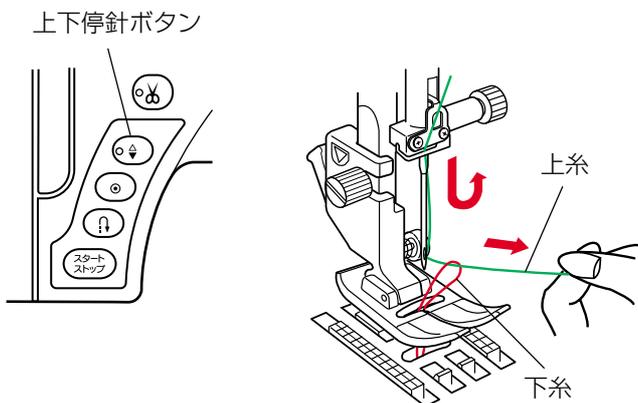
① 「●下糸の準備／★ボビンのセット」手順①～③ (22～23ページ)と同じ方法で下糸を矢印1の方向に引きあげてみぞに入れたら、そのまま10cmほど向こう側に引き出しておき、角板を取り付けます。(糸は、下側にあるカッターで切らないでください。)

②



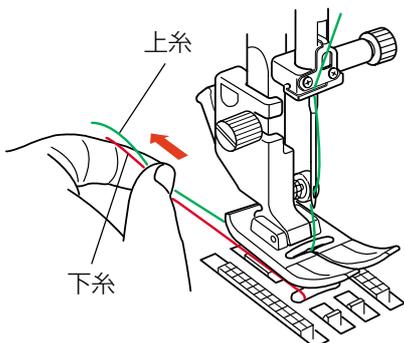
② 針に上糸を通し、押さえ上げをあげた状態で、上糸の端を指で押さえておきます。

③



③ 電源スイッチを入れ (ロック状態の場合はロック状態を解除し)、上下停針ボタンを押して針をさげ、もう一度押して針をあげます。上糸を軽く引くと下糸の輪が引き出されます。

④

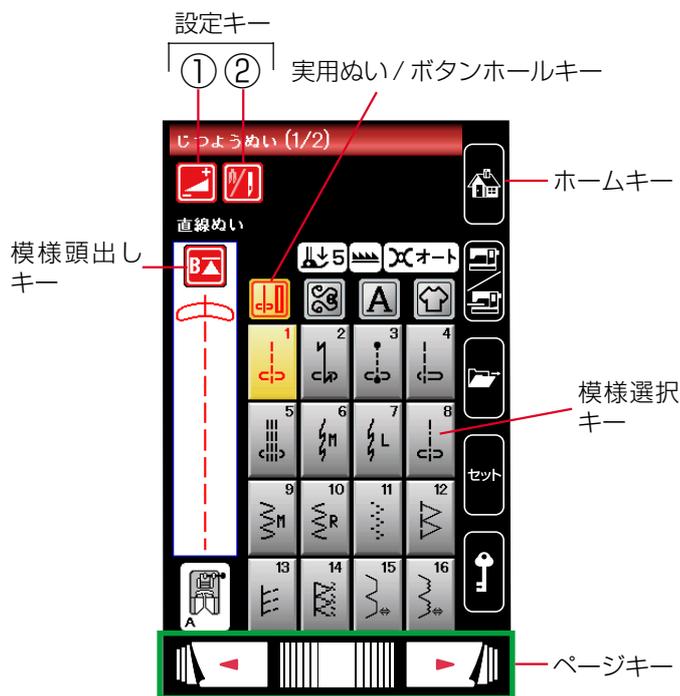


④ 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約10cmほど引き出して、そろえておきます。

◎実用ぬい

●実用ぬいの画面

〔模様選択画面〕(1/2 ページ)



実用ぬい/ボタンホールキーまたはホームキーを押すと、実用ぬいグループの模様選択画面になります。

実用ぬいグループは、18個の模様があり、2つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

実用ぬいグループの画面は、模様選択キー・設定キー・模様頭出しキーなどのキーと、選ばれている模様のぬい情報や設定状態が表示されています。

※ ぬい情報や設定状態の表示は、「◎操作方法/●画面(タッチパネル)」(11 ページ)をごらんください。

【設定キー】

その模様を設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変更します。

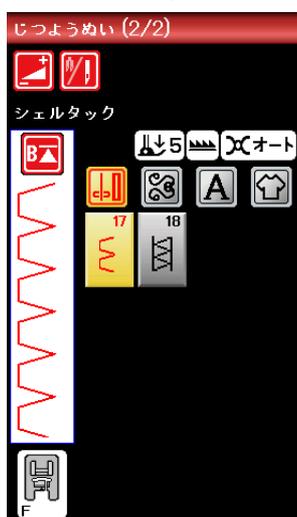
① 調節キー

調節キーを押すと調節画面になります。調節画面ではぬい目の幅(直線状模様の場合は針位置)、ぬい目のあらか、糸調子の設定値を変更したり、布ガイドの設定などを行うことができます。(28 ページ参照)

② 2本針ぬい切りかえキー

付属の2本針を使用して2本針ぬいを行うときに、キーを押して2本針ぬいに設定します。使い方は、「◎2本針ぬい」(104 ページ)をごらんください。

〔模様選択画面〕(2/2 ページ)

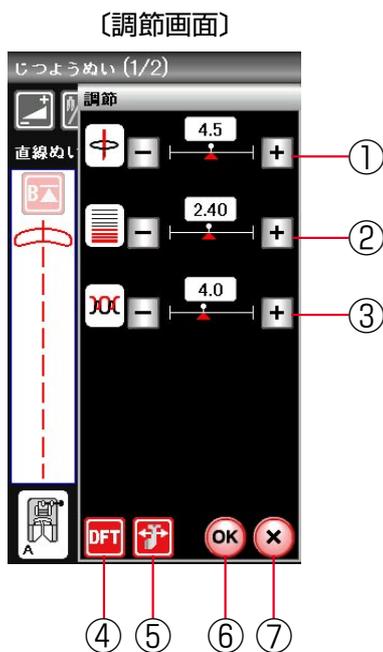
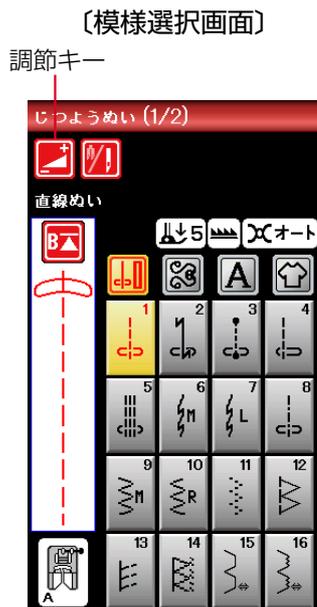


【模様頭出しキー】

模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬうときにその模様の最初からぬうことができます。

使い方は、「◎飾りぬい/●模様組み合わせモード/★模様頭出しキーの使い方」(66 ページ)をごらんください。

●実用ぬいの調節画面



模様選択画面の調節キーを押すと、調節画面が表示されます。

① ぬい目の幅調節キー

ぬい目の幅（直線状模様の場合は針位置）をかえることができます。（29 ページ参照）

② ぬい目のあかさ調節キー

ぬい目のあかさをかえることができます。（30 ページ参照）

③ 糸調子調節キー

上糸と下糸の糸調子のバランスをかえることができます。（31 ページ参照）

④ 初期化キー

ぬい目の幅、ぬい目のあかさ、糸調子を変更した場合、オート値（電源を入れたときに自動的に設定されている値）にもどすことができます。

⑤ 布ガイド設定キー

布ガイドを利用するときには設定します。
布ガイドを利用すると布端からお好みの位置に正確にぬうことができます。（33 ページ参照）

⑥ OK キー

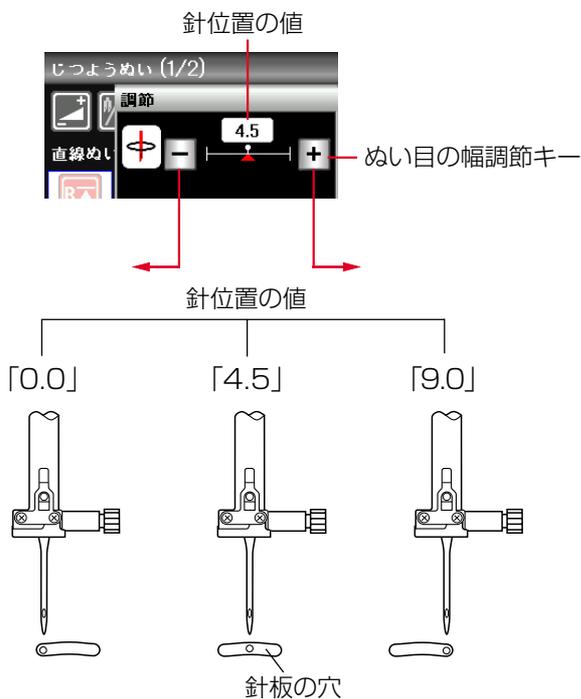
布ガイド設定キーを除く上記①～④のキーで変更した内容（画面に表示されている状態）を確定し、模様選択画面にもどります。

⑦ 閉じるキー

変更した内容を確定しないで（何も変更されずに）、模様選択画面にもどります。

★ぬい目の幅調節キー

〔調節画面：模様 ⊕ (直線模様) の例〕



ぬい目の幅調節キーでぬい目の幅（直線状模様の場合は、針位置）をかえることができます。

「+」を押すと表示されている数値が大きくなり、ぬい目の幅が広がります。

直線状模様の場合は、針が右へ移動します。

「-」を押すと表示されている数値が小さくなり、ぬい目の幅がせまくなります。

直線状模様の場合は、針が左へ移動します。

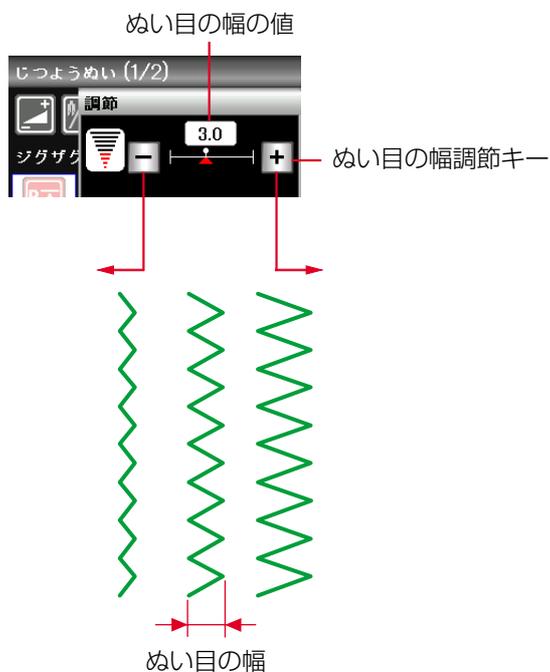
OK キーを押すと変更内容が確定され、模様選択画面にもどります。

※ 画面の数値は、ぬい目の幅の目安をミリメートルで表示しています。

直線状模様の場合は、左針位置からの距離の目安をミリメートルで表示しています。

左針位置が「0.0」、中針位置が「4.5」、右針位置が「9.0」になります。

〔調節画面：模様 M の例〕



ぬい目の幅の基準位置

ミシンの天板の早見板や模様選択キーに表示されている模様 M などのように、ぬい目のイラストの右に書かれている「L」「M」「R」は、ぬい目の幅をかえたときの基準位置を示します。

- ・「L」が表示されている模様は、ぬい目の幅をかえたとき、左針位置を基準（固定）に右に幅が変化します。
- ・「M」が表示されている模様は、ぬい目の幅をかえたとき、中針位置（中央）を基準（固定）に左右に幅が変化します。
- ・「R」が表示されている模様は、ぬい目の幅をかえたとき、右針位置を基準（固定）に左に幅が変化します。

模様 M の例
(中針位置基準)

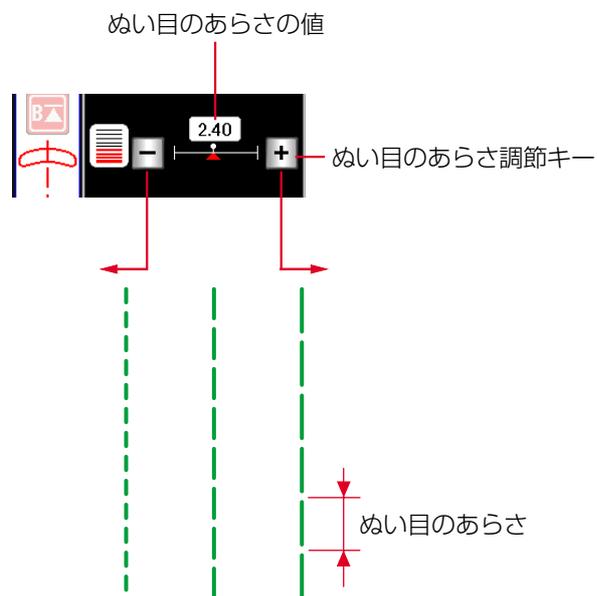


模様 R の例
(右針位置基準)



★ぬい目のあらか調節キー

〔調節画面：模様  (直線模様) の例〕



ぬい目のあらか調節キーでぬい目のあらかをかえることができます。

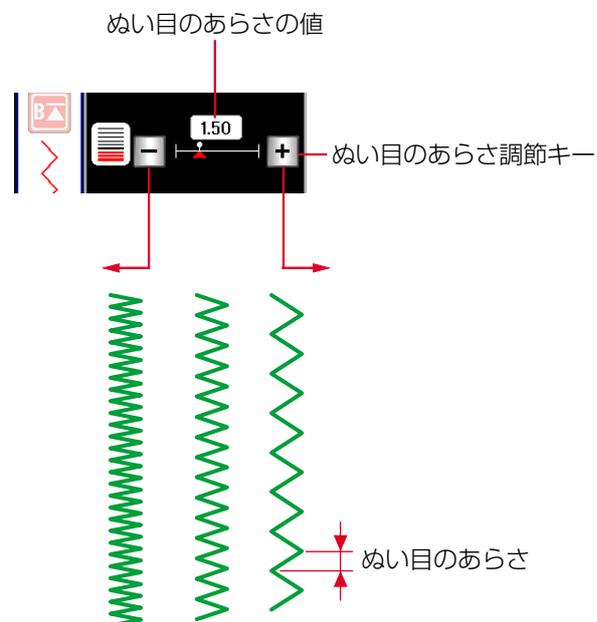
「+」を押すと表示されている数値が大きくなり、ぬい目のあらかがあらくなります。

「-」を押すと表示されている数値が小さくなり、ぬい目のあらかが細かくなります。

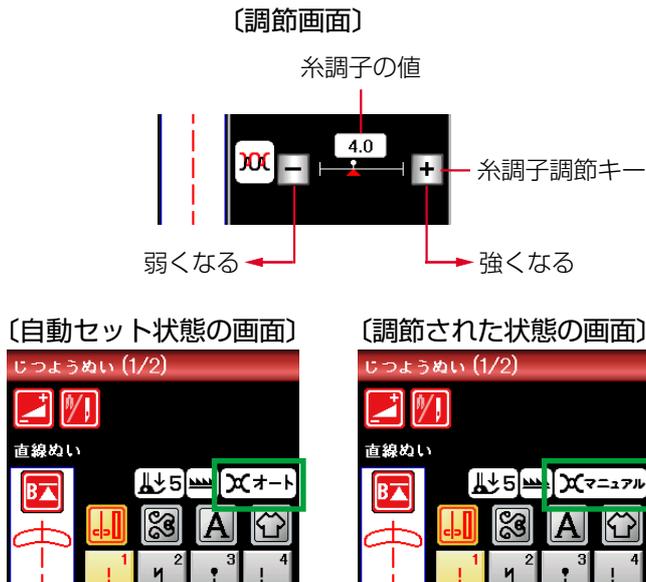
OKキーを押すと変更内容が確定され、模様選択画面にもどります。

※ 画面の数値は、ぬい目のあらかの目安をミリメートルで表示しています。

〔調節画面：模様  の例〕



★糸調子調節キー



模様を選ぶと、標準的な条件において最適な糸調子に自動セットされ、上糸と下糸がバランスよくぬえます。糸や布の種類、ぬい方などによって自動セットのままでは糸調子のバランスがとれない場合は、糸調子調節キーで調節します。

※ 糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなくなったり、布にしわがよったり、糸が切れたりします。

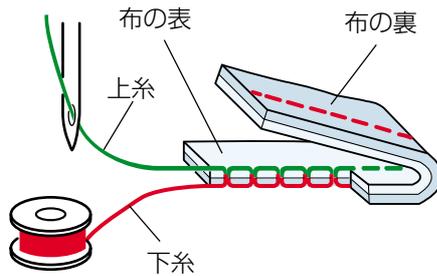
※ 画面には、糸調子が自動セット状態の場合は「オート」、糸調子調節キーで調節されている場合は「マニュアル」と表示されます。

※ 模様ごとに自動セットされる糸調子（オート値）を、すべての模様に対して全体的に強くしたり、弱くしたりすることができます。

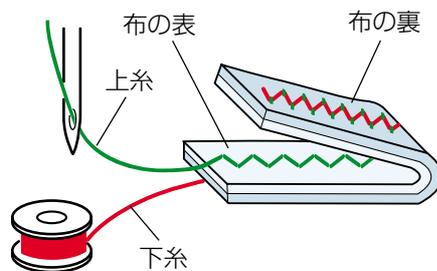
「◎ミシンの設定／【通常ぬい設定】①糸調子」（151ページ）をごらんください。

【バランスのとれた糸調子】

《直線ぬいの例》



《ジグザグぬいの例》

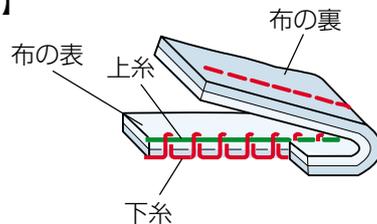


【バランスのとれた糸調子】

直線ぬいのときは、上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわります。

ジグザグぬいのときは、布の裏側に上糸が少し出るくらいになります。

【上糸が強すぎる場合】

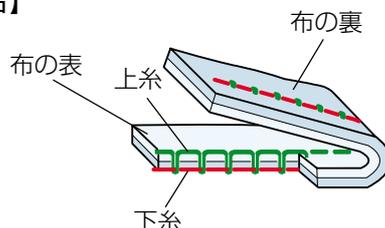


【上糸が強すぎる場合の調節】

上糸が強すぎると下糸が布の表に引き出されます。糸調子調節キーの「-」を押して数値を小さくします。

OKキーを押すと変更内容が確定され、模様選択画面にもどります。

【上糸が弱すぎる場合】



【上糸が弱すぎる場合の調節】

上糸が弱すぎると上糸が布の裏に引き出されます。上糸が布の表でたるんだり、輪になる場合もあります。糸調子調節キーの「+」を押して数値を大きくします。

OKキーを押すと変更内容が確定され、模様選択画面にもどります。

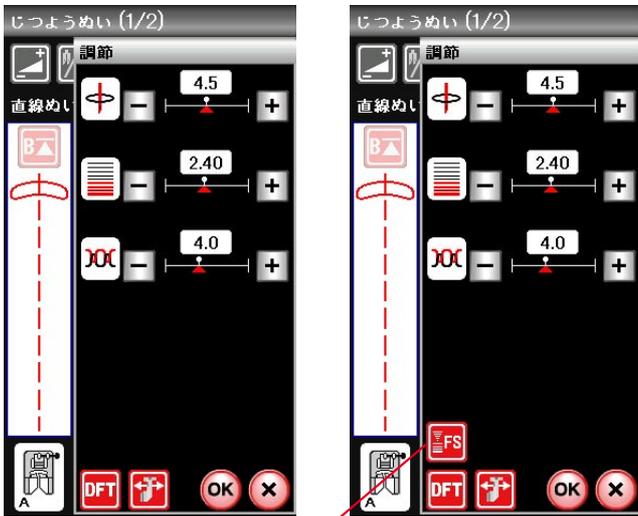
★ぬい目の幅（針位置）、ぬい目のあかさ、糸調子のオート値の変更

①

〔調節画面〕

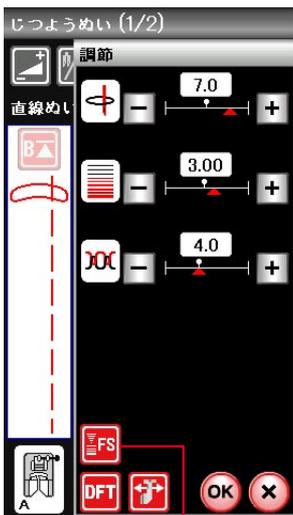
「ステッチの調整値を保存」が「OFF」に設定されている場合

「ステッチの調整値を保存」が「ON」に設定されている場合



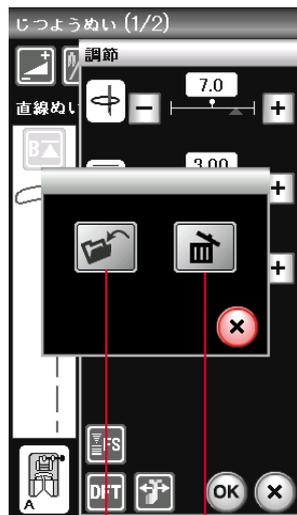
FSキー

②



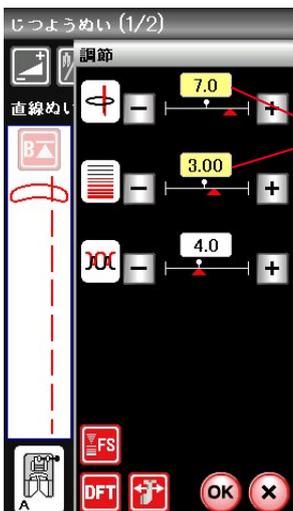
FSキー

③



保存キー
取り消しキー

④



黄色に塗られて、オート値が初期の状態から変更されていることを示します。

セットキーにより、通常ぬい設定の「ステッチの調整値を保存」を「ON」に設定しておく、ぬい目の幅（針位置）、ぬい目のあかさ、糸調子のオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）をお好みの値に変更して記憶することができます。

オート値をお好みの値に変更して記憶しておく、その模様を選ぶだけで、その設定した値でぬうことができます。

※ セットキーによる「ステッチの調整値を保存」を「ON」に設定する方法は、「◎ミシンの設定／【通常ぬい設定】⑨ステッチの調整値を保存」（153ページ）をご覧ください。

① セットキーにより、「ステッチの調整値を保存」が「ON」に設定されていると、FSキー（オート値設定キー）が表示されます。

※ 初期の状態（購入時の設定状態）は、「OFF」に設定されています。

② 調節画面の調節キーにより、設定したい項目の数値を変更します。

右図の例では、針位置を「4.5」から「7.0」、ぬい目のあかさを「2.40」から「3.00」に変更しています。

③ 手順②の画面でFSキーを押します。保存キーと取り消しキーが表示されているウインドウ画面が表示されます。

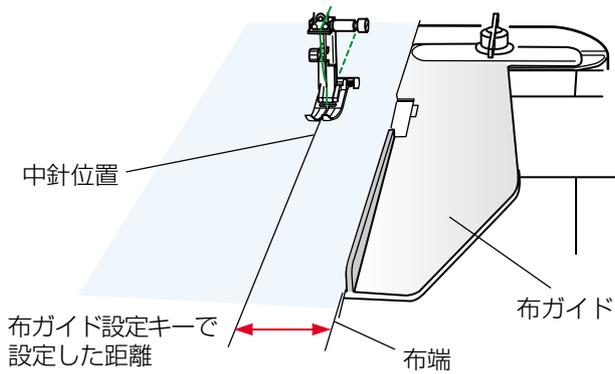
④ 手順③の画面で保存キーを押します。ウインドウ画面が消え、数値を囲む枠が黄色に塗られて、針位置のオート値が「7.0」、ぬい目のあかさのオート値が「3.00」に設定されたことを示します。

【変更したオート値を初期の状態にもどす方法】

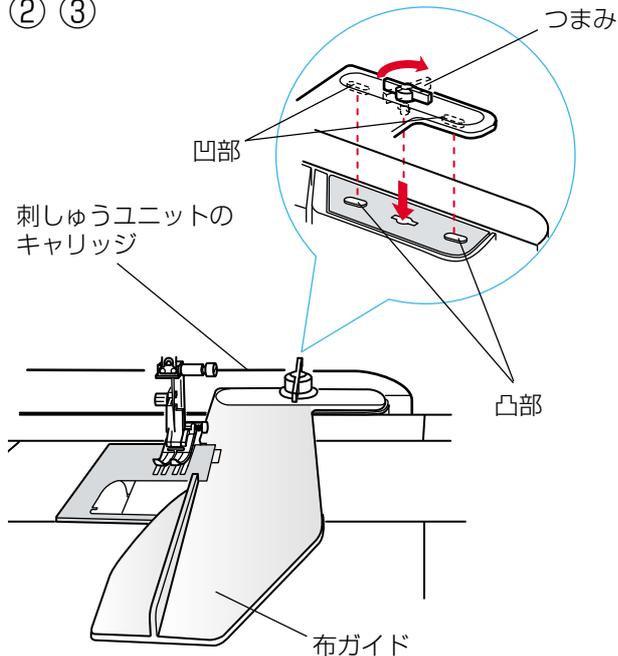
手順③の画面で取り消しキーを押します。数値を囲む枠の黄色が消え、オート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）が初期の状態（購入時の設定状態）にもどります。

※ 変更した全模様のオート値を一括して初期の状態（購入時の設定状態）にもどす方法は、「◎ミシンの設定／【通常ぬい設定】⑨ステッチの調整値を保存」（153ページ）をご覧ください。

★布ガイド設定キー



② ③

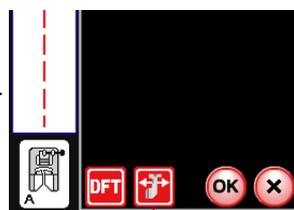


①

調節キー

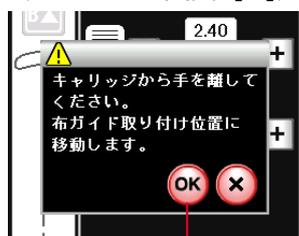


〔調節画面〕



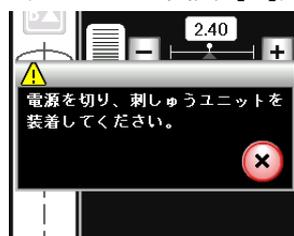
布ガイド設定キー

〔メッセージ画面【A】〕



OKキー

〔メッセージ画面【B】〕



布ガイドを利用するときに設定します。
布ガイドを利用すると布端からお好みの位置に正確にぬうことができます。

※ 布ガイドを設定すると、ミシンに取り付けた刺しゅうユニットのキャリッジがミシンの左外側に移動して突き出ます。(最大約14cm)
まわりにぶつかる物がないように注意してください。

【布ガイドの取り付け方】

① ミシンの電源スイッチを切り、ミシンに刺しゅうユニットを取り付けます。

※ 刺しゅうユニットの取り付け方は、「◎刺しゅう／●刺しゅうの準備／★刺しゅうユニットの取り付け方」(106ページ)をごらんください。

② 布ガイドのつまみを横に向け、布ガイドの凹部をキャリッジの凸部に合わせて差し込みます。

③ つまみを右方向にまわして縦に向け、布ガイドを固定します。

【布ガイドの設定方法】

① ミシンの電源スイッチを入れ、調節キーを押して調節画面にし、調節画面の下にある布ガイド設定キーを押します。

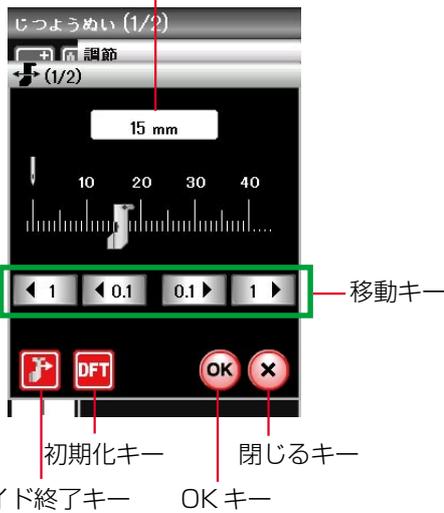
メッセージ画面【A】が表示されます。

※ 刺しゅうユニットを取り付けずに布ガイド設定キーを押すと、メッセージ画面【B】が表示されます。
電源スイッチを切ってから、刺しゅうユニットを取り付けてください。

② ③ ④

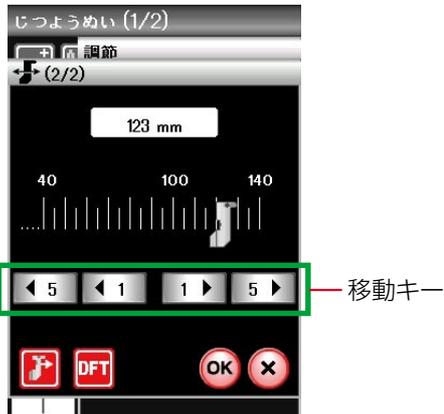
〔布ガイド設定画面〕

布ガイドの位置（中針位置からの距離）



初期化キー OK キー

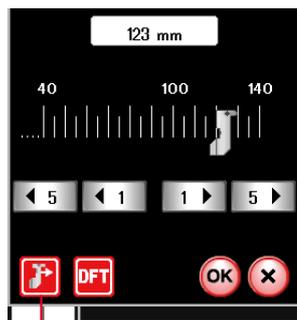
〔40mm 以上の設定画面例〕



移動キー

①

〔布ガイド設定画面〕



布ガイド終了キー

②

〔メッセージ画面〕



OK キー

② メッセージ画面【A】（前ページ参照）のOK キーを押します。

キャリッジが左に移動し、布ガイド設定画面が表示されます。

※ 布ガイド位置のオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）は、15mmに設定されています。

③ 移動キーで布ガイドの位置（中針位置からの距離）を変更します。

※ 移動キーは、40mmの位置までは0.1mmと1mm単位、40mm以上は1mmと5mm単位で変更できます。

※ 閉じるキーを押すと、布ガイドの位置が変更されずに調節画面にもどります。

④ OK キーを押します。

変更した値が確定されて調節画面（前ページ参照）にもどり、設定した布ガイドの位置でぬうことができます。

※ 設定値をオート値にもどす場合は、布ガイド設定画面の初期化キーを押してOK キーを押します。

※ 布ガイドの位置を示す数値に対して、移動する布ガイドの実際の位置を調整する（少しずつ）ことができます。

また、手順②でOK キーを押したときに移動する位置をオート値（15mm）ではなく、前回最後に使用した位置にすることができます。

「◎ミシンの設定／【通常ぬい設定】⑥布ガイドの初期位置調整、⑦布ガイドの位置記憶」（152ページ）をごらんください。

【布ガイドの終了方法】

① 布ガイド設定画面の布ガイド終了キーを押します。メッセージ画面が表示されます。

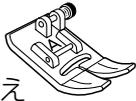
② メッセージ画面のOK キーを押します。キャリッジが右に移動し、刺しゅうユニット着脱位置にもどります。

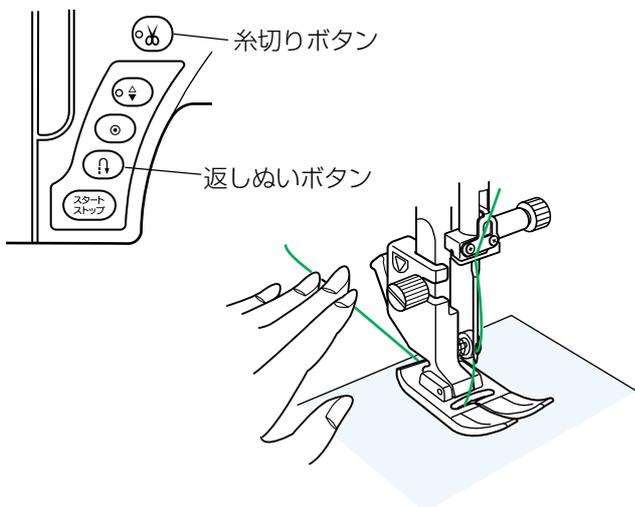
③ 電源スイッチを切り、刺しゅうユニットから布ガイドを取り外し、ミシンから刺しゅうユニットを取り外します。

※ 刺しゅうユニットの取り外し方は、「◎刺しゅう／●刺しゅうの準備／★刺しゅうユニットの取り外し方」（108ページ）をごらんください。

●直線（直線状模様）ぬい

★直線ぬい（中針位置）

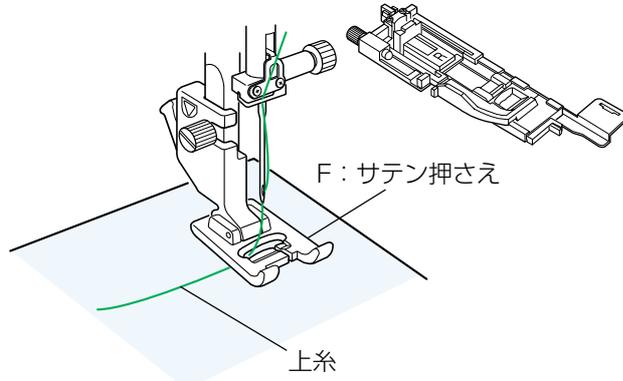
① 模様		
② 押さえ	A：基本押さえ	
③ 押さえ圧調節ダイヤル ... 「5」		



【ぬい始め】

- ① 上糸を押さえの下から向こう側に引き出した状態で布を入れ、糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手で手前にまわして最初のぬい位置に針をさします。
- ※ 下糸（ボビン）をセットした直後および糸切りボタンを使用して糸を切ったあとのぬい始めは、下糸は針板の上に引き出す必要はありませんが、上糸は必ず向こう側に引いて、押さえで押さえてください。
- ② 押さえ上げをさげて、ぬい始めます。
- ※ ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいボタンを押します。

R：ボタンホール押さえ



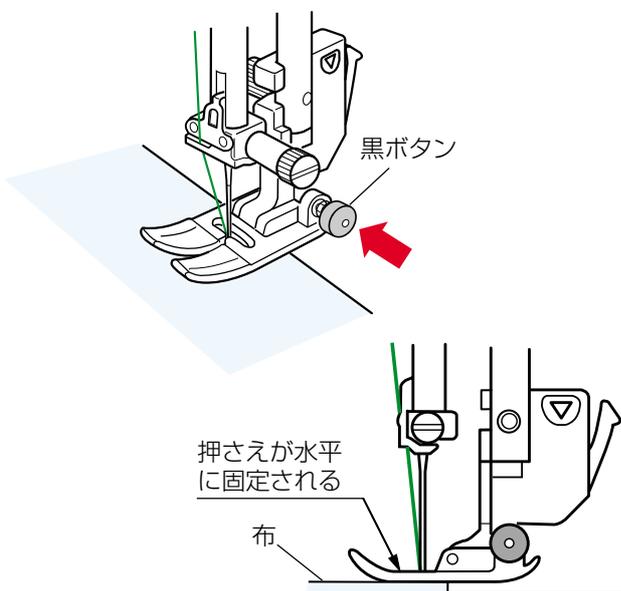
F：サテン押さえ

上糸

ぬい始めの糸の引き出し方

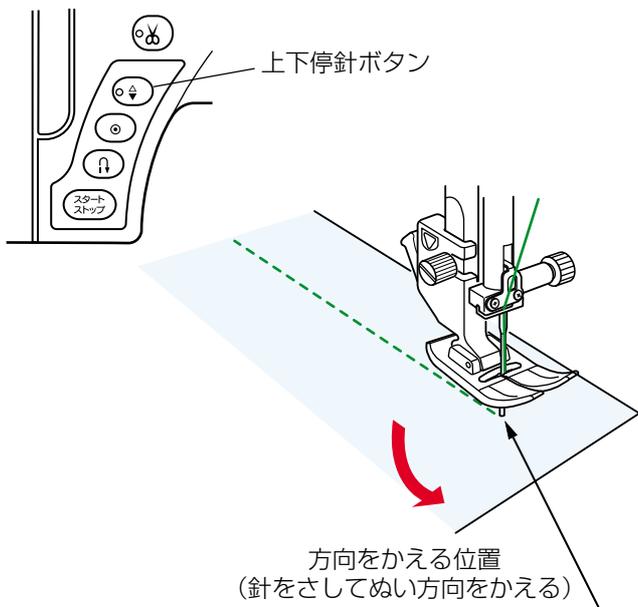
通常は、ぬい始めの上糸は押さえの向こう側に引き出して、押さえで押さえます。

ただし、F：サテン押さえやR：ボタンホール押さえなどのように、押さえの向こう側（うしろ側）の底があがっていて、糸を押さえる部分がない押さえは、ぬい始めの糸は横方向に引き出して押さえてください。



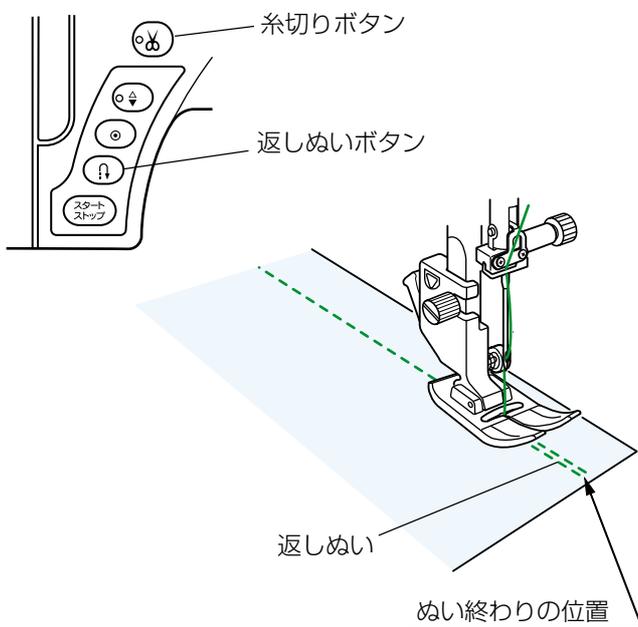
【厚手の布端のぬい始め】

- ① 最初のぬい位置に針をさし、基本押さえの黒ボタンを押し込みます。
- ② 黒ボタンを押したまま押さえ上げをさげます。
- ③ 黒ボタンから手をはなし、ぬい始めます。
- ※ 黒ボタンを押した状態で押さえ上げをさげると押さえが水平に固定され、段部をスムーズにぬい始めることができます。
- ぬい始めると黒ボタンがもどり、押さえはもとの自由に動く状態になります。



【ぬい方向の変更】

- ① 布の方向をかえる位置まできたらミシンを停止します。
- ② 布に針がささっていない場合は、上下停針ボタンを押して針を布にさし、押さえ上げをあげます。
※ 通常はミシンを停止すると、針が布にささった状態になっています。
- ③ 針を布にさしたままぬい方向をかえ、押さえ上げをさげてぬい始めます。
※ ぬい位置がずれなくてきれいにぬうことができます。



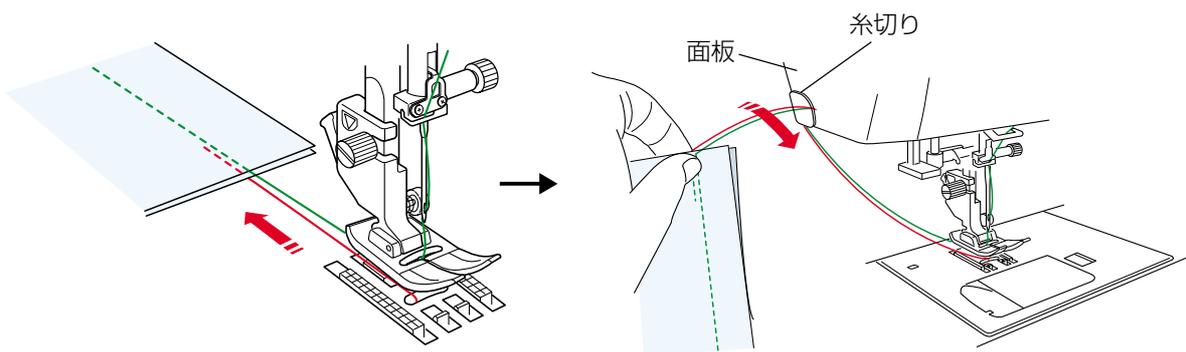
【ぬい終わり】

- ① ぬい終わりの位置で返しぬいボタンを押して数針返しぬいを行い、ミシンを停止します。
- ② 糸切りボタンを押して糸を切ります。
※ 針が布にささった状態でも、糸切りボタンを押すと針は上の位置に移動します。
- ③ 押さえ上げをあげて布を向こう側に引き出します。
※ ぬい始めとぬい終わりのほつれ止めを自動的に行う自動返しぬい模様  と自動止めぬい模様  があります。
「★自動返しぬい」「★自動止めぬい」(次ページ)をごらんください。

面板の糸切りの使い方

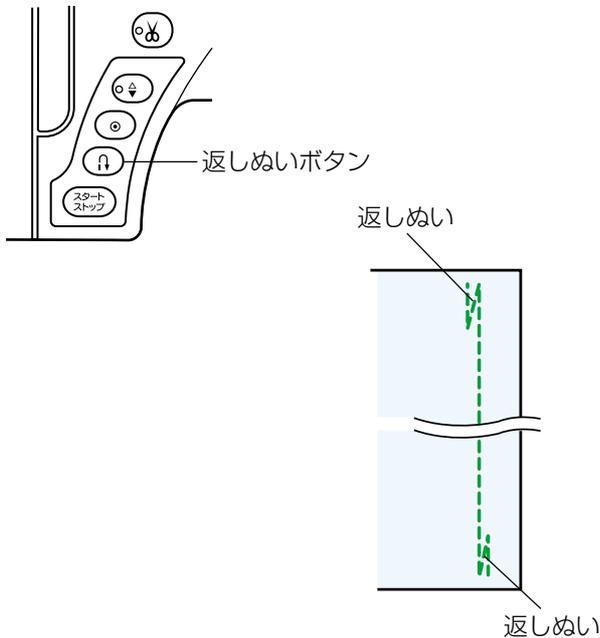
30番および30番より太い糸や特殊な糸を切る場合は、ミシンの面板に付いている糸切りを使用してください。

針と押さえ上げをあげ、布を向こう側に引き出してから手前に返すようにして糸を切ります。



★自動返しぬい

① 模様		
② 押さえ	A：基本押さえ	
③ 押さえ圧調節ダイヤル ... 「5」		



ぬい始めとぬい終わりにしっかりしたほつれ止め(返しぬい)を自動的に行うときに使います。

【ぬい始め】

ミシンをスタートさせると、ぬい始めに自動的に数針返しぬいを行います。

【ぬい終わり】(スタート/ストップボタン使用時)

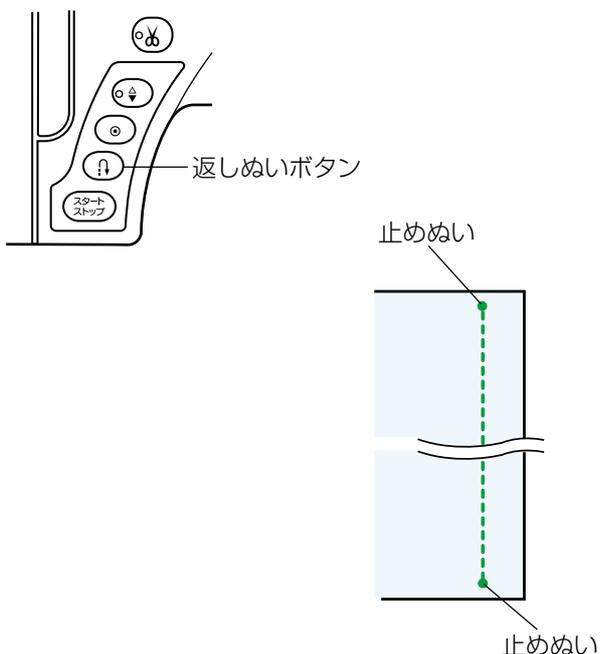
ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転したまま)、返しぬいボタンを一度押します。その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。

【ぬい終わり】(フットコントローラー使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転したまま)、返しぬいボタンを一度押します。ミシンを停止してからボタンを押した場合は、再度フットコントローラーを踏むと、その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。運転したままボタンを押した場合は、その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。

★自動止めぬい

① 模様		
② 押さえ	A：基本押さえ	
③ 押さえ圧調節ダイヤル ... 「5」		



ぬい始めとぬい終わりに目立たないほつれ止め(止めぬい)を自動的に行うときに使います。

【ぬい始め】

ミシンをスタートさせると、ぬい始めに自動的に数針止めぬいを行います。

【ぬい終わり】(スタート/ストップボタン使用時)

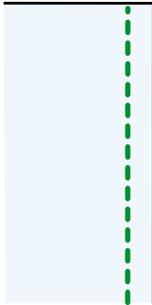
ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転したまま)、返しぬいボタンを一度押します。その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。

【ぬい終わり】(フットコントローラー使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転したまま)、返しぬいボタンを一度押します。ミシンを停止してからボタンを押した場合は、再度フットコントローラーを踏むと、その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。運転したままボタンを押した場合は、その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。

★直線ぬい（左針位置）

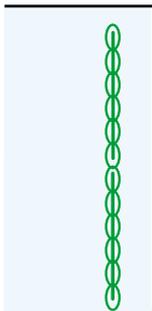
① 模様		
② 押さえ	A：基本押さえ	
③ 押さえ圧調節ダイヤル ...	「5」	



端ぬいや、薄物ぬいに使います。

★三重ぬい

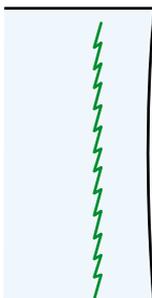
① 模様		
② 押さえ	A：基本押さえ	
③ 押さえ圧調節ダイヤル ...	「5」	



丈夫なぬい目で、厚い布や袋物、ズボンなどしっかりとぬい合わせたい場所に使います。

★伸縮ぬい（ニットステッチ）

① 模様			
② 押さえ	A：基本押さえ		
③ 押さえ圧調節ダイヤル ...	「4」		



布が伸びても糸が切れにくい伸縮性のあるぬい目で、ニット地のぬい合わせなどに使います。

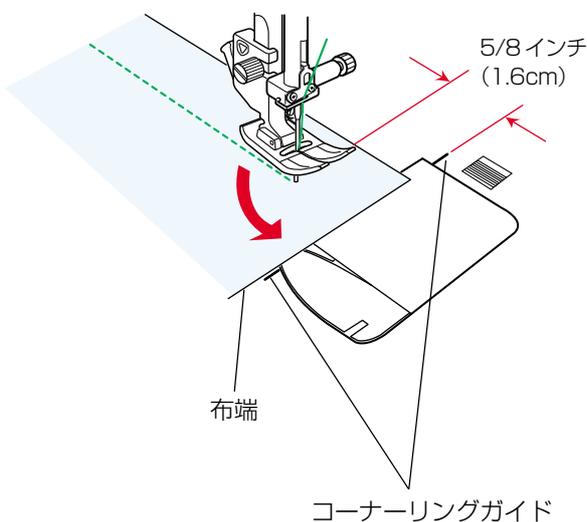
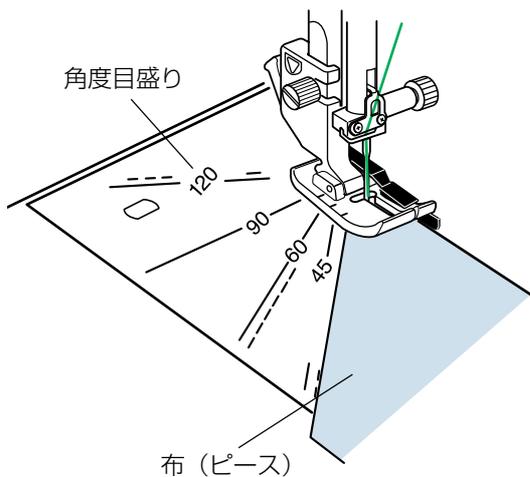
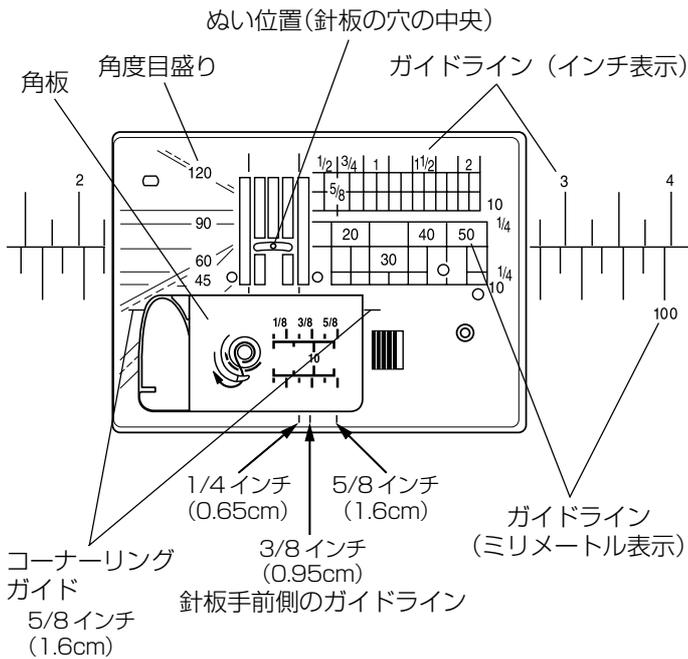
※ 通常は、模様  を使用してください。

模様  は、厚い布に使用できます。

※ 模様   の場合、調節画面のぬい目の幅調節キーでの調節は、他の直線状模様と異なり、ぬい位置（針位置）ではなく、ぬい目の幅の調節になります。

※ 模様   のぬい目のイラストの右に書かれている「M」「L」は、ぬい目の幅をかえたときの基準位置です。ぬい目の幅の基準位置は、「●実用ぬいの調節画面／★ぬい目の幅調節キー／〔ぬい目の幅の基準位置〕欄」（29 ページ）をごらんください。

★針板ガイドの使い方



針板には、布のぬい位置を決めるための便利なガイドがいろいろ表示されています。

【ガイドライン】

布端を針板のガイドラインに合わせてぬうと、布端から正確な位置にぬうことができます。

ガイドラインの数字は、ぬい位置（針板の穴の中央）からガイドラインまでの距離を「インチ」と「ミリメートル」で表示しています。

※ ガイドラインは角板およびミシンのフリーアームにも表示されています。

【角度目盛り】

角度目盛りは、パッチワークのピース作りに使うと便利です。

パッチワーク布（ピース）の角度と同じ角度目盛りに布端を合わせると、しるしなしでぬいしろ1/4インチ（0.65cm）のぬい始めの位置を決めることができます。

※ 使い方は、「◎用途選択／●パッチワーク／〔針板角度目盛りの使い方〕欄」（99ページ）をごらんください。

【コーナーリングガイド】

布端から5/8インチ（1.6cm）のところまで直角にぬい方向をかえるときに利用します。

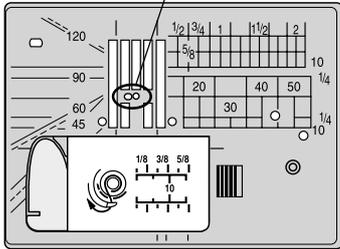
…ぬい方向をかえたあと布端から5/8インチ（1.6cm）の位置にぬうことができます。

- ① 布端がコーナーリングガイドのところに来たらミシンを停止します。
- ② 針を布にさした状態で押さえ上げをあげ、布を直角に回転させます。
布端が針板右側のガイドライン5/8インチ（1.6cm）の位置に合います。
- ③ 押さえ上げを下げ、ミシンをスタートさせます。

★直線ぬい用針板の使い方

〔直線ぬい用針板〕

直線ぬい用針板は、針の通る場所が2個の丸穴になっています。

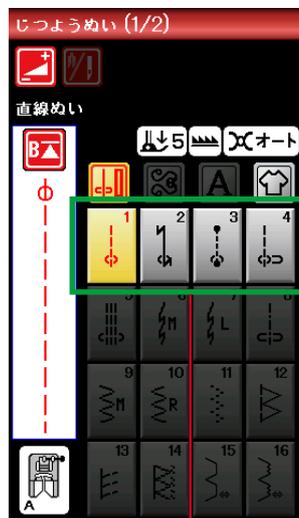


〔メッセージ画面〕



閉じるキー

〔模様選択画面〕

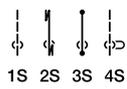
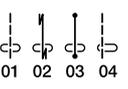


直線ぬい用針板でぬうことができる模様

針板の穴の小さい「直線ぬい用針板」を使用すると、針が布にささるときのばたつきがおさえられ、ぬい目が美しく仕上がります。

直線ぬいの場合、模様  を選び、直線ぬい用針板でぬうことをおすすめします。

※ 針板の交換方法は、「◎操作方法／●針板の外し方、付け方」(17ページ)をごらんください。

※ ミシンの早見板の模様  は、模様  と同じ模様です。

直線ぬい用針板が使用できるという意味で、模様番号の末尾に「S」を付けています。

ロックキーを使用してロック状態で直線ぬい用針板に交換すると、メッセージ画面が表示されます。正しい押さえが取り付けられているか確認してください。

メッセージ画面の閉じるキーを押し、ロックキーを押してロック状態を解除すると模様選択画面にもどり、ぬうことができます。

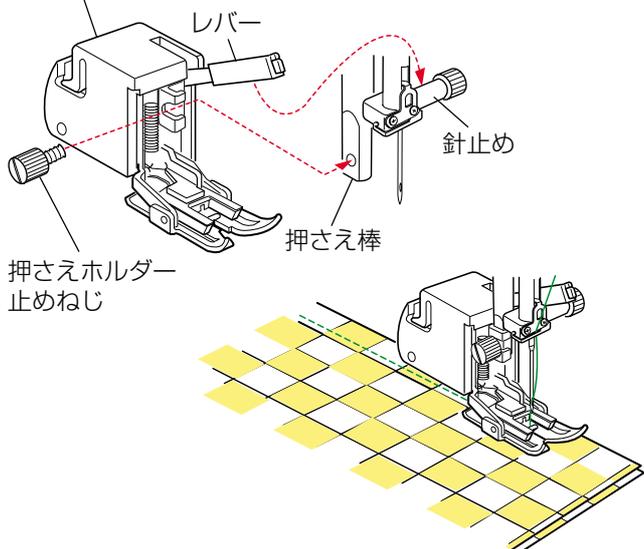
※ 直線ぬい用針板が取り付けられているあいだは、実用ぬいグループおよび用途選択グループの一部の模様しか選択できません。選択できない模様は、模様選択キーの色がグレーになっていて、押しも受け付けられないようになっています。

用途選択グループは、「◎用途選択」(80ページ)をごらんください。

※ 直線ぬい用針板が取り付けられているあいだ、調節画面のぬい目の幅調節キーで針位置を変更することはできません。

★送りジョーズの使い方

送りジョーズ



※ 送りジョーズおよび定規棒は、モデルによりオプションになります。

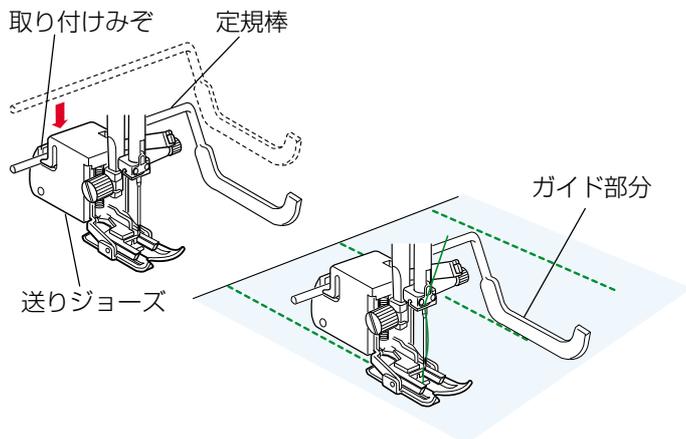
送りジョーズは、上下の送り歯で布をはさみながら布送りするので、キルティング、薄物、ニット地、ビニールレザー、皮革などの素材に使用すると、ぬいずれやぬいじわを防止する効果があります。

【送りジョーズの取り付け方と使い方】

押さえホルダーを外し、レバーを針止めの上にのせ、ドライバーを使用して、押さえホルダー止めねじで送りジョーズを押さえ棒にしっかり固定します。

※ 押さえホルダーの外し方は、「◎操作方法／●押さえホルダーの外し方、付け方」(16ページ)をごらんください。

※ ぬう速度は、低速から中速の範囲でお使いください。



【定規棒の使い方】

定規棒は、前にぬったぬい目と平行に等間かくでぬうときに使います。

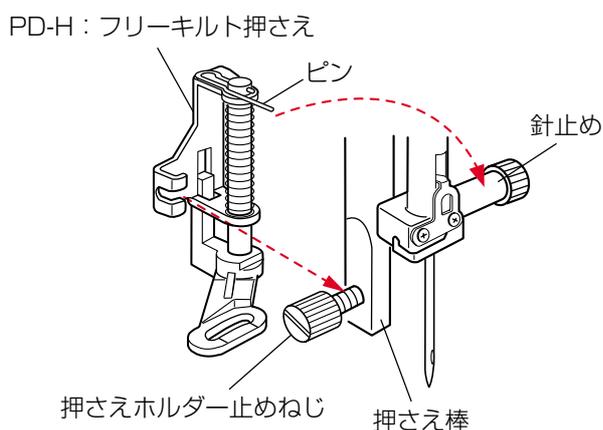
送りジョーズの取り付けみぞに、定規棒を上から押し込んで取り付け、左右方向の位置をぬいたい間かくに合わせて調節します。

ぬうときは、定規棒のガイド部分に隣のぬい目を合わせながらぬいます。

●しつけぬい

① 模様	CP 08	
② 押さえ	PD-H：フリーキルト押さえ	
③ 押さえ圧調節ダイヤル ...	「5」	

※ 送り歯をさげます。(13 ページ参照)



しつけぬいの模様は、ミシンをスタートさせても布は送られずに、1 針ぬって停止します。(フットコントローラーの場合も、踏み続けていても1 針ぬって停止します。)

ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。

お好みの間かくを、1 針ずつ手で布を移動させてぬうことができます。

【PD-H：フリーキルト押さえの取り付け方】

① 押さえホルダーを外します。

※ 押さえホルダーの外し方は、「◎操作方法／●押さえホルダーの外し方、付け方」(16 ページ) をごらんください。

② 針と押さえ上げがあがっている状態で、フリーキルト押さえのピンを針止めの上にのせ、押さえホルダー止めねじをドライバーでしっかりしめて取り付けます。

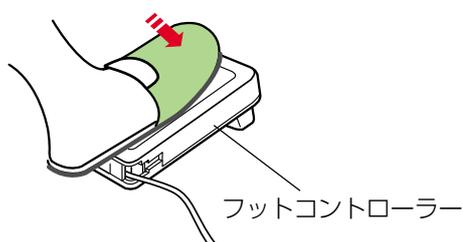
【ぬい方】

押さえ上げをさげ、布を前後にピンと張ってぬいます。1 針ぬってミシンが停止したら、ぬい目をつまんで布を向こう側に必要な長さだけ引き出し、繰り返しぬいます。

フットコントローラーの利用

しつけぬいは、フットコントローラーを使用すると両手が使えて便利です。

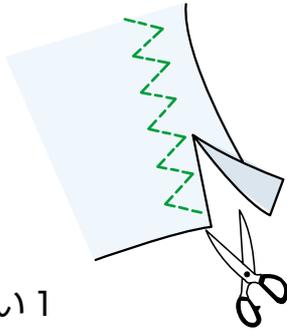
※ フットコントローラーは、モデルによりオプションになります。(図は、標準タイプの場合です。)



●かがりぬい

★トリコットぬいたち目かがり

① 模様		
② 押さえ	A：基本押さえ	
③ 押さえ圧調節ダイヤル ...	「5」	

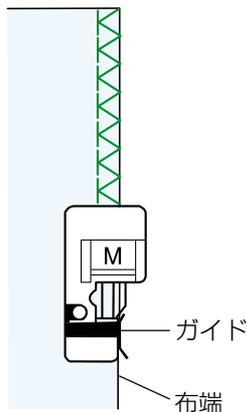


ほつれやすい布や伸縮性のある布のほつれ止め、布端の反り防止などに使います。

ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

★かがりぬい 1

① 模様		
② 押さえ	M：縁かがり押さえ	
③ 押さえ圧調節ダイヤル ...	「5」	

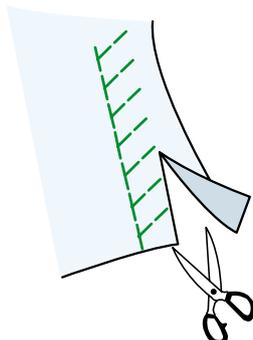
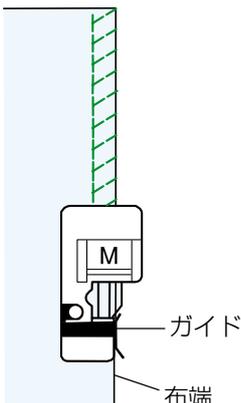


普通地、平織り2枚に適しています。
地ぬいをかねたかがりぬいで、たち目のほつれ止めに使います。

布端を押さえのガイドにあててぬいます。

★ニットステッチ

① 模様				
② 押さえ	M：縁かがり押さえ			A：基本押さえ
③ 押さえ圧調節ダイヤル ...	「4」			



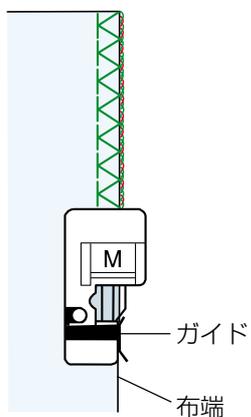
伸縮性布地（ニット地など）のかがりぬいに使います。

縁かがり押さえを使用する場合は、布端を押さえのガイドにあててぬいます。

基本押さえを使用する場合は、ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

★かがりぬい2

① 模様		
② 押さえ	M : 縁かがり押さえ	
③ 押さえ圧調節ダイヤル ...	「5」	



オーバーロックのぬい目に似ていて、布端がほつれやすい布地のかがりぬいに使います。

布端を押さえのガイドにあててぬいます。

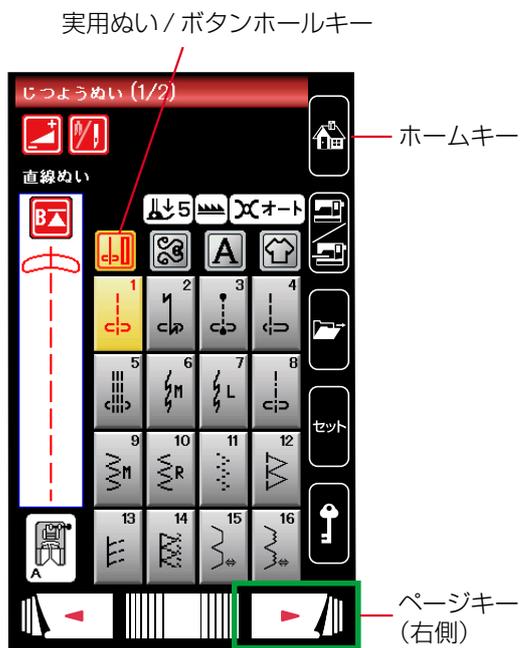
●その他の実用ぬい

模様   (まつりぬい) および模様  (シェルタック) など、その他の実用ぬいのぬい方は、「◎用途選択」(80ページ) をごらんください。

◎ボタンホール

●ボタンホールの画面

〔実用ぬいの模様選択画面〕（1/2ページ）



実用ぬい/ボタンホールキーまたはホームキーを押すと実用ぬいグループの模様選択画面になり、実用ぬいの初期画面からページキー（右側）を2回押すと、ボタンホールグループの模様選択画面になります。

ボタンホールグループは、6種類のボタンホールと3種類の特殊模様の計9個の模様があります。

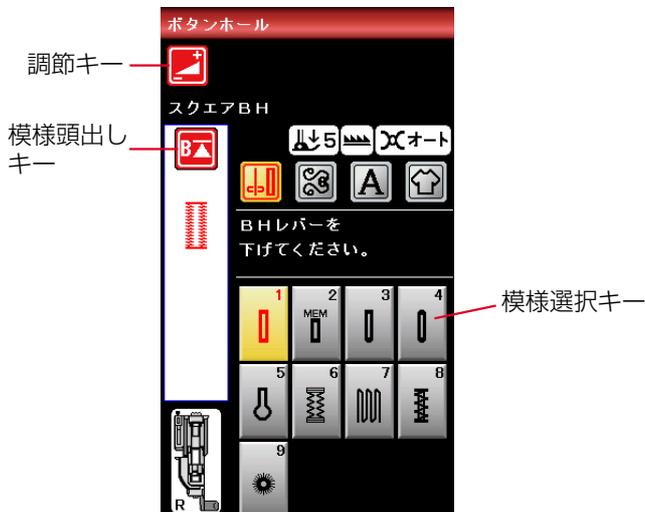
ボタンホールグループの画面は、模様選択キー・調節キー・模様頭出しキーなどのキーと、選ばれている模様のぬい情報や設定状態が表示されています。

※ ぬい情報や設定状態の表示は、「◎操作方法／●画面（タッチパネル）」（11ページ）をごらんください。

※ 調節キーを押すと、調節画面になります。
調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい／●実用ぬいの調節画面」（28ページ）をごらんください。
特殊な使い方については、このあとのそれぞれの模様の項の説明をごらんください。

※ 模様頭出しキーの使い方は、「◎飾りぬい／●模様組み合わせモード／★模様頭出しキーの使い方」（66ページ）をごらんください。

〔ボタンホールの模様選択画面〕



●ボタンホールの種類と用途

 01	スクエアボタンホール 普通の布から厚い布まで一般的な使用目的のボタンホールです。
MEM  02	メモリーボタンホール（スクエアボタンホール） 自分でボタンホールの長さを決めてぬうボタンホールです。 2.5cm以上の長いボタンホールをぬうことができます。
 03	片ラウンドボタンホール 薄い布から普通の布に使います。ブラウス、子供服でよく使われます。
 04	両ラウンドボタンホール 薄い布に使います。薄手のブラウスでよく使われます。
 05	キーホールボタンホール 普通の布から厚い布に使われる一般的なボタンホールです。 大きく厚めのボタンはキーホールボタンホールがよく使われます。
 06	ニットボタンホール 伸縮性のある布に適したボタンホールです。 そのぬい目の形から飾りボタンホールとしても使われます。

模様  (メモリーボタンホール) を除くボタンホールは、R：ボタンホール押さえにボタンをセットするだけで自動的に最適な長さのボタンホールをぬうことができます。(ボタンホールの長さは、使用するボタンをボタンホール押さえのボタン受け台にはさみ込むと自動的に決まります。)

※ ボタンの直径が 1.0～2.5cm までのボタンホールができます。

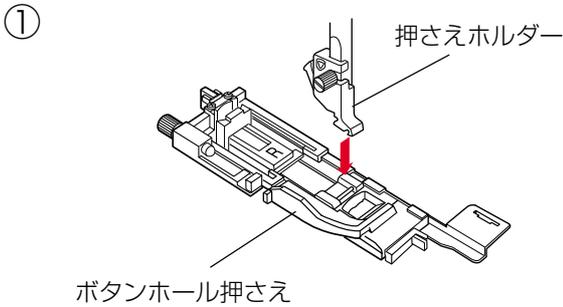
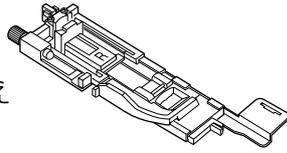
※ ボタンホールは、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)

ボタンホールの注意事項

- 伸縮性のある布は、伸びないように裏に芯地を貼ってください。
- 厚物の段部や安定して布送りできない布などをぬうときは、ボタンホール安定板を使用してください。
- 使用する布のはぎれなどで試しぬいをして、正しくぬえることを確認してください。
- ボタンホールをぬう場所に、必ずマーク（しるし）を付けてください。

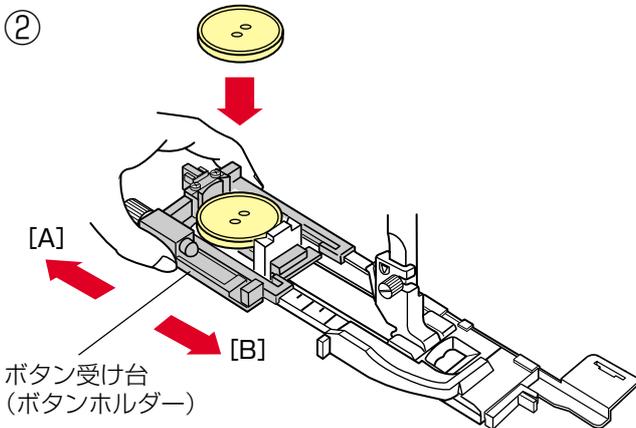
●スクエアボタンホール

- ① 模様  01
- ② 押さえ R : ボタンホール押さえ
- ③ 押さえ圧調節ダイヤル ... 「5」

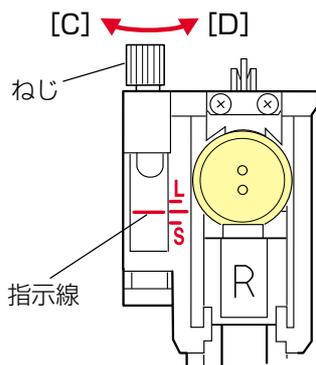


① ミシンにボタンホール押さえを取り付けます。

※ 押さえの取り付け方は、「◎操作方法／●押さえの外し方、付け方」(15ページ)をごらんください。



② ボタンホール押さえのボタン受け台(ボタンホルダー)を[A]方向へ引き、ボタンをのせて[B]方向にもどしてはさみ込みます。

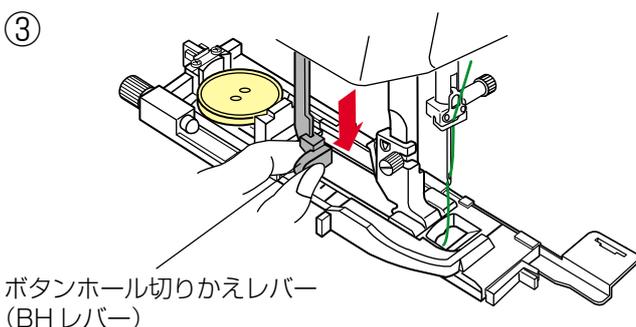


ボタンホール長さの微調節方法

ボタンホールを少し長めにぬいたいときは、ねじを[C]方向にまわして指示線を「L」側にします。

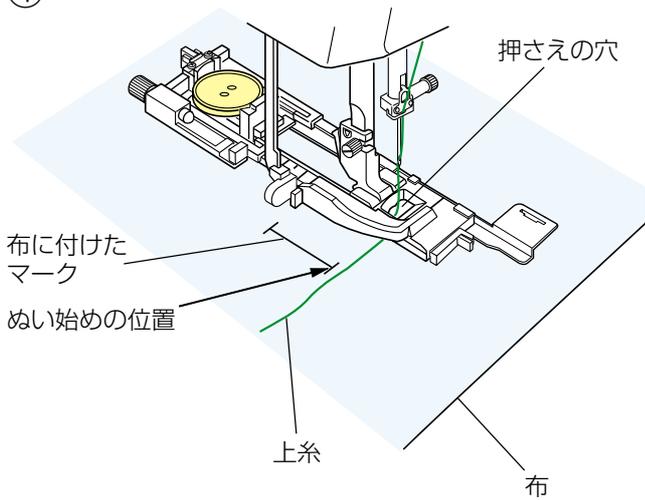
ボタンホールを少し短かめにぬいたいときは、ねじを[D]方向にまわして指示線を「S」側にします。

※ ぬい終わったあとはねじをもとの位置(指示線を目盛りの中央の位置)にもどしてください。



③ ボタンホール切りかえレバー(BHレバー)を止まるまでいっぱい引きさげます。

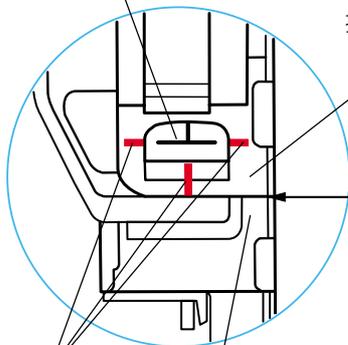
④



④ 押さえ上げをあげて上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出します。
上糸を横に引き出した状態で布を入れ、布に付けたマークのぬい始めの位置に針をさし、押さえ上げをさげます。

※ 押さえ上げをさげるとき、押さえ前部のストッパーを向こう側に軽く押しつけた状態でさげ、ストッパーと押さえスライダーにすきまがあかないように注意してください。(下記「ぬい始める前の確認」欄参照)

布に付けたマーク

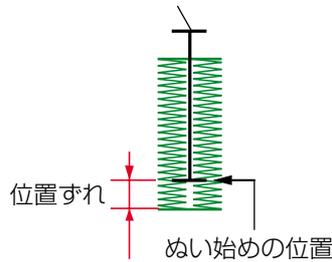


押さえスライダー
すきまがないこと

スタートマーク
ストッパー

※ スタートマークは、ぬい位置を合わせるための目安のマークです。

布に付けたマーク



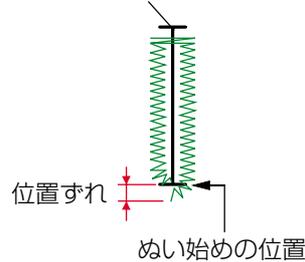
ぬい始める前の確認

ぬい始める前に押さえスライダーとストッパーのあいだにすきまがないことを確認してください。

すきまがあると、ぬい終わったときにぬい位置がずれる場合があります。

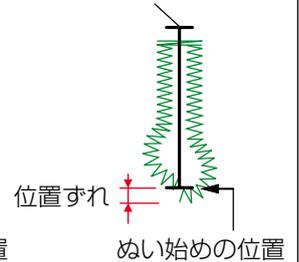
〔片ラウンドボタンホールの場合〕

布に付けたマーク

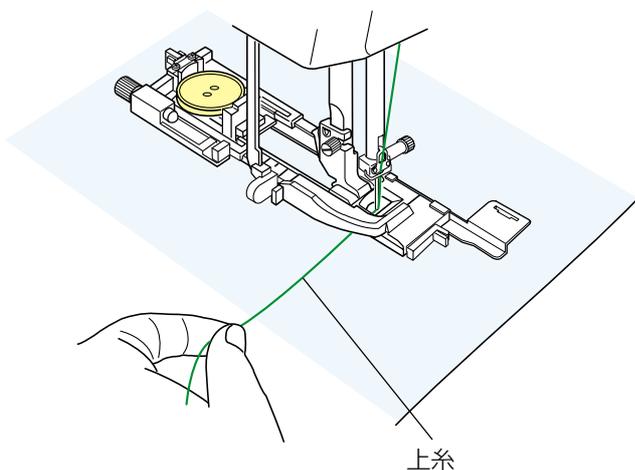


〔キーホールボタンホールの場合〕

布に付けたマーク

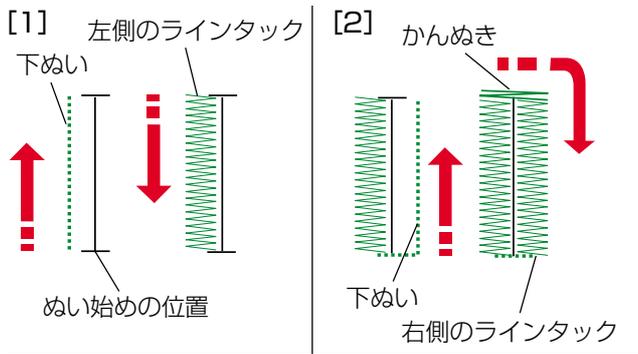


⑤



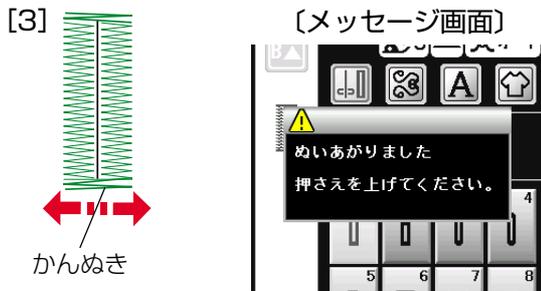
⑤ 上糸を横に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせます。(ぬい始めから数針ぬったあとは、糸から手をはなしてください。)

ボタンホールをぬい終わったところでほつれ止めの止めぬいを行って、自動的にミシンが停止します。



【ぬい順序】

- [1] 下ぬいをし、左側のラインタックをぬいます。
- [2] 下ぬいをし、かんぬきと右側のラインタックをぬいます。
- [3] かんぬきと止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。
ぬい終わるとメッセージ画面が表示されます。



ボタンホールの重ねぬい

ボタンホールをぬい終わったところで押さえ上げをあげずにもう一度ミシンをスタートさせると、ボリューム感のあるボタンホールの「重ねぬい」ができます。

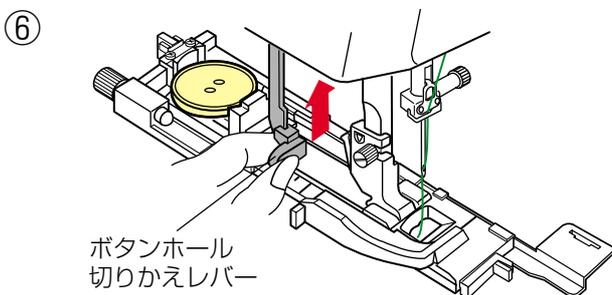
「重ねぬい」は、必ず押さえ上げをあげずにそのままの状態でもシンを再スタートさせてください。



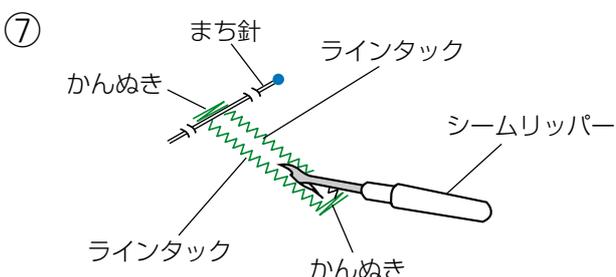
ボタンホール切りかえレバーをさげないでぬった場合

ボタンホール切りかえレバー (BHレバー) をさげないでミシンをスタートさせると、少しだけぬってミシンは停止します。このときメッセージ画面が表示されます。

ボタンホール切りかえレバーを引きさげて、ミシンを再スタートさせてください。

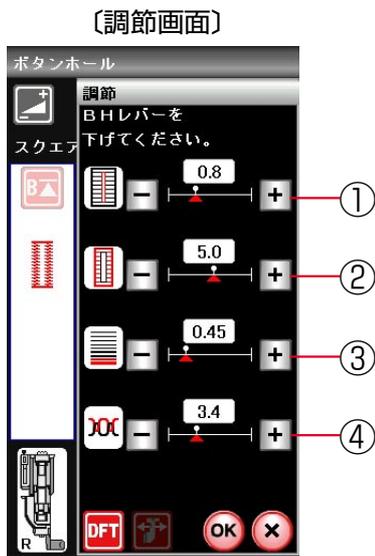


- ⑥ ぬい終わったら、ボタンホール切りかえレバーを止まるまでいっぱい押しあげてもどします。

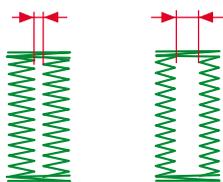


- ⑦ かんぬきの内側にまち針をわたして、シームリッパーで左右のラインタックの糸を切らないようにボタン穴を切り開きます。

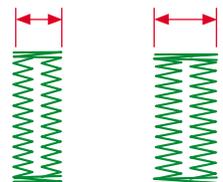
★ボタンホールの調節画面



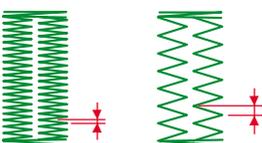
① 《ボタン穴の幅の調節》



② 《ぬい目の幅の調節》



③ 《ぬい目のあらかさの調節》



模様選択画面の調節キーを押すと調節画面が表示されます。

① ボタン穴の幅調節キー

ボタン穴の幅（ボタンホールの中幅）をかえることができます。

② ぬい目の幅調節キー

ボタンホール全体の幅をかえることができます。

③ ぬい目のあらかさ調節キー

ぬい目のあらかさをかえることができます。

④ 糸調子調節キー

上糸と下糸の糸調子のバランスをかえることができます。

※ 調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい／●実用ぬいの調節画面」（28 ページ）をごらんください。

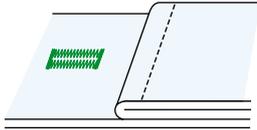
●メモリーボタンホール（スクエアボタンホール）

- ① 模様 
- ② 押さえ R：ボタンホール押さえ
- ③ 押さえ圧調節ダイヤル ... 「5」



F：サテン押さえ

〔段部の近くの場合〕



メモリーボタンホールは、ボタンホールの長さを自分で決めてぬうボタンホールです。

※ ボタンホール切りかえレバーは、さげないでぬいます。

※ 2.5cm以上の長いボタンホールをぬう場合や、厚い布の段部の近くをぬうときなどR：ボタンホール押さえを使用できない場合は、F：サテン押さえを使用してください。

※ 幅とあらさのかえ方は、「●スクエアボタンホール／★ボタンホールの調節画面」（49ページ）をごらんください。

① ②

〔ぬい始める前の画面のメッセージ〕

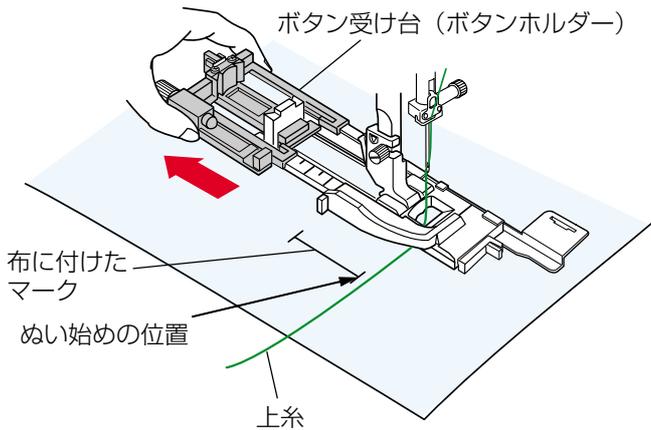


【ぬい方（R：ボタンホール押さえの例）】

① ボタン受け台（ボタンホルダー）を向こう側にいっぱい引き出します。

② ミシンにボタンホール押さえを取り付けます。
上糸を横に引き出した状態で布を入れ、布に付けたマークのぬい始めの位置に針をさし、押さえ上げをさげます。

※ ぬい始める前の上糸と布のセット方法はスクエアボタンホールと同じです。「●スクエアボタンホール」の手順①④⑤（46～47ページ）をごらんください。
（ボタンホール切りかえレバーはさげないでください。）



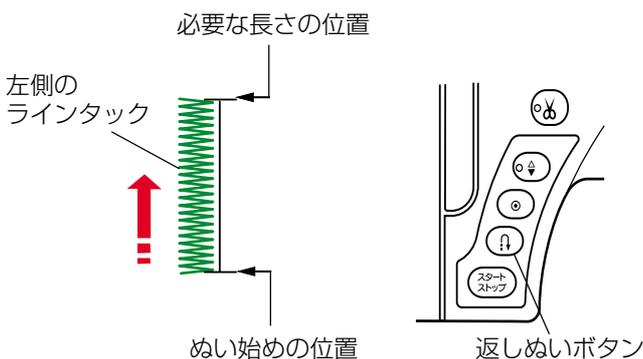
③

〔ぬい中の画面のメッセージ〕

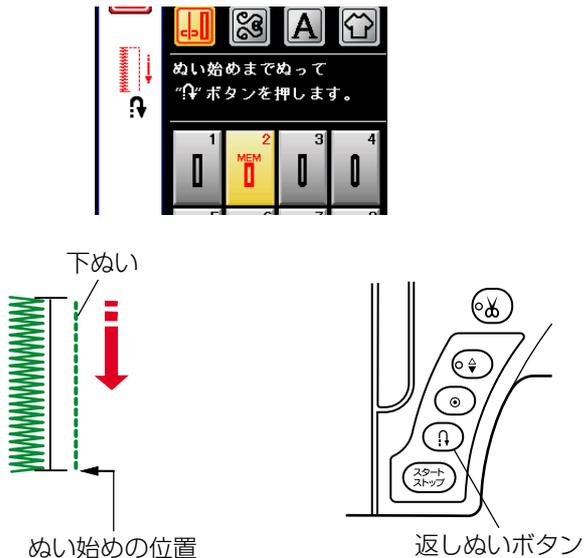


③ 上糸を横に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせます。（ぬい始めから数針ぬったあとは、糸から手をはなしてください。）

左側のラインタックを必要な長さまでぬったらミシンを停止し、返しぬいボタンを押します。

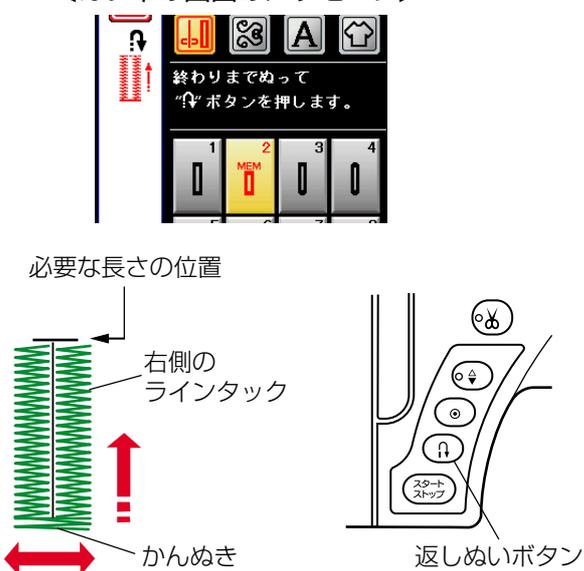


④ 【ぬい中の画面のメッセージ】



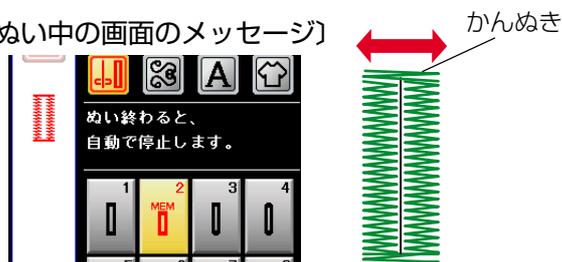
- ④ ミシンをスタートさせると、下ぬいを行います。ぬい始めの位置にもどったらミシンを停止し、返しぬいボタンを押します。

⑤ 【ぬい中の画面のメッセージ】



- ⑤ ミシンをスタートさせると、かんぬきと右側のラインタックをぬいます。必要な長さの位置にもどったらミシンを停止し、返しぬいボタンを押します。

⑥ 【ぬい中の画面のメッセージ】



- ⑥ ミシンをスタートさせると、かんぬきと止めぬいを行い、ミシンが自動的に停止します。

⑦ 【ぬい完了後のメッセージ画面】

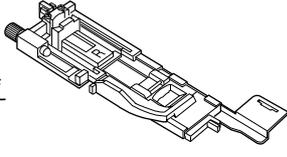


閉じるキー

- ⑦ ぬい終わるとメッセージ画面が表示されます。ミシンは、手順③～⑥でぬったボタンホールの長さを記憶しています。

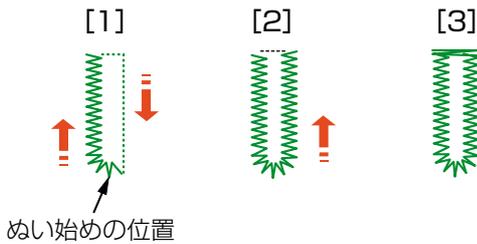
- 別の場所に同じ長さのボタンホールをぬう場合は、この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンをスタートさせます。返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのボタンホールを自動的にぬってミシンは停止します。
- 同じ長さのボタンホールをぬう必要がない場合は、閉じるキーを押してメッセージ画面を消すと、記憶しているボタンホールサイズは取り消されます。

●ラウンドボタンホール

① 模様			
② 押さえ	R : ボタンホール押さえ		
③ 押さえ圧調節ダイヤル ... 「5」			

【ぬい順序】(模様 の例)

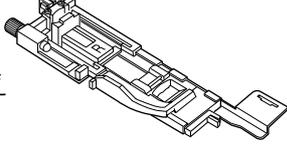
※ 模様  も同じ順序です。



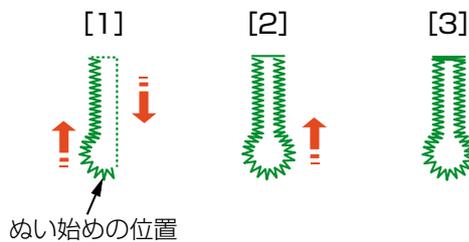
※ ぬい方は、「●スクエアボタンホール」と同じです。
46～48ページをごらんください。

※ 幅とあらさのかえ方は、「●スクエアボタンホール／★ボタンホールの調節画面」(49ページ)をごらんください。

●キーホールボタンホール

① 模様			
② 押さえ	R : ボタンホール押さえ		
③ 押さえ圧調節ダイヤル ... 「5」			

【ぬい順序】



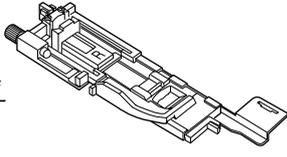
※ ぬい方は、「●スクエアボタンホール」と同じです。
46～48ページをごらんください。

※ 幅とあらさのかえ方は、「●スクエアボタンホール／★ボタンホールの調節画面」(49ページ)をごらんください。

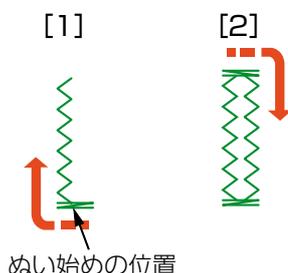
※ キーホールボタンホールの穴は、パンチ(市販品)で丸穴を開けてからシームリッパーで切り開いてください。



●ニットボタンホール

① 模様			
② 押さえ	R : ボタンホール押さえ		
③ 押さえ圧調節ダイヤル ... 「5」			

【ぬい順序】



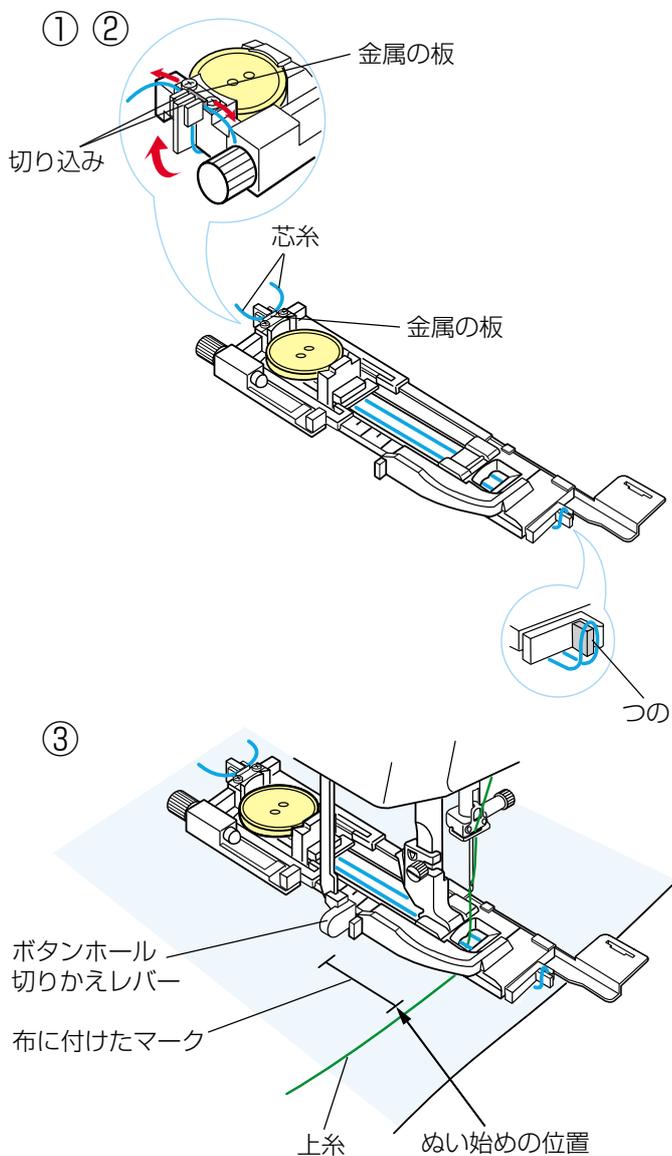
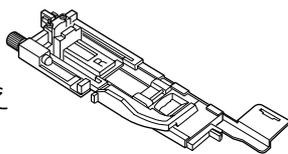
※ ぬい方は、「●スクエアボタンホール」と同じです。
46～48ページをごらんください。

※ 幅とあらさのかえ方は、「●スクエアボタンホール／★ボタンホールの調節画面」(49ページ)をごらんください。

※ 左右のぬい目のあらさがそろわないときは、「◎操作方法／●送り調節ねじ(模様の形の調節)」(14ページ)をごらんください。

●芯入りボタンホール

- ① 模様 06
 ② 押さえ R：ボタンホール押さえ
 ③ 押さえ圧調節ダイヤル ... 「5」



※ ぬい方は、「●スクエアボタンホール」と同じです。
46～48ページをごらんください。

※ 使用する芯糸の太さに合わせてぬい目の幅（ボタンホールの全体の幅）およびボタン穴の幅（ボタンホールの中幅）を調節してください。

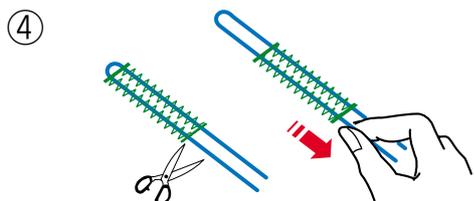
① ボタンホール押さえのボタン受け台にボタンをはさみ込んでから、芯糸の一方の端をボタンホール押さえ後部の左側の切り込みに入れ、横に引いて金属の板のあいだにはさみ込んで固定します。

芯糸は、押さえの下から前に引き、輪にして押さえ前部のつのにかけます。

② つのにかけた芯糸を、押さえの下を通して押さえ後部の右側の切り込みに入れ、横に引いて金属の板のあいだにはさみ込んで固定します。

※ 芯糸は、たるみのないように強く張ってください。

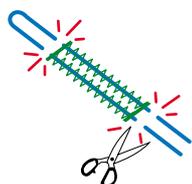
③ スクエアボタンホールの手順①～⑦(46～48ページ)と同じようにぬいます。



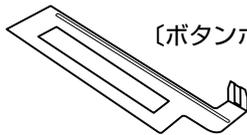
④ ぬい終わったら芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。

左右どちらの芯糸も引けない場合は、芯糸の両側を切ります。

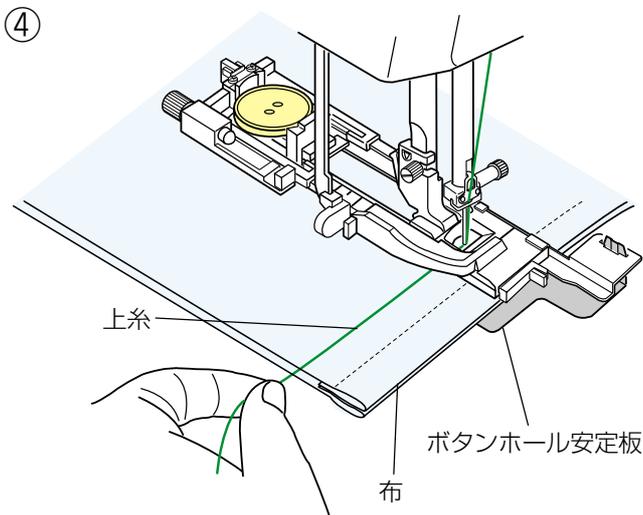
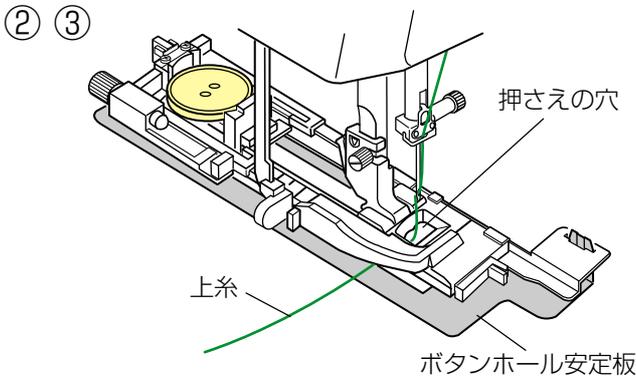
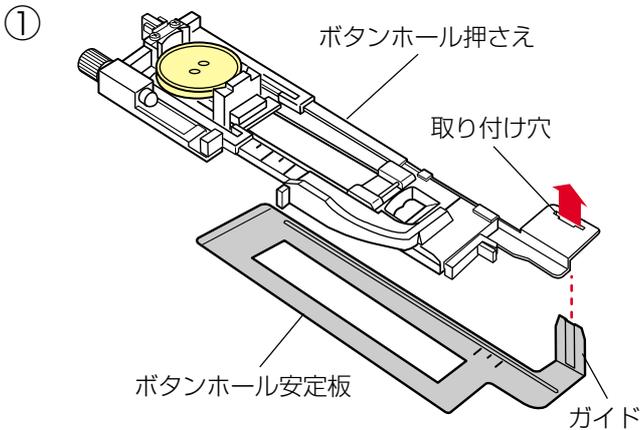
芯糸が引けない場合



● ボタンホール安定板の使い方



〔ボタンホール安定板〕



厚物の段部や安定して布送りできない布などをぬうときにボタンホール安定板を使用すると、布送りをスムーズにしてぬうことができます。

【使い方】

① ボタンホール押さえの取り付け穴に、ボタンホール安定板のガイド部分を差し込みます。

② ボタンホール安定板を組み付けたボタンホール押さえをミシンに取り付けます。

③ 押さえ上げをあげ、上糸を押さえの穴から下に通し、ボタンホール押さえとボタンホール安定板のあいだから横に引き出します。

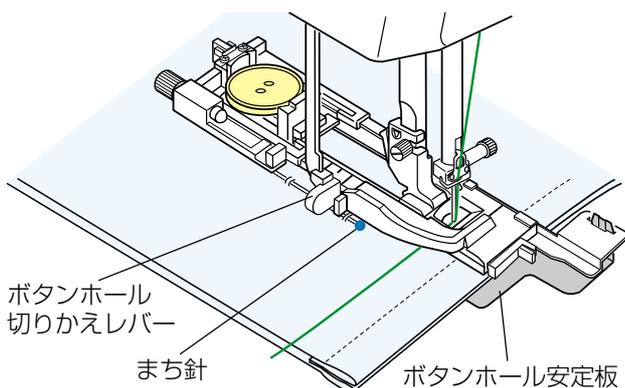
④ 上糸を横に引き出した状態でボタンホール押さえとボタンホール安定板のあいだに布を入れます。

※ ぬい方は、「★スクエアボタンホール」と同じです。
46～48ページをごらんください。

布がボタンホール切りかえレバーに触れて、うまくぬえない場合

弾力性のある厚い布（フリースなど）をぬう場合、布を送るときに浮きあがった布がボタンホール切りかえレバーに触れて誤操作を起こし、正しい形にぬえないことがあります。

このような場合は、布を送るときに布が浮きあがらないようにまち針で固定し、ボタンホール安定板を使用してぬってください。

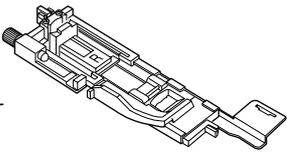
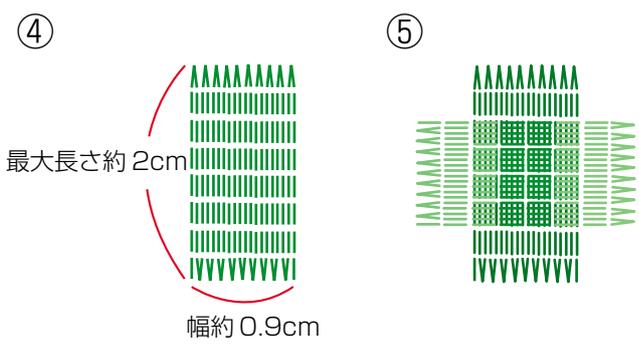
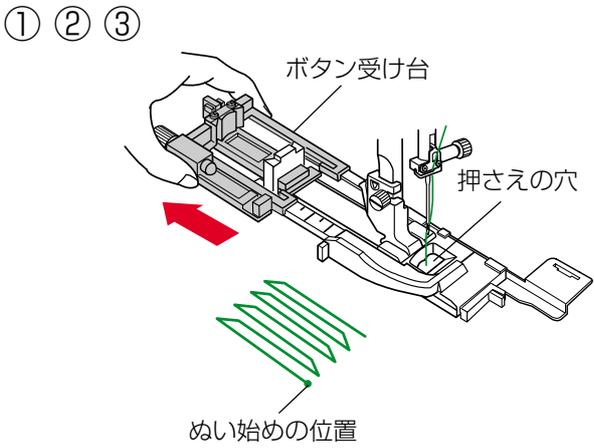


●つくろいぬい (ダーニング)

① 模様  07

② 押さえ R : ボタンホール押さえ

③ 押さえ圧調節ダイヤル ... 「5」

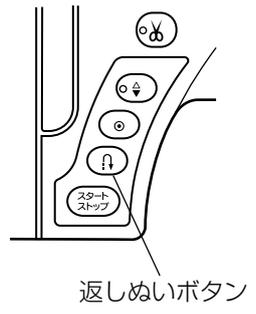
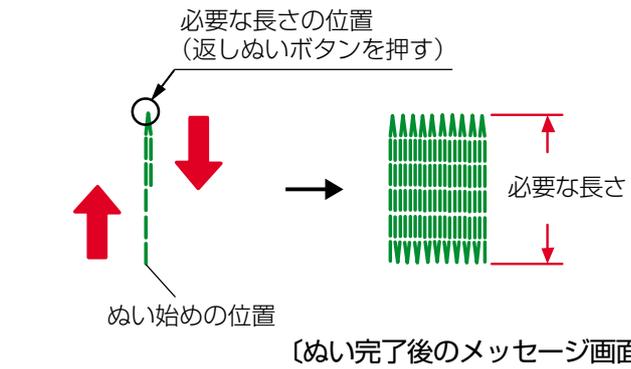



※ 模様  は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)

- ① ボタン受け台をいっぱい引き出します。
- ② 上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出します。
- ③ ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上げをさげます。
- ④ ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。

※ 自動的に停止するまでぬうと、最大約2cmの長さをぬうことができます。(幅は約0.9cm)
2cmより短い長さでぬう場合は、下記【2cmより短い長さでぬう場合】をごらんください。

- ⑤ 布の向きをかえてぬいます。



【2cmより短い長さでぬう場合】

最初に必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押します。押した位置から折り返しますので、自動的にミシンが停止するまでぬいます。

ぬい終わると、メッセージ画面が表示されます。ミシンはぬった長さを記憶しています。

- 別の場所に同じ長さのものをぬう場合は、この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンをスタートさせます。返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのものを自動的にぬってミシンは停止します。
- 同じ長さのものをぬう必要がない場合は、閉じるキーを押してメッセージ画面を消すと、記憶している長さは取り消されます。

【形の整え方】

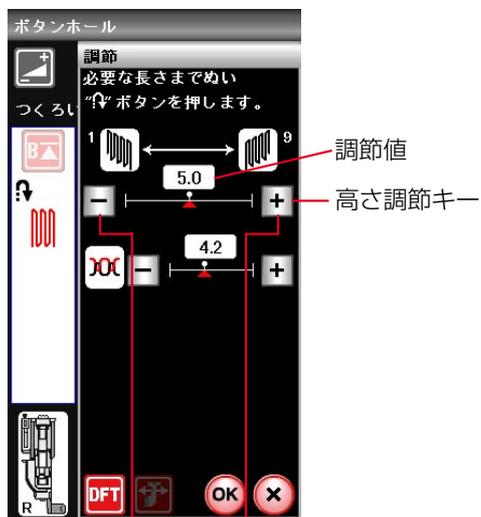
つくろいぬい（ダーニング）のぬい始め（左側）とぬい終わり（右側）の高さがそろわないときは、調節キーを押して調節画面を表示させ、高さ調節キーで調節します。

「1.0」～「9.0」の範囲で調節できます。（「5.0」はオート値）

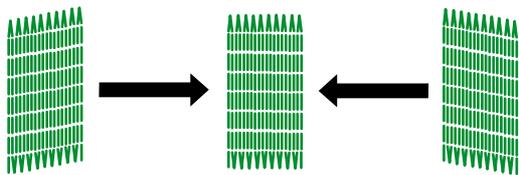
- ・ 左側が低い場合は、「-」を押します。…「1.0」～「4.0」
- ・ 右側が低い場合は、「+」を押します。…「6.0」～「9.0」



〔調節画面〕

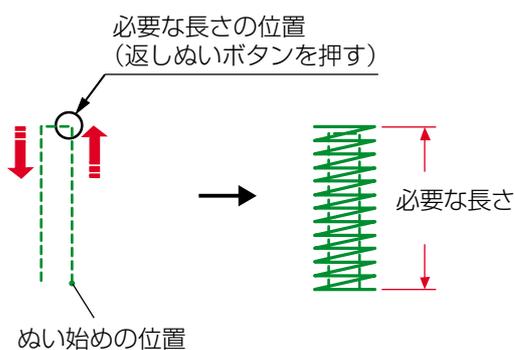
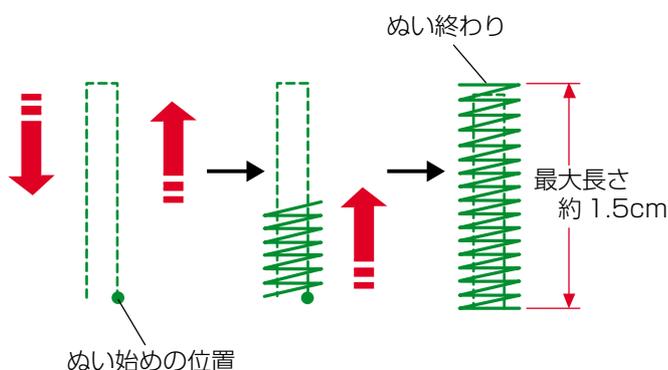
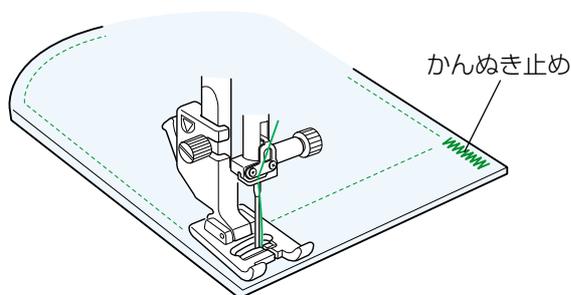


（「1.0」～「4.0」） ← 「左側が低い場合」
 「正しい形」
 「右側が低い場合」 → （「6.0」～「9.0」）

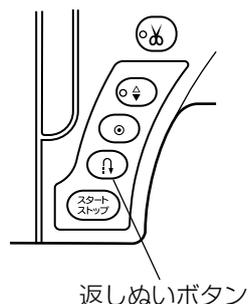


●かんぬき止め

① 模様		
② 押さえ	F: サテン押さえ	
③ 押さえ圧調節ダイヤル ...	「5」	



〔ぬい完了後のメッセージ画面〕



閉じるキー

ポケットぐちなど、ぬい目に力がかかってほつれやすい部分などを補強します。

※ 模様  は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)

① ぬい始めの上糸を押さえの下から横に引き出しておきます。

② ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上げを下げます。

③ ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。

※ 自動的に停止するまでぬうと、最大約1.5cmの長さのかんぬき止めをぬうことができます。1.5cmより短い長さでぬう場合は、下記【1.5cmより短い長さでぬう場合】をごらんください。

※ ぬい目の幅やあさは、調節画面のぬい目の幅調節キーとぬい目のあさ調節キーでかえることができます。(ぬい目のあさをかえると、自動でぬえる最大長さ「1.5cm」もかわります。)

【1.5cmより短い長さでぬう場合】

最初に必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押します。押した位置から折り返しますので、自動的にミシンが停止するまでぬいます。

ぬい終わると、メッセージ画面が表示されます。ミシンはぬった長さを記憶しています。

- 別の場所に同じ長さのものをぬう場合は、この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンをスタートさせます。

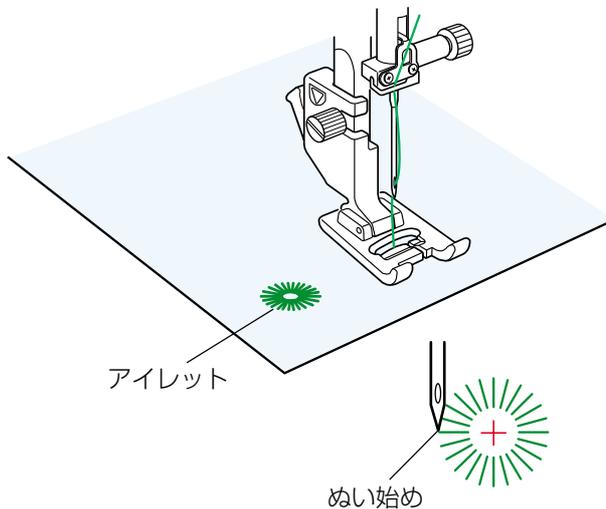
返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのものを自動的にぬってミシンは停止します。

- 同じ長さのものをぬう必要がない場合は、閉じるキーを押してメッセージ画面を消すと、記憶している長さは取り消されます。

※ かんぬき止めの長さが0.7cm、1cm、1.2cmの固定値の場合は、用途選択の模様から選ぶと、返しぬいボタンを押さなくても自動的にぬうことができます。「◎用途選択／●かんぬき止め」(96ページ)をごらんください。

●アイレット

① 模様	09	
② 押さえ	F: サテン押さえ	
③ 押さえ圧調節ダイヤル ...	「5」	

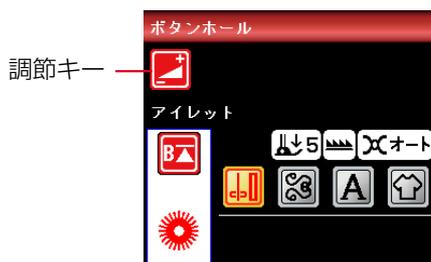


※ 模様  は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)

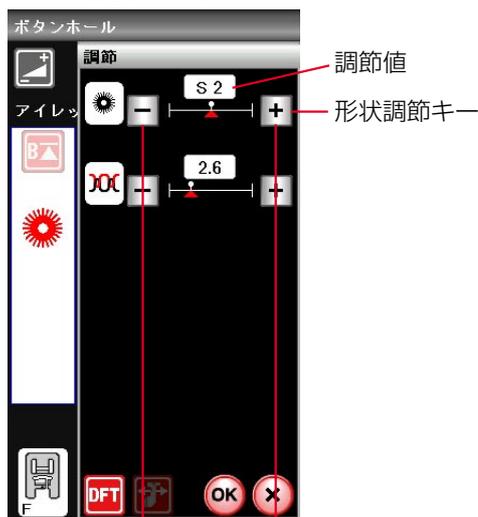
- ① ぬい始めの上糸を押さえの下から横に引き出しておきます。
- ② ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上げをさげます。
- ③ ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいませ。

※ ぬい目の内側は、パンチ(市販品)などで穴を開けます。パンチの穴の大きさは、直径0.25cm以下のものをご使用ください。

〔模様選択画面〕



〔調節画面〕



(「S1」) ← (「S3」)

〈すきまがある場合〉 〈正しい形〉 〈重なる場合〉



【形の整え方】

布によってアイレットの形がくずれる場合は、調節キーを押して調節画面を表示させ、形状調節キーで調節します。

「S1」と「S3」で調節できます。(「S2」はオート値)

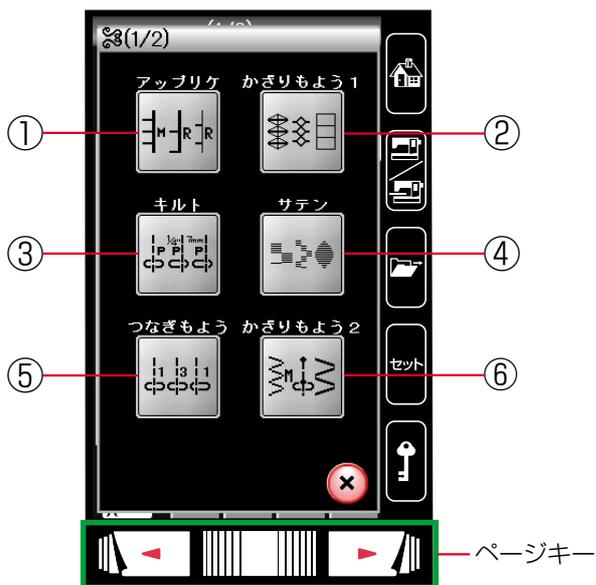
- ・ ぬい目にすきまがある場合は、「-」を押して「S1」にします。
- ・ ぬい目が重なる場合は、「+」を押して「S3」にします。

◎飾りぬい

●飾りぬいの画面



〔模様グループ選択画面〕 (1/2 ページ)



飾りぬいキーを押すと、飾りぬいの模様グループを選ぶ選択画面になります。

飾りぬいの模様グループは、9個のグループがあり、2つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

① アップリケグループ

「アップリケ」キーを押すと、アップリケなどに使用する模様グループの模様選択画面になります。アップリケグループは、12個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

アップリケのぬい方は、「◎用途選択／●アップリケ」(96 ページ) をごらんください。

② 飾り模様 1 グループ

「かざりもよう 1」キーを押すと、伝統的な飾り模様グループの模様選択画面になります。

飾り模様 1 グループは、23個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があり、2つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できません。

③ キルトグループ

「キルト」キーを押すと、キルトなどに使用する模様グループの模様選択画面になります。

キルトグループは、46個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があり、4つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

キルトのぬい方は、「◎用途選択／●パッチワーク、●キルティング」(98、100 ページ) をごらんください。

④ サテングループ

「サテン」キーを押すと、サテン（ぬい目を密着させた模様）グループの模様選択画面になります。サテングループは、12個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

サテングループの模様は他の飾りぬいの模様グループと異なり、ぬい目のあらさをかえずに模様の長さを2～5倍にかえることができる模様長さ調節機能があります。

模様長さ調節機能の使い方は、72ページをごらんください。

⑤ つなぎ模様グループ

「つなぎもよう」キーを押すと、模様と模様の間かくをあけるためのつなぎ模様グループの模様選択画面になります。

つなぎ模様グループは、7個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

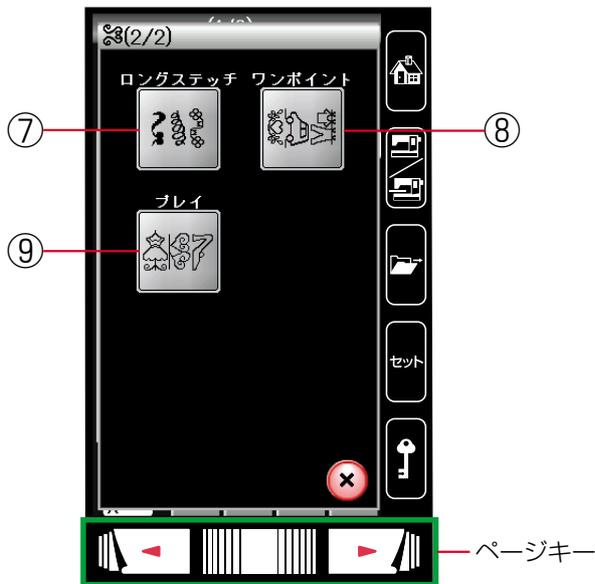
つなぎ模様の使い方は、73ページをごらんください。

⑥ 飾り模様 2 グループ

「かざりもよう 2」キーを押すと、装飾的な飾り模様グループの模様選択画面になります。

飾り模様 2 グループは、53個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があり、4つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できません。

〔模様グループ選択画面〕 (2/2 ページ)



⑦ ロングステッチグループ

「ロングステッチ」キーを押すと、1つの模様の長さが長い飾り模様グループの模様選択画面になります。ロングステッチグループは、7個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

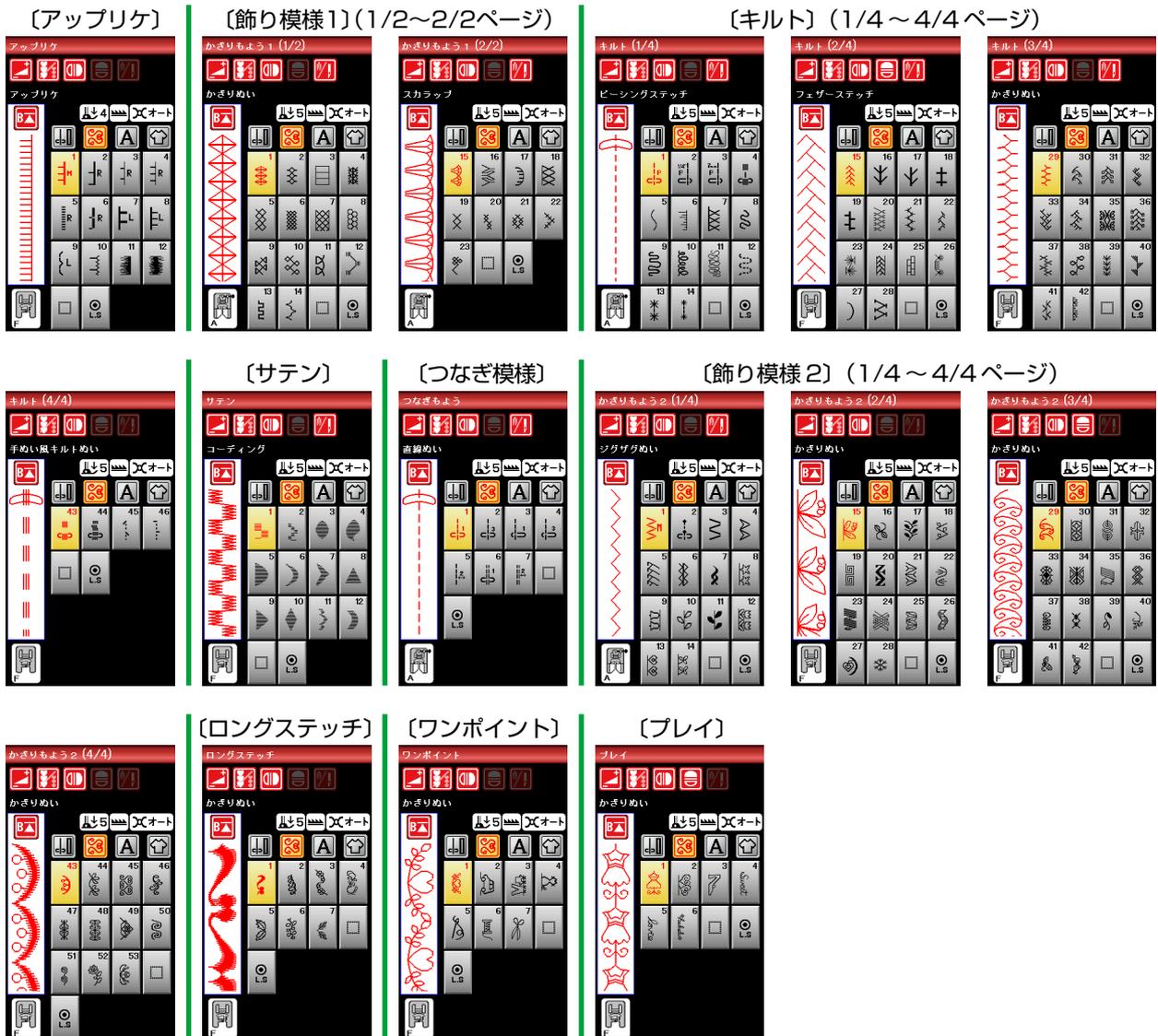
⑧ ワンポイントグループ

「ワンポイント」キーを押すと、具象的な飾り模様（形がはっきりした模様）グループの模様選択画面になります。ワンポイントグループは、7個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

⑨ プレイグループ

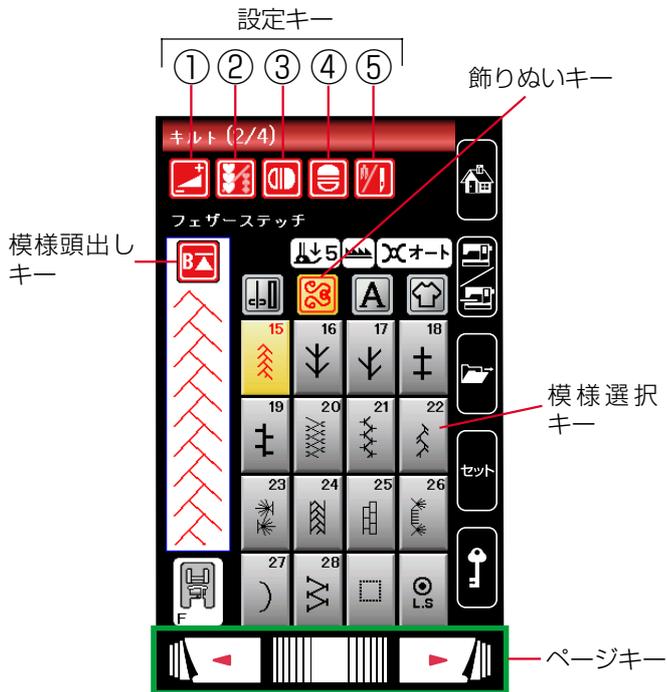
「プレイ」キーを押すと、遊び心が入った飾り模様グループの模様選択画面になります。プレイグループは、6個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

飾りぬいの模様選択画面



★模様選択画面

〔模様選択画面〕
キルトグループ 2/4 ページの例



模様グループ選択キーを押すと、その模様グループの模様選択画面になります。

模様選択画面が2つ以上のページ（画面）に分かれている場合は、ページキーで選択できます。

模様選択画面は実用ぬい模様の画面と同様、模様選択キー・設定キー・模様頭出しキーなどのキーと、選ばれている模様のぬい情報や設定状態が表示されています。

※ ぬい情報や設定状態の表示は、「◎操作方法／●画面（タッチパネル）」（11 ページ）をごらんください。

【設定キー】

その模様設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変更します。

※ 選ばれている模様や設定状態によっては、キーの色がグレーになっていて使用できないキーがあります。

① 調節キー

調節キーを押すと調節画面になります。

調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい／●実用ぬいの調節画面」（28 ページ）をごらんください。

② 模様組み合わせキー

模様を組み合わせる時に、キーを押して模様組み合わせモードに設定します。（62 ページ参照）

③ 左右反転キー

選んだ模様を左右反転した形でぬうことができます。（64 ページ参照）

④ 上下反転キー

選んだ模様を上下反転した形でぬうことができます。（64 ページ参照）

⑤ 2本針ぬい切りかえキー

付属の2本針を使用して2本針ぬいを行うときに、キーを押して2本針ぬいに設定します。

使い方は、「◎2本針ぬい」（104 ページ）をごらんください。

【模様頭出しキー】

模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬうときにその模様の最初からぬうことができます。

模様組み合わせモード設定中は、ぬいかけた模様の最初または組み合わせ模様の最初のどちらからでもぬうことができます。（66 ページ参照）

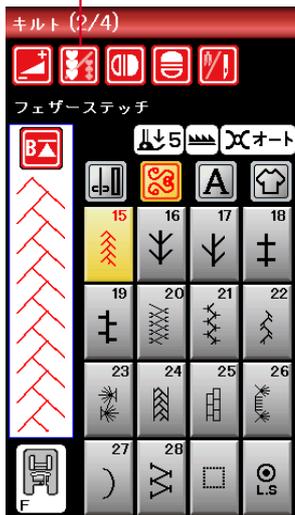
●模様組み合わせモード

【キルトグループ 2/4 ページの例】

〔模様選択画面／通常モード〕

模様組み合わせキーの状態：

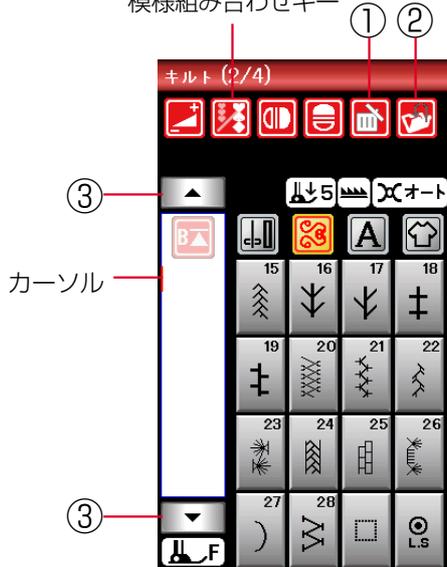
模様組み合わせキー



〔模様選択画面／模様組み合わせモード〕

模様組み合わせキーの状態：

模様組み合わせキー



設定キーの左から2番目の模様組み合わせキーを押すと、通常モードの模様選択画面から模様組み合わせモードの模様選択画面にかわります。

模様組み合わせモードに設定すると

■ 通常モードでは選んだ模様を1つだけ繰り返し連続してぬいますが、模様組み合わせモードではお好みの模様を組み合わせでぬうことができます。

- ・ 模様は、最大100個まで組み合わせることができます。(組み合わせる模様で異なります。)
- ・ 組み合わせができる模様は、飾りぬいの模様グループと文字ぬいの模様グループです。

※ 文字ぬいの模様グループは、「◎文字ぬい」(74ページ)をごらんください。

■ 編集機能を使うと、組み合わせた模様の内容を変更することができます。(68ページ参照)

■ 組み合わせた模様をミシンに保存したり、USBメモリに保存することができます。

【模様組み合わせモードの画面】

通常モードから模様組み合わせモードに切りかえると、2本針ぬい切りかえキーがなくなり、削除キー、保存キーおよび組み合わせた模様を確認したり選択するためのカーソル移動キーが画面上に追加されます。

※ 模様組み合わせモードは、2本針ぬいができません。

① 削除キー

カーソルの付いている模様を削除することができます。模様を組み合わせた状態でカーソルが最後の模様の外側にある場合は、最後の模様を削除することができます。(68ページ参照)

② 保存キー

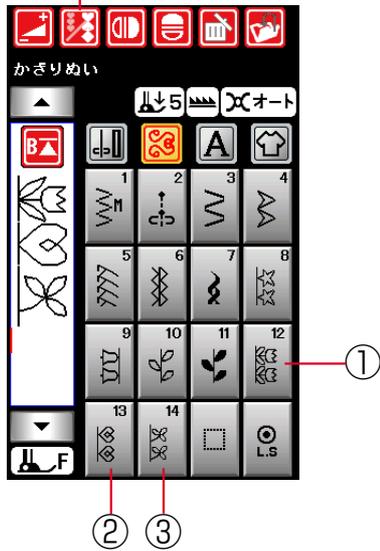
組み合わせた模様をミシンに保存したり、USBメモリに保存するときに使います。使い方は、「◎模様データの保存・呼び出し／●模様データの保存」(140ページ)をごらんください。

③ カーソル移動キー

カーソルを移動させて、組み合わせた模様の中から変更したい模様(場所)を選ぶことができます。(68ページ参照)

★模様組み合わせぬいの例

模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)



① 模様組み合わせモードの状態、飾り模様 2 グループの模様  を選びます。
12

② 模様  を選びます。
13

③ 模様  を選びます。
14



④ ミシンをスタートさせると、3つの模様を繰り返しぬいます。

ぬい終わりの模様の途中で止めぬいボタンを押すと、その模様を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

※ 止めぬいボタンの使い方は、「◎操作方法／●操作ボタン／【止めぬいボタン】」(8ページ)をごらんください。

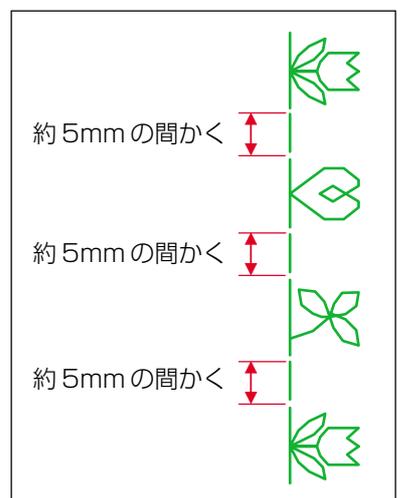
飾りぬい模様グループの模様 および模様 の使い方

■ 画面右下の模様選択キー  は、スペース模様です。

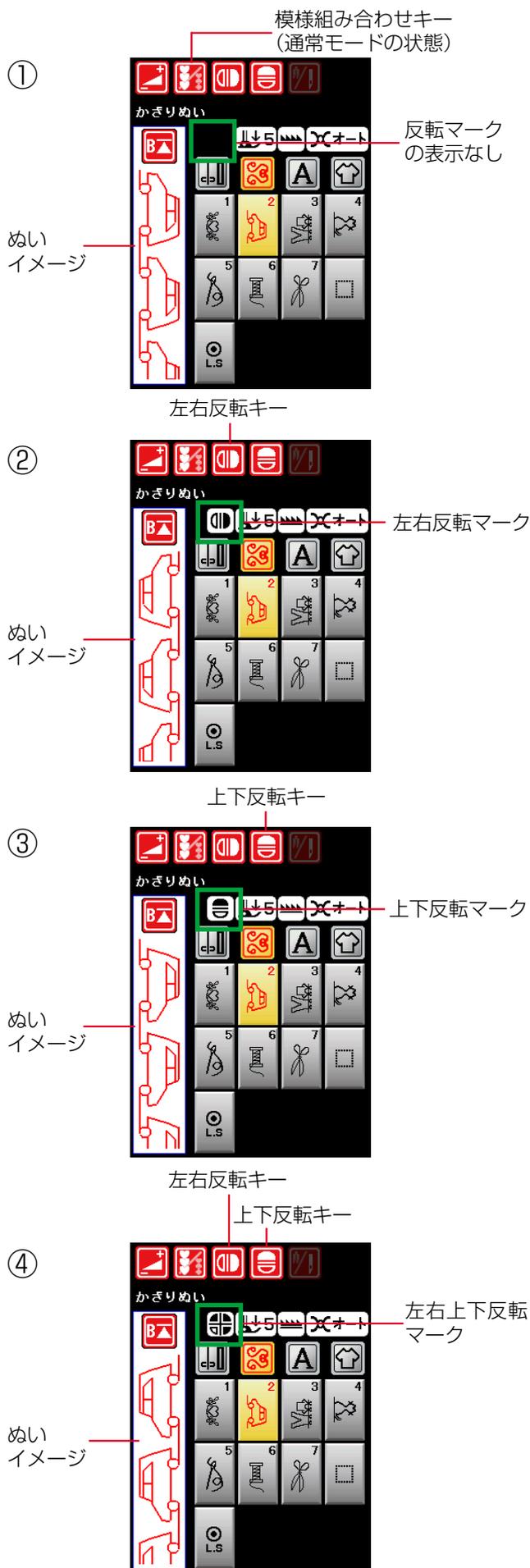
1 個につき約 5mm の間かくをあけることができます。
間かくの値は、調節画面のぬい目のあかさ調節キーで小さくできます。
右図は、各模様のあいだにスペース模様を 1 個組み合わせた例です。

■ 画面右下の模様選択キー  は、自動止めぬい模様です。

模様を 1 つだけまたは複数組み合わせた最後に自動止めぬい模様を組み合わせると、模様を 1 つだけまたは組み合わせた模様の数だけぬったあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。



★反転キーの使い方



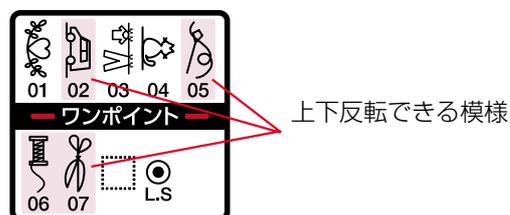
左右反転キーまたは上下反転キーを使うと、選んだ模様の形を左右または上下反転した形でぬうことができます。

左右反転と上下反転を組み合わせることができます。

通常モードおよび模様組み合わせモードどちらでも使用できます。

※ 上下反転できる模様は、ミシンの早見板に表示されている模様を四角に塗って表示しています。また、通常モードの場合は、上下反転できない模様が選ばれているとき、上下反転キーの色がグレーになっています。

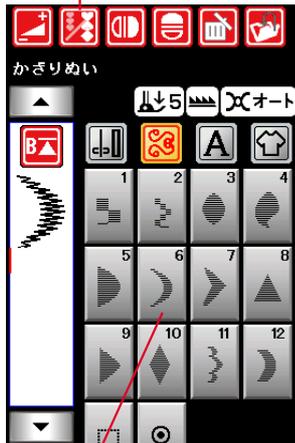
〔早見板／ワンポイントグループの例〕



【左右反転、上下反転のぬい方】(通常モードの例)

- ① 模様を選びます。
(ワンポイントグループの模様  の例)
- ② 模様を左右反転した形でぬう場合は、左右反転キーを押します。
画面に左右反転マークが表示され、左右反転した形でぬうことができます。
※ 左右反転キーをもう一度押すと左右反転マークが消え、もとの通常の形にもどります。
- ③ 模様を上下反転した形でぬう場合は、上下反転キーを押します。
画面に上下反転マークが表示され、上下反転した形でぬうことができます。
※ 上下反転キーをもう一度押すと上下反転マークが消え、もとの通常の形にもどります。
- ④ 模様を左右反転と上下反転を組み合わせせた形でぬう場合は、左右反転キーと上下反転キーを押します。
画面に左右反転マークと上下反転マークが組み合わされて表示され、左右および上下反転した形でぬうことができます。

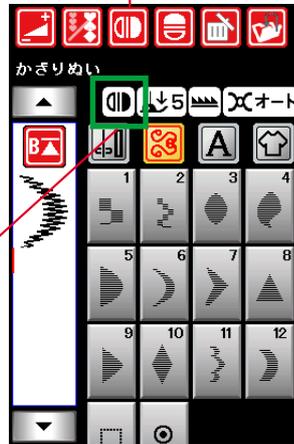
① 模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)



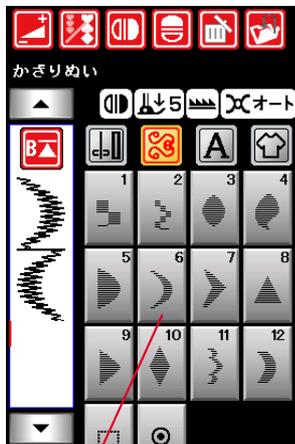
模様 06 を選択

左右反転マーク

② 左右反転キー



③



模様 06 を選択

④



【例】サテングループの模様 06 を、通常の形と左右反転の形で交互にぬう
(模様組み合わせモードの例)

① 模様組み合わせモードの状態、模様 06 を選びます。

② 左右反転キーを押して、左右反転マークを表示させます。

③ 模様 06 を選びます。

④ ミシンをスタートさせると、基本の形の模様と左右反転させた模様を交互にくり返しぬいます。

※ ぬい終わりの模様の途中で止めぬいボタンを押すと、その模様を完成させたあとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。
止めぬいボタンの使い方は、「◎操作方法／●操作ボタン／【止めぬいボタン】」(8ページ)をごらんください。

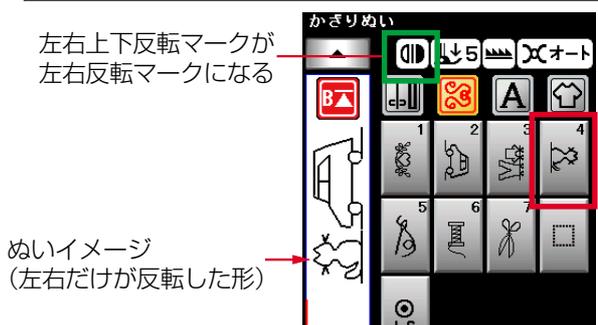
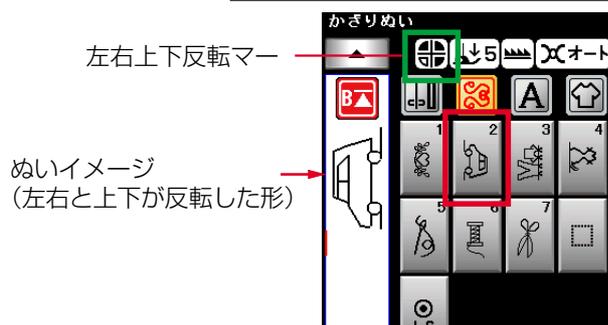
反転機能のご注意

通常モード・模様組み合わせモードともに、左右および上下反転キーで反転マークを表示させると、反転キーをもう一度押して反転マークを取り消すまで反転機能の設定は継続します。(次の模様を選んでも反転した形になります。)

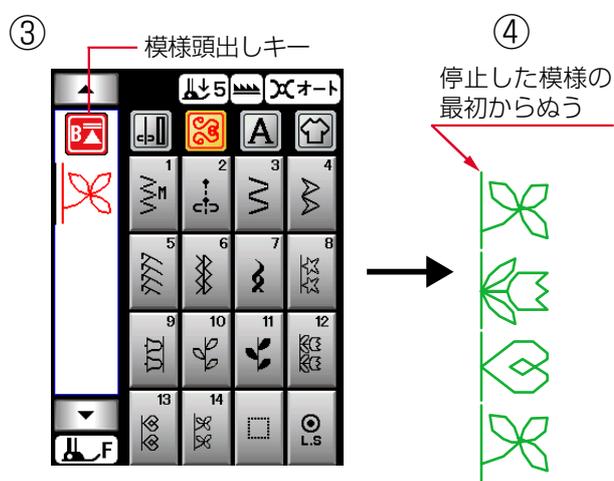
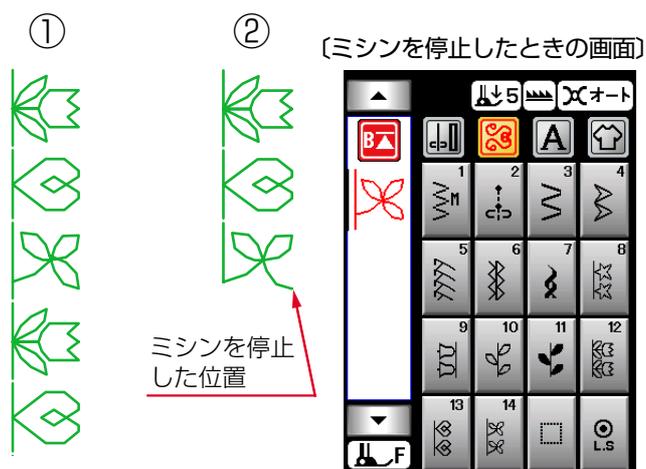
ただし、上下反転機能の場合は、上下反転に設定された状態で上下反転できない模様を選ぶと、上下反転機能の設定が取り消されますのでご注意ください。

左右および上下反転が設定された状態で、模様 02 が選ばれた状態

上下反転できない模様 04 を選ぶと、上下反転機能だけが取り消され、模様 04 は左右だけが反転した形になる。



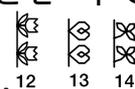
★模様頭出しキーの使い方



模様頭出しキーを使うと、模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬうときにその模様の最初からぬうことができます。

通常モードおよび模様組み合わせモードどちらでも使用できます。

模様組み合わせモード設定中は、ぬいかけた模様の最初または組み合わせ模様の最初のどちらからでもぬうことができます。

【例】 模様組み合わせモードで、飾り模様2グループの模様  **を組み合わせ**
ぬっている場合

【ぬいかけた模様の最初からぬう場合】

- ① 組み合わせた模様のぬいイメージ。
- ② ミシンを停止した位置。
- ③ 模様頭出しキーを押します。
※ 模様頭出しキーを押すと、表示が  にかかります。
- ④ ミシンをスタートさせると、途中で停止した模様(3番目の模様)の最初からぬいます。
※ 模様頭出しキーの表示が  のとき、ぬい途中の模様の最初からぬいます。

【組み合わせた模様の最初からぬう場合】

- ④ 上記、【ぬいかけた模様の最初からぬう場合】の手順③で模様頭出しキーを押すと、表示が  にかわるので、もう1回模様頭出しキーを押します。
※ 模様頭出しキーを2回続けて押すと、表示が  にかかります。
- ⑤ ミシンをスタートさせると、組み合わせた模様の最初(1番目の模様)からぬいます。
※ 模様頭出しキーの表示が  のとき、組み合わせた模様の最初からぬいます。

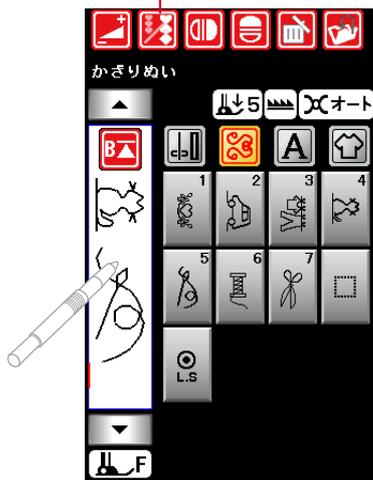
★プレビュー機能

模様組み合わせモード設定中は、模様のぬいイメージが表示される場所がキーになり、ぬいイメージを表示する場所
で表示しきれないすべての組み合わせ模様を一覧表で確認
(プレビュー) できます。

【プレビュー機能の使い方】

① ②

模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)

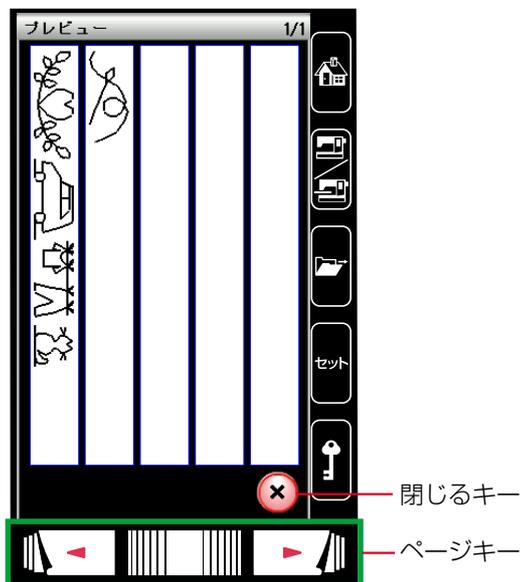


① 模様組み合わせモードの状態、ワンポイントグループの模様  ~  の 5 個の模様を順番に選んだ直後の画面。

② 模様のぬいイメージが表示される場所を押します。

③ ④

〔模様一覧表の画面〕



③ 模様一覧表の画面にかわり、組み合わせた模様のすべてが確認できます。

※ すべての模様が 1 ページ (1 画面) で表示されない場合は、ページキーを押して次のページ (画面) に切りかえます。

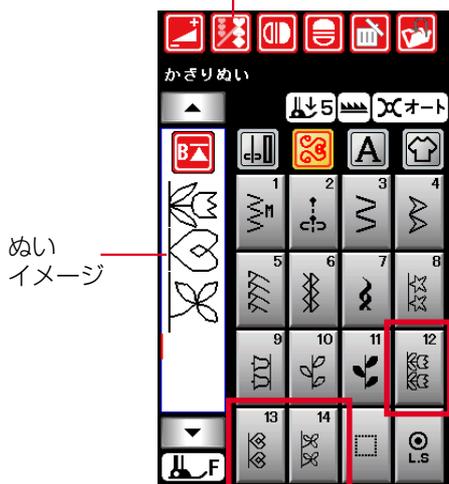
④ 確認が終わったら、閉じるキーを押して模様選択画面にもどします。

★編集機能

模様組み合わせモード設定中は、編集機能を利用すると、模様を組み合わせたあとでも、ぬったあとでも、組み合わせた模様の一部を削除したり、別の模様を追加したり、模様の形を反転させたり、模様のぬい目の幅やあかさなどの設定値を変更したりすることができます。

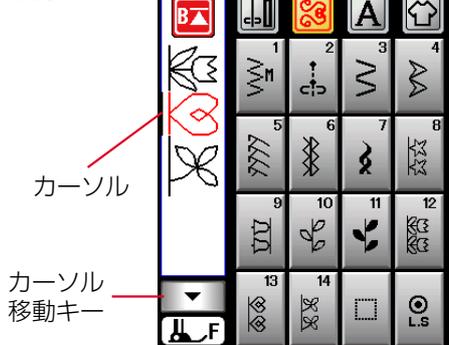
①

模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)



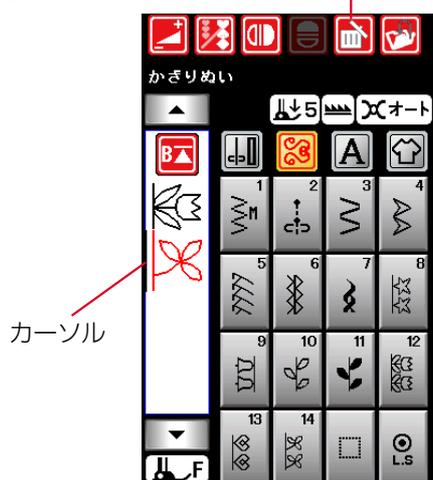
②

カーソル移動キー



③

削除キー



【編集機能の使用例】

① 模様組み合わせモードの状態、飾り模様2グループ

の模様    を組み合わせた直後の画面。

② カーソル移動キー  を2回押して、画面のぬいイ

メージの模様  にカーソルを合わせます。

カーソルの付いた模様が赤色にかわります。

※ カーソルを模様の先頭側に移動する場合は  キー、模様のうしろ側に移動する場合は  キーを押します。

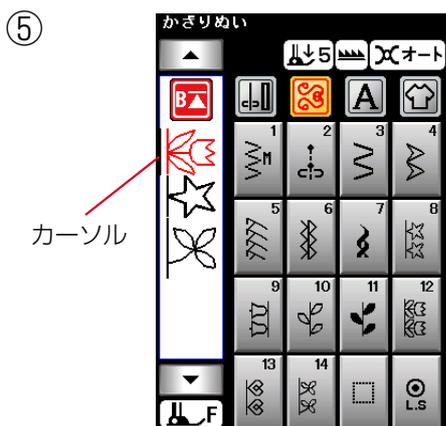
③ 削除キーを押します。

カーソルの付いている模様  が削除され、カーソルは次の模様  に移動します。

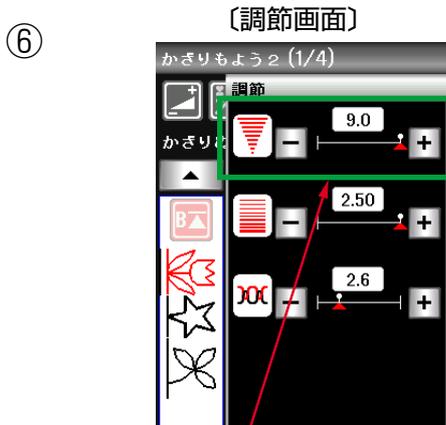


- ④ 模様 08 を選びます。
- 模様 12 と模様 14 のあいだに模様 08 が追加されます。

※ 模様の変更や模様の削除は、カーソルの付いている模様（赤色の模様）に対してできます。また、カーソルの付いている模様（赤色の模様）の前に新しく選んだ模様が追加されます。



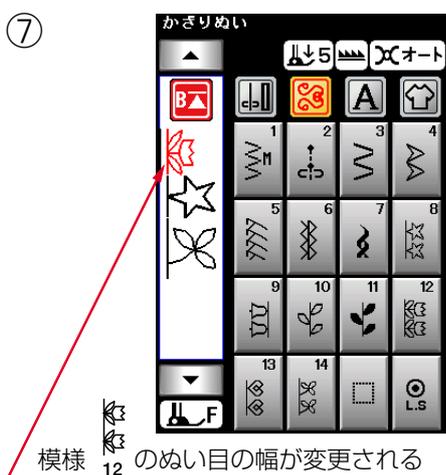
- ⑤ カーソル移動キーを2回押して、画面のぬいイメージの模様 12 にカーソルを合わせます。



ぬい目の幅の設定値を「9.0」から「5.0」に変更する

- ⑥ 調節キーを押して調節画面にし、ぬい目の幅の設定値を「9.0」から「5.0」に変更します。

※ 調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい／●実用ぬいの調節画面」(28ページ)をごらんください。



- ⑦ 模様 12 のぬい目の幅が変更できました。

★模様全長表示機能

模様組み合わせモード設定中は、模様を1つだけぬったときまたは組み合わせた模様をぬったときの全長（目安）を知ることができます。

模様をぬったときの全長は、布の種類や厚さ、ぬいの速さ、および模様の種類などのぬい条件で異なります。

同じようなぬい条件で一度試しぬいをして表示の数値を補正しておく、次回確認するときには実際のぬい長さにより近い表示になります。

※ 一度補正すると、その補正値は、他の模様や他の組み合わせ模様（文字ぬいを含む）にも適用されます。また、ミシンの電源スイッチを切っても記憶されています。

補正後に、ぬい条件の大きく異なるぬいで模様の全長を知りたい場合は、再度、同じような条件で試しぬいをして表示されている数値を補正し直してください。

【模様全長表示機能の使用例】

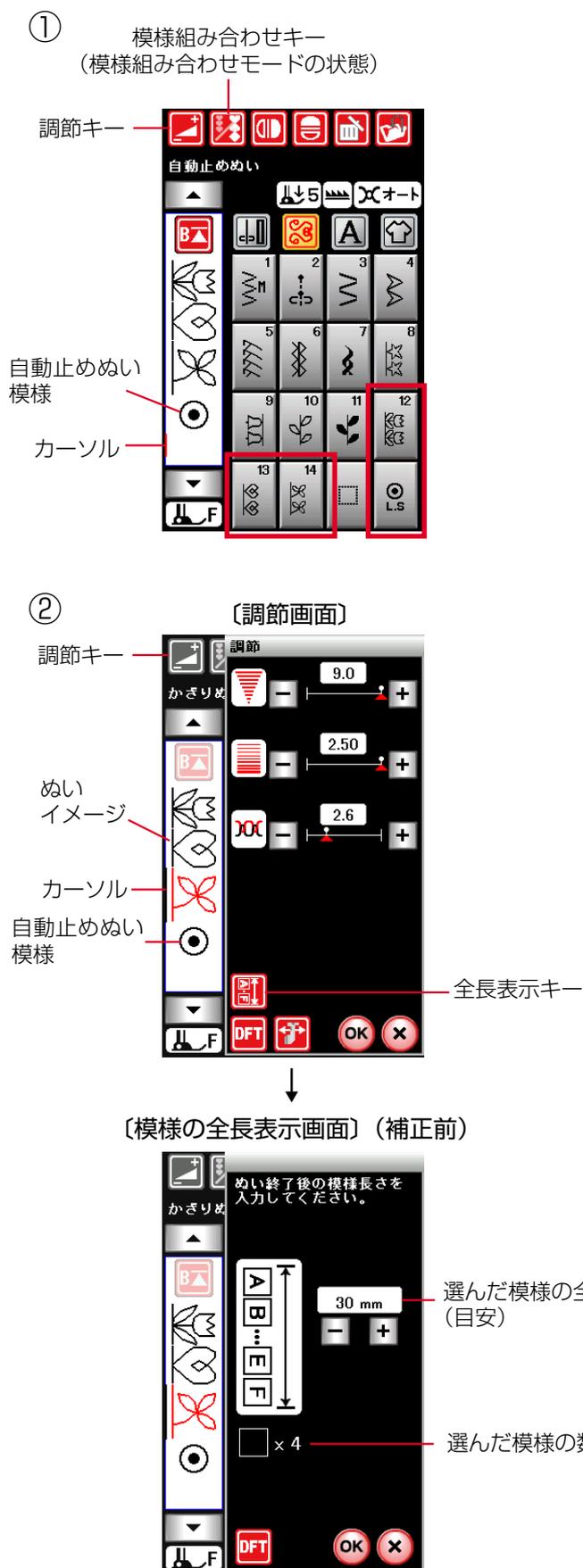
① 模様組み合わせモードの状態、飾り模様2グループ

の模様  を組み合わせた直後の画面。

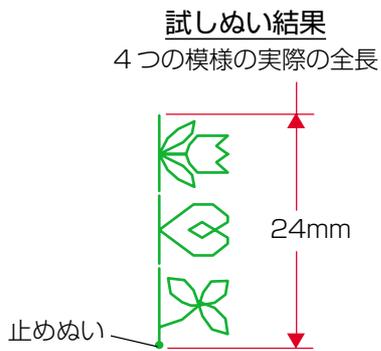
② 調節キーを押して調節画面にし、調節画面の中の全長表示キーを押して、模様の全長表示画面にする。この画面で自動止めぬい模様を含めて4つの模様の全長の目安（例では30mm）を知ることができます。

※ 模様の最後に自動止めぬい模様が入っている場合は、調節キーを押す前に、ぬいイメージが表示されている画面のカーソルを自動止めぬい模様以外の模様に移動しておいてください。

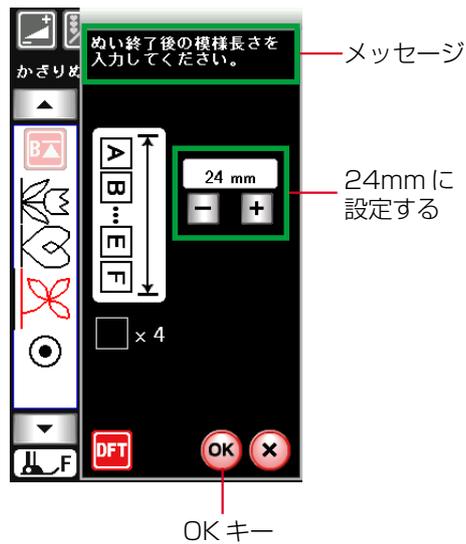
模様のうしろ側（外側）または自動止めぬい模様にはカーソルがある場合は、調節画面にできません。



③

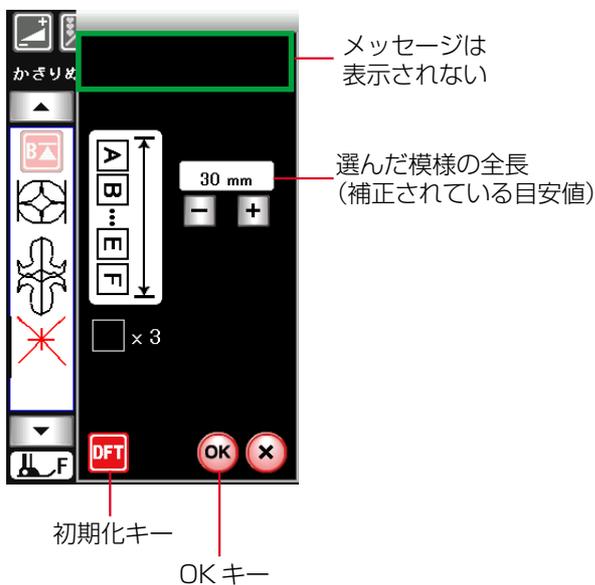


③ 画面のメッセージにしたがい、同じぬい条件で試しぬいをし、止めぬいを含む4つの模様の実際の全長（例では24mm）を「+」または「-」キーで入力し、OKキーを押して確定します。



④

〔模様の実長表示画面〕（補正後）

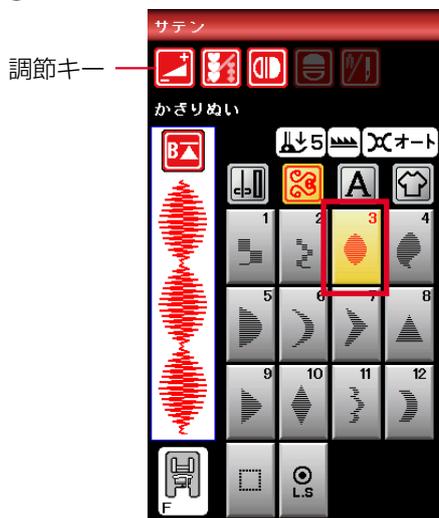


④ 次回からは、同じ模様の場合でも、別の組み合わせ模様の場合でも、模様の実長表示画面を表示させると、実際のぬいにより近い全長（目安）が表示されます。このとき全長表示画面は、補正されていることを示すためにメッセージの表示がありません。（左の画面例は、別の組み合わせ模様で全長表示画面を表示させた場合）

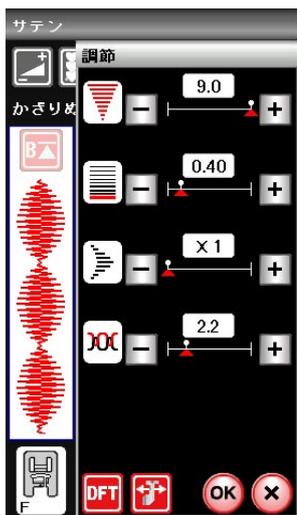
※ 補正前の初期の状態（購入時の設定状態）にもどす場合は、初期化キーを押してOKキーを押してください。

● 模様長さ調節機能 (エロンゲーション)

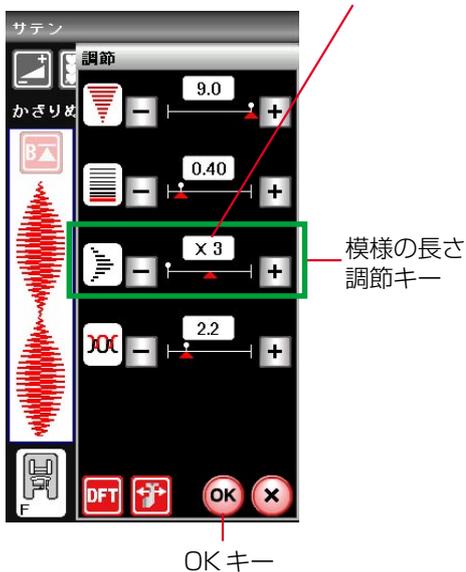
① 〔模様選択画面／サテングループ〕



② 〔調節画面〕



③ 倍率の値 (3倍に設定した例)



サテングループの模様は、他の飾りぬいの模様グループと異なり、ぬい目のあらさをかえずに模様を2～5倍にかえることができます。

通常モードおよび模様組み合わせモードどちらでもできます。

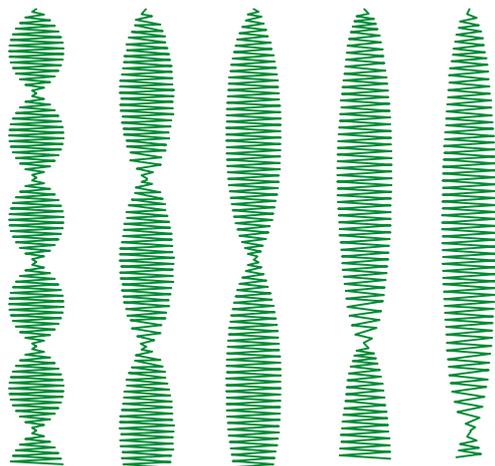
※ サテングループの模様はぬい目の細かい飾り模様（密着模様）です。布が縮む場合は、裏に芯地を貼ってください。

【模様長さの調節例】

- ① サテングループの模様  を選びます。
- ② 調節キーを押して、調節画面を表示させます。
- ③ 模様長さ調節キーを押して模様長さを変え、OKキーを押します。
設定した倍率でぬうことができます。

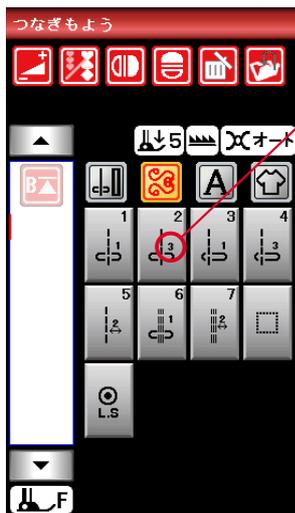
倍率と模様の長さ

〔×1〕 (1倍) 〔×2〕 (2倍) 〔×3〕 (3倍) 〔×4〕 (4倍) 〔×5〕 (5倍)



●つなぎ模様グループの使い方

〔模様選択画／つなぎ模様グループ〕

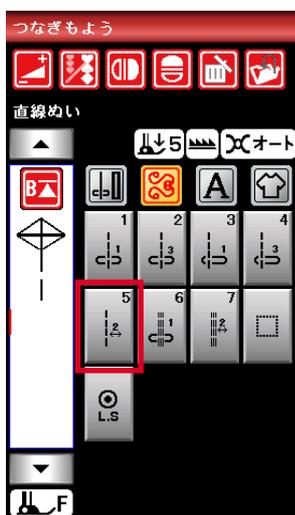


模様右側の数字

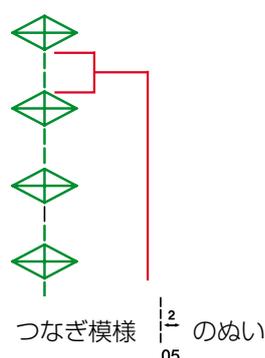
① 模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)



②



③



※ 中針位置の直線のぬい目が2つ入っている。

つなぎ模様グループの模様は、模様と模様の間かくを直線ぬいを使ってあけるときに使います。

模様選択キーに表示されている模様の右側の数字「1」「2」「3」は、つなぎ模様を1つ組み合わせたときのつなぎ模様(直線ぬい)のぬい目の数を示します。

模様 $\begin{matrix} |1| & |3| & |1| & |3| & |1| \\ \hline 01 & 02 & 03 & 04 & 06 \end{matrix}$ は、針位置やぬい目のあらかのオート値(電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値)が設定されていて、そのオート値はぬい目の幅調節キーとぬい目のあらか調節キーでかえることができます。

模様 $\begin{matrix} |2| & |2| \\ \hline 05 & 07 \end{matrix}$ は、針位置やぬい目のあらかのオート値が設定されていないで、その値はつなぎ模様の1つ前に記憶されている模様と同じ値になり、ぬい目の幅調節キーとぬい目のあらか調節キーでかえることはできません。(針位置は、前の模様のぬい終わりの針位置になります。)

【例】 模様組み合わせモードで、飾り模様1グループの模様 $\begin{matrix} \text{飾り模様} \\ \hline 01 \end{matrix}$ のあいだに模様 $\begin{matrix} |2| \\ \hline 05 \end{matrix}$ を組み合わせ、間かくをあける

- ① 模様組み合わせモードの状態、飾り模様1グループの模様 $\begin{matrix} \text{飾り模様} \\ \hline 01 \end{matrix}$ を選びます。
 - ② つなぎ模様グループの模様 $\begin{matrix} |2| \\ \hline 05 \end{matrix}$ を選びます。
 - ③ ミシンをスタートさせると、模様 $\begin{matrix} \text{飾り模様} \\ \hline 01 \end{matrix}$ の間かくがあいた状態でくり返しぬいます。
- ※ 模様と模様のあいだに、中針位置の直線のぬい目が2つ入っています。

ぬい目のあらかが細かい模様につなぎ模様を使う場合

模様 $\begin{matrix} \text{模様} \\ \hline 06 \end{matrix}$ のぬい
つなぎ模様 $\begin{matrix} |2| \\ \hline 05 \end{matrix}$ のぬい
※ 直線のぬい目が2つ入っているが、模様 $\begin{matrix} \text{模様} \\ \hline 06 \end{matrix}$ のぬい目のあらかが0.4mmと細かいため、ほとんど間かくがあかない。

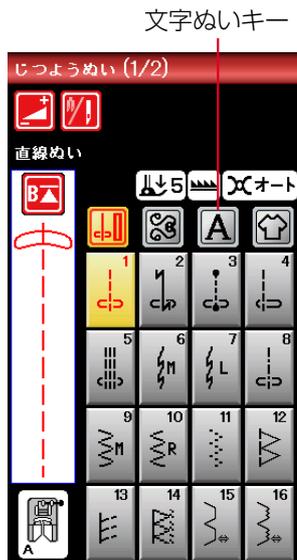
模様 $\begin{matrix} \text{模様} \\ \hline 06 \end{matrix}$ のぬい
つなぎ模様 $\begin{matrix} |1| \\ \hline 03 \end{matrix}$ のぬい
※ 直線のぬい目が1つしか入っていないが、模様 $\begin{matrix} |1| \\ \hline 03 \end{matrix}$ のオート値のぬい目のあらかが2.5mmあるため、間かくがあく。

例えば、サテン模様グループの模様 $\begin{matrix} \text{サテン模様} \\ \hline 06 \end{matrix}$ のように、ぬい目のあらかが細かい模様の次につなぎ模様 $\begin{matrix} |2| & |2| \\ \hline 05 & 07 \end{matrix}$ を使うと、つなぎ模様のぬい目のあらかは1つ前の模様のぬい目のあらかと同じになるため、つなぎ模様のぬい目のあらかも細くなって、次の模様とほとんど間かくがあきません。

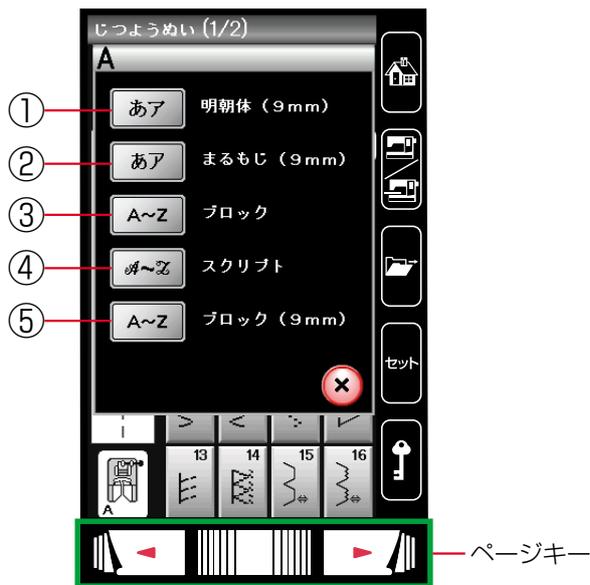
ぬい目のあらかが細かい模様のあとにつなぎ模様で間かくをあけたい場合は、つなぎ模様 $\begin{matrix} |1| & |3| & |1| & |3| & |1| \\ \hline 01 & 02 & 03 & 04 & 06 \end{matrix}$ を使用してください。

◎文字ぬい

●文字ぬいの画面



〔模様グループ選択画面〕



文字ぬいキーを押すと、文字ぬいの模様グループ（書体）を選ぶ選択画面になります。

文字ぬいの模様グループは、5つのグループがあります。

① 明朝体（9mm）グループ

「明朝体（9mm）」キーを押すと、明朝体（ひらがな・カタカナ、およびスペース模様2個）の模様選択画面になります。

明朝体（9mm）グループは、3つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字のサイズ（高さ）は、最大9mmあります。

② 丸文字（9mm）グループ

「まるもじ（9mm）」キーを押すと、丸文字（ひらがな・カタカナ、およびスペース模様2個）の模様選択画面になります。

丸文字（9mm）グループは、3つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字のサイズ（高さ）は、最大9mmあります。

③ ブロック体グループ

「ブロック」キーを押すと、ブロック体（英字・数字・記号・ヨーロッパ文字、およびスペース模様3個）の模様選択画面になります。

ブロック体グループは、5つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字構成全体の高さ（枠）が最大9mmで、個々の文字サイズ（高さ）は9mmより小さくなります。



④ スクリプト体グループ

「スクリプト」キーを押すと、スクリプト体（英字・数字・記号・ヨーロッパ文字、およびスペース模様3個）の模様選択画面になります。

スクリプト体グループは、5つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字構成全体の高さ（枠）が9mmで、個々の文字高さは9mmより小さくなります。（上記ブロック体グループと同じです。）

⑤ ブロック体（9mm）グループ

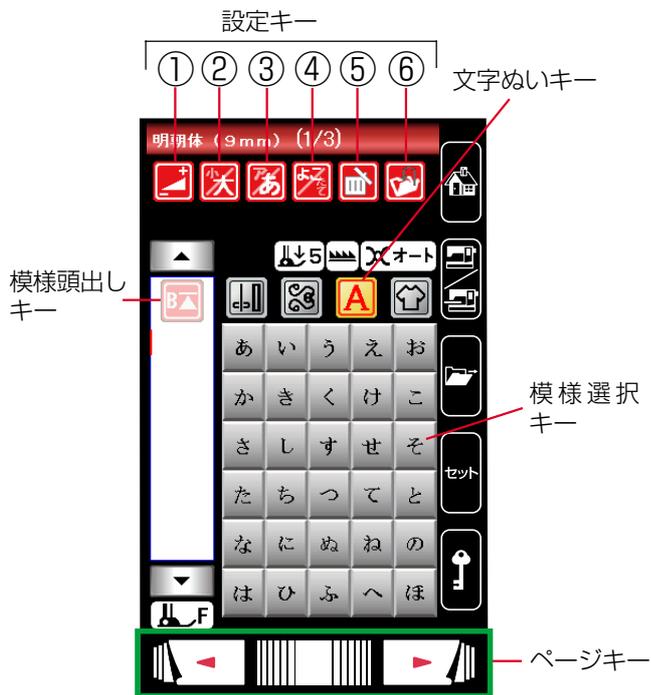
「ブロック（9mm）」キーを押すと、ブロック体（英字の大文字・数字・記号、およびスペース模様3個）の模様選択画面になります。

ブロック体（9mm）グループは、3つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字のサイズ（高さ）は、9mmあります。

★模様選択画面

〔模様選択画面〕
明朝体グループ 1/3 ページの例



〔模様選択画面〕
ブロック体グループ 1/5 ページの例



模様グループ選択キーを押すと、その模様グループ（書体）の模様選択画面になります。

模様選択画面が2つ以上のページ（画面）に分かれている場合は、ページキーで選択できます。

模様選択画面は実用ぬい模様や飾りぬい模様の画面と同様、模様選択キー・設定キー・模様頭出しキーなどのキーと、選ばれている模様のぬい情報や設定状態が表示されています。

※ ぬい情報や設定状態の表示は、「◎操作方法／●画面（タッチパネル）」（11 ページ）をごらんください。

【設定キー】

その模様設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変更します。

※ 選ばれている模様や設定状態によっては、キーの色がグレーになっていて使用できないキーがあります。

① 調節キー

調節キーを押すと調節画面になります。

調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい／●実用ぬいの調節画面」（28 ページ）をごらんください。

② 文字高さ切りかえキー

文字の高さを約2/3にし、文字を小さく（低く）することができます。

③ ひらがな・カタカナ切りかえキー

ひらがなとカタカナを切りかえることができます。模様選択キーの表示も同時に切りかわります。（77 ページ参照）

④ 横書き・縦書き切りかえキー

横書きと縦書きを切りかえることができます。（76 ページ参照）

※ 横書きと縦書きを組み合わせることはできません。

⑦ 大文字・小文字切りかえキー

大文字と小文字を切りかえることができます。模様選択キーの表示も同時に切りかわります。

※ 設定キーの中の⑤「削除キー」、⑥「保存キー」および模様頭出しキーの使い方は、飾りぬいと同じです。組み合わせた文字内容を確認できるプレビュー機能および編集機能、調節画面にある模様全長表示機能も飾りぬいと同じです。「◎飾りぬい／●模様組み合わせモード」（62 ページ）をごらんください。

●文字ぬいの例

- 文字ぬいは、飾りぬいの模様組み合わせモードと同様、お好みの模様を組み合わせることでぬうことができます。
 - ・ 模様は、最大 100 個まで組み合わせることができます。(組み合わせる模様で異なります。)
 - ・ 組み合わせができる模様は、文字ぬいの模様グループと飾りぬいの模様グループです。
- ※ 飾りぬいの模様グループは、「◎飾りぬい」(59 ページ) をごらんください。
- 文字を1つだけまたは複数の文字を組み合わせる場合、最後の文字をぬって自動的にミシンは停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)
ぬわれた文字のぬい始めとぬい終わりには、ほつれ止めの止めぬいが入っています。
- ※ 文字と飾りぬい模様を組み合わせる場合、組み合わせた模様の最後が文字の場合は、最後の文字をぬって自動的にミシンは停止します。組み合わせた模様の最後が文字以外の模様の場合は、組み合わせた模様をくり返しぬいます。
- 編集機能を使うと、組み合わせた模様の内容を変更することができます。
- ※ 編集機能は、「◎飾りぬい／●模様組み合わせモード／★編集機能」(68 ページ) をごらんください。
- 組み合わせた模様をミシンに保存したり、USB メモリに保存することができます。

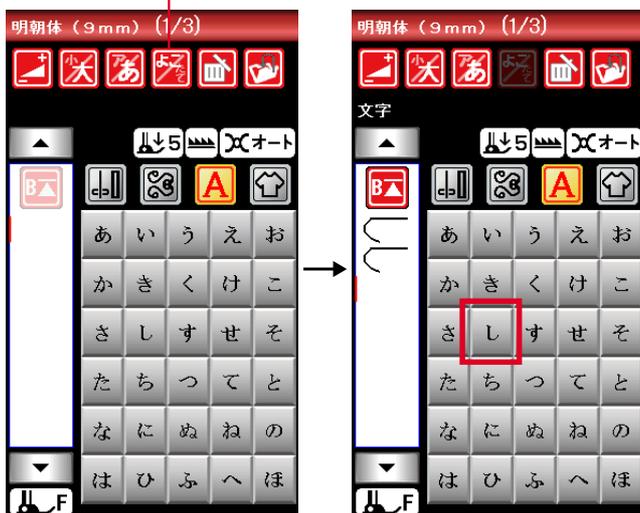
文字ぬいの注意事項

- ・ 必ず同じ布地で試しぬいをしてください。
- ・ 針は付属のブルー針(柄の部分が青色の針)、押さえは F: サテン押さえを使用してください。
- ・ 伸びる布地、薄手の布地などをぬう場合は、布の裏に市販品の芯地を貼るかまたはトレーシングペーパーや薄い紙を布の下に敷いてぬってください。
- ・ 文字や記号を組み合わせる場合、隣り合う模様によっては間かくがせまくなったり、広くなる場合があります。気になる場合はスペース模様で調節してください。(78 ページ [スペース模様] 欄参照)

【例】明朝体の横書きで文字「ししゅうミシン」をぬう

① 〔模様選択画面〕 明朝体グループ 1/3 ページ

横書き・縦書き切りかえキー



- ① 「明朝体 (9mm)」キーを押して明朝体の模様選択画面を表示させ、横書き・縦書き切りかえキーが横書きの状態 () で、文字「し」を2度選びます。

- ※ 縦書きの場合は、最初の文字を選ぶ前に、横書き・縦書き切りかえキーを押して、キーの表示を  にします。

② 2/3 ページ



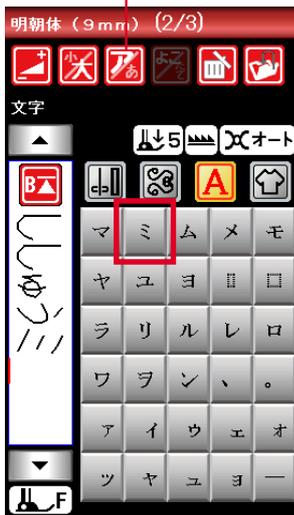
③ 1/3 ページ



- ② ページキーで2/3 ページを表示させ、文字「ゆ」を選びます。
- ③ ページキーで1/3 ページを表示させ、文字「う」を選びます。

④ 2/3 ページ

ひらがな・カタカナ切りかえキー



⑤ 1/3 ページ

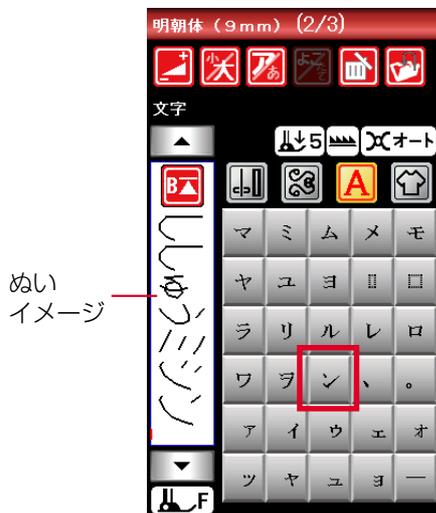


- ④ ページキーで2/3 ページを表示させ、ひらがな・カタカナ切りかえキーを押して、キーの表示を  から  にかえ、文字「ミ」を選びます。

※ ひらがな・カタカナ切りかえキーを押すと、画面の様
選択キーの表示もカタカナに切りかわります。

- ⑤ ページキーで1/3 ページを表示させ、文字「シ」を選びます。

⑥ 2/3 ページ

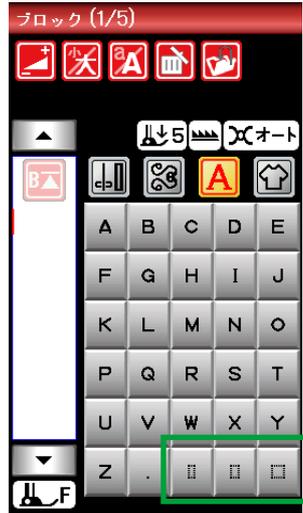


- ⑥ ページキーで2/3 ページを表示させ、文字「ン」を選びます。
- ⑦ ミシンをスタートさせると、「ししゅうマシン」をぬったあと自動的にミシンは停止します。

明朝体 2/3 ページの例



ブロック体 1/5 ページの例



スペース模様

明朝体と丸文字の模様選択画面 2/3 ページにある 

、ブロック体とスク립ト体の模様選択画面 1/5 ページおよびブロック体 (9mm) の模様選択画面 1/3 ページにある    は、スペース模様です。文字と文字の間かくをあけてぬうときに使います。

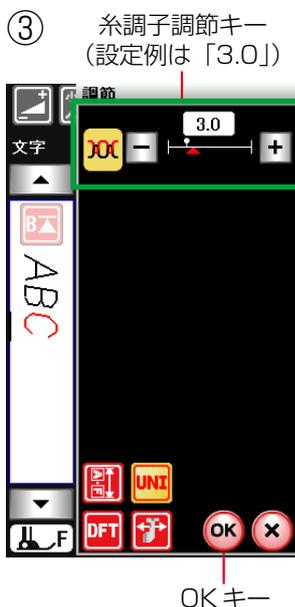
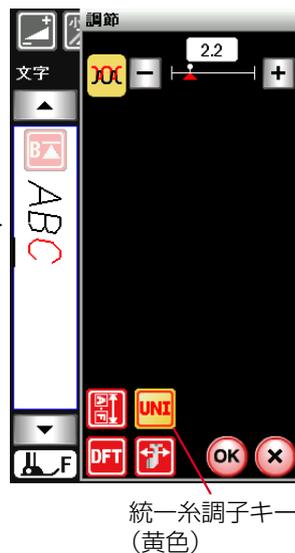
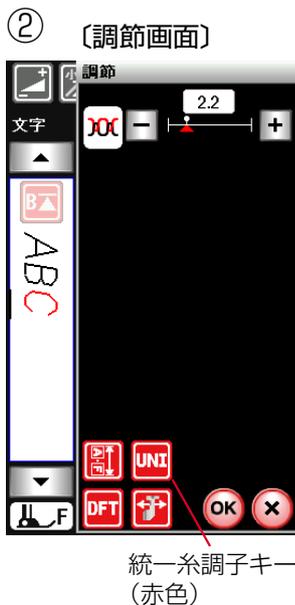
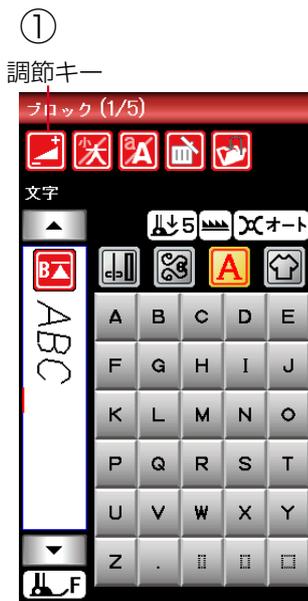
文字と文字のあいだに組み合わせて記憶してください。

 は約 2.5mm、 は約 3.5mm (明朝体と丸文字はなし)、 は約 5mm の間かくがあきます。

※ 上記間かくの長さは、ぬい目のあらかさがオート値 (電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値) のときの値です。

調節画面のぬい目のあらかさ調節キーで設定値を変更すると、間かくはかわります。

★統一糸調子機能



すべての組み合わせ模様の糸調子をオート値(電源を入れたとき、マシンに自動的に設定されている値)と異なる別の統一した値に設定したいとき、飾りぬいの場合は、調節画面の糸調子調節キーで模様ごとに設定する必要があります。

文字ぬいの場合は、統一糸調子機能により、組み合わせ模様(文字)ごとに設定しないで、一括して統一した糸調子を設定することができます。

【設定例】

① 文字を選びます。(ブロック体「ABC」の例)

② 調節キーを押して調節画面にし、統一糸調子キーを押します。
キーの色が赤色から黄色にかわります。

③ 糸調子調節キーで設定したい値に変更し、OKキーを押します。(設定例は「3.0」)

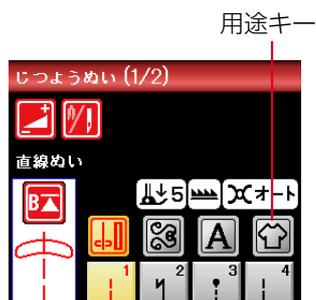
④ 変更した値が確定されて模様選択画面にもどり、組み合わせた「ABC」すべての文字を糸調子「3.0」でぬうことができます。
画面の糸調子の設定状態を示す表示が、「オート」から「マニュアル」にかわっています。

※ 統一糸調子を解除する場合は、調節画面で統一糸調子キーを押してキーの色を黄色から赤色にもどし、OKキーを押します。

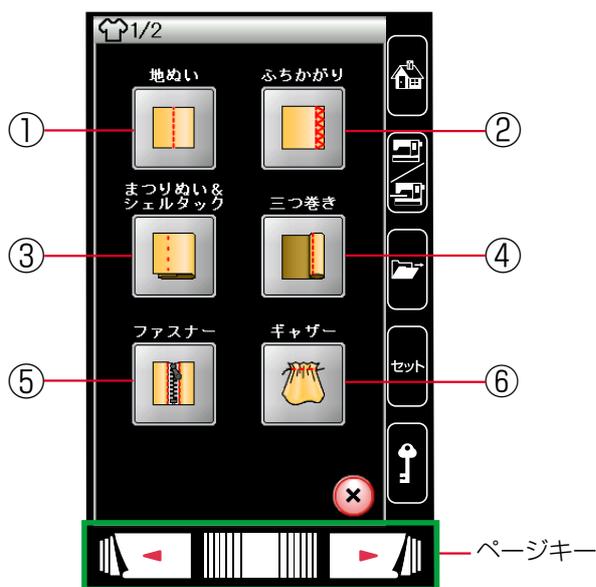
※ 組み合わせた文字を削除キーですべて削除した場合、および文字ぬい以外の模様グループの模様を選んだ場合も統一糸調子機能は解除されます。

◎用途選択

●用途選択の画面



〔用途選択画面〕 (1/2 ページ)



用途キーを押すと、ぬいの用途に適した模様が直接選べる用途選択画面になります。

用途選択画面は、12個の用途選択キーがあり、2つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 用途選択により選んだ模様を設定されている「ぬい目の幅・ぬい目のあかさ・糸調子」などの値は、ぬいの用途に適した値になっています。

① 地ぬい

「地ぬい」キーを押すと、4種類の地ぬいの用途選択画面になります。4種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に適した地ぬいの模様選択画面になります。地ぬいは、12種類の模様があります。(83 ページ参照)

② 縁かがり

「ふちかがり」キーを押すと、縁かがりの模様選択画面になります。縁かがりは、4種類の模様があります。(84 ページ参照)

③ まつりぬい・シェルタック

「まつりぬい&シェルタック」キーを押すと、まつりぬいとシェルタックのどちらかを選ぶ用途選択画面になります。

目的のキーを押すと、まつりぬいまたはシェルタックの模様選択画面になります。

まつりぬいは2種類、シェルタックは3種類の模様があります。(85、87 ページ参照)

④ 三つ巻き

「三つ巻き」キーを押すと、三つ巻きの模様選択画面になります。三つ巻きは、3種類の模様があります。(88 ページ参照)

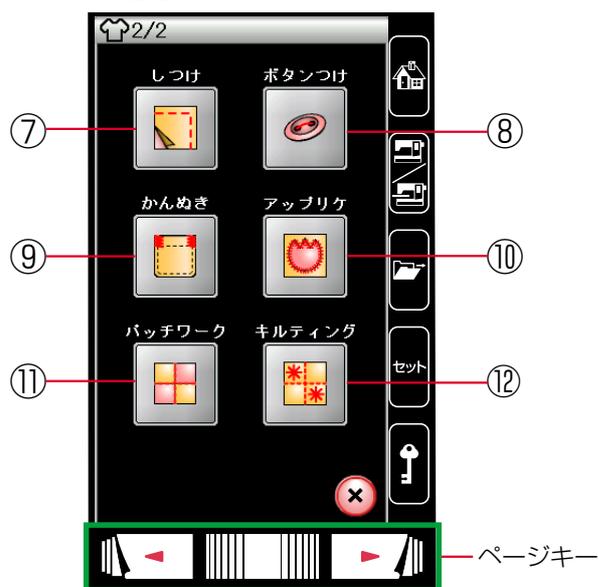
⑤ ファスナー付け

「ファスナー」キーを押すと、2種類のファスナー付けの用途選択画面になります。2種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に適したファスナー付けの模様選択画面になります。ファスナー付けは、10種類の模様があります。(89 ページ参照)

⑥ ギャザー

「ギャザー」キーを押すと、ギャザーの模様選択画面になります。ギャザーは、2種類の模様があります。(92 ページ参照)

〔用途選択画面〕 (2/2 ページ)



⑦ しつけぬい

「しつけ」キーを押すと、しつけぬいの模様選択画面になります。しつけぬいは、2種類の模様があります。(93 ページ参照)

⑧ ボタン付け

「ボタンつけ」キーを押すと、ボタン付けの模様選択画面になります。ボタン付けは、2種類の模様があります。(93 ページ参照)

⑨ かんぬき止め

「かんぬき」キーを押すと、かんぬき止めの模様選択画面になります。かんぬき止めは、4種類の模様があります。(96 ページ参照)

⑩ アプリケ

「アプリケ」キーを押すと、アプリケの模様選択画面になります。アプリケは、6種類の模様があります。(96 ページ参照)

⑪ パッチワーク

「パッチワーク」キーを押すと、パッチワークの模様選択画面になります。パッチワークは、3種類の模様があります。(98 ページ参照)

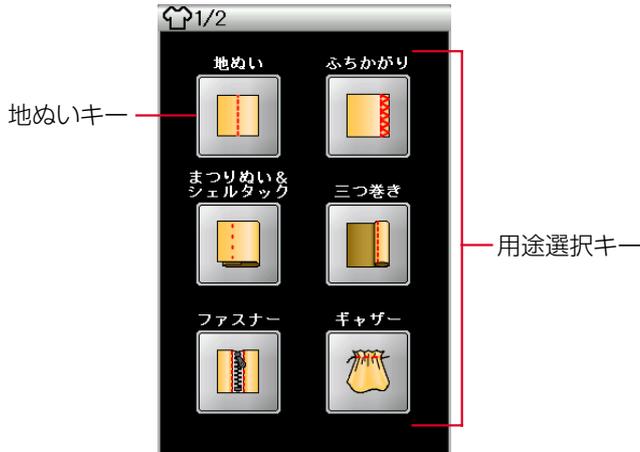
⑫ キルティング

「キルティング」キーを押すと、5種類のキルティングの用途選択画面になります。5種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に適したキルティングの模様選択画面になります。キルティングは、17種類の模様があります。(100 ページ参照)

★模様選択画面

地ぬい…伸びない布地用の模様を選ぶ例

〔用途選択画面〕(1/2 ページ)



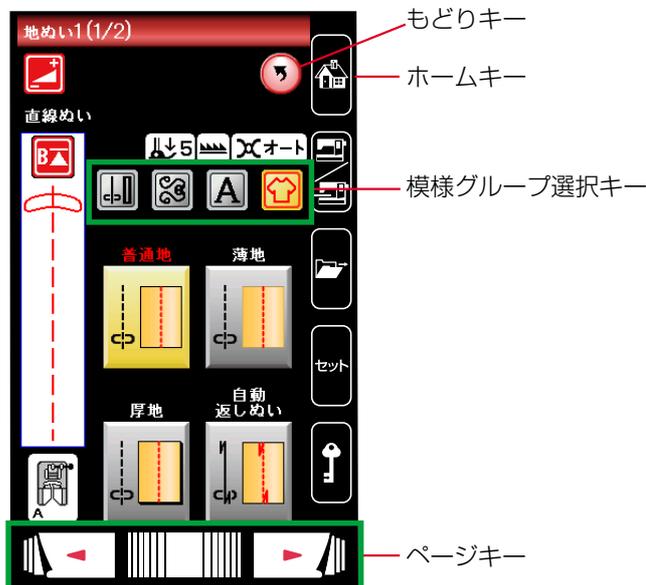
① 上の画面で地ぬいキーを押す

〔用途選択画面／地ぬいの2段階目〕



② 上の画面で伸びない布地キーを押す

〔模様選択画面／伸びない布地〕



用途選択画面の用途選択キーを押すと、その用途に使用する模様選択画面になります。

模様選択画面が2つ以上のページ(画面)に分かれている場合は、ページキーで選択できます。

「地ぬい」「まつりぬい・シェルタック」「ファスナー付け」「キルティング」は2段階の用途選択画面で構成されていますので、用途選択キーを2回押すと模様選択画面になります。

※ 模様選択画面のもどりキーを押すと、1つ前の用途選択画面にもどります。

用途選択のぬいが終わって、他の模様グループを選ぶ場合は、模様選択画面の模様グループ選択キーで目的の模様グループを選んでください。(実用ぬい/ボタンホールグループは、ホームキーでも選べます。)

●地ぬい

〔用途選択画面／地ぬい〕



用途選択画面の「地ぬい」キーを押すと、4種類の地ぬいの用途選択画面になります。

4種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に適した地ぬいの模様選択画面になります。

地ぬいに適した12種類の模様が選択できます。

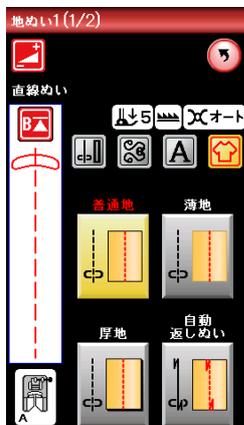
※ ぬい方は、「◎実用ぬい／●直線（直線状模様）ぬい」（35ページ）をごらんください。

〔模様選択画面〕

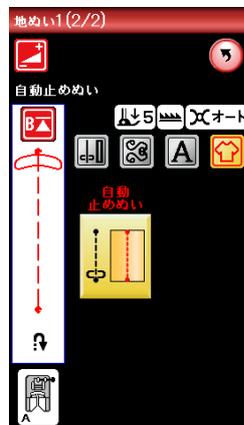
伸びない布地

(1/2 ページ)

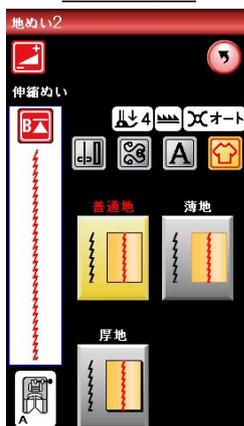
(2/2 ページ)



伸びる布地



円弧ぬい



トップステッチ



【伸びない布地】

デニム、ブロード、シーチング、ローンなどに適した5種類の模様が選択できます。

【伸びる布地】

ジャージー、ニット、トリコットなど伸縮性布地に適した3種類の模様が選択できます。

【円弧ぬい】

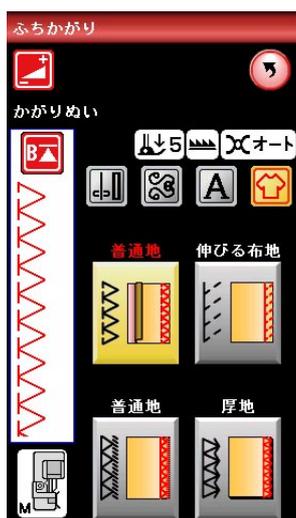
円弧ぬいに適した3種類の模様が選択できます。

【トップステッチ】

トップステッチに適した模様が選択できます。

●縁かがり

〔模様選択画面／縁かがり〕



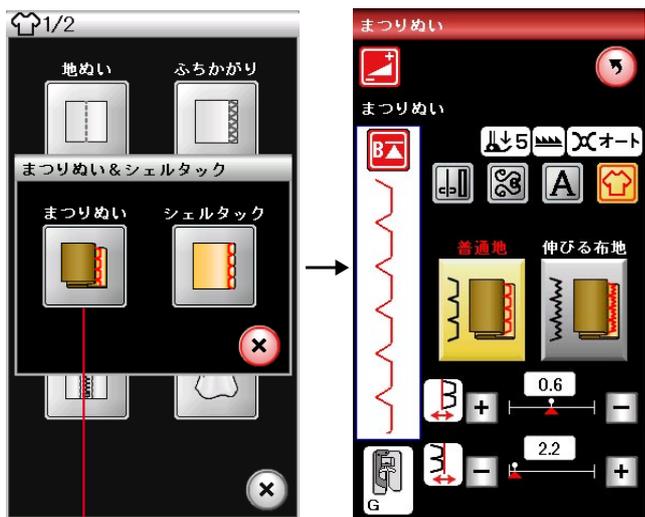
用途選択画面の「ふちかがり」キーを押すと、ふちかがりの模様選択画面になります。

ふちかがりに適した4種類の模様が選択できます。

※ ぬい方は、「○実用ぬい／●かがりぬい」(42ページ)をごらんください。

●まつりぬい

〔用途選択画面〕 (模様選択画面/まつりぬい)
まつりぬい・シェルタック



まつりぬいキー

用途選択画面の「まつりぬい&シェルタック」キーを押すと、まつりぬいとシェルタックのどちらかを選ぶ用途選択画面になります。

「まつりぬい」キーを押すと、まつりぬいの模様選択画面になります。

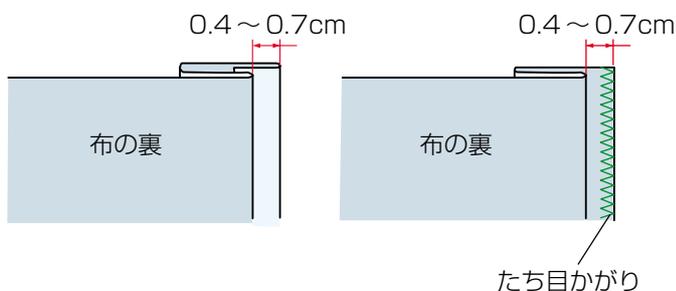
まつりぬいに適した2種類の模様が選択できます。

① 模様		
② 押さえ	G : まつりぬい押さえ	
③ 押さえ圧調節ダイヤル ...	「5」	

【ぬい方】(模様 の例)

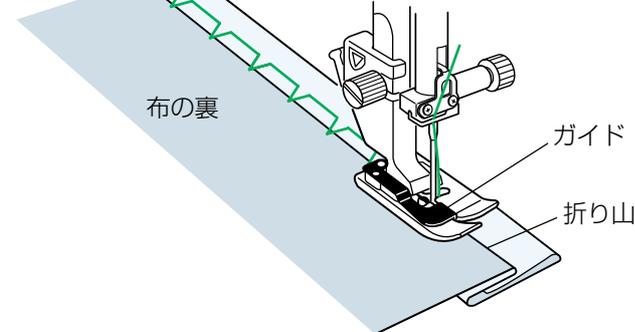
①

〈薄い布、普通の布の場合〉 〈厚い布の場合〉



① 布を折ります。

②

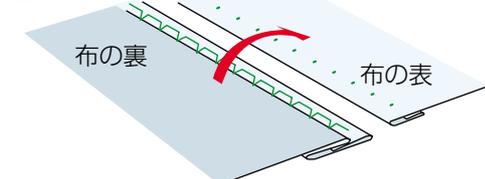


② 折り山をガイドに合わせてぬいます。

※ 針が折り山から外れないように、また必要以上に針が折り山にかかりすぎないように、左針位置調節キーまたはぬい目の幅調節キーで左針位置（折り山側の針位置）を調節してください。

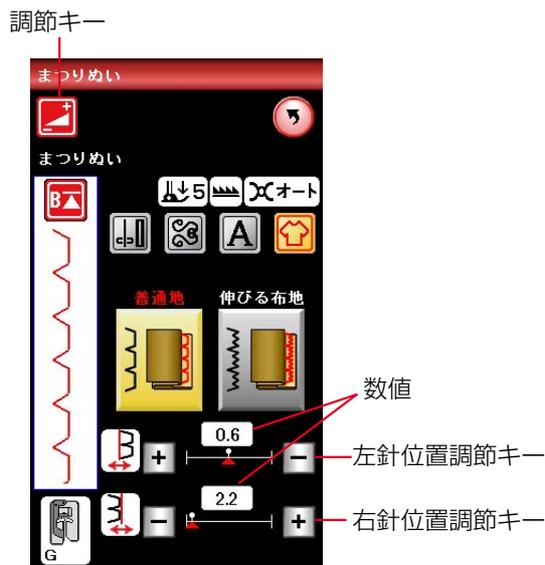
(次ページ【針位置の調節方法】参照)

③

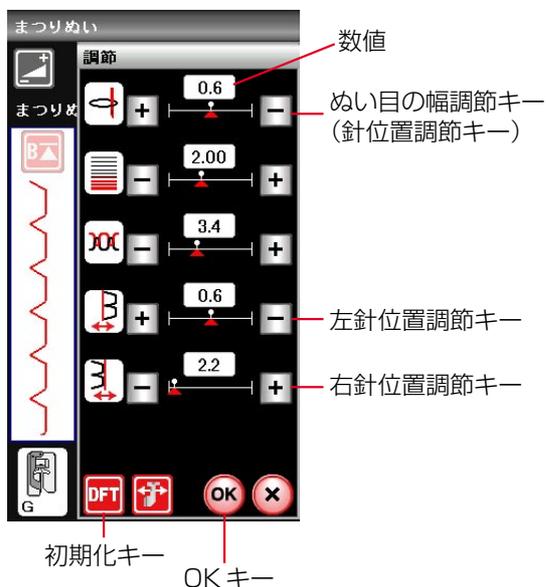


③ ぬい終わったら布を広げます。

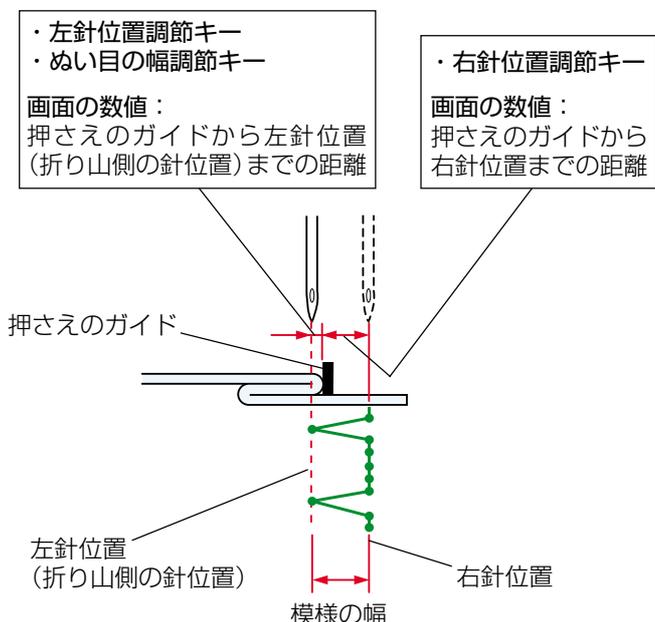
〔模様選択画面／まつりぬい〕



〔調節画面〕



画面の数値と針位置の関係



【針位置の調節方法】

※ 下記、左針位置調節キーおよび右針位置調節キーは、模様選択画面または調節キーを押して表示される調節画面のどちらにもあります。どちらを使用しても同じ設定ができます。
調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい／●実用ぬいの調節画面」(28 ページ)をごらんください。

《左針位置調節キー》

左側の針位置(折り山側の針位置)をかえることができます。右側の針位置は固定なので、左に模様の幅が変化します。

画面の数値は、押さえのガイドから左針位置までの距離の目安をミリメートルで表示しています。

- ・「+」を押すと表示されている数値が大きくなり、左針位置が左へ移動します。
- ・「-」を押すと表示されている数値が小さくなり、左針位置が右へ移動します。

《右針位置調節キー》

右側の針位置をかえることができます。左側の針位置は固定なので、右に模様の幅が変化します。

画面の数値は、押さえのガイドから右針位置までの距離の目安をミリメートルで表示しています。

- ・「+」を押すと表示されている数値が大きくなり、右針位置が右へ移動します。
- ・「-」を押すと表示されている数値が小さくなり、右針位置が左へ移動します。

《ぬい目の幅調節キー (針位置調節キー)》

模様の幅をかえずに左側の針位置(折り山側の針位置)をかえることができます。

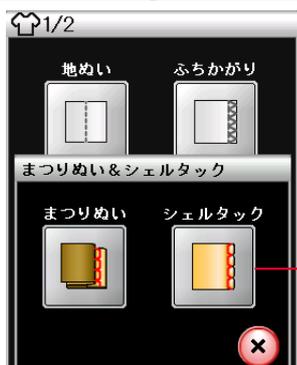
画面の数値は、押さえのガイドから左針位置までの距離の目安をミリメートルで表示しています。

- ・「+」を押すと表示されている数値が大きくなり、左針位置が左へ移動します。(模様全体が左に移動します。)
- ・「-」を押すと表示されている数値が小さくなり、左針位置が右へ移動します。(模様全体が右に移動します。)

※ 変更した値をオート値(電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値)にもどす場合は、調節画面の初期化キーを押してOKキーを押してください。

● シェルタック

〔用途選択画面〕
まつりぬい・シェルタック



シェルタック
キー

用途選択画面の「まつりぬい&シェルタック」キーを押すと、まつりぬいとシェルタックのどちらかを選ぶ用途選択画面になります。

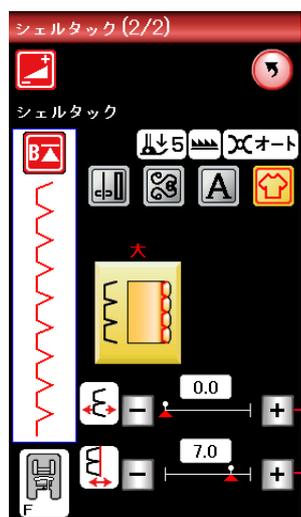
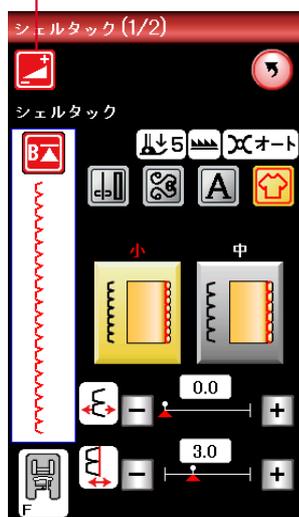
「シェルタック」キーを押すと、シェルタックの模様選択画面になります。

シェルタックに適した3種類の模様が選択できます。

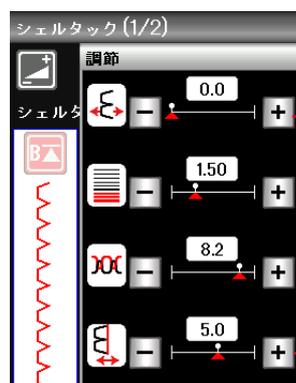
※ 模様選択画面は2つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

調節キー

〔模様選択画面/シェルタック〕



〔調節画面〕



模様位置調節キー

右針位置調節キー

模様位置調節キー

右針位置調節キー

① 模様  

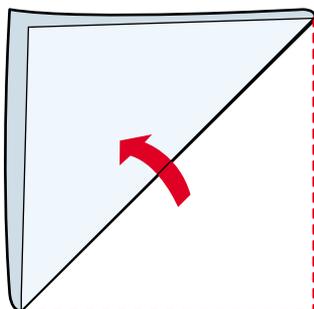
② 押さえ F: サテン押さえ

③ 押さえ圧調節ダイヤル ... 「5」

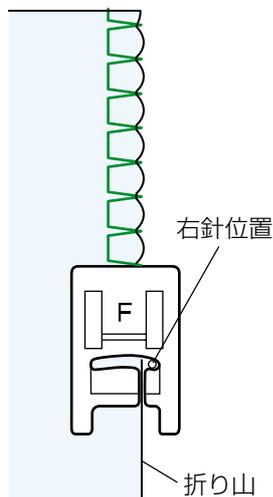
【ぬい方】（模様  の例）

- ① 布をバイヤスに2つ折りにします。
- ② 右の針位置が布の折り山のきわ（布の外側）におりるようにしてぬいます。

①



②



【針位置の調節方法】

※ 下記、模様位置調節キーおよび右針位置調節キーは、模様選択画面または調節キーを押して表示される調節画面のどちらにもあります。どちらを使用しても同じ設定ができます。

調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい/●実用ぬいの調節画面」（28ページ）をごらんください。

《模様位置調節キー》

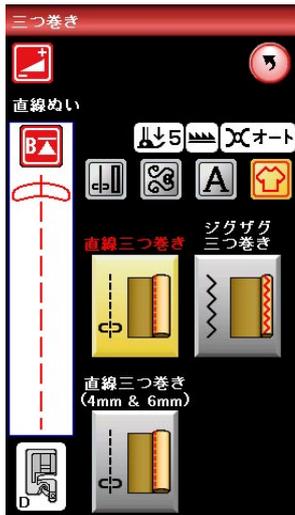
模様の幅をかえずに、模様のぬい位置を左右に移動させることができます。

《右針位置調節キー》

右側の針位置をかえることができます。左側の針位置は固定なので、右に模様の幅が変化します。

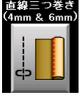
●三つ巻きぬい

〔模様選択画面／三つ巻きぬい〕



用途選択画面の「三つ巻き」キーを押すと、三つ巻きぬいの模様選択画面になります。

三つ巻きぬいに適した3種類の模様が選択できます。

※ 模様  は、オプションの「D1：三つ巻き押さえ」

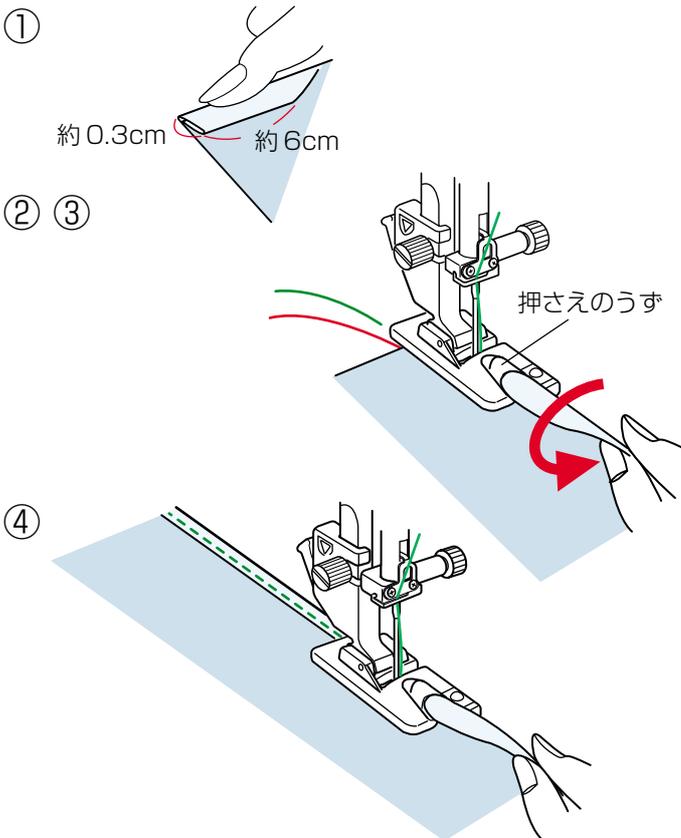
または「D2：三つ巻き押さえ」を使用して、標準の三つ巻き幅より広い幅をぬう場合に使います。

① 模様  

② 押さえ D：三つ巻き押さえ

③ 押さえ圧調節ダイヤル ... 「5」

【ぬい方】(模様  の例)



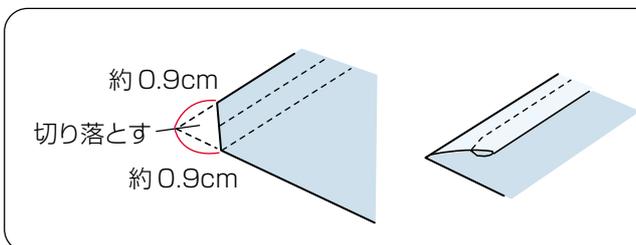
① 布端約6cmの長さを、約0.3cmの幅で三つ折りにします。

※ 折り目がつきにくい布は、アイロンで折り目をつけるとぬいやすくなります。

② 最初のぬい位置に針をさして押さえ上げをさげ、上糸と下糸をそろえて向こう側に引きながら1~2cmぬってミシンを停止します。

③ 針を布にさした状態で押さえ上げをあげ、布の三つ折りの部分を開いて、布端を押さえのうずの中に巻き込みます。

④ 押さえ上げをさげ、布端を立てて、左寄りに引きぎみに持ちあげながらぬいます。



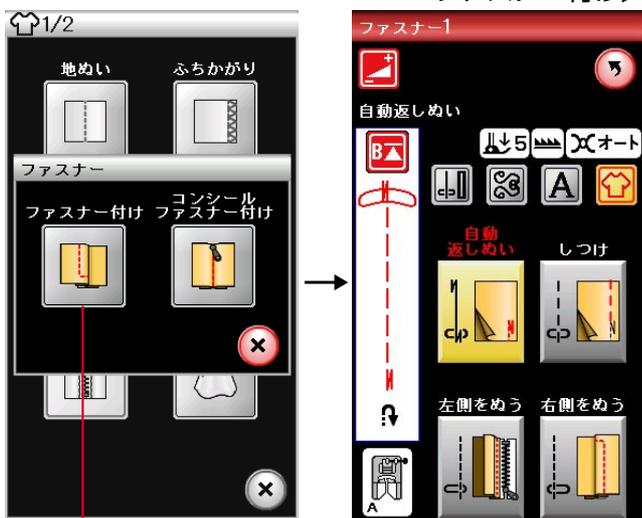
布端の始末

三つ巻きぬいの重なる角の部分は、厚みをうすくするために布端を切り落として折り合わせます。

●ファスナー付け

〔用途選択画面／ファスナー〕

〔模様選択画面／
ファスナー付け〕



ファスナー付けキー

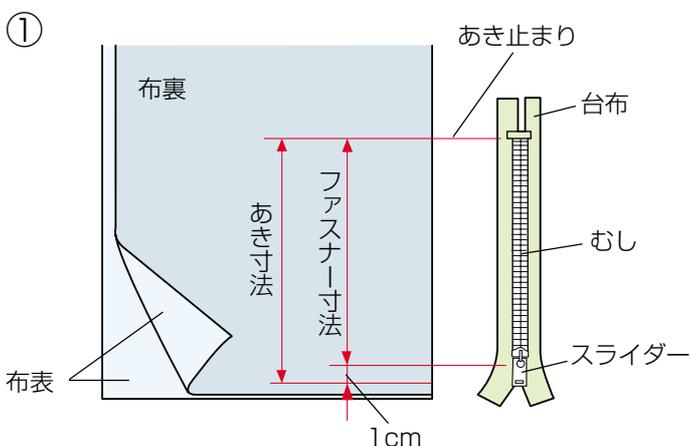
用途選択画面の「ファスナー」キーを押すと、2種類のファスナー付けの用途選択画面になります。

2種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に適したファスナー付けの模様選択画面になります。

ファスナー付けに適した10種類の模様が選択できます。

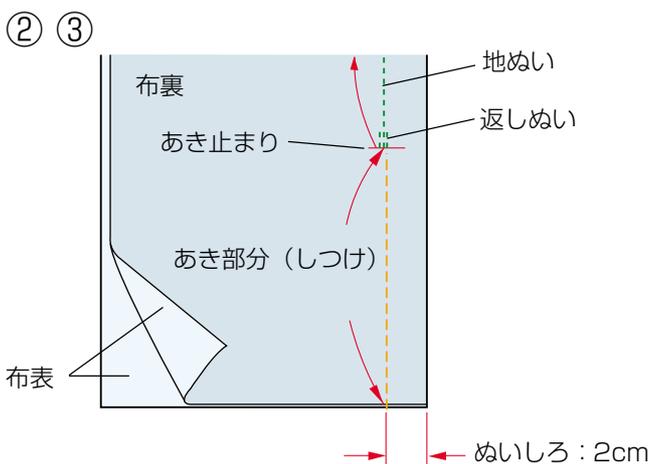
※ 用途  は、オプションの「Z：コンシールファスナー押さえ」を使用して、コンシールファスナー付けを行うための模様が選択できます。

① 模様				
② 押さえ	A：基本押さえ		E：ファスナー押さえ	
③ 押さえ圧調節ダイヤル ...	「5」			



【ぬい方】（左脇あきのぬい方例）

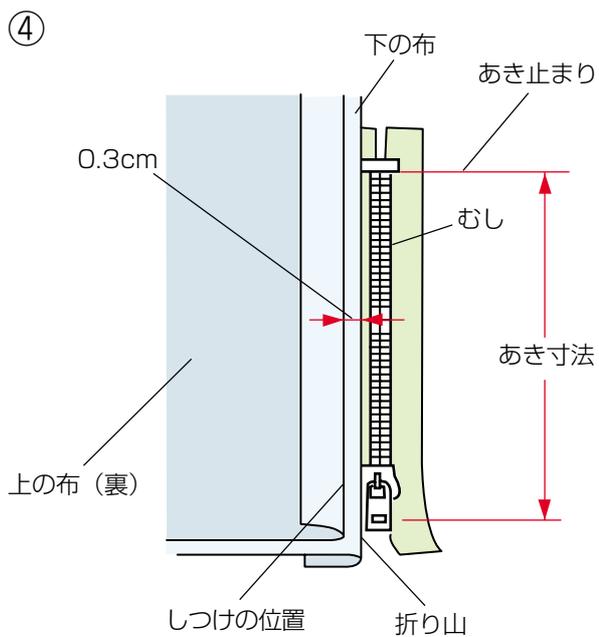
① ファスナーのあき寸法を確かめます。
あき寸法は、ファスナー寸法に1cmプラスした寸法です。



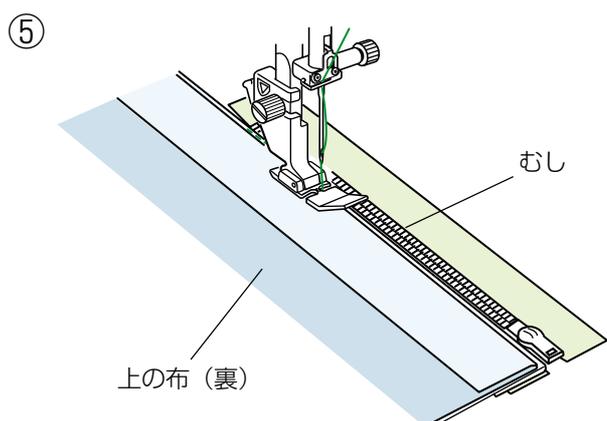
② 模様  を選び、A：基本押さえで、布を中表に合わせて、あき止まりまで地ぬいをします。

※ 模様  は自動返しぬいです。自動返しぬいのぬい方は、「◎実用ぬい／●直線（直線状模様）ぬい／★自動返しぬい」（37ページ）をごらんください。

③ 模様  を選び、あき部分のしつけをします。

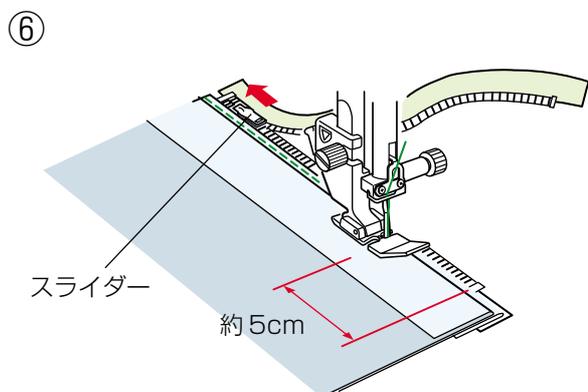


④ めいしろを割り、下の布のめいしろを0.3cm出してアイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあてます。



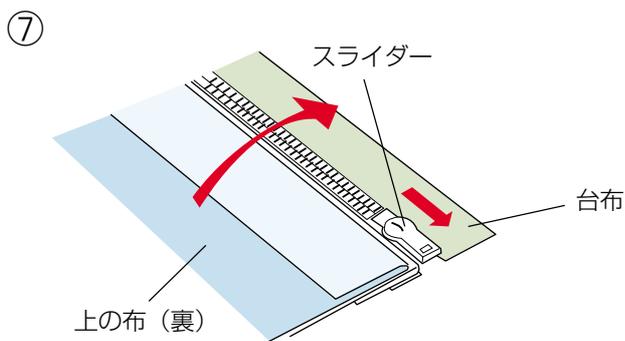
⑤ 模様  を選び、E：ファスナー押さえに付けかえ、むしのきわを押さえの右側面にあて、あき止まりからファスナーの左側をぬいます。

※ めい始めのほつれ止めは数針返しぬいをします。



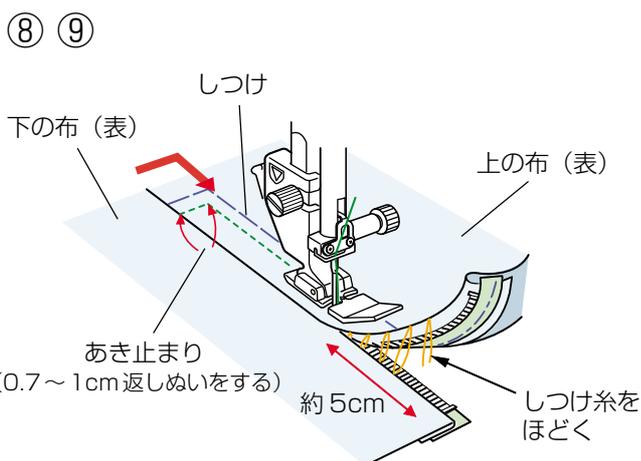
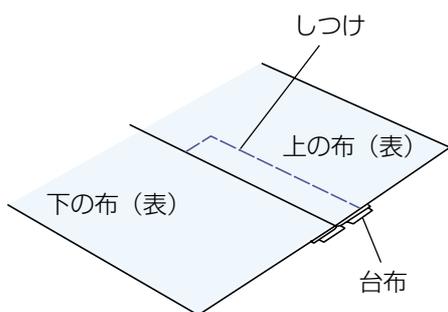
⑥ ファスナーの端から約5cmほど手前でミシンを停止し、針を布にさした状態で押さえ上げをあげ、スライダを押さえの向こう側にずらし、押さえ上げをさげて残りの部分をぬいます。

※ めい終わりのほつれ止めは数針返しぬいをします。



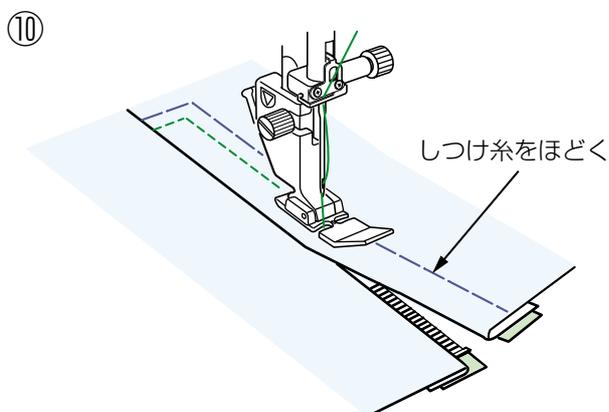
⑦ ファスナーを閉じ、スライダーを上にあたおし、上の布をファスナーの上にかぶせます。

模様  を選び、A：基本押さえに付けかえ、かぶせた布と台布をしつけで止めます。



⑧ 模様  を選び、E：ファスナー押さえに付けかえ、上の布のあき止まりを0.7～1cmほど返しぬいしてから、むしのきわを押さえの左側面にあて、ファスナーの右側をぬいます。

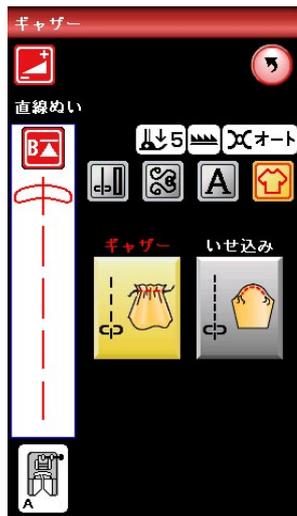
⑨ ファスナーの上側を5cmほど残したところでミシンを停止し、針を布にさした状態で押さえ上げをあげ、手順③でぬったしつけ糸をほどき、スライダーを押さえの向こう側にずらします。



⑩ 押さえ上げをさげて残りの部分をぬいます。ぬい終わったら手順⑦でぬったしつけ糸をほどきます。

●ギャザー

〔模様選択画面／ギャザー〕



用途選択画面の「ギャザー」キーを押すと、ギャザーの模様選択画面になります。

ギャザーに適した2種類の模様が選択できます。

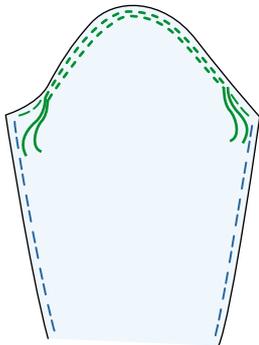
① 模様  

② 押さえ A：基本押さえ

③ 押さえ圧調節ダイヤル ... 「5」

【ぬい方】（模様  の例)

②



① 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約10cmほど引き出しておきます。

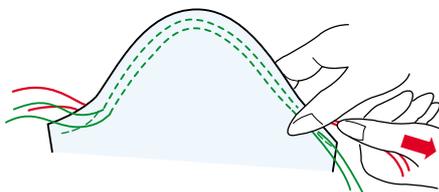
※ 下糸を針板の上に引き出す方法は、「◎ぬう前の準備／●下糸を針板の上に引き出す場合」(26ページ)をごらんください。

② 0.5～0.7cmの間かくで2本平行にぬいます。

③ 布を軽くつまみ、上糸をそのままにして下糸を両側から引き、まるみを付けます。

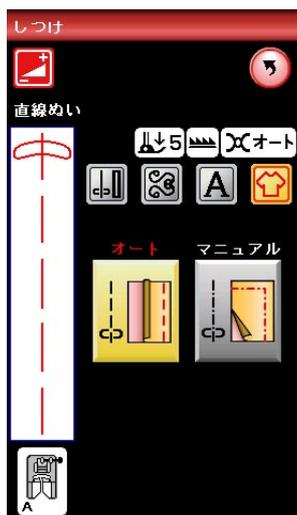
※ ひだがよらないように注意して糸を引いてください。

③



●しつけ

〔模様選択画面／しつけ〕



用途選択画面の「しつけ」キーを押すと、しつけの模様選択画面になります。

しつけに適した2種類の模様が選択できます。

模様  は、ぬい目のあらかさが最大値（約0.5cm）の直線ぬいを自動的にぬうことができます。あとで糸をほどこしやすいように、糸調子が弱く設定されています。

模様  は、お好みの間かくを1針ずつ手で布を移動させてぬうことができます。ぬい方は、「◎実用ぬい／●しつけぬい」（41ページ）をごらんください。

●ボタン付け

〔模様選択画面／ボタン付け〕

調節キー



間かくの値

間かく調節キー

用途選択画面の「ボタン付け」キーを押すと、ボタン付けの模様選択画面になります。

ボタン付けに適した2種類の模様が選択できます。

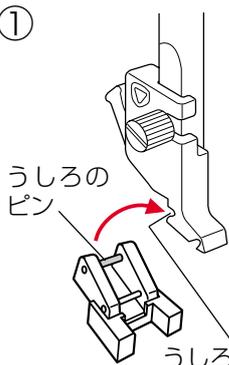
※ ボタン付けは送り歯をさげた状態にし、布送り機能がない状態でぬいます。

送り歯のさげ方は、「◎操作方法／●送り歯ドロップつまみ」（13ページ）をごらんください。

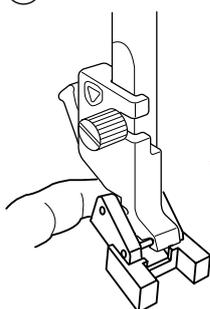
⚠ 注意

必ず針がボタンの左右の穴におりることを確認してください。ボタンに針があたると針が折れ、けがの原因になります。

①



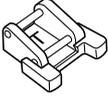
②



ボタン付け押さえの取り付け方

押さえを交換する場合の基本操作は、「◎操作方法／●押さえの外し方、付け方」（15ページ）をごらんください。

- ① 押さえのうしろのピンを押さえホルダーのうしろのみぞにかけます。
- ② 押さえのうしろを軽くささえながら押さえ上げをさげて取り付けます。

① 模様  

② 押さえ T: ボタン付け押さえ

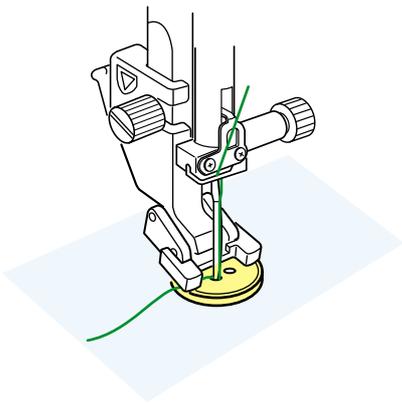
③ 押さえ圧調節ダイヤル ... 「5」

※ 送り歯をさげます。(13 ページ参照)

【ぬい方】(模様 の例)

※ 模様  は、ぬいが終了すると自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっても針は上の位置で停止します。)

② ③ ④ ⑤



① ボタンの左右の穴の間かくをはかり、模様選択画面(前ページ参照)の間かく調節キーで、画面の数値を間かくと同じ値に設定します。(最大7.0mmまで調節できます。)

※ 間かく調節キーは、調節キーを押して表示される調節画面にもあります。どちらを使用しても同じ設定ができます。

② ボタンを押さえの下に置き、はずみ車を手で手前にまわしてボタンの左の穴に針をさします。

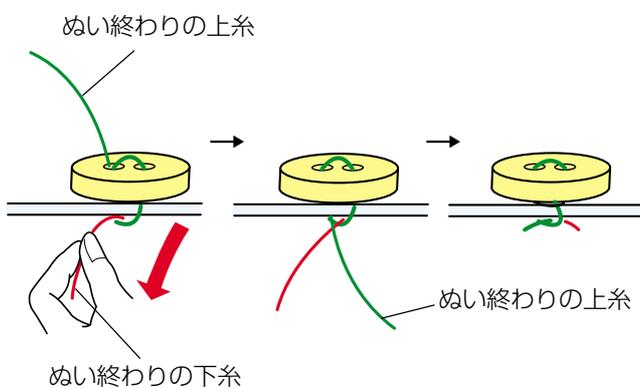
③ ボタンの左右の穴が真横になるようにして、押さえ上げをさげます。

④ はずみ車を手で手前にまわし、針がボタンにあたらないうで、ボタンの右の穴に入ることを確認します。

※ 針がボタンにあたる場合は、間かく調節キーで調節してください。(左側の針位置は固定で、右側の針位置が移動します。)

⑤ ミシンをスタートさせると、必要な針数をぬったあと自動的にミシンは停止します。

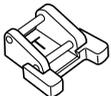
⑥ ⑦



⑥ 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を10~20cm残して切ります。(糸切りボタンで切らないでください。)

⑦ ぬい始めの上糸と下糸をボタンのきわで、はさみで切ります。

ぬい終わりの上糸と下糸は、下糸を引いて上糸を布の裏側に引き出し、上糸と下糸を結んでから切ります。

① 模様  

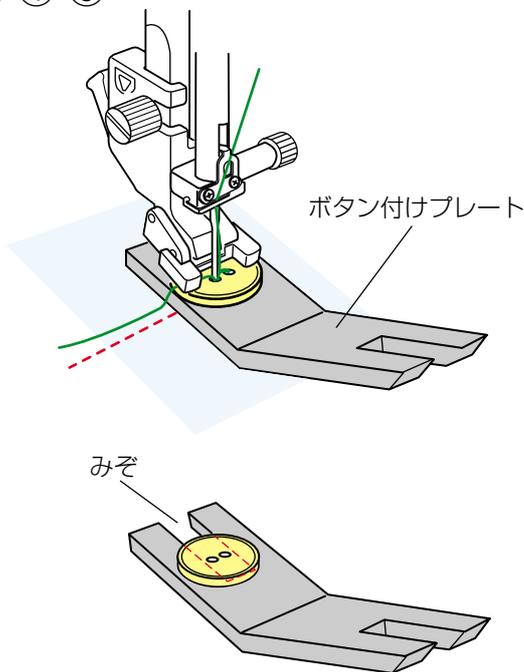
② 押さえ T: ボタン付け押さえ

③ 押さえ圧調節ダイヤル ... 「3」

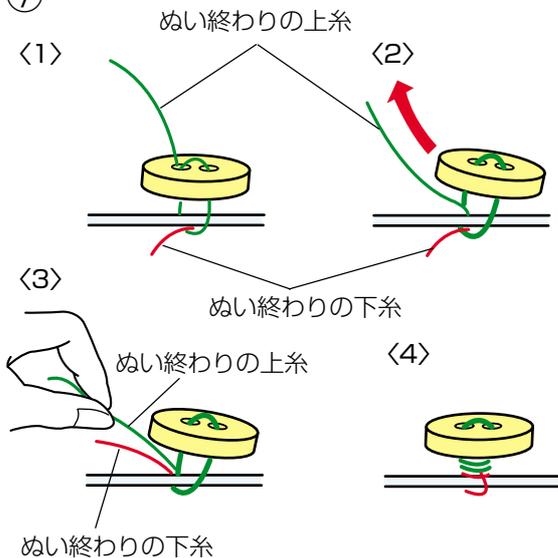
※ 送り歯をさげます。(13 ページ参照)

※ 模様  は、ぬいが終了すると自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)

② ③ ④ ⑤



⑥ ⑦



【ぬい方】(模様 の例)

根巻きボタン付けは、付属のボタン付けプレートを使用し
てぬいます。(ボタンの厚さが厚いものは使用できませ
ん。)

① ボタンの左右の穴の間かくをはかり、模様選択画面の間
かく調節キーで、画面の数値を間かくと同じ値に設定
します。(最大 7.0mm まで調節できます。)
(模様選択画面は 93 ページ参照)

※ 間かく調節キーは、調節キーを押して表示される調節
画面にもあります。どちらを使用しても同じ設定がで
きます。

② ボタンを押さえの下に置き、はずみ車を手で手前にま
わしてボタンの左の穴に針をさします。

③ ボタンの下にボタン付けプレートを差し込み、ボタ
ンの左右の穴が真横になるようにして、押さえ上げをさ
げます。

※ ボタン付けプレートは、みぞの部分がボタン穴の下に
なるように差し込んでください。

※ ボタン付けプレートは、厚い方が 4.5mm、うすい方
が 3mm になっています。根巻きの用途に合わせてお
選びください。

④ はずみ車を手で手前にまわし、針がボタンおよびボ
タン付けプレートにあたらないうで、ボタンの右の穴に入
ることを確認します。

※ 針がボタンにあたる場合は、間かく調節キーで調節し
てください。(左側の針位置は固定で、右側の針位置が
移動します。)

⑤ ミシンをスタートさせると、必要な針数をぬったあと
自動的にミシンは停止します。

⑥ 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を 10~
20cm 残して切ります。(糸切りボタンで切らないでく
ださい。)

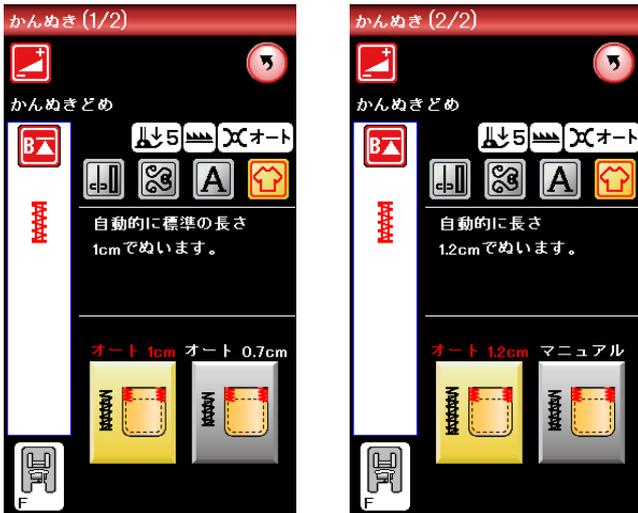
⑦ ぬい始めの上糸と下糸をボタンのきわで、はさみで切
ります。

ぬい終わりの上糸と下糸は、上糸をボタンと布のあい
だに引き出し、次にその上糸を引いて下糸をボタンと
布のあいだに引き出します。

上糸と下糸を浮かせた足の部分にそれぞれ反対方向に
数回巻き付けて結びます。

●かんぬき止め

〔模様選択画面／かんぬき止め〕



用途選択画面の「かんぬき」キーを押すと、かんぬき止めの模様選択画面になります。

かんぬき止めに適した4種類の模様が選択できます。

※ 模様選択画面は2つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

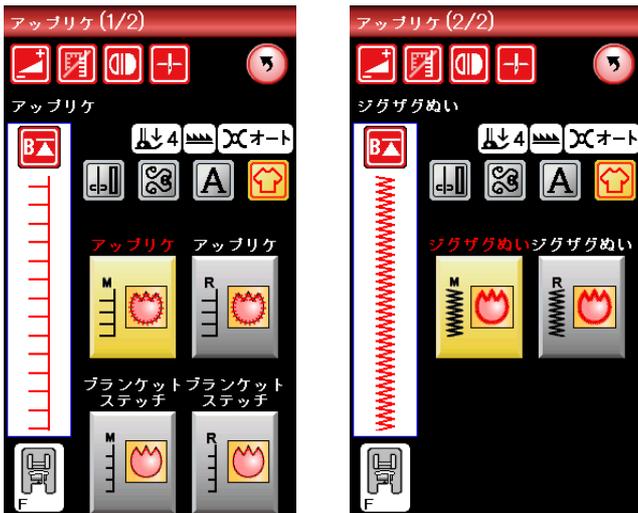
模様  は、かんぬき止めの長さがそれぞれ1cm、0.7cm、1.2cmの固定値になっています。

模様  は、お好みの長さ（最大2.5cm）がぬえます。

ぬい方は、「◎ボタンホール／●かんぬき止め」（57ページ）をごらんください。

●アップリケ

〔模様選択画面／アップリケ〕



用途選択画面の「アップリケ」キーを押すと、アップリケの模様選択画面になります。

アップリケに適した6種類の模様が選択できます。

※ 模様選択画面は2つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

画面の模様選択キーに表示されている「M」「R」は、ぬい目の幅をかえたときの基準位置です。

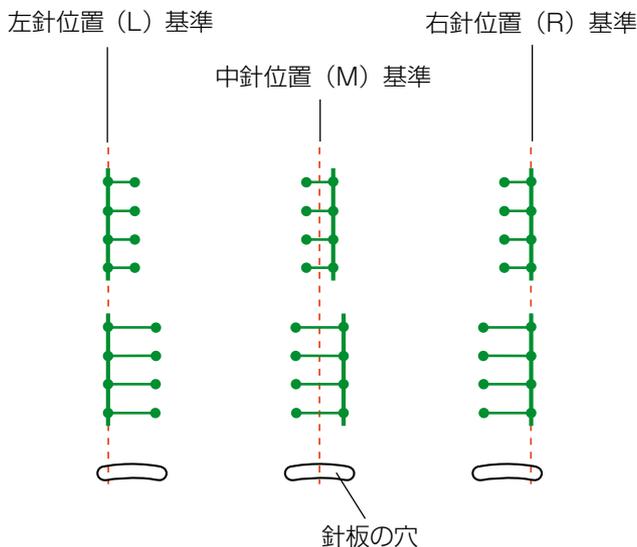
模様  の「M」は、ぬい目の幅をかえたときに、中針位置（中央）を基準（固定）に左右に幅が変化します。

模様  の「R」は、ぬい目の幅をかえたときに、右針位置を基準（固定）に左に幅が変化します。

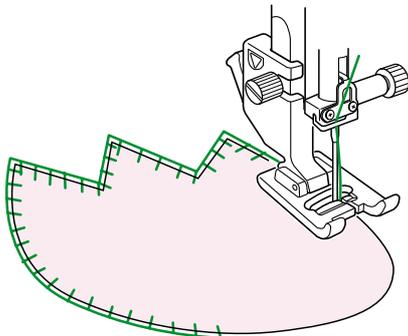
※ アップリケに使用できる模様は、飾りぬい模様グループのアップリケグループにもあります。

アップリケグループの模様選択キーに表示されている「L」は、上記同様、ぬい目の幅をかえたときに、左針位置を基準（固定）に右に幅が変化します。

飾りぬい模様グループは、「◎飾りぬい」（59ページ）をごらんください。



- ① 模様 
- ② 押さえ F：サテン押さえ
- ③ 押さえ圧調節ダイヤル ... 「4」

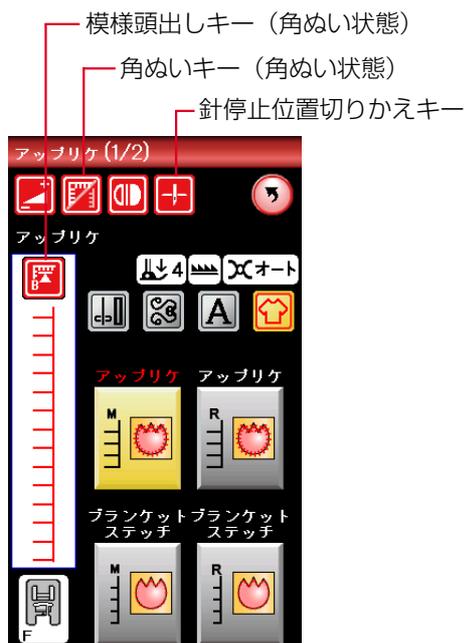


【ぬい方】（模様 の例）

アップリケ布をのり付けするか、しついで止めます。
 模様の針位置が右のときに、アップリケ布の縁の外側にささるようにぬいます。

カーブのところや方向転換するところでは、アップリケ布の外側に針がささった位置でミシンを停止し、針をさしたまま押さえ上げをあげて方向をかえるときれいに仕上がります。

【模様選択画面】



針停止位置切りかえキーの使い方

セットキーによるミシンの設定で、針停止位置の設定が「上位置停止」に設定されていても、用途選択の6種類のアップリケ模様を選択すると、ミシンが停止したときの針位置は下位置になります。ミシンを停止したときの針位置を上にした場合は、模様選択画面の針停止位置切りかえキーを押して上位置停止状態にしてください。



：下位置停止状態



：上位置停止状態

※ セットキーによる、針停止位置の設定は、「◎ミシンの設定／【通常ぬい設定】③針停止位置」（151ページ）をごらんください。

角ぬいキーの使い方

模様選択画面の角ぬいキーを利用すると、角の部分で方向転換してから模様頭出しキーにより模様を最初からぬっても、模様のぬい始めにほつれ止めの止めぬいが入らないので、模様をきれいにぬうことができます。

※ 模様頭出しキーは、「◎飾りぬい／●模様組み合わせモード／★模様頭出しキーの使い方」（66ページ）をごらんください。

① 角ぬいキーを押してキーの表示を角ぬいの状態にします。（角ぬいの状態にセットすると、模様頭出しキーの表示も角ぬい状態の表示にかわります。）



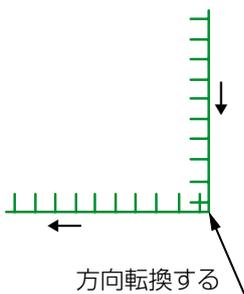
：通常の状態



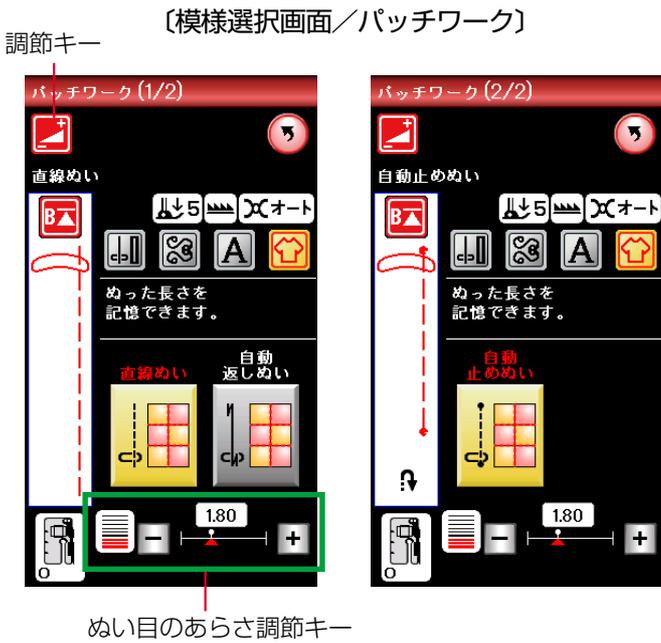
：角ぬいの状態

② 方向転換するところのアップリケ布の外側に針がささった位置でミシンを停止します。

③ 針をさしたまま押さえ上げをあげて布の方向をかえ、模様頭出しキーを押してからミシンをスタートさせます。



●パッチワーク



用途選択画面の「パッチワーク」キーを押すと、パッチワークの模様選択画面になります。

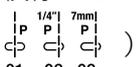
パッチワーク（ピーシング）に適した3種類の模様が選択できます。

※ 模様選択画面は2つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 3種類の模様は、0：パッチワーク押さえを利用してぬうと、1/4インチ（0.65cm）のぬいしろを正確にぬうことができます。

※ 模様   は、自動返しぬいおよび自動止めぬいです。

自動返しぬいおよび自動止めぬいのぬい方は、「◎実用ぬい／●直線（直線状模様）ぬい／★自動返しぬい、★自動止めぬい」（37ページ）をごらんください。

※ ピーシング用の模様は、飾りぬい模様グループのキルトグループにもあります。（模様  ）

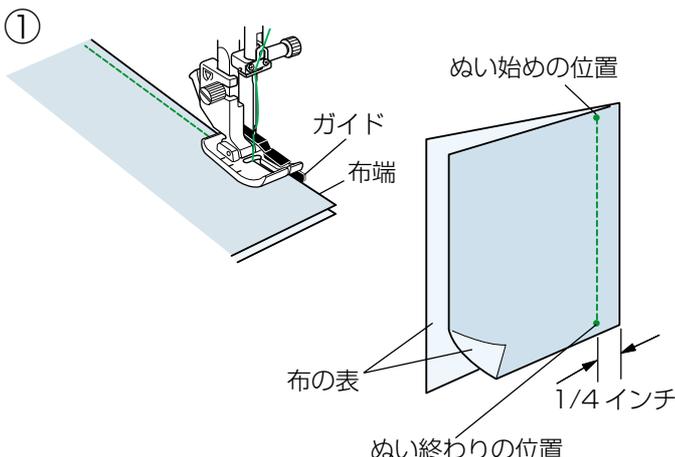
模様  は、上記、パッチワークの3種類の模様と同様、パッチワーク押さえを利用してぬうと、1/4インチのぬいしろを正確にぬうことができます。

模様  は、パッチワーク押さえを利用してぬうと、0.7cmのぬいしろを正確にぬうことができます。飾りぬい模様グループは、「◎飾りぬい」（59ページ）をごらんください。



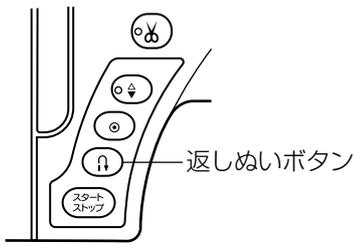
【ぬい方】（模様  の例）

スタート/ストップボタンを使用した場合



① 布を中表に合わせ、ぬい始めの位置からミシンをスタートさせ、ぬい終わりの位置でミシンを停止します。

②



② 返しぬいボタンを一度押します。

その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

③

【ぬい完了後のメッセージ画面】



③ ミシンが停止するとメッセージ画面が表示されます。

- 引き続き同じ長さをぬう場合は、OK キーを押します。ぬい長さが記憶され、ミシンをスタートさせるだけで、返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのものを自動的にぬってミシンは停止します。

- 異なる長さをぬう場合は、閉じるキーを押します。

※ ぬい目のあらかさの調節は、模様選択画面上でもできます。(調節キーを押して表示される調節画面と同じ設定ができます。)

針板角度目盛りの使い方

パッチワーク布 (ピース) の角度と同じ角度目盛りに布端を合わせると、しるしなしで 1/4 インチ (0.65cm) のぬい始めの位置を決めることができます。

【例】レモンスター

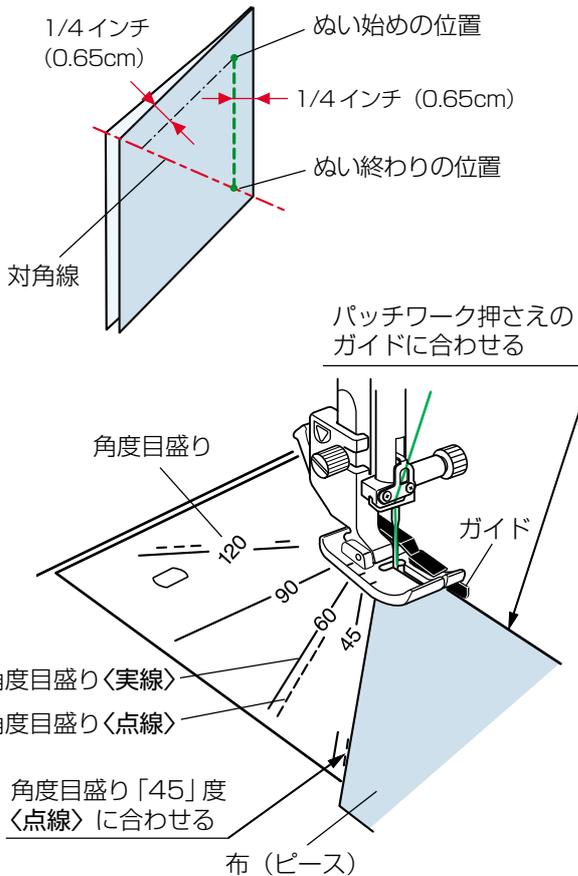
① パッチワーク押さえをセットし、用途選択のパッチワーク 3 種類の模様、または飾りぬい模様グループのキルトグループ、模様 $\frac{1/4"}{P}$ $\frac{1}{02}$ を選びます。

② ピースの対角線に折り目を付けます。

③ ぬい始めは、布端をパッチワーク押さえのガイドおよび角度目盛り「45」度〈点線〉に合わせて布を置きます。

※ パッチワーク押さえを使わず基本押さえなどを使用する場合は、飾りぬい模様グループのキルトグループ、模様 $\frac{1}{01}$ (中針位置の直線) を選び、布端を針板のガイドライン 1/4 インチおよび角度目盛り「45」度〈実線〉に合わせて布を置きます。

④ ぬい終わりは対角線までぬいます。



●キルティング

〔用途選択画面／キルティング〕



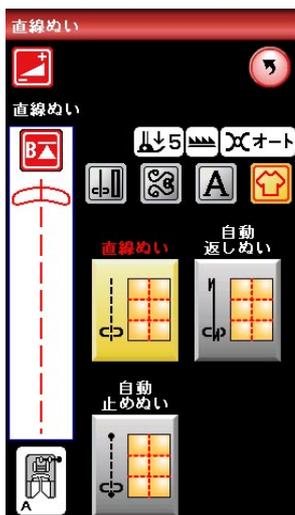
用途選択画面の「キルティング」キーを押すと、5種類のキルティングの用途選択画面になります。

5種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に適したキルティングの様式選択画面になります。

キルティングに適した17種類の様式が選択できます。

★直線ぬい

〔模様選択画面／直線ぬい〕



キルティングの用途選択画面（上図参照）の「直線ぬい」キーを押すと、3種類の直線ぬいの様式が選択できます。

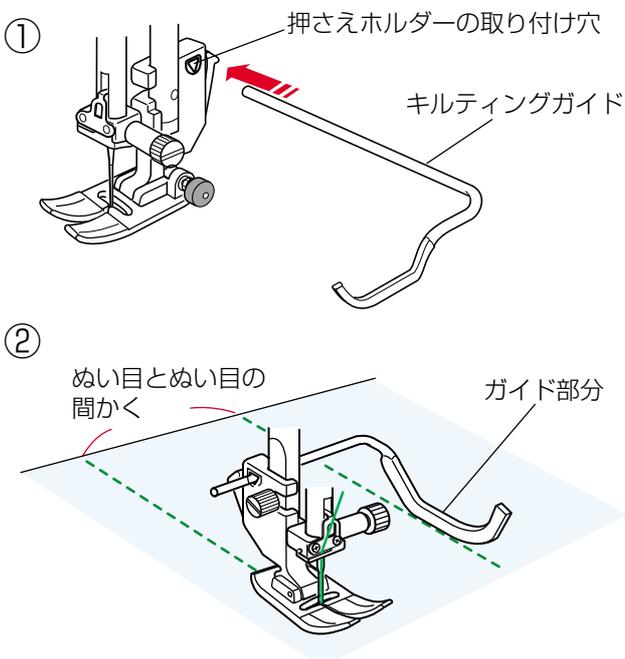
※ ぬい方は、「◎実用ぬい／●直線（直線状模様）ぬい」（35ページ）をごらんください。

【キルティングガイドの使い方】

※ キルティングガイドは、モデルによりオプションになります。

キルティングガイドを利用すると、前にぬったぬい目と平行に等間かくでぬうことができます。

〔キルティングガイド〕

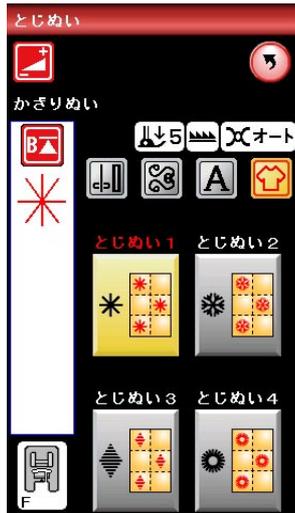


① 押さえホルダーのうしろの取り付け穴にキルティングガイドを差し込みます。(針位置とキルティングガイドのガイド部分までの距離がぬう間かくになります。)

② キルティングガイドのガイド部分に隣のぬい目を合わせながらぬいます。

★とじぬい

〔模様選択画面／とじぬい〕



キルティングの用途選択画面（前ページ参照）の「とじぬい」キーを押すと、4種類のとじぬいの模様が選択できます。

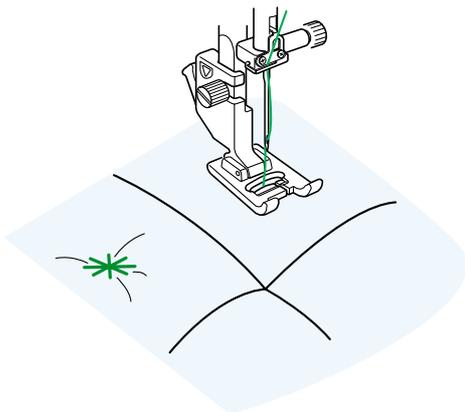
厚みのあるキルト綿をとじるときに使用します。

※ とじぬい模様は1つの模様が完成すると、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

① 模様  

② 押さえ F：サテン押さえ

③ 押さえ圧調節ダイヤル ... 「5」



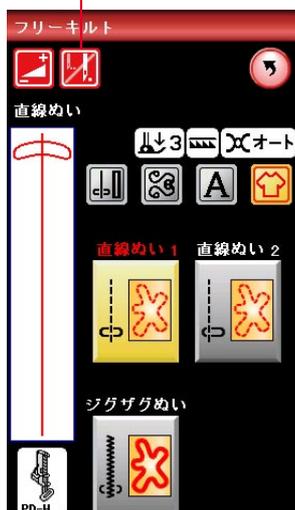
【ぬい方】（模様  の例）

ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。

★フリーキルティング

〔模様選択画面／フリーキルティング〕

1 針停止キー

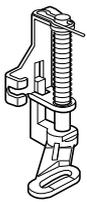


キルティングの用途選択画面（前ページ参照）の「フリーキルト」キーを押すと、3種類のフリーキルティングの模様が選択できます。

※ フリーキルティングは、通常は送り歯をさげた状態にし、布送り機能がない状態でぬいます。

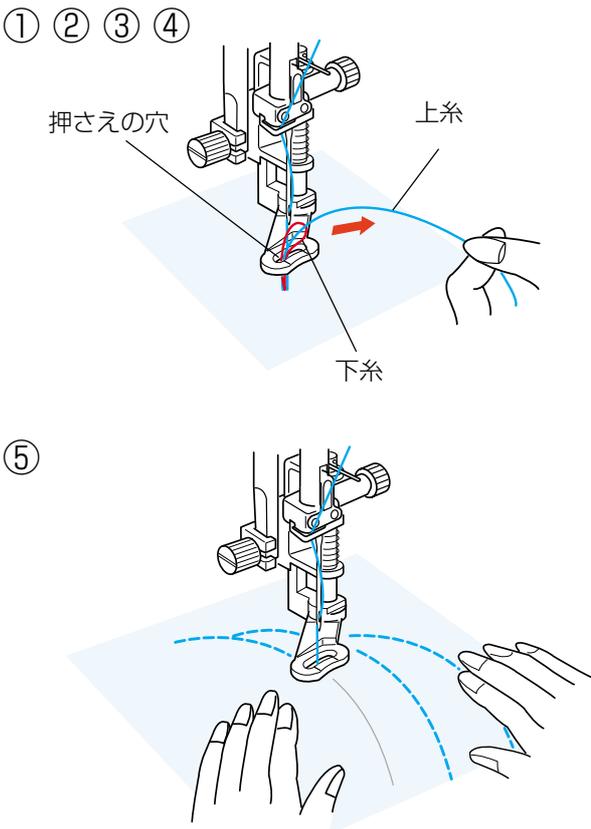
送り歯のさげ方は、「◎操作方法／●送り歯ドロップつまみ」（13ページ）をごらんください。

① 模様 

② 押さえ PD-H：フリーキルト押さえ 

③ 押さえ圧調節ダイヤル ... 「3」

※ 送り歯をさげます。(13 ページ参照)



【ぬい方】(模様  の例)

※ PD-H：フリーキルト押さえの取り付け方は、「◎実用ぬい／●しつけぬい」(41 ページ) をご覧ください。

- ① 布をセットし、上糸の端を押さえの横の方の針から離れたところで持ちます。(上糸は押さえの穴に入れないでください。)
- ② ミシンをスタートさせます。
ミシンは1針ぬって停止します。
- ③ 上糸を上へ引いて、下糸を引き出します。
※ 下糸を布の裏側でぬい込まないために、布の上へ下糸を引き出します。
- ④ 引き出した上糸と下糸を押さえの穴から下に通し、布の上のぬい込まない位置に手で押さえます。
- ⑤ もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。
図案にそって両手で布を案内しながらキルティングします。

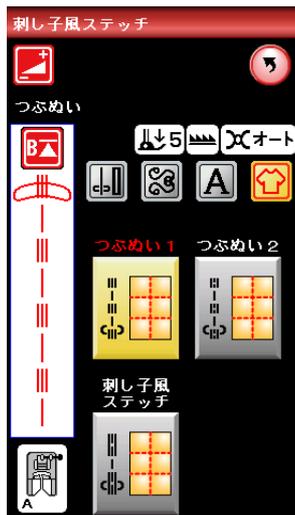
1 針停止キーの使い方



- ・フリーキルティング模様を選んだ直後、模様選択画面の1針停止キーの表示は  になっています。
この状態でミシンをスタートさせるとミシンは自動的に1針ぬって停止し、キーの表示が  にかわります。
この表示の状態でもシンを再スタートさせると連続してぬいます。
- ・最初から連続してぬいたい場合は、1針停止キーを押してキーの表示を  にかえてください。
※ キーは、押すごとに2つの表示が切りかわります。
- ・フリーキルト模様をぬったあと、そのまま同じ模様を別の場所にぬう場合、ミシンをスタートさせてから自動的に1針ぬって停止したいときは、1針停止キーを押してキーの表示を  にかえてください。

★刺し子風ステッチ

〔模様選択画面／刺し子風ステッチ〕



キルティングの用途選択画面（100ページ参照）の「刺し子風ステッチ」キーを押すと、3種類の刺し子風ステッチの模様が選択できます。

★手ぬい風キルトぬい

〔模様選択画面／手ぬい風キルトぬい〕



キルティングの用途選択画面（100ページ参照）の「手ぬい風キルトぬい」キーを押すと、4種類の手ぬい風キルトぬいの模様が選択できます。

※ 手ぬい風キルトぬいの模様は、飾りぬい模様グループのキルトグループの4/4ページにもあります。飾りぬい模様グループは、「◎飾りぬい」（59ページ）をごらんください。

① 模様  

② 押さえ F：サテン押さえ

③ 押さえ圧調節ダイヤル ... 「5」

【ぬい方】（模様 の例）

手ぬい風キルトぬいの模様は、下糸が上に引きあげられるので、ステッチが手ぬい風に見えます。

上糸はナイロン糸、下糸は普通の糸を使用してぬいます。針は14～16番を使用します。



◎ 2本針ぬい

⚠ 注意

針を交換するときは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にするか、電源スイッチを切ってください。けがの原因になります。

付属の2本針を使用して2本針ぬいを行うと、きれいな飾りぬいができます。

- 2本針ぬいは、実用ぬいグループおよび飾りぬいの模様グループができます。
(模様によってはできない模様があります)
ボタンホールグループ、飾りぬい模様の模様組み合わせモード、文字ぬいおよび用途選択の模様はできません。
- 2本針ぬいは、付属の2本針をご使用ください。
2本針の交換方法は、「◎操作方法／●針の取りかえ方」(18ページ)をごらんください。
- ぬい終わりの上糸と下糸はミシンの面板に付いている糸切りで切ってください。(糸切りボタンを使用しないでください)
面板の糸切りの使い方は、「◎実用ぬい／●直線(直線状模様)ぬい／★直線ぬい(中針位置)／〔面板の糸切りの使い方〕欄」(36ページ)をごらんください。
- 2本針ぬいは、試しぬいをして確認してください。

【上糸のかけ方】

※ 2本針ぬいを行うときは、補助糸立て棒を使います。
補助糸立て棒の取り付け方法は、「◎ぬう前の準備／●下糸の準備／★補助糸立て棒の使い方」(20ページ)をごらんください。

※ 糸は、60番および60番より細い糸を使用してください。

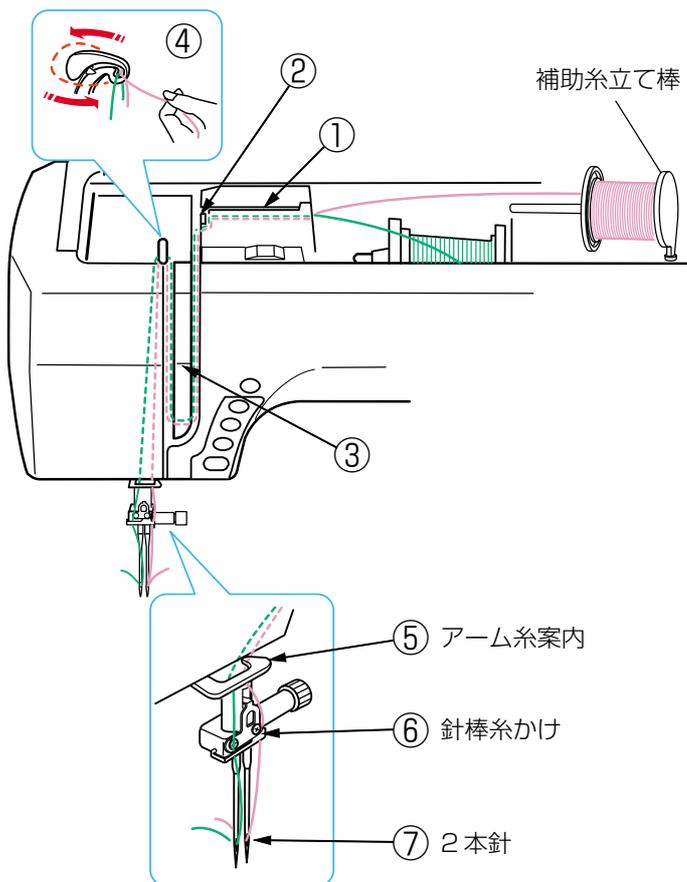
2つの糸こまから引き出した2本の糸は、途中でよじれないように①～⑦の手順で正しくかけてください。

①～⑤
糸のかけ方は、針が1本のとときの通常の上糸かけの手順①～⑤と同じです。
「◎ぬう前の準備／●上糸の準備／★上糸かけ」(24ページ)をごらんください。

⑥ 1本の糸は針棒糸かけに左からかけます。
もう1本の糸は針棒糸かけに右からかけます。

⑦ 2本針に左右に分けて糸を通します。

※ 2本針は糸通しが使えません。針穴に糸を通すときは、手で針の手前から向こう側に通してください。

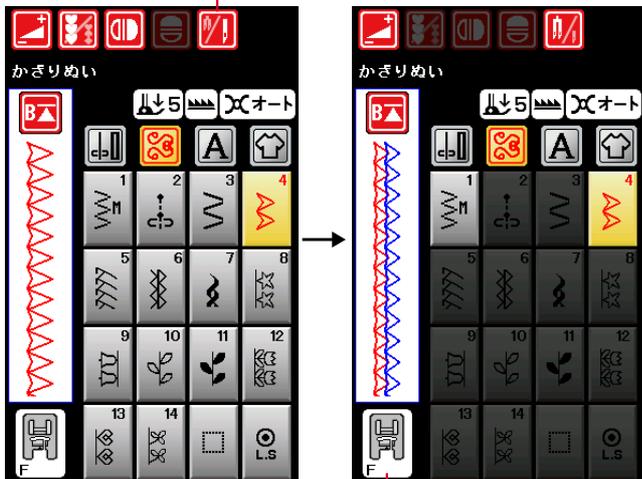


① ②

〔模様選択画面〕
1本針ぬい設定状態

〔模様選択画面〕
2本針ぬい設定状態

2本針ぬい切りかえキー



押さえ表示

〔画面【A】〕 2本針ぬいに適さない模様が選ばれている場合の画面



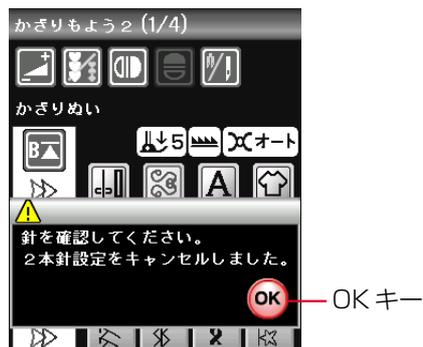
③

《模様  の例》



④

〔針交換確認のメッセージ画面〕



【ぬい方】

(飾りぬい模様／飾り模様2グループ、模様  の例)

① 模様選択画面の2本針ぬい切りかえキーを押して2本針ぬい設定にします。

 : 1本針ぬい設定状態

 : 2本針ぬい設定状態

※ ぬい目の幅が最大3.0mmに制限されます。
直線状模様の場合は、針位置が3.0～6.0の範囲に制限されます。

2本針ぬいを行うときは、安全のために、必ず2本針ぬい切りかえキーを押して2本針ぬい設定状態にしてください。

※ 2本針ぬい設定状態にすると、2本針ぬいに適さない模様の模様選択キーの色がグレーにかわり、キーを押しても受け付けられないようになります。

1本針ぬい設定状態で2本針ぬいに適さない模様が選ばれているときは、2本針ぬい切りかえキーの色がグレーになっていて、押しても受け付けられないようになっています。(左図、画面【A】参照)

2本針ぬいに設定する場合は、2本針ぬいに適した模様を選んでキーの色を赤色にかえてから2本針ぬい設定状態にしてください。

② ぬい模様に適した押さえに交換します。

※ 2本針ぬいに使用する押さえは、A：基本押さえまたはF：サテン押さえです。

画面の押さえ表示にしたがった押さえを使用してください。

③ 上糸を、A：基本押さえを使用している場合は押さえの下から向こう側に、F：サテン押さえを使用している場合は押さえの下から横に引き出し、押さえ上げをさげてぬい始めます。

※ ぬい方向をかえるときは、針をあげてから布の方向をかえてください。

④ 2本針ぬいが終了したら通常の針に交換します。

※ 2本針を取り付けた状態で通常のぬいを行うと、針が押さえや針板にあたる場合があります。

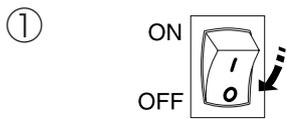
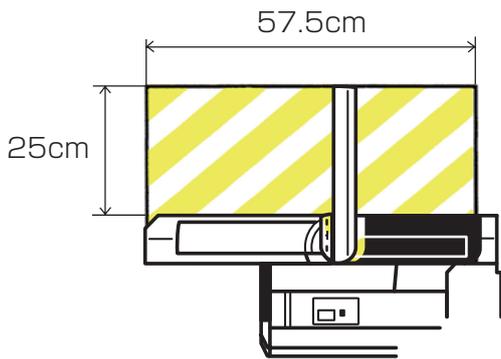
※ 2本針ぬい設定状態は、もう一度2本針ぬい切りかえキーを押すか、電源スイッチを一度切り、再度電源スイッチを入れると解除されます。

2本針ぬい切りかえキーを押した場合は、針交換確認のメッセージ画面が表示されます。OKキーを押すとメッセージ画面が消えます。

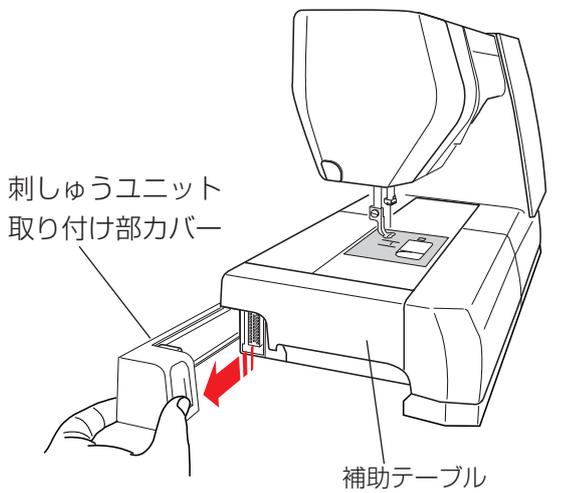
◎刺しゅう

●刺しゅうの準備

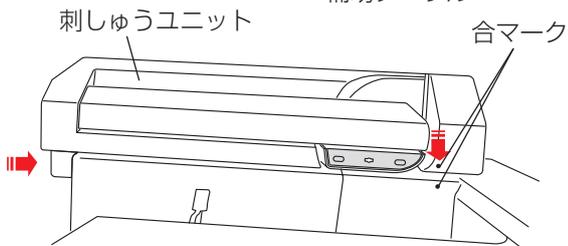
★刺しゅうユニットの取り付け方



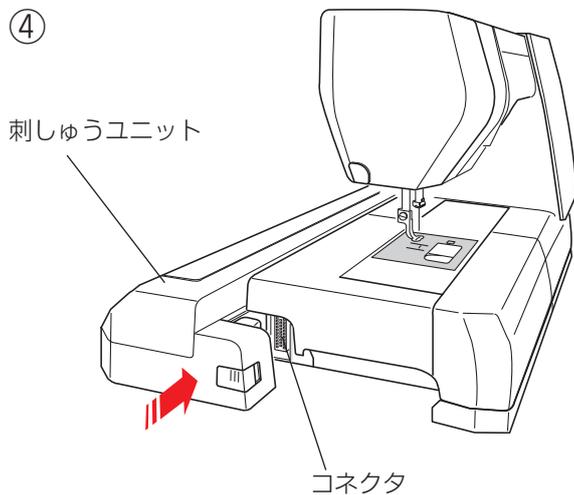
②



③



④



⚠ 注意

刺しゅう枠が自由に動けるくらいの十分なスペースを確保してください。

左図で示されたはんいには物を置かないでください。故障やけがの原因になります。

① 電源スイッチを切ります。

② 刺しゅうユニット取り付け部カバーを外します。

※ オプションのフリーアーム刺しゅう枠を使うとき以外は、補助テーブルをミシンに付けてください。

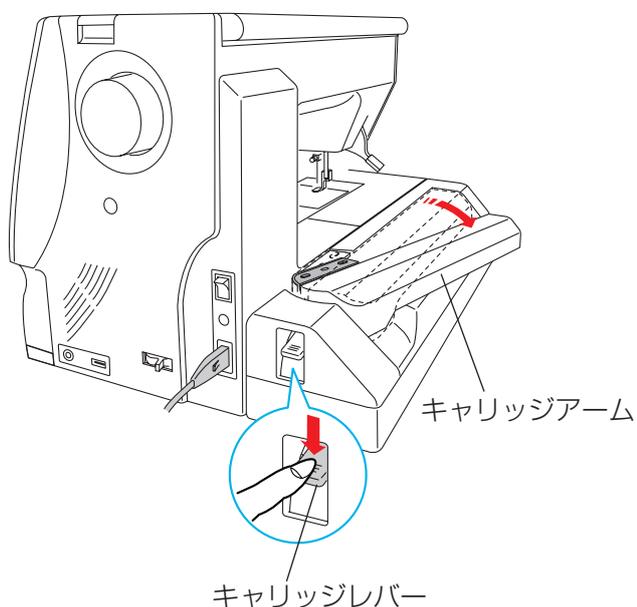
③ 刺しゅうユニットを両手で持ち、ミシン本体の合マークに刺しゅうユニットの合マークを合わせます。

④ 合マークを合わせた状態で、刺しゅうユニットを矢印方向にスライドさせ、ミシン本体に取り付けます。

※ ミシン本体コネクタにしっかり入るまで刺しゅうユニットをスライドさせてください。

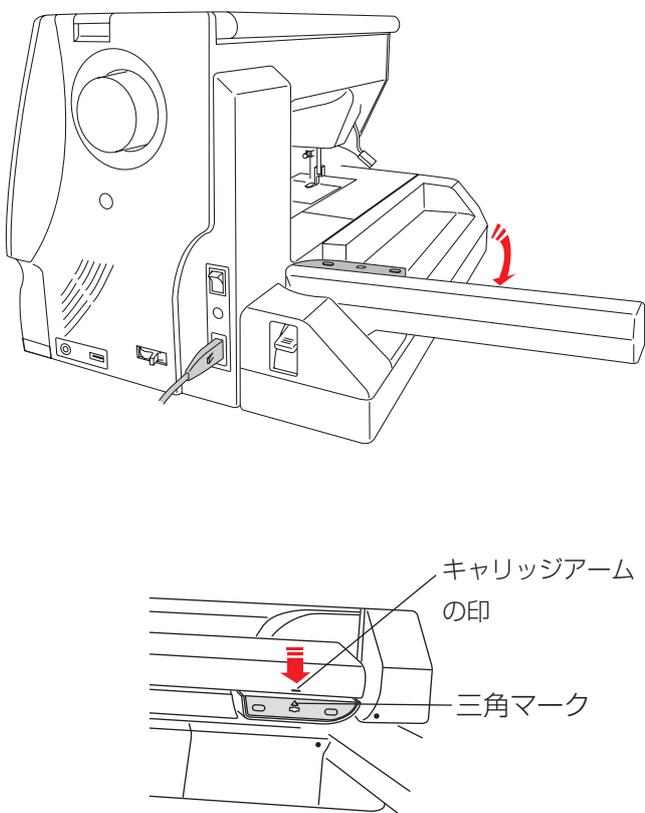
★キャリッジアームの開放

①



- ① キャリッジレバーを押しさげて、キャリッジアームを開きます。

②



- ② 手で軽くキャリッジアームが止まる場所まで矢印方向にロックする位置（最大開放位置）まで開放します。

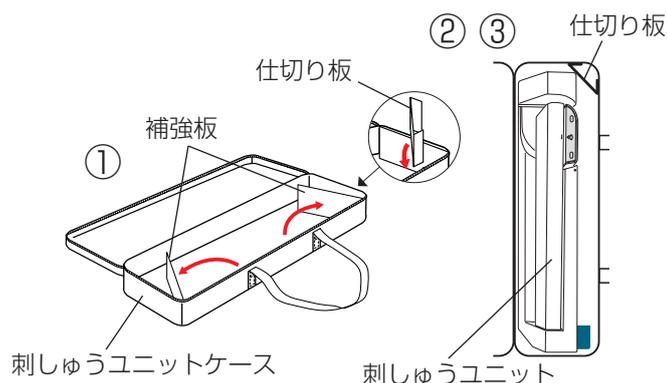
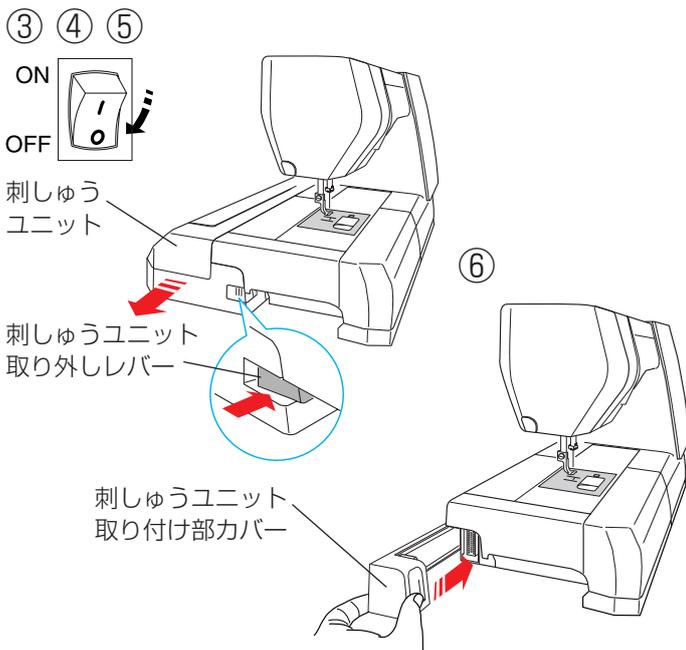
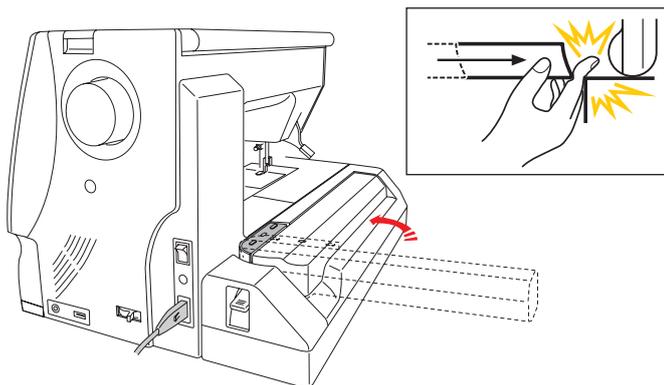
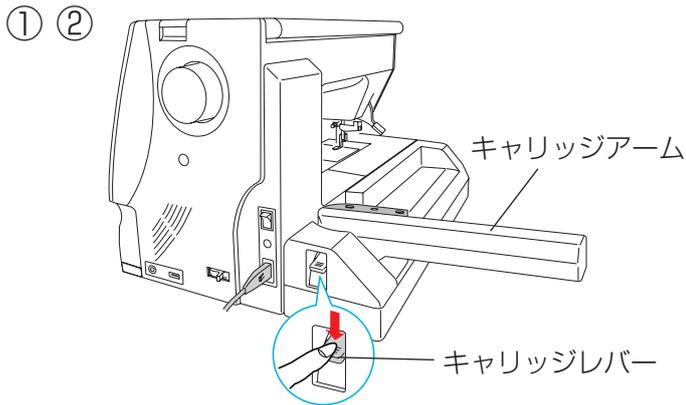
⚠ 注意

キャリッジアームを開いたときは、キャリッジアームを押さないでください。
キャリッジやキャリッジアームを手で無理に動かさないでください。
キャリッジやキャリッジアームが動いているとき、手で止めないでください。
ミシンを傷つけたり故障の原因となります。

⚠ 注意

電源スイッチが入っているとき、切っているときにかかわらず、キャリッジを手で動かさないでください。
故障の原因となります。
キャリッジアームを開放するときは、キャリッジがホームポジションにあることを確認してください。
(キャリッジアームの印と、キャリッジの三角マークが合わせてある状態がホームポジションです。)

★刺しゅうユニットの取り外し方



⚠ 注意

ミシンをしまうとき、または持ち運びするときには刺しゅうユニットを必ず取り外してください。故障やけがの原因になります。

- ① 刺しゅう枠を取り外し、通常ぬいモード / 刺しゅうぬいモード切りかえキーを押し通常ぬいモードにします。
- ※ 針がさがっているときは、上下停針ボタンを押して、針をあげてください。
- ② キャリッジレバーを押し上げて、キャリッジアームを刺しゅうユニットに格納します。

⚠ 注意

キャリッジをホームポジションにもどすときは、刺しゅうユニットと本体の間に指をはさまないように注意してください。けがの原因になります。

⚠ 注意

電源スイッチが入っているとき、切っているときにかかわらず、キャリッジを手で動かさないでください。故障の原因になります。キャリッジアームを格納したとき、キャリッジがホームポジション（キャリッジの三角マークが、キャリッジアームの印と合っている状態）にあるか確認してください。キャリッジがホームポジションにないと故障の原因になります。

- ③ 電源スイッチを切ります。
- ④ 刺しゅうユニット取り外しレバーを押します。
- ⑤ 刺しゅうユニットを左にずらして取り外します。
- ⑥ 刺しゅうユニット取り付け部カバーを取り付けます。

【刺しゅうユニットケースへの収納】

※刺しゅうユニットケースは、モデルによりオプションになります。

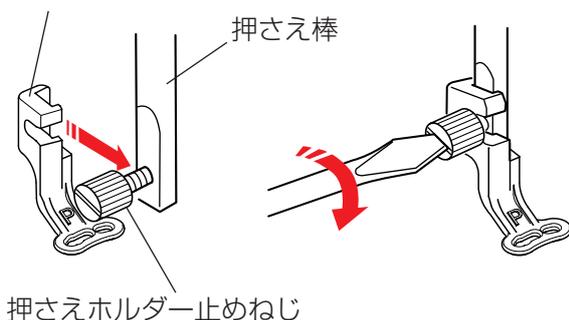
- ① 刺しゅうユニットケースをあけ、補強板を図のように開きます。
- ② 図のように仕切り板を刺しゅうユニットケースの端に固定します。
- ③ 刺しゅうユニットを図のように入れます。

★押さえの交換

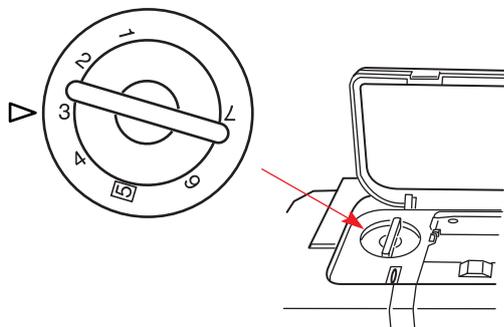
① ②



③ 刺しゅう押さえ (P)



★押さえ圧



★針の交換

★針板の交換

⚠ 注意

押さえを交換するときは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にするか、電源スイッチを切ってください。けがの原因になります。

- ① 電源スイッチを入れ、ロックキーを押します。
- ② 押さえホルダー止めねじをゆるめ、押さえホルダーを外します。「◎操作方法／●押さえホルダーの外しかた、付け方」(16 ページ) をごらんください。
- ③ 刺しゅう押さえ (P) を押さえ棒に取り付け、押さえホルダー止めねじをドライバーでしっかりしめます。

押さえ圧調節ダイヤルを「3」にセットしてください。

針は、ブルー針に取りかえます。
「◎操作方法／●針の取りかえ方」(18 ページ) をごらんください。

針板は直線ぬい用針板を使用します。
「◎操作方法／●針板の外し方、付け方」(17 ページ) をごらんください。

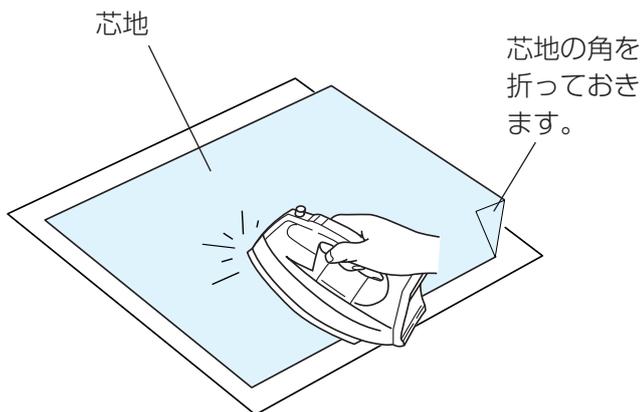
★刺しゅう糸



糸はミシン刺しゅう糸をご使用ください。
また、使用する糸の選択を必ず行ってください。
「◎ミシンの設定」／【刺しゅうぬい設定】⑩糸選択（158ページ）をごらんください。

- ※ 糸選択を行わないと、使用する糸に合った糸調子が設定されないで、ぬい不良の原因になります。
- ※ 刺しゅうの下糸は、JANOME ポリエステル# 90をご使用ください。

★芯地



刺しゅう部分の布の裏側に芯地を貼るときれいに仕上がります。

薄い布や化繊布、または、ジャージーのような伸縮性のある布の場合は、必ず芯地を貼ります。

しっかりした厚い布地は芯地を貼らずにそのままぬえます。芯地はアイロンで接着するタイプと接着しないタイプがあります。接着しないタイプの芯地は、アイロンをかけられない布やアイロンをかけにくい部分に刺しゅうするときにご使用してください。

- ※ アイロンの温度は、中温にします。

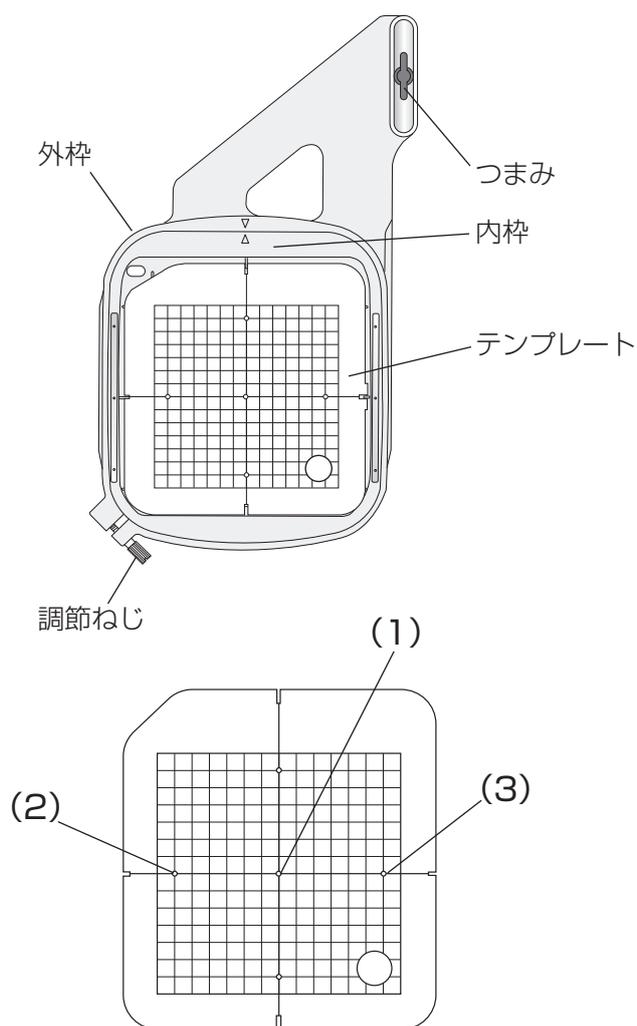
【接着するタイプの芯地】

布の刺しゅうしない裏と、芯地の光沢のある糊付きを向かい合わせにしておき、角を折ってアイロンがけします。

- ※ 芯地の角を折っておくと、刺しゅうが終わったあとに、芯地をはがしやすくなります。

★刺しゅう枠とテンプレート

【1】SQ14a 枠（マグネットクリップ付き標準刺しゅう枠）



刺しゅうはんいは、横 14cmX 縦 14cm です。
標準的な刺しゅうに使用します。

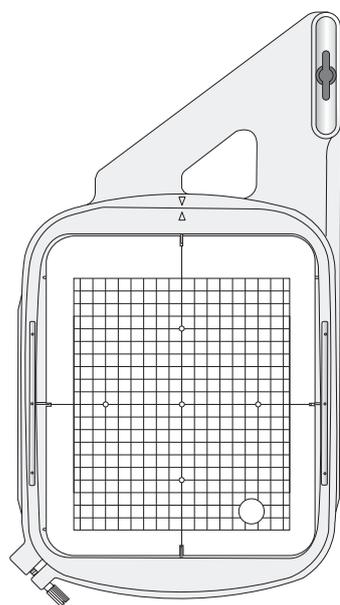
【テンプレート】

ます目のはんいが刺しゅうできるはんいを示しています。

- (1) 内蔵模様のぬいスタート位置
文字ぬい（横書き）センターボトムのぬいスタート位置
文字ぬい（縦書き）センターミドルのぬいスタート位置
- (2) 文字ぬい（横書き）トップボトムのぬいスタート位置
文字ぬい（縦書き）トップミドルのぬいスタート位置
- (3) 文字ぬい（横書き）エンドボトムのぬいスタート位置
文字ぬい（縦書き）エンドミドルのぬいスタート位置

※ 文字ぬいスタート位置の詳細は、「●ぬい方」★文字の組み合わせ（126 ページ）をごらんください。

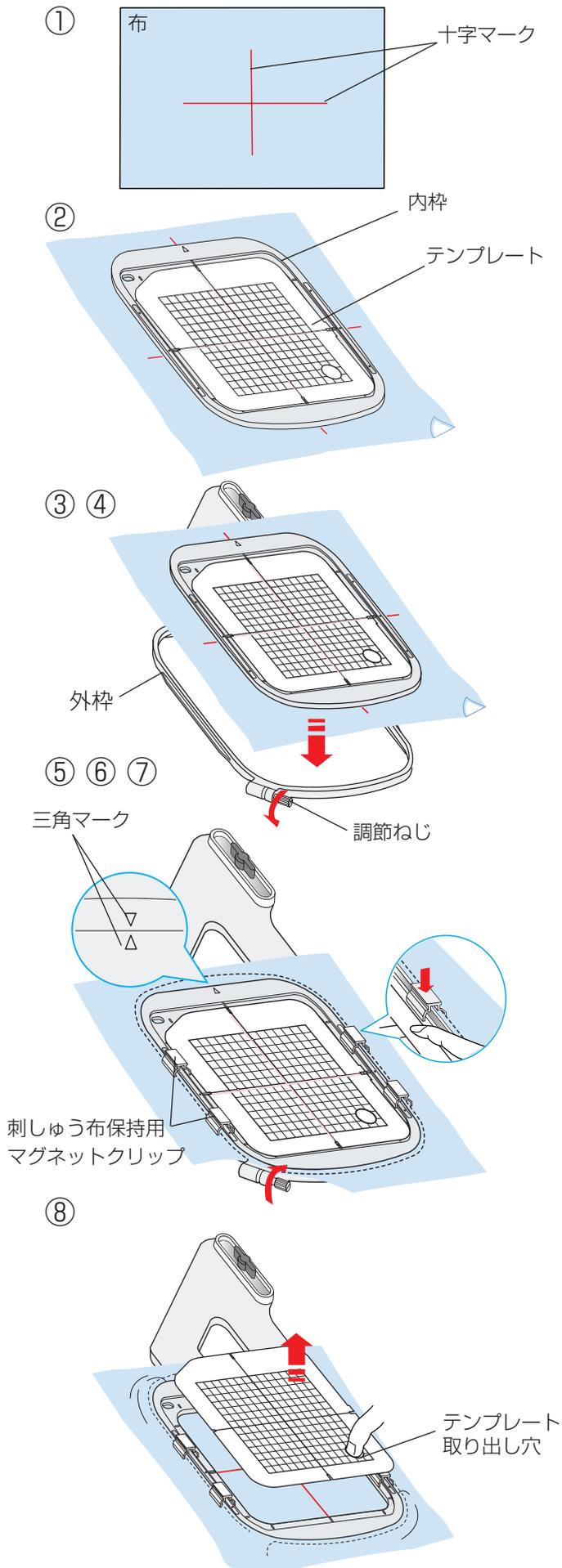
【2】RE20a 枠（マグネットクリップ付き大型刺しゅう枠）とテンプレート



刺しゅうはんいは、横 17cmX 縦 20cm です。
大型模様を使用します。

※ テンプレートの使い方は、SQ14a 枠と同じです。

★刺しゅう枠に布を張るとき



① 模様のぬい位置を決めるために、布に十字マークを付けます。

※ 布にマークするときは、付属の模様テンプレートシートデータ用メディアに入っている、模様テンプレートシートをご利用ください。
使い方は、模様テンプレートシートデータ用メディアに入っている取扱説明書をごらんください。

② 布の上に内枠を置き、その中にテンプレートを入れて、テンプレートの基準線と布の十字マークを合わせます。

③ 外枠の調節ねじをゆるめます。

④ 布の十字マークとテンプレートの基準線がズレないように外枠にセットします。

⑤ 調節ねじをしめて、布を張ります。

⑥ 布をピンと張るために調節ねじをしめた状態で一度内枠を外し、テンプレートの基準線と布の十字マークを合わせながらセットし直します。

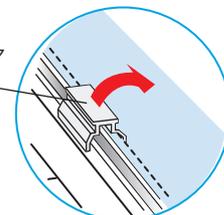
⑦ 刺しゅう布保持用クリップを4箇所セットします。
※ 内枠を外枠にセットする場合は、内枠の矢印と外枠の三角マークを合わせるようにします。

⑧ テンプレート取り出し穴に指を入れ、テンプレートを外します。

※ キルトなどの厚い布に刺しゅうする場合には、刺しゅう枠が右側に移動したとき、ミシンと刺しゅう枠のすきまがなく刺しゅう枠の動きを妨げていないか確認してください。

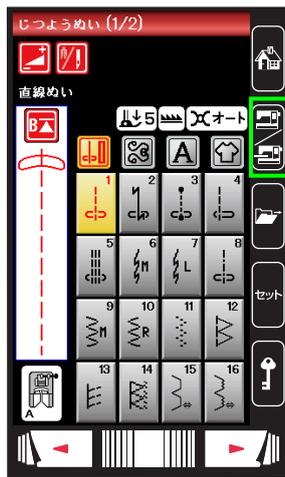
※ ぬい終わったら、矢印方向に刺しゅう布保持用マグネットクリップを外し、調節ねじをゆるめて布を外します。

刺しゅう布保持用マグネットクリップ

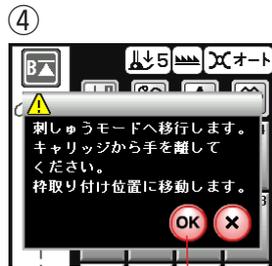


★刺しゅう枠のキャリッジ取り付け

① ② ③



通常ぬいモード /
刺しゅうモード
切りかえキー

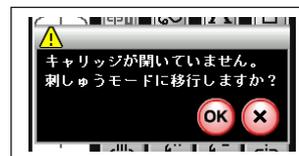


OK キー

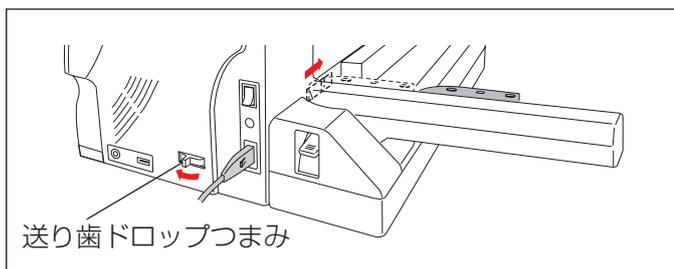
※ 刺しゅう枠を取り付けるときは、模様を選び、ぬいスタート位置で刺しゅう枠を取り付けます。

- ① キャリッジアームを開きます。
- ② 電源スイッチを入れます。
- ③ 通常ぬいモード / 刺しゅうモード切りかえキーを押して、刺しゅうモードにします。
- ④ 注意メッセージが表示されます。OK キーを押します。キャリッジがスタートポジションに移動し、送り歯が自動的にさがります。

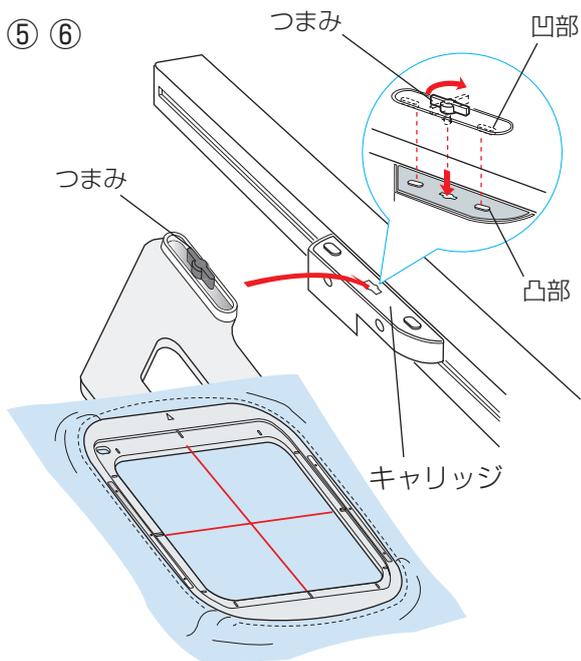
※ 閉じるキーを押すと、前の画面にもどります。
※ 下記確認画面が表示された場合は、OK キーや閉じるキーを押さずに、キャリッジアームを開いてください。



※ はずみ車側にある、送り歯ドロップつまみも自動的にさがる位置に動きます。

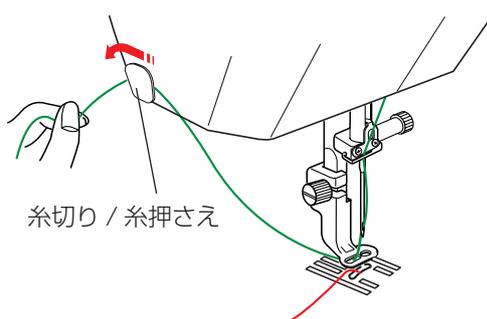


⑤ ⑥



- ⑤ つまみを縦に向け、刺しゅう枠の凹部をキャリッジの凸部に合わせて差し込みます。
- ⑥ つまみを右方向にまわして、刺しゅう枠を固定します。
※ 刺しゅう枠の取り付け、取り外しはセンター位置で行います。

★ぬい始めの糸かけ



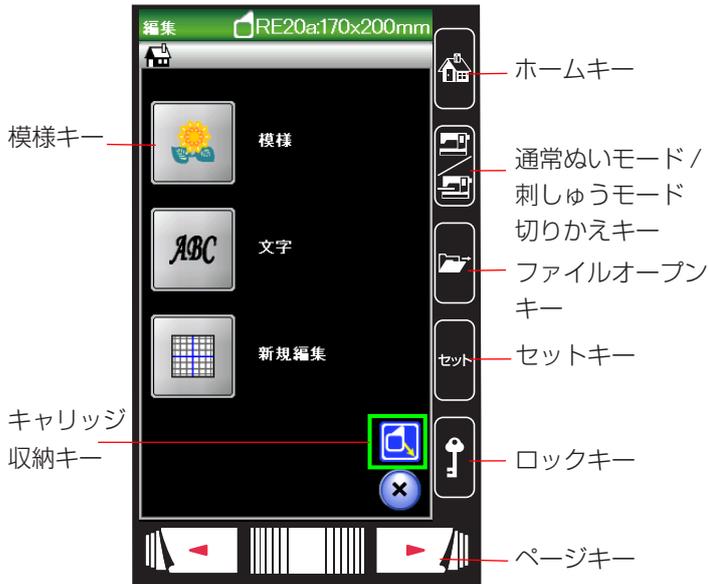
上糸の端をぬいこまないように、上糸を糸切り / 糸押さえにかけてください。

刺しゅう押さえの左側の穴に通し、上糸の端を糸切り / 糸押さえに手前から向こう側へ 2 ~ 3cm 出してかけます。

●ぬい方

★内蔵模様を選択方法（模様）

〔刺しゅうモード初期画面〕



通常ぬいモード / 刺しゅうモード切りかえキーを押し、刺しゅうモードにします。
刺しゅうモード初期画面になります。

※ ホームキー、通常ぬいモード / 刺しゅうモード切りかえキー、ファイルオープンキー、セットキー、ロックキー、ページキーの使い方は通常ぬいをご覧ください。
「◎操作方法 / ●画面（タッチパネル）」
（11 ページ）をご覧ください。

〔キャリッジ収納キー〕

刺しゅうを途中で中断する場合には、枠を外し、キャリッジ収納キー  を押します。

※ キャリッジ収納キーは、キャリッジが閉じている場合やキャリッジが収納位置にある場合には、キーの色がグレーになっていて使用できなくなっています。

〔模様キー〕

模様キーを押すと、ミシンに内蔵されているデザインセレクショングループの選択画面になります。

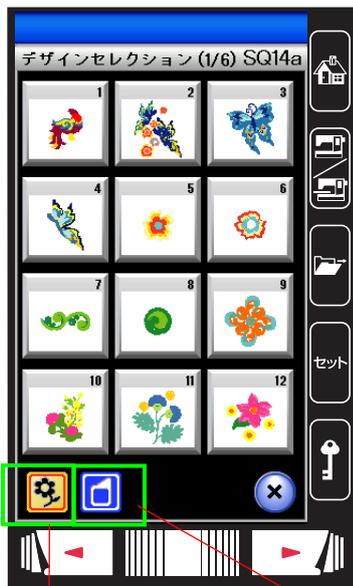
〔カテゴリーキー〕

その他のグループの模様を選ぶときは、カテゴリーキー  を押します。

刺しゅう模様のグループは、9 個のグループがあり、3 つのページ（画面）に分かれています。
ページキーで選択できます。

〔刺しゅう枠選択キー〕

刺しゅう枠選択キー  を押すと、刺しゅう枠サイズに使用できる刺しゅう模様が選択できます。



カテゴリーキー

刺しゅう枠選択キー



①デザインセレクショングループ

デザインセレクションキーを押すと、一般的な刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。
デザインセレクショングループは、6 つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。
SQ14a 枠使用模様が 1 から 53（1/7 から 6/7 ページ）、RE20a 枠使用模様が 1 から 7（7/7 ページ）です。

②サークルモチーフグループ

サークルモチーフキーを押すと、幾何学的な刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。
サークルモチーフグループは、SQ14a 枠使用模様が 12 あります。

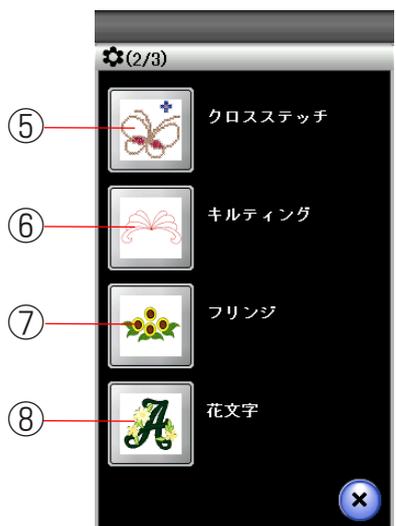


③パントリーグループ

パントリーキーを押すと、食器室の刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

パントリーグループは、2つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14a 枠使用模様が1から12 (1/2 ページ)、RE20a 枠使用模様が1から2 (2/2 ページ) です。



④モノクログループ

モノクロキーを押すと、モノクロの刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

モノクログループは、2つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

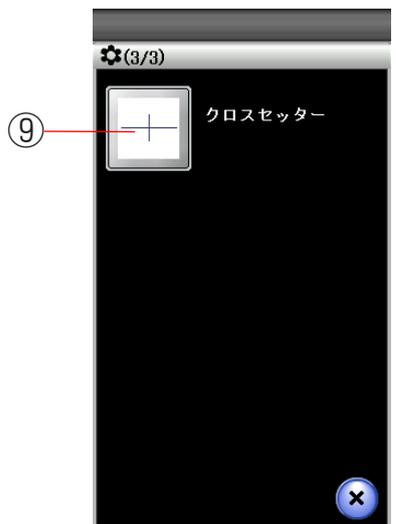
SQ14a 枠使用模様が1から12 (1/2 ページ)、RE20a 枠使用模様が1から3 (2/2 ページ) です。

⑤クロスステッチグループ

クロスステッチキーを押すと、クロスステッチの刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

クロスステッチグループは、2つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14a 枠使用模様が1から21 です。



⑥キルティングデザイン

キルティングキーを押すと、キルティングの刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

キルティンググループは、2つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14a 枠使用模様が1から11 (1/2 ページ)、RE20a 枠使用模様が1から8 (2/2 ページ) です。

⑦フリンジグループ

フリンジキーを押すと、房飾りの刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

フリンジグループは、2つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14a 枠使用模様が1から7 (1/2 ページ)、RE20a 枠使用模様が1 (2/2 ページ) です。

⑧花文字グループ

花文字キーを押すと、花文字の刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

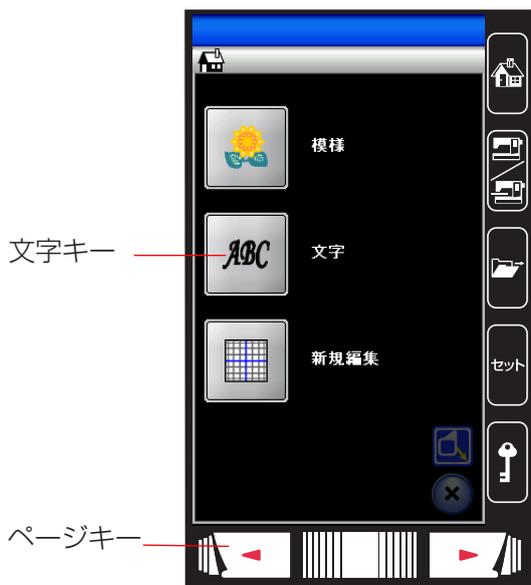
花文字グループは、3つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14a 枠使用模様が1から26 です。

⑨クロスセッター

オプションのクロスセッターに使用する基準線を選ぶ選択画面になります。

★内蔵模様の選択方法（文字）



【文字キー】

文字キーを押すと、マシンに内蔵されている刺しゅうゴシック体文字（模様）グループの選択画面になります。その他の書体を選ぶときは、書体キーを押します。刺しゅう文字のグループは、9個のグループがあり、2つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

①明朝体グループ

明朝体キーを押すと、明朝体（ひらがな / スペース模様 2個含む、濁点、半濁点、漢字）の模様選択画面になります。

明朝体グループは、7つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。



②丸文字グループ

まるもじキーを押すと、丸文字（ひらがな / スペース模様 2個含む、濁点、半濁点）の模様選択画面になります。丸文字グループは、3つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

③ゴシック体グループ

ゴシックキーを押すと、ゴシック体（英字、数字、記号、ヨーロッパ文字、およびスペース模様 2個）の模様選択画面になります。

ゴシック体グループは、5つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。



④スクリプト体グループ

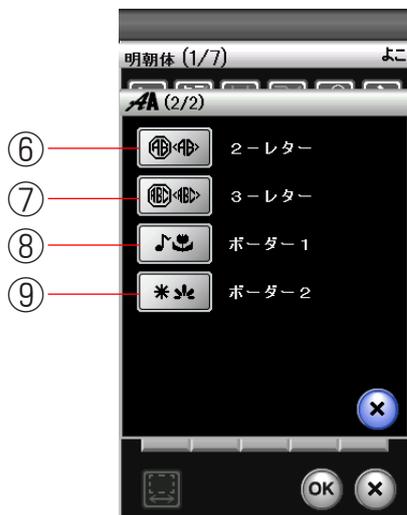
スクリプトキーを押すと、スクリプト体（英字、数字、記号、ヨーロッパ文字、およびスペース模様 2個）の模様選択画面になります。

スクリプト体グループは、5つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

⑤チェルトナム体グループ

チェルトナムキーを押すと、チェルトナム体（英字、数字、記号、ヨーロッパ文字、およびスペース模様 2個）の模様選択画面になります。

チェルトナム体グループは、5つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。



⑥ 2-レター

2-レターキーを押すと、2-レター（英字、枠）の様
 模様選択画面になります。

⑦ 3-レター

3-レターキーを押すと、3-レター（英字、枠）の様
 模様選択画面になります。

⑧ ボーダー 1

ボーダー 1 キーを押すと、ボーダー 1（ボーダー模様）
 の模様選択画面になります。

ボーダー 1 は、2つのページ（画面）に分かれていて、ペー
 ジキーで選択できます。

⑨ ボーダー 2

ボーダー 2 キーを押すと、ボーダー 2（ボーダー模様）
 の模様選択画面になります。

ボーダー 2 は、2つのページ（画面）に分かれていて、ペー
 ジキーで選択できます。

※ その他のキー操作は、「●ぬい方／★文字刺しゅう選
 択画面」（124 ページ）をごらんください。

〔新規編集キー〕

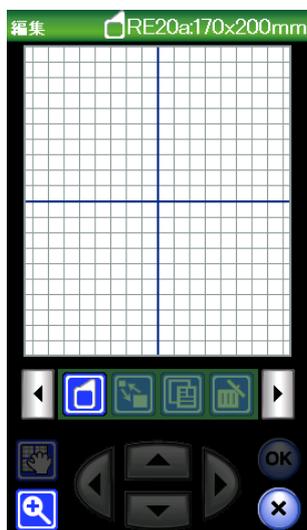
新規編集キーを押すと、編集画面になります。

刺しゅう模様を編集したり、模様を組み合わせてオリジ
 ナルの刺しゅう模様を作成することができます。

「●編集刺しゅう」（131 ページ）をごらんください。



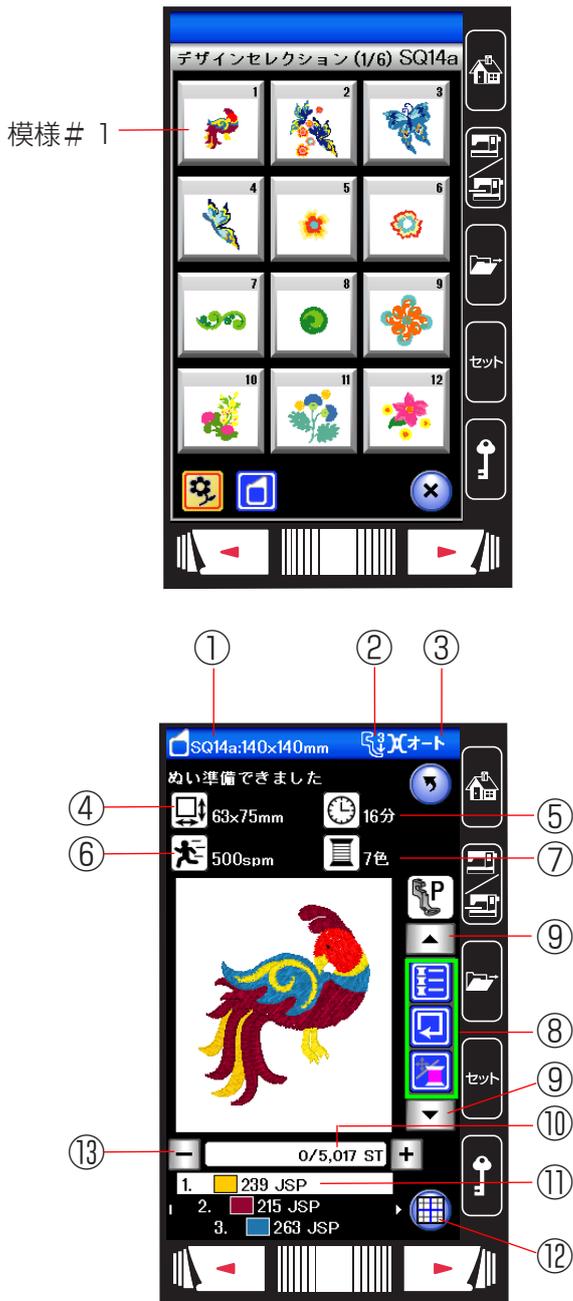
〔編集画面〕



★刺しゅう実行画面

【例】デザインセレクション# 1

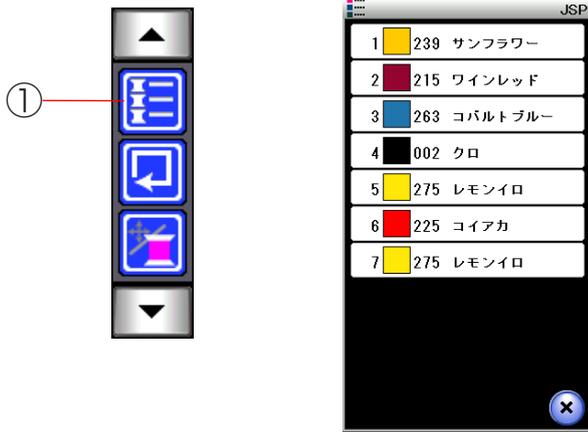
模様# 1 を選ぶと、刺しゅう実行画面が表示されます。



【刺しゅう実行画面の説明】

- ① 刺しゅう枠の大きさ
- ② 押さえ圧
- ③ 糸調子
- ④ 刺しゅうの大きさ
- ⑤ めい終わりまでの必要な時間
- ⑥ 最大めい速度
- ⑦ 色数
- ⑧ 設定キー
- ⑨ 設定切りかえキー
- ⑩ 針数
- ⑪ 糸色
- ⑫ 編集キー
編集キーを押すと、編集モードになります。
「●編集刺しゅう」(131 ページ) をご覧ください。
- ⑬ 針前進・後進キー
めい始めると、1 針目からの針数が表示されます。
針前進「+」・後進「-」キーで針数を前進させたり、もどしたりすることができます。
・ 前進させるときは、「+」キーを押します。
・ もどすときは、「-」キーを押します。
※ 「+」、「-」キーを長押しすると、1 針から 10 針、100 針と前進、または後進させます。

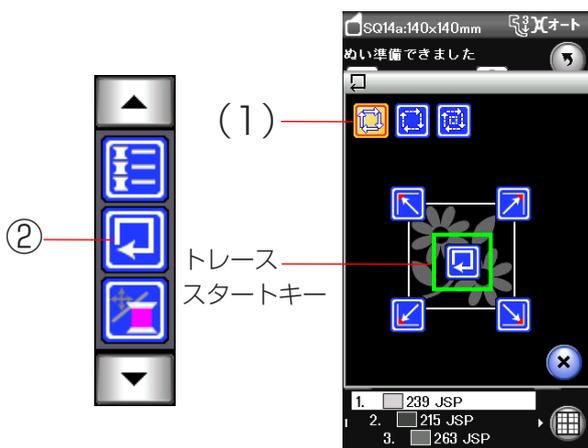
【設定キー】



①糸色確認キー

糸色確認キーを押すと、ぬい順序と使用する糸の糸色が確認できます。

〔ぬいはんい確認画面〕



②刺しゅうはんい確認キー

刺しゅうはんい確認キーを押すと、ぬいはんい確認画面が表示されます。

ぬいはんい確認画面から3つの確認ができます。

(1) トレースキー

 トレーススタートキーを押して刺しゅうはんいを確認します。



(2) トレース・しつけキー

スタート/ストップボタンを押すと、しつけをしながら刺しゅうはんいを確認します。

※ しつけをする前に、下糸を針板の上に引き出しておきます。

※ しつけは、刺しゅうはんい外側 5mm (ぬいしろ) をしつけぬいします。ただし、刺しゅうはんいが刺しゅう可能はんい最大値を超えたときは、ぬいしろは入りません。

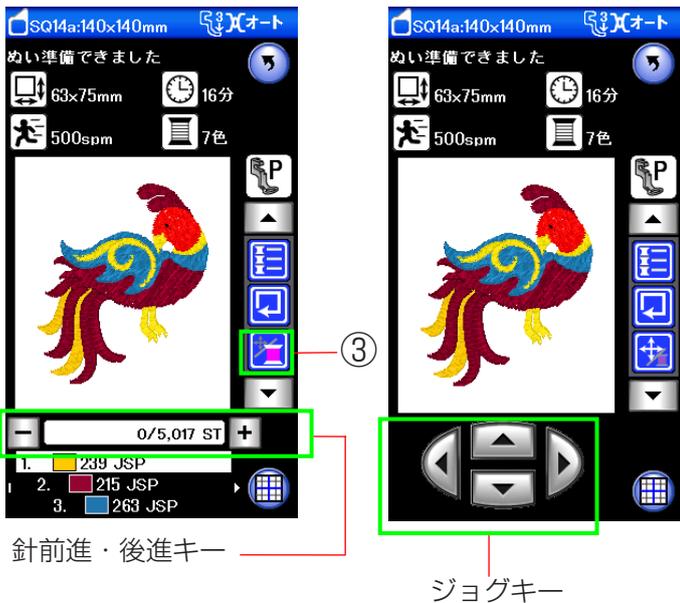


(3) トレース・二重しつけキー

スタート/ストップボタンを押すと、内側と外側のしつけをしながら刺しゅうはんいを確認します。

※ しつけをする前に下糸を針板の上に引き出しておきます。

※ 外側のしつけは、刺しゅうはんい外側 5mm (ぬいしろ) をしつけぬいします。ただし、刺しゅうはんいが刺しゅう可能はんい最大値を超えたときは、ぬいしろは入りません。



③針前進・後進 / ジョグ切りかえキー

針前進・後進 / ジョグ切りかえキーを押すと、ジョグキーと針前進・後進キーに切りかわります。

ジョグキーで刺しゅう位置（布の基準線中央に針がくる）の調整ができます。ジョグキーの矢印方向へ枠が移動します。

※ めい始めると、針前進・後進の画面になります。

再度、ジョグキーを使用するときには、針数を「0」にもどして、「針前進・後進 / ジョグ」切りかえキーを押してください。

※ 針前進・後進キーの使い方は、「●ぬい方 / ★刺しゅう実行画面」（118 ページ）をごらんください。

④模様表示切りかえキー

模様表示切りかえキーを押すと、色替えごとの模様表示画面になります。

色替え表示をかえるときは、ページキーを押します。



⑤キャリッジ移動キー

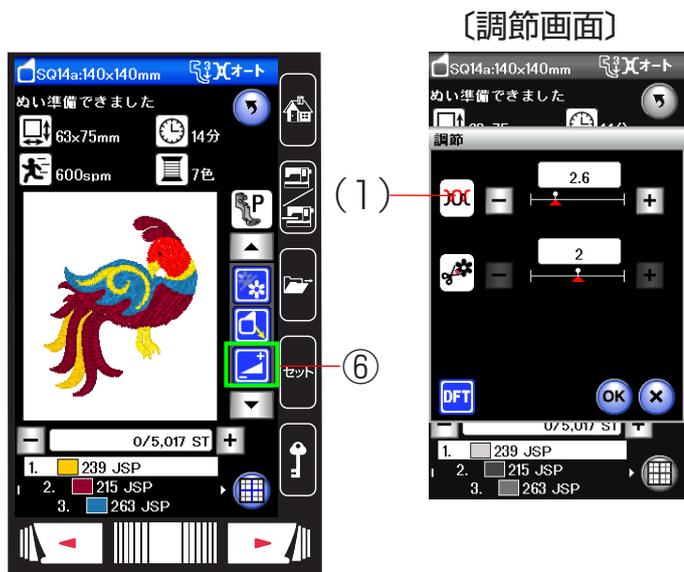
キャリッジ移動キーを押すと、キャリッジ移動画面が表示されます。

針があがっていることを確認します。

 キーを押すと、キャリッジが移動し、針位置が枠の矢印位置に移動します。

 キーを押すと、キャリッジは手前（ホームポジション）に移動します。刺しゅう枠の取り外しなどのときに使用します。





⑥調節キー

調節キーを押すと、調節画面になります。

糸調子、渡り糸の糸切り時の残糸の長さ調節ができます。

(1) 糸調子の調節

「+」、「-」キーで糸調子を調節します。

糸調子を変更したあと OK キーを押します。

取り消すときは閉じるキーを押します。

※ 閉じるキーを押すと、変更した内容は何も受け付けられず、もとの画面にもどります。

※ オート値（電源を入れたときに自動的に設定されている値）にもどすときは、初期化キー「DFT」を押します。

(2) 渡り糸の糸切り時の残糸の長さ調節

セットキーにより、刺しゅうぬい設定の「トリミングモード」で上級設定を選択し、渡り糸の糸切り長さ（渡り糸の間かくが何 mm 以上の場合に行うかの数値）を「OFF」以外の値に設定しているときのみ有効です。

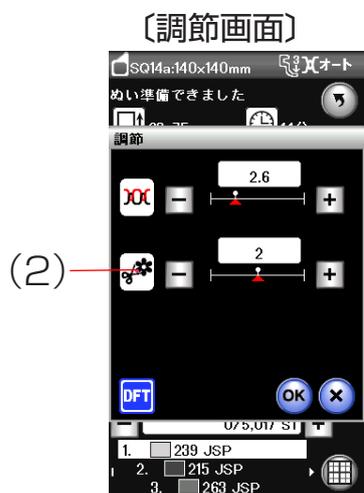
「+」、「-」キーで残糸の長さが調節できます。

調節は「1」「2」「3」で調節します。

※ 閉じるキーを押すと、変更した内容は何も受け付けられず、もとの画面にもどります。

※ オート値（電源を入れたときに自動的に設定されている値）にもどすときは、初期化キー「DFT」を押します。

※ セットキーによる渡り糸の糸切り長さを設定する方法は、「◎ミシンの設定／【刺しゅうぬい設定】⑧トリミングモード」（157 ページ）をごらんください。

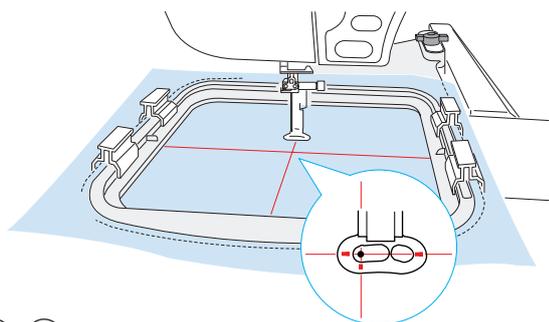


★模様ぬい

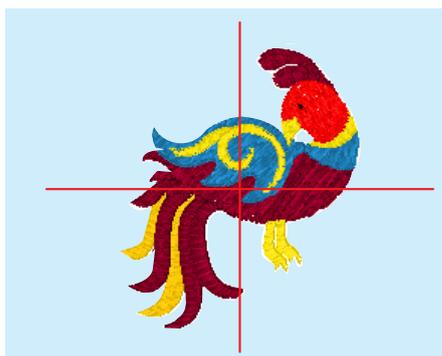
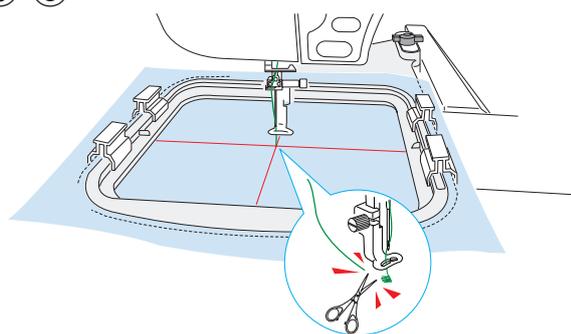
① ②



③



④ ⑤ ⑥



【例】デザインセレクション# 1

- ① 模様 # 1 を選ぶます。
- ② 「針前進・後進 / ジョグ」 切りかえキーを押します。
- ③ 布の十字マーク中央と針の位置がずれている場合は、ジョグキーで十字マークの中央に針の位置がくるように調整します。
- ④ スタート / ストップボタンを押します。
5 ~ 6 針ぬったところでスタート / ストップボタンを押して、ミシンを止めます。
- ⑤ ぬい始めの余分な糸をぬい目のきわから切ります。
- ⑥ スタート / ストップボタンを押します。
色替えのためミシンが停止したら、糸をかえて再びスタート / ストップボタンを押します。

【ぬいあがり】

1 の模様は、布の基準線に対して、図のようにぬいあがります。

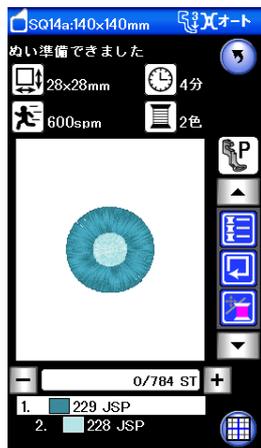
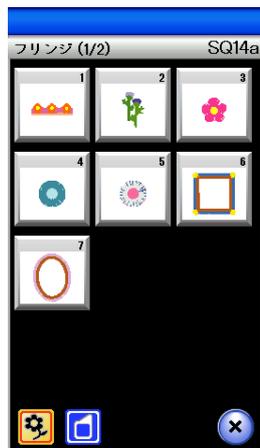
※ 自動糸切り設定は「◎ミシンの設定 / 【刺しゅうぬい設定】 ⑨自動糸切り」(157 ページ) をごらんください。

【ぬい終わりの収納】

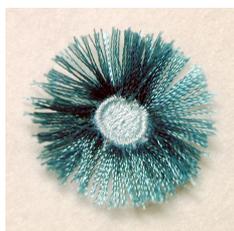
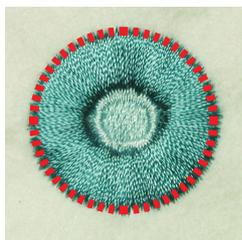
ぬい終わったら、刺しゅう枠を外します。
通常ぬいモード / 刺しゅうぬいモードキーを押し、キャリッジがホームポジションにもどったら、キャリッジアームを閉じます。

★フリンジ模様

①



② ③ ④ ⑤

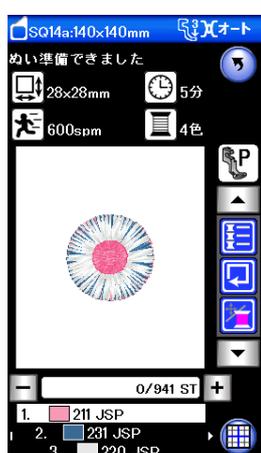
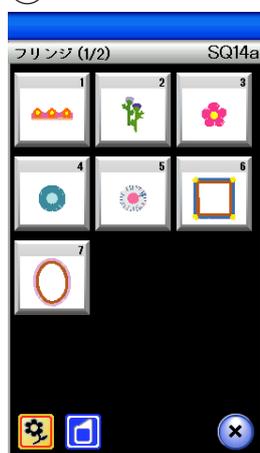


フリンジ模様を使って、ぬいあがりの模様を切って、フリンジ飾りを作ります。

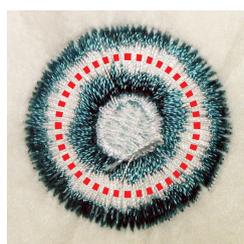
【例】フリンジ# 4

- ① 模様# 4 を選びます。
- ② 通常の刺しゅうぬいと同じようにぬいます。
- ③ 刺しゅう枠から布を取り外します。
- ④ 上糸を図の赤い点線にそって切ります。
- ⑤ 上糸を立たせ、フリンジ飾りを作ります。

①



② ③ ④ ⑤



【例】フリンジ# 5

- ① 模様# 5 を選びます。
- ② 通常の刺しゅうぬいと同じようにぬいます。
- ③ 刺しゅう枠から布を取り外します。
- ④ 下糸を図の赤い点線にそって切ります。
- ⑤ 上糸を布の表に引っ張り出し、フリンジ飾りを作ります。

★文字刺しゅう選択画面

文字キーを押すと、ミシンに内蔵されている刺しゅうゴシック体文字（模様）グループの選択画面になります。

【設定キー】

その文字（模様）に設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変更します。

※ 選ばれている文字や設定状態によっては、キーの色がグレーになっていて使用できないキーがあります。

①書体キー

刺しゅう文字のグループは、9個のグループがあり、2つのページ（画面）に分かれています。

ページキーで選択できます。「●ぬい方／★内蔵模様の選択方法（文字）」（116ページ）をごらんください。

②横書き・縦書き切りかえキー

横書きと縦書きを切りかえることができます。

※ 横書きと縦書きを組み合わせることはできません。

③文字サイズ変更キー

文字のサイズを大（30mm）、中（20mm）、小（10mm）に変更できます。

④大文字・小文字切りかえキー

大文字と小文字を切りかえることができます。

※ 明朝体、まるもじは「ひらがな・カタカナ」になります。模様選択キーの表示も切りかわります。

⑤保存キー

組み合わせた文字をミシンに保存したり、USBメモリに保存するときに使います。

使い方は、「○模様データの保存・呼び出し／●模様データの保存」（140ページ）をごらんください。

⑥削除キー

カーソルの付いている文字を削除することができます。文字を組み合わせた状態でカーソルが最後の文字の外側にある場合は、最後の文字を削除することができます。

⑦カーソル移動キー

カーソルを移動させて、組み合わせた文字（模様）の中から変更したい文字（模様）を選ぶことができます。

「●ぬい方／★文字の削除・挿入」（129ページ）をごらんください。）

⑧スペース調整キー

スペースを選んだとき、またはスペースを入力してカーソルをスペースに合わせたときにスペース調整キーが表示されます。

スペース調整キーを押すと、調節画面になります。

文字間の間かくが均でない場合、「+」、「-」キーで調節します。

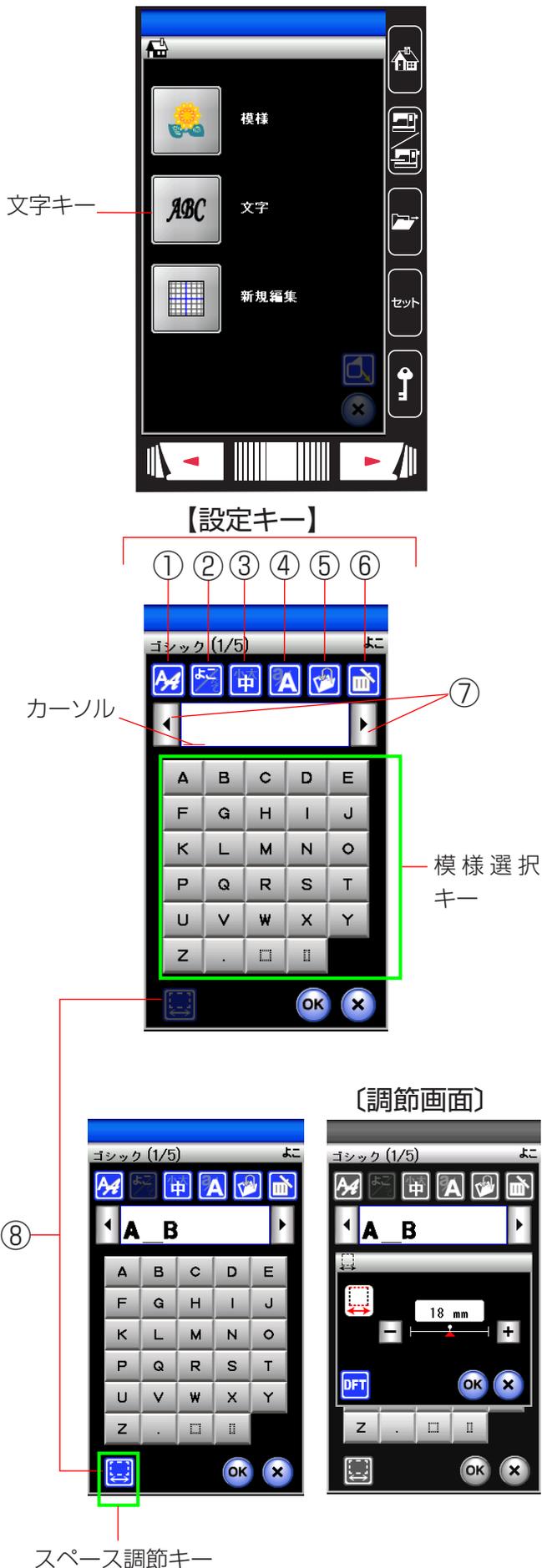
「+」キーを押すと、間かくが広くなります。

「-」キーを押すと、間かくがせまくなります。

間かくを変更したあとOKキーを押します。

取り消すときは閉じるキーを押します。

※ オート値（電源を入れたときに自動的に設定されている値）にもどすときは、初期化キー「DFT」を押します。



★文字の組み合わせ



【例】明朝体の横書き文字サイズ中で「たま保育園」をぬう

- ① 書体キーで明朝体グループを選び、模様選択画面を表示させ、横書き、文字サイズ中で、文字「た」を選びます。
- ※ カーソルの位置に文字が挿入されます。

- ② ページキーで 2/7 ページを表示させ、文字「ま」を選びます。

- ③ ページキーで 4/7 ページを表示させ、文字「保」を選びます。

- ④ 文字「育」を選びます。
- ⑤ 文字「園」を選びます。
- ⑥ 「OK」キーを押します。



⑦



たま保育園

ぬい原点キー

〔ぬい例〕 (横書きの場合)

- [1]  

ぬい原点
- [2]  

ぬい原点
- [3]  

ぬい原点

〔ぬい例〕 (縦書きの場合)

- [1]  

ぬい原点
- [2]  

ぬい原点
- [3]  

ぬい原点

〔ぬい例〕 (縦書きの場合)

- [1]  

ぬい原点
- [2]  

ぬい原点
- [3]  

ぬい原点

⑦ ミシンをスタートさせると、「たま保育園」をぬったあと自動的にミシンは停止します。

【色替えキー】

色替えキーを押すと、1文字ぬうごとに、ミシンが停止します。
糸を交換してぬいます。

【ぬい原点キー】

文字のぬい原点は、横書きと縦書きでそれぞれ3種類のぬい原点から選択できます。

〔1〕 トップボトム

先頭のぬい原点で下合わせとなります。

〔2〕 センターボトム

中央のぬい原点で下合わせとなります。

〔3〕 エンドボトム

最終のぬい原点で下合わせとなります。

〔1〕 トップミドル

先頭のぬい原点で中合わせとなります。

〔2〕 センターミドル

中央のぬい原点で中合わせとなります。

〔3〕 エンドミドル

最終のぬい原点で中合わせとなります。

※ ゴシック体、スク립ト体、チェルトナム体の縦書きの場合は、左図のようになります。
横書きは明朝体と同じです。

★ 2-レター

①



【例】 2-レター「」をぬう

① 書体キーで 2-レターグループを選び、模様選択画面を表示させ、枠模様「」を選びます。

※ 枠模様は文字を選ぶ前に選びます。

②



② 文字「A」を選びます。

③ ④



③ 文字「B」を選びます。

※ 文字などの入れかえをするときは、削除キーを押して、はじめから枠、または文字を選び直します。

④ OK キーを押します。

⑤

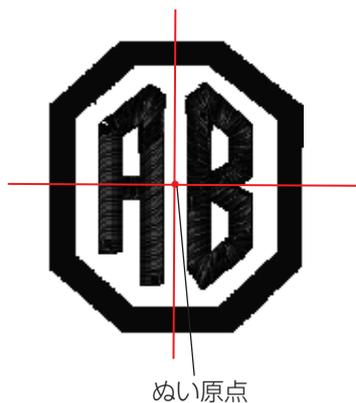


⑤ ミシンをスタートさせます。

※ ぬいの前に色替えキーを押すと、1文字ぬうごとに、ミシンが停止します。
糸を交換してぬいます。

※ 3-レターは、2-レターと同じ要領で行います。

※ 2-レターと3-レターのぬい原点（スタート位置）は、中央になります。



★ボーダー 1 と文字の組み合わせ

【例】「 Duck 」をぬう

①

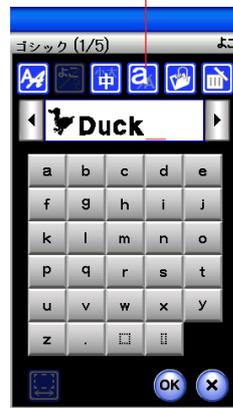
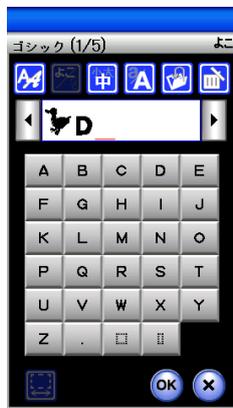


- ① 書体キーでボーダー 1 グループを選び、模様選択画面を表示させ、枠模様「」を選びます。

②



③ 大文字・小文字切りかえキー

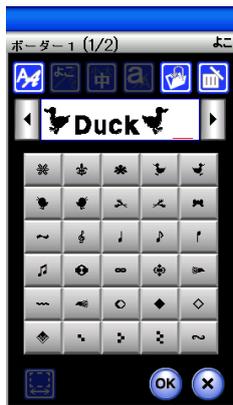


- ② 書体キーでゴシック体グループを選び、模様選択画面を表示させ、文字「D」（大文字 / サイズ中）を選びます。
- ③ 大文字・小文字切りかえキーを押して、小文字にし、「u」、「c」、「k」を選びます。

④



⑤



⑥



- ④ 書体キーでボーダー 1 グループを選び、模様選択画面を表示させ、枠模様「」を選びます。
- ⑤ 「OK」キーを押します。
- ⑥ ミシンをスタートさせます。
※ ぬいの前に色替えキーを押すと、1文字ぬうごとに、ミシンが停止します。糸を交換してぬいます。

色替えキー



★文字の削除・挿入

①



カーソル移動キー

②



削除キー

③



④



⑤



文字を組み合わせたあとでも、組み合わせた文字の一部を削除したり、文字を追加したりすることができます。

【例】明朝体「りんご」の「ご」を削除し、「か」を挿入して、「かりん」にする

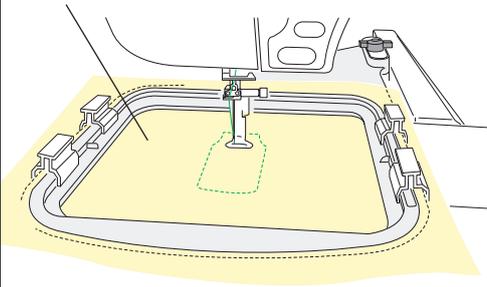
- ① 「りんご」と入力します。
- ② カーソル移動キーで修正（削除）する文字「ご」を選びます。
（カーソルの付いた文字は赤色にかかります。）
- ③ 削除キーを押します。
「ご」が削除されます。
- ④ カーソル移動キーで挿入したい次の文字「り」に移動します。
- ⑤ 「か」を選びます。
「か」が「り」の前に挿入されます。

★アップリケ模様

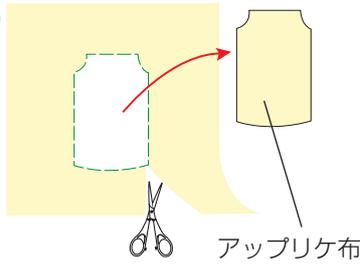
① ②



アップリケ布



③ ④

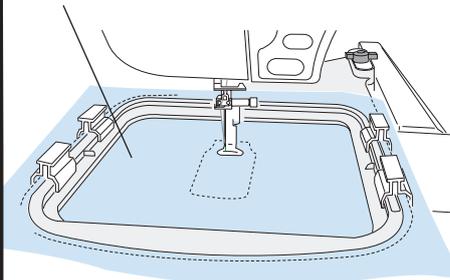


⑤ ⑥

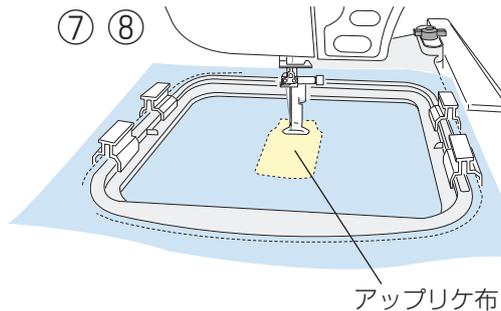


ページキー

台布



⑦ ⑧



【ぬいあがり】



台布とアップリケ用の布を用意します。

アップリケ模様は、パントリーグループの# 10、
11、# 12とフリンジグループの# 6、# 7です。

【例】パントリーグループ# 10

- ① パントリーグループの# 10を選びます。
- ② アップリケ用の布を刺しゅう枠に張り、刺しゅう枠をミシンにセットして、1色目をぬいます。
- ③ 1色がぬい終わったら、刺しゅう枠をミシンから外します。
- ④ 刺しゅう枠からアップリケ用布を外し、ぬい目にそって切り取ります。
- ⑤ ページキーを押して、1色目にもどします。
- ⑥ 台布を刺しゅう枠に張って、ミシンにセットし、台布に1色目をぬいます。
- ⑦ 1色目がぬい終わった場所に切っておいたアップリケ布の裏にのりをうすく付け、台布に貼り付けます。
- ⑧ ミシンをスタートして、2色目からぬっていきます。

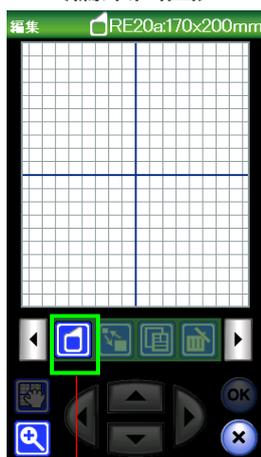
●編集刺しゅう

①



新規編集キー

〔編集画面〕



〔刺しゅう枠選択画面〕



刺しゅう模様を組み合わせたり、ぬい位置を移動したり、大きさや向きをかえたり、自由に編集することができます。

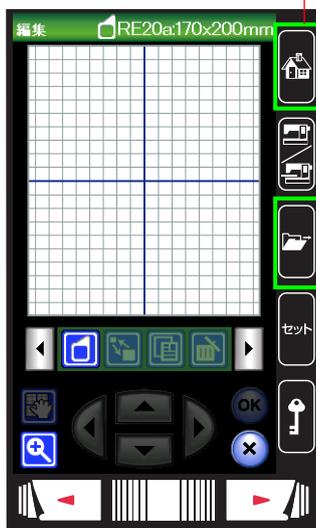
- ① 新規編集キーを押します。
編集画面に切りかわります。
- ※ 枠選択キーを押すと、刺しゅう枠の変更ができます。

初期の状態（購入時の設定状態）は、刺しゅう枠（RE20a）が表示されます。

※刺しゅう枠（FA10a）はオプションです。

②

ホームキー



ファイル
オープンキー

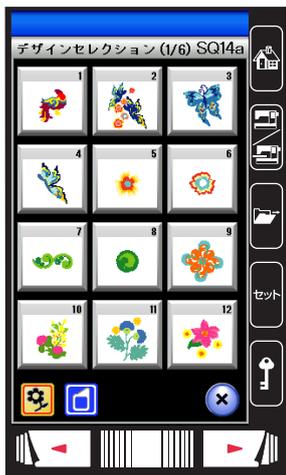


- ② 新規編集画面では内蔵模様、文字、USB に保存した刺しゅう模様を開くことができます。

※ 内蔵模様、文字を選ぶ場合はホームキーを押します。

USB から模様を選ぶ場合はファイルオープンキーを押します。

「◎模様データの保存・呼び出し／●模様データの呼び出し／★刺しゅう」（146 ページ）をごらんください。



〔刺しゅう実行画面〕



【例】デザインセレクション# 4

模様 # 4 を選ぶと、編集画面の中央に模様が表示されます。

【編集する模様の選択】

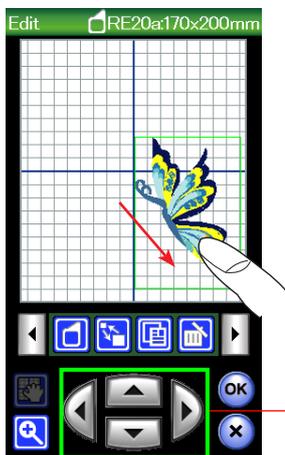
編集する模様を選択するには、編集画面で編集する模様を押します。

選択された模様は、緑色の四角枠が模様に表示されます。

【刺しゅう実行画面にするには】

OK キーを押します。

刺しゅう実行画面になり刺しゅうができます。



【模様の移動 1】

編集画面内の模様を移動させるには、動かしたい模様を指かタッチペンで押し、動かしたい位置までドラッグします。

※ 先端のとがったもので画面を押すと故障の原因になります。

【模様の移動 2】

ジョグキーを使用しても模様の移動ができます。

動かしたい模様を選択し、ジョグキーの矢印方向へ模様移動します。

※ キャリッジは移動しません。

【設定キー】

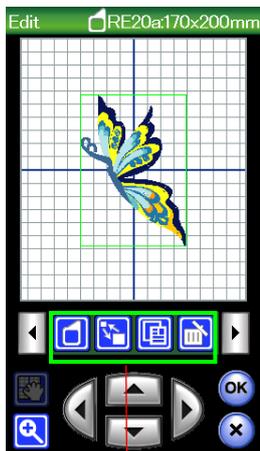
その模様（編集）に設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変更します。

※ 選ばれている模様や設定状態によっては、キーの色がグレーになっていて使用できないキーがあります。

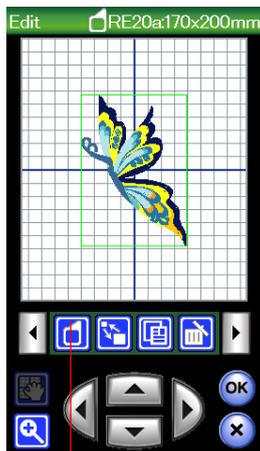
① 枠選択キー

枠選択キーを押すと、刺しゅう枠の変更ができます。

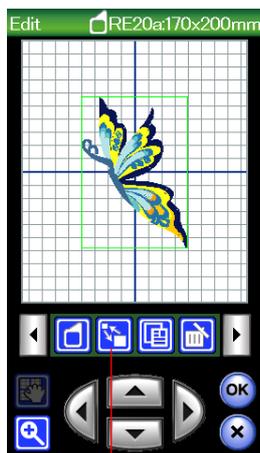
「●編集刺しゅう」（131 ページ）をごらんください。



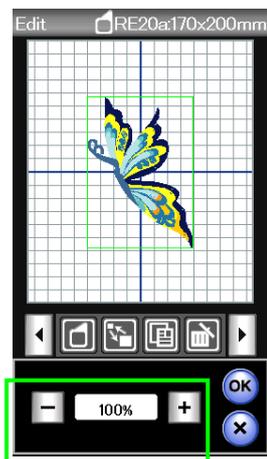
設定キー



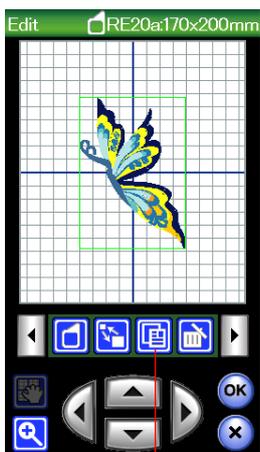
①



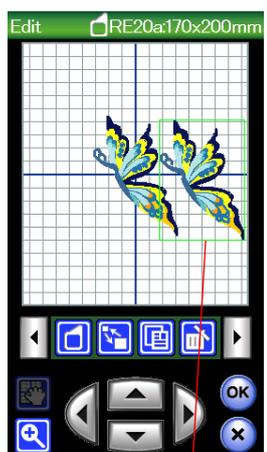
②



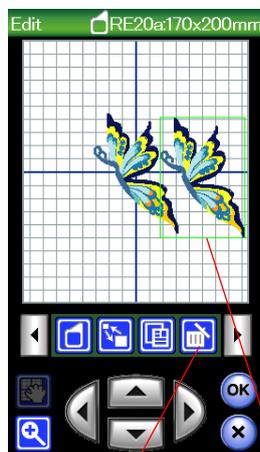
拡大・縮小画面



③

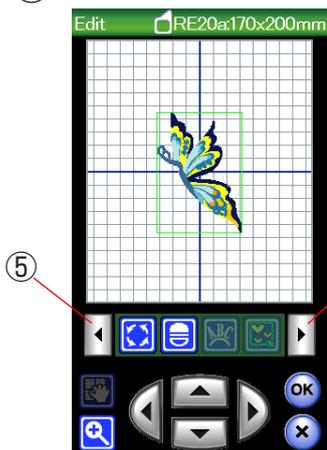
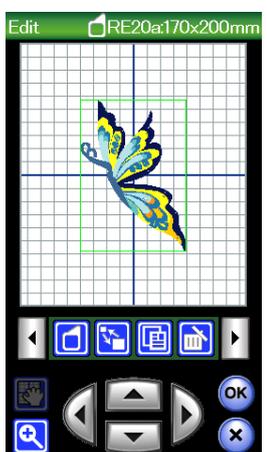


コピーした模様



④

削除する模様



⑤

⑤

②拡大・縮小キー

拡大、または縮小する模様を押します。
 選択された模様は、緑色の四角枠が模様に表示されます。
 拡大・縮小キーを押します。
 拡大・縮小画面になります。
 「-」キーを押して、縮小します。
 「+」キーを押して、拡大します。
 選択した模様のサイズを80%~120%のはんいで1%ずつ変更できます。

最後にOKキーを押します。

※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。

③コピーキー

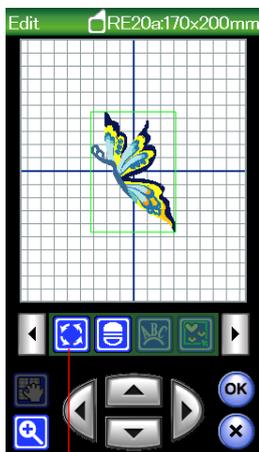
コピーする模様を押します。
 選択された模様は、緑色の四角枠が模様に表示されます。
 コピーキーを押します。
 選択した模様をコピーします。
 ※ コピーされた模様は、同じ模様の上に表示します。
 指またはタッチペン、ジョグキーなどで移動してください。

④削除キー

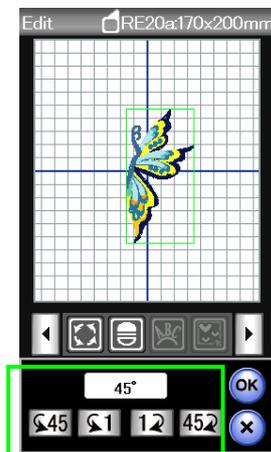
削除する模様を押します。
 選択された模様は、緑色の四角枠が模様に表示されます。
 削除キーを押します。
 選択した模様を削除します。

⑤設定切りかえキー

設定切りかえキーを押すと、設定画面が切りかわります。



⑥



回転画面

⑥回転キー

回転する模様を押します。

選択された模様は、緑色の四角枠が模様に表示されます。

回転キーを押します。

回転画面になります。

「**45**」キーを押すと、45°左回転します。

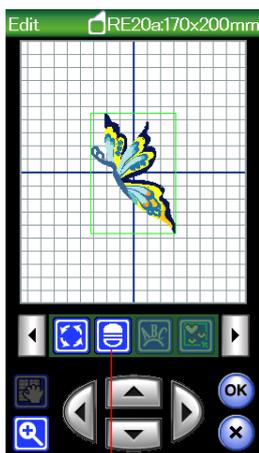
「**1**」キーを押すと、1°左回転します。

「**12**」キーを押すと、1°右回転します。

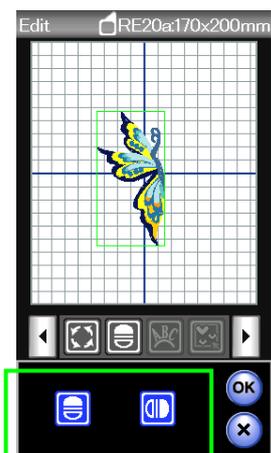
「**452**」キーを押すと、45°右回転します。

最後に OK キーを押します。

※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。



⑦



反転画面

⑦反転キー

反転する模様を押します。

選択された模様は、緑色の四角枠が模様に表示されます。

反転キーを押します。

反転画面になります。

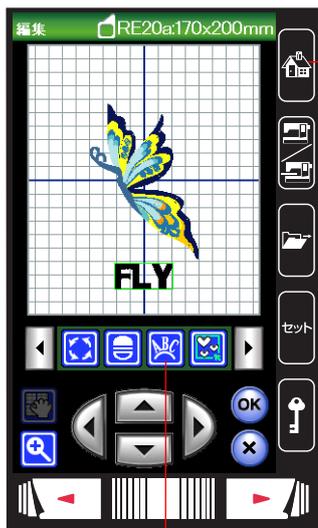
「**上下**」キーを押すと、模様を上下に反転にします。

「**左右**」キーを押すと、模様を左右に反転にします。

最後に OK キーを押します。

※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。

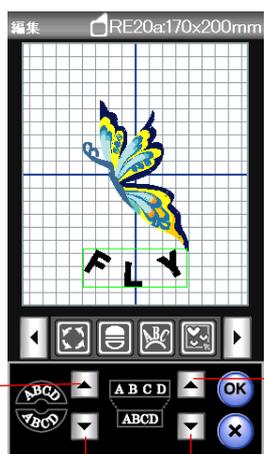
(1) (2)



⑧

ホームキー
〔アーク編集画面〕

(3) (4)



下向きアークキー

文字間かくキー
(せまくなる)

上向きアークキー

文字間かくキー
(広くする)

⑧アークキー

文字を入力したときにアークキーが表示されます。

(1) ホームキーを押して、文字選択画面から文字を入力し、OK キーを押します。

(例 .FLY/ ゴシック体/ 横書き/ 文字サイズ中)

(2) 編集画面に文字が表示されます。

(3) アークキーを押します。

アーク編集画面が表示されます。

上向きアークキーを押すと、上向き円弧にします。

下向きアークキーを押すと、下向き円弧にします。

文字間かくキー (広くする) を押すと、文字間かくが広がります。

文字間かくキー (せまくなる) を押すと、文字間かくがせまくなります。

(4) OK キーを押します。

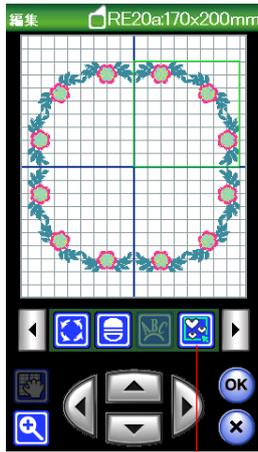
※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。

【例】デザインセレクション# 20 の組み合わせ

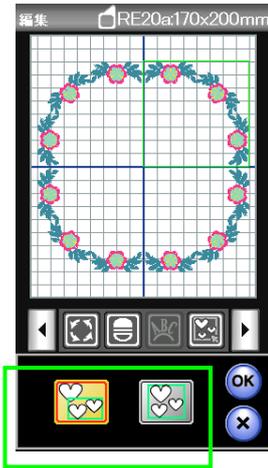
⑨グループキー

編集画面の模様全体をグループにしてコピー、削除または移動させたい場合と複数の模様だけをグループにしてコピー、削除または移動させたい場合に使用します。

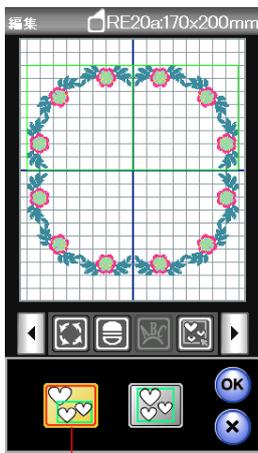
グループキーを押すと、グループ選択画面になります。
※ グループキーは、複数の模様がある場合にのみ表示されます。



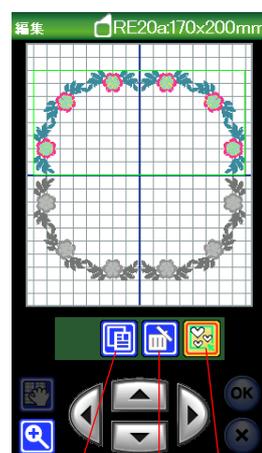
⑨



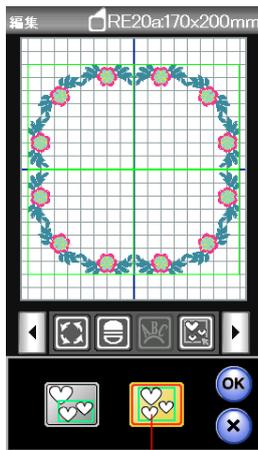
グループ選別画面



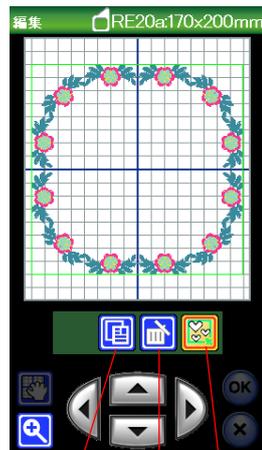
グループ個別選択キー



コピーキー
削除キー
グループ個別選択キー



グループ全体選択キー



コピーキー
削除キー
グループ全体選択キー

【グループ個別選択キー】

グループ個別選択キーは、複数の模様を 1 つにグループ化することができます。

グループにしたい模様を押します。

選択された模様は、緑色の四角枠が表示されます。

OK キーを押します。

※ グループにしなかった模様は、グレーで表示されます。

※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。

コピーキー、削除キーを使用することができます。また、グループにした模様の移動ができます。

編集作業が終わったら、グループ個別選択キーを押します。

【グループ全体選択キー】

グループ全体選択キーは、模様全体を 1 つにグループ化することができます。

グループ全体選択キーを押すと、各模様には緑色の四角枠が表示されます。

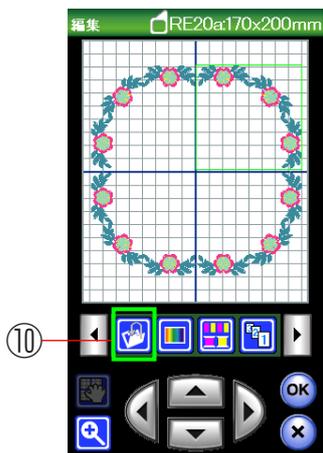
OK キーを押します。

模様全体に緑色の四角枠が表示されます。

※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。

コピーキー、削除キーを使用することができます。また、グループにした模様の移動ができます。

編集作業が終わったら、グループ全体選択キーを押します。

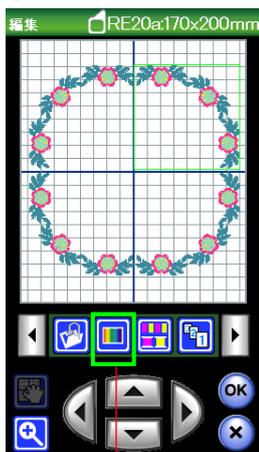


⑩保存キー

編集した模様をミシンに保存したり、USBメモリに保存するときに使います。

使い方は、「◎模様データの保存・呼び出し／●模様データの保存」(140ページ)をごらんください。

(1) (2) [模様色・背景色変更キー]



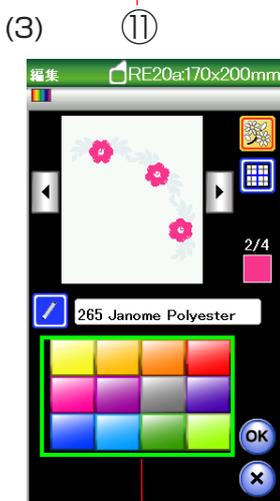
⑪模様色・背景色変更キー

模様色・背景色変更キーを押すと、模様色変更画面になります。

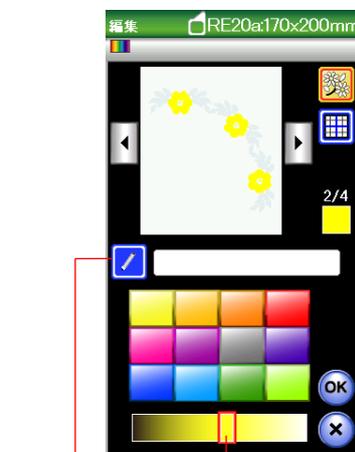
模様色(糸色)と編集画面の背景色の変更ができます。
※ 実際にぬう布色と糸色の編集イメージがわかります。

【模様色の変更】

- (1) 模様色変更キーを押します。
- (2) 画面切りかえキーで色替えしたい部分を選びます。
- (3) カラーパレットから好きな色を選びます。
※ 色の明るさを変更するときは、スライダーを右または左へ移動させます。
※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。



(4) カラーパレット



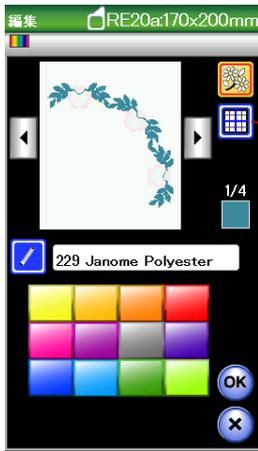
ネームキー スライダー

(5)



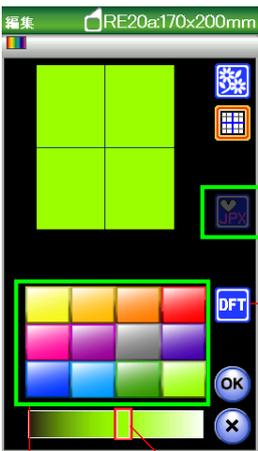
- (4) ネームキーを押すと、名前入力画面が表示されます。新しい名前が付けられます。
※ 20文字まで入力できます。
入力の変更は「削除」キーを押します。
OKキーを押します。
※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。
- (5) OKキーを押します。
※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。

(1)



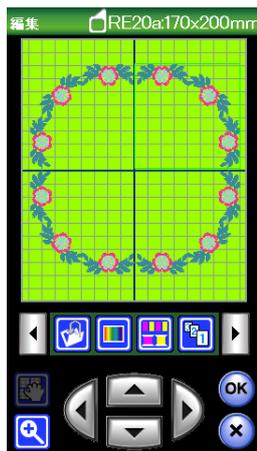
背景色
変更キー

(2) (3)



カラーパレット
スライダー

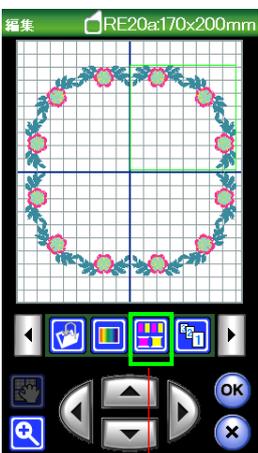
背景イメージキー
初期化キー



【背景色の変更】

- (1) 背景色変更キーを押します。
- (2) カラーパレットから好きな色を選びます。
※ 色の明るさを変更するときは、スライダーを右または左へ移動させます。
- ※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。
- (3) OK キーを押します。
※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。
- ※ 初期の状態（購入時の設定状態）にもどす場合は、初期化キーを押して、OK キーを押します。
- ※ JPX フォーマット（背景画像）のファイルを開くときは、背景イメージキーを押します。
(詳しくは、デジタイザー MBX の取扱説明書をご覧ください。)

(1)



(2)



⑫ 同色まとめキー

同色まとめキーを押すと、組み合わせた模様と同じ糸色を1つにまとめることができ、糸替えの回数が少なくなります。

- (1) 同色まとめキーを押します。
- (2) 同色まとめの画面が表示されます。
OK キーを押します。
- ※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。

(3)

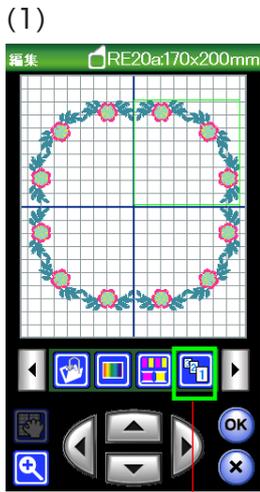
⑫



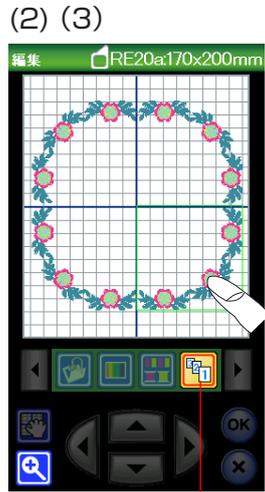
糸色確認
キー



- (3) ぬい実行画面になります。
糸色確認キーで糸色を確認すると、16の色替えが4色に減りました。
- ※ 編集画面にもどった場合は、色まとめ設定は解除されます。



⑬



ぬい順序変更キー

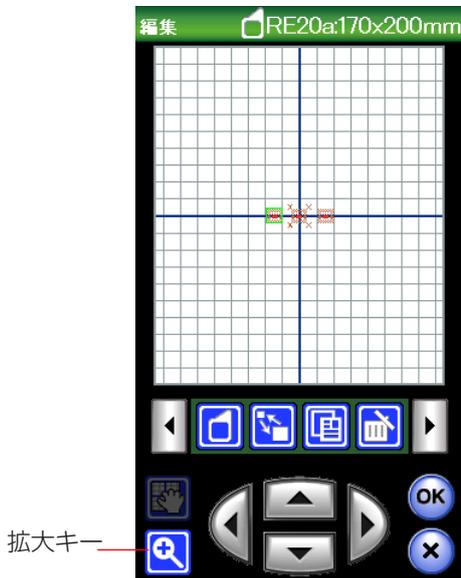
⑬ ぬい順序変更キー

ぬい順序変更キーを押して、組み合わせた模様をぬい順序を変更することができます。

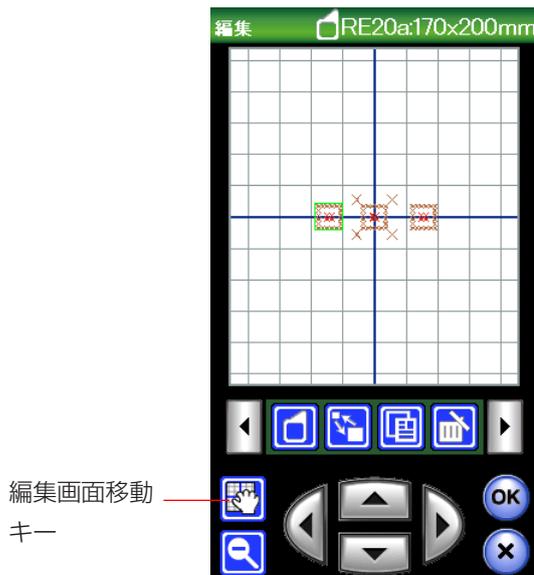
- (1) ぬい順序変更キーを押します。
- (2) ぬい順序変更画面が表示されます。
ぬいたい模様の順番に模様を押していきます。
- (3) ぬい順序変更画面のぬい順序変更キーを押します。
前の画面にもどります。

【画面の拡大】

拡大キーを押すと、編集画面が拡大した画面になります。
拡大キーをもう一度押すと、もとの画面にもどります。



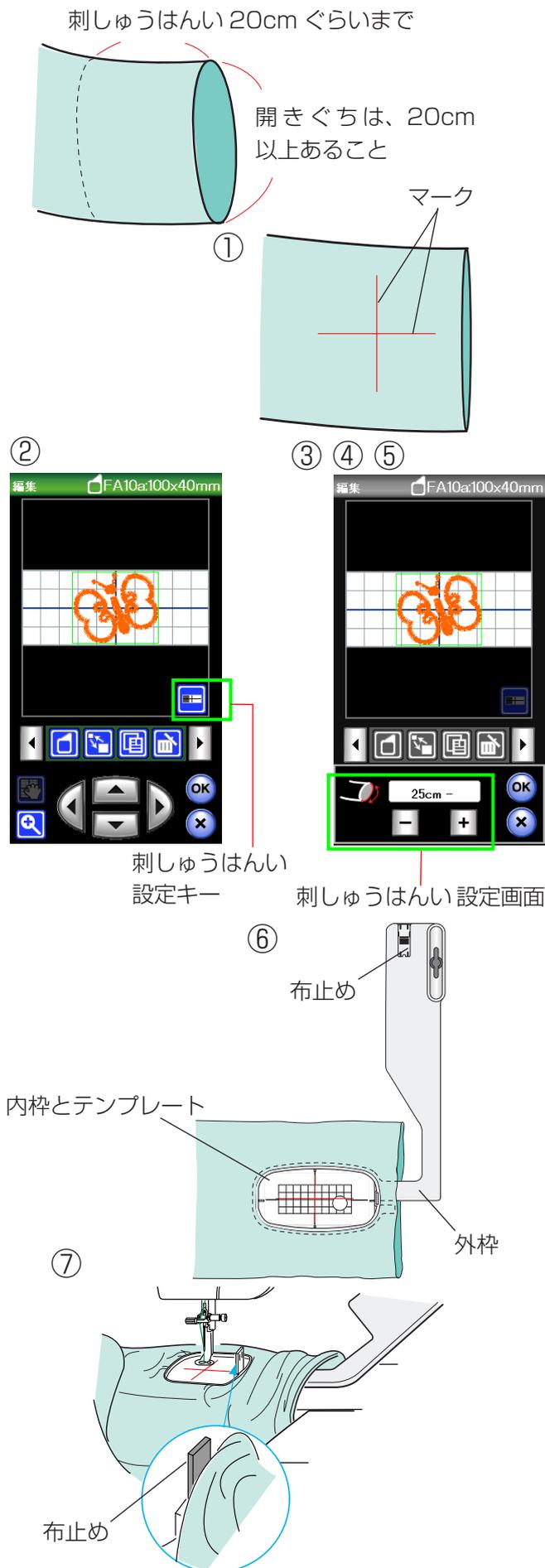
拡大キー



編集画面移動
キー

拡大キーで拡大表示させたときに、大きな模様や編集画面上の端にレイアウトした模様は、画面上に表示しきれない場合があります。そのようなときは、編集画面移動キーを押して、画面にタッチペンか指で直接ふれて移動させることができます。

●フリーアーム刺しゅう枠 (FA10a) の使い方



※フリーアーム刺しゅう枠 (FA10a) はオプションです。

筒サイズの大きなすそなどは、フリーアーム刺しゅうができません。

フリーアーム刺しゅうの条件：

開きぐちの長さは 20cm 以上あること、また、刺しゅうはんいは、筒の長手方向先端から 20cm ぐらいまでで刺しゅうをしてください。

- ① 布の刺しゅう位置にマークを付けます。
 - ② 編集画面から刺しゅう枠 (FA10a) を選び、ホームキーを押し、模様キー、文字キーから模様を選びます。(例) デザインコレクション# 41
 - ③ 開きぐちが 20 ~ 25cm の場合、刺しゅう枠が動けるはんいがせまいため、刺しゅう可能はんいが限定されます。
 - ④ 刺しゅうはんい設定キーを押して、刺しゅうはんい設定画面を開きます。「+」または「-」キーで開きぐちの長さを選んでください。
 - ⑤ OK キーを押します。
- ※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。

- ⑥ フリーアーム刺しゅう枠の外枠を筒の中に入れ、内枠にテンプレートを入れ、布のマークとテンプレートの基準線を合わせ布を張ります。

- ⑦ 刺しゅう枠をキャリッジに取り付けます。
- ※ 刺しゅう枠の取り付け、取り外しかたは「●刺しゅうの準備／★刺しゅう枠のキャリッジ取り付け」(113 ページ) をごらんください。
- ※ 布が刺しゅう枠の中に入り込む場合は、外枠の端にある布止めを内枠に立てます。

◎模様データの保存・呼び出し

通常ぬいで組み合わせた模様データや刺しゅうの編集機能などで作成した模様データをミシンやUSBメモリに保存し（ファイルセーブ）、いつでも呼び出して（ファイルオープン）ぬうことができます。

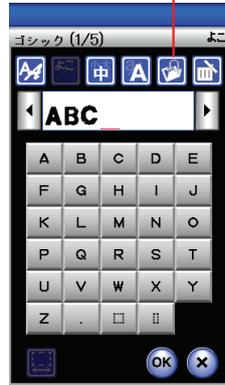
●模様データの保存

① 通常ぬい 〔模様選択画面〕

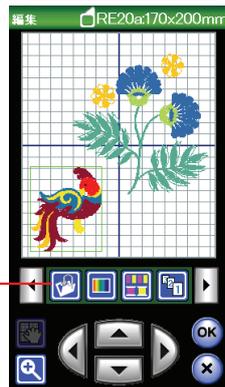


刺しゅう／文字ぬい

保存キー



刺しゅう／編集



通常ぬいと刺しゅうの模様データの保存方法は同じです。通常ぬいは、飾りぬいの模様組み合わせモードおよび文字ぬいでできます。

刺しゅうは、文字ぬいおよび編集機能使用中にできます。

【ミシンの内蔵メモリに保存する】（通常ぬいの例）

- ① 模様組み合わせモードの状態、飾り模様2グループの模様  を組み合わせた直後の模様選択画面。保存キーを押して「ファイルを保存」画面を表示させます。

- ② ミシンに用意されているフォルダに保存する場合は、「ファイルを保存」画面の  を押します。

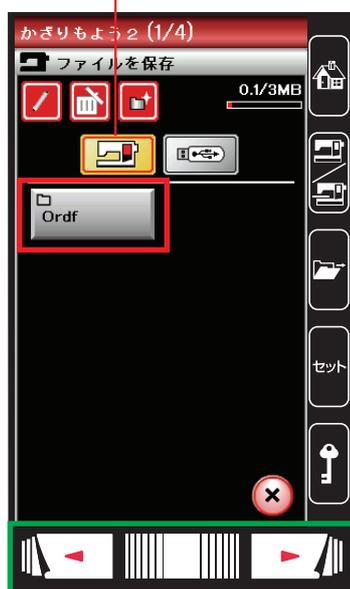
※ 新しいフォルダを作成して保存する場合は、【新規フォルダの作成方法】（141 ページ）をごらんください。

※ 手順②や③の画面で、フォルダやファイルが1画面に表示しきれない数だけ保存されている場合は、ページキーで別のページ（画面）を確認できます。

② 〔ファイルを保存画面〕

通常ぬい

ミシンの内蔵メモリ選択状態



ページキー

刺しゅう／文字ぬい



-   … ネーム書きかえキー
すでに名前が付いているフォルダ名やミシンに用意されているファイル名を変更するときに使います。（142 ページ参照）
-   … 削除キー
フォルダを削除するときに使います。（143 ページ参照）
-   … 新規フォルダキー
新しいフォルダを作成するときに使います。（141 ページ参照）
-   … ミシンの内蔵メモリに保存するときに選びます。
-  … USBメモリに保存するときに選びます。（144 ページ参照）
-   … ミシンに用意されているフォルダです。



③ ミシンに用意されているファイル名「M_001」で保存する場合は、「Ordf」画面のOKキーを押すと模様データがミシンに保存され、模様選択画面にもどります。

※ すでに「M_001」名で保存されているデータがある場合は、自動的に番号が繰り上げられ、「M_002」が表示されます。

※ お好みのファイル名で保存する場合は、【ネーム書きかえキーの使い方】（142 ページ）をごらんください。

※ もどりキーを押すと1つ前の「ファイルを保存」画面に、閉じるキーを押すと模様選択画面に、データは保存されずにもどります。



【新規フォルダの作成方法】（通常ぬいの例）

ミシンに用意されているフォルダを使わないでお好みのフォルダを作成してデータを保存する場合は、下記の手順で保存します。

① 前ページ手順②の「ファイルを保存」画面の新規フォルダキー を押して「新規名称」画面を表示させ、文字キーによりお好みの名前（8文字以内）を付けてOKキーを押し、再度「ファイルを保存」画面を表示させます。（例では、「MOYOU-1」と入力）

※ 文字の入力中に修正したい場合は、カーソル移動キーで取り消したい文字にカーソルを合わせ、削除キーで取り消すことができます。



② 「ファイルを保存」画面に、新規に作成した「MOYOU-1」フォルダが表示されるので、 を押して「MOYOU-1」画面を表示させます。

③ 「MOYOU-1」画面のOKキーを押すと、ファイル名「M_001」の模様データがフォルダ名「MOYOU-1」に保存され、模様選択画面にもどります。

①

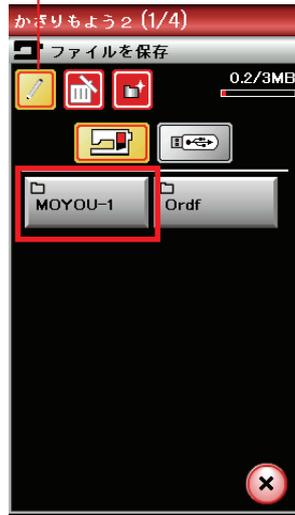
〔ファイルを保存画面〕

ネーム書きかえキー（赤色）



②

ネーム書きかえキー（黄色）



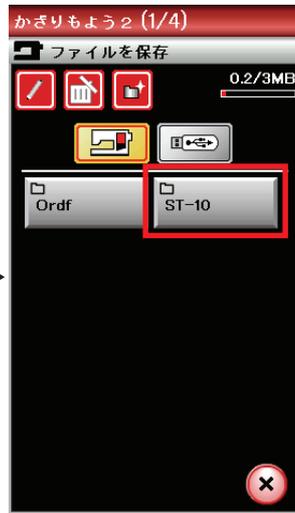
③

〔新規名称画面〕



文字キー OKキー

〔ファイルを保存画面〕



【ネーム書きかえキーの使い方】（通常ぬいの例）

ネーム書きかえキーは、すでに作成されているフォルダの名前を書きかえたり、ミシンに用意されているファイル名「M_001」等を使わずに、お好みのファイル名を付けて保存するときに使います。

作成されているフォルダの名前を変更する場合

① 模様選択画面の保存キーを押して「ファイルを保存」画面を表示させ、ネーム書きかえキーを押してキーの表示を黄色にかえます。

※ キーの色が黄色の状態ではフォルダの名前をかえることができます。

② 名前をかえたいフォルダ（例えば **MOYOU-1**）を押して「新規名称画面」を表示させます。

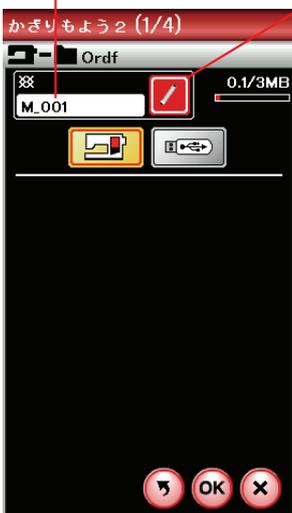
③ 文字キーによりお好みの名前（8文字以内）を付けてOKキーを押します。（例では、「ST-10」）再度「ファイルを保存」画面が表示され、フォルダ名が「ST-10」に書きかえられています。

※ 名前の入力方法は、【新規フォルダの作成方法】（141ページ）を参照してください。

①

〔Ordf画面〕

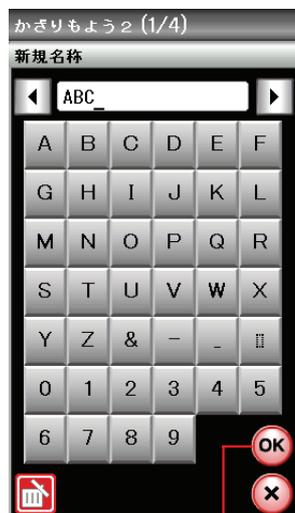
ファイル名「M_001」



②

〔新規名称画面〕

ネーム書きかえキー



OKキー

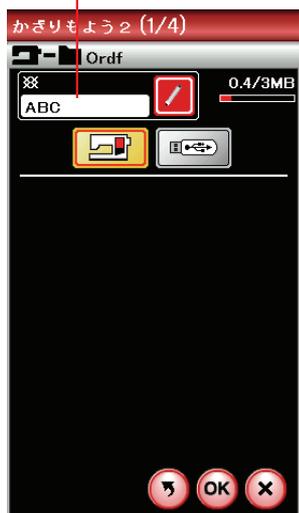
ファイルにお好みの名前を付けて保存する場合

① 例えば、【ミシンの内蔵メモリに保存する】手順③（141ページ）の「Ordf」画面のファイル名「M_001」をお好みのファイル名に書きかえる場合は、「Ordf」画面のネーム書きかえキーを押して「新規名称画面」を表示させます。

② 文字キーによりお好みの名前（8文字以内）を付けてOKキーを押します。（例では、「ABC」）

※ 名前の入力方法は、【新規フォルダの作成方法】（141ページ）を参照してください。

- ③ [Ordf 画面]
ファイル名「ABC」



- ③ 再度「Ordf」画面が表示され、ファイル名が「ABC」に書きかえられているので、OKキーを押すとファイル名「ABC」でデータを保存することができます。

- ① [ファイルを保存画面]
削除キー（赤色）



- ② 削除キー（黄色）

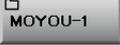


【フォルダの削除方法】（通常ぬいの例）

不要になったフォルダは削除キーにより削除することができます。

- ① 「ファイルを保存」画面で、削除キーを押してキーの表示を黄色にかえます。

※ キーの色が黄色の状態フォルダを削除することができます。

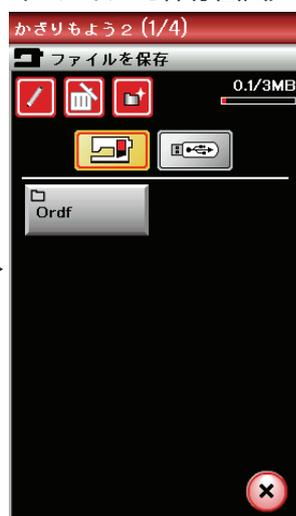
- ② 削除したいフォルダ（例えば  ）を押します。

- ③ [メッセージ画面]

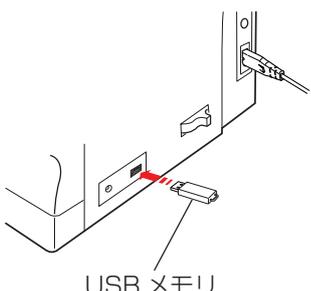


OK キー

- [ファイルを保存画面]



- ③ フォルダを削除してよいか確認するためのメッセージ画面が表示されるので、OKキーを押します。再度「ファイルを保存」画面が表示され、フォルダ「MOYOU-1」が削除されています。



USBメモリ

〔ファイルを保存画面〕
USBメモリ選択状態



かざりもよう2 (1/4)
ファイルを保存

USBメモリに保存する場合

ミシンの内蔵メモリに保存しないで、USBメモリに保存する場合は、ミシン右側のUSB差し込み口にUSBメモリを差し込み、「ファイルを保存」画面の  を押して、キーの色を黄色にかえます。データの保存方法は、ミシンの内蔵メモリに保存する方法と同じです。

※ ミシンの内蔵メモリやUSBメモリに模様データを保存中（転送中）に電源スイッチを切ったり、USBメモリを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

●模様データの呼び出し

★通常ぬい

①



じつようぬい (1/2)
直線ぬい

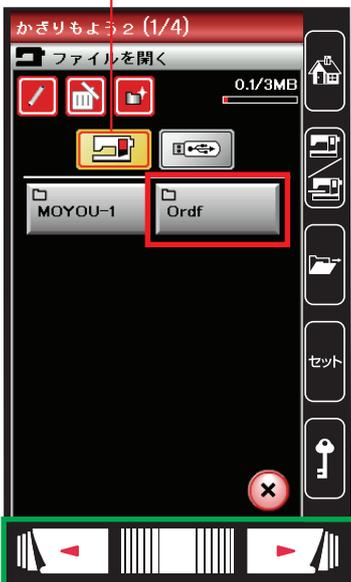
ファイルオープンキー

【ミシンの内蔵メモリから呼び出す】

① 通常ぬいの状態でファイルオープンキーを押します。

②

〔ファイルを開く画面〕
ミシンの内蔵メモリ選択状態



かざりもよう2 (1/4)
ファイルを開く
0.1/3MB

MOYOUU-1 Ordf

ページキー

② 「ファイルを開く」画面のフォルダの中から呼び出したいファイル（模様データ）が入っているフォルダを押します。（例では、  ）

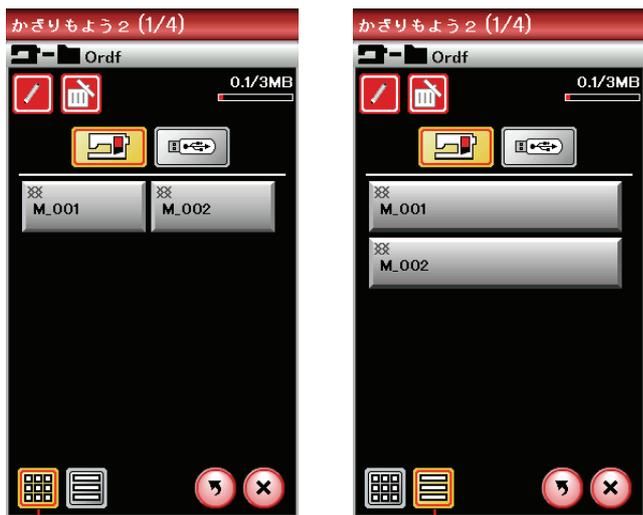
※ 手順②や③の画面で、フォルダやファイルが1画面に表示しきれない数だけ保存されている場合は、ページキーで別のページ（画面）を表示できます。

-  … ネーム書きかえキー
すでに名前の付いているフォルダ名やファイル名を変更するときに使います。
(142 ページ参照)
-  … 削除キー
フォルダやファイルを削除するときに使います。
(143 ページ参照)
-  … 新規フォルダキー
新しいフォルダを作成するときに使います。
(141 ページ参照)
-  … ミシンの内蔵メモリから呼び出すときに選びます。
-  … USBメモリから呼び出すときに選びます。
(147 ページ参照)

※ 「ネーム書きかえキー」「削除キー」「新規フォルダキー」の使い方は、模様データの保存の場合と同じです。

③

〔Ordf 画面〕



一覧表示キー【A】

一覧表示キー【B】

③ 「Ordf」画面のファイルの中から呼び出したいファイル（模様データ）を押すと、模様データを保存したときと同じ状態の模様選択画面が表示され、ぬうことができます。

※ 一覧表示キー【A】  が選択されている場合は、ファイルが2列で表示され、1ページ10個のファイルを表示することができます。

一覧表示キー【B】  が選択されている場合は、ファイルが1列で表示され、1ページ5個のファイルを表示することができます。

ファイル名が最大2行で表示されるので、パソコンなどで付けた長いファイル名を表示するときに便利です。

〔模様選択画面〕



★刺しゅう

①



ファイル
オープンキー

【ミシンの内蔵メモリから呼び出す】

① 刺しゅうの状態でファイルオープンキーを押します。

②

【ファイルを開く画面】
ミシンの内蔵メモリ選択状態



ページキー

② 「ファイルを開く」画面のフォルダの中から呼び出したいファイル（模様データ）が入っているフォルダを押します。（例では、）

※ 手順②や③の画面で、フォルダやファイルが1画面に表示しきれない数だけ保存されている場合は、ページキーで別のページ（画面）を表示できます。

-  … ネーム書きかえキー
すでに名前の付いているフォルダ名やファイル名を変更するときに使います。
(142 ページ参照)
-  … 削除キー
フォルダやファイルを削除するときに使います。
(143 ページ参照)
-  … 新規フォルダキー
新しいフォルダを作成するときに使います。
(141 ページ参照)
-  … ミシンの内蔵メモリから呼び出すときに選びます。
-  … USBメモリから呼び出すときに選びます。
(147 ページ参照)

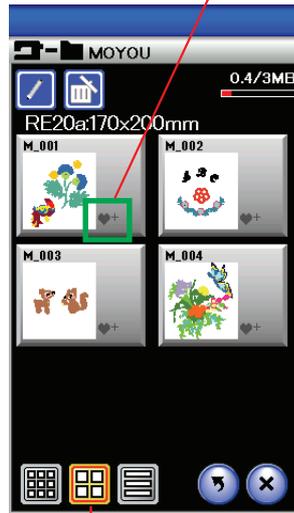
※ 「ネーム書きかえキー」「削除キー」「新規フォルダキー」の使い方は、模様データの保存の場合と同じです。

③

〔MOYOU 画面〕 ファイル形式



一覧表示キー【A】



一覧表示キー【B】



一覧表示キー【C】



〔刺しゅう実行画面〕

③ 「MOYOU」画面のファイルの中から呼び出したいファイル（模様データ）を押すと、刺しゅう実行画面が表示され、ぬうことができます。

※ 一覧表示キー【A】  が選択されている場合は、ファイル名とぬいイメージを示したファイルが3列で表示され、1ページ9個のファイルを表示することができます。

一覧表示キー【B】  が選択されている場合は、ファイル名、ぬいイメージおよびファイル形式を示したファイルが2列で表示され、1ページ6個のファイルを表示することができます。

一覧表示キー【C】  が選択されている場合は、ファイル名、ぬいイメージおよびファイル形式を示したファイルが1列で表示され、1ページ3個のファイルを表示することができます。

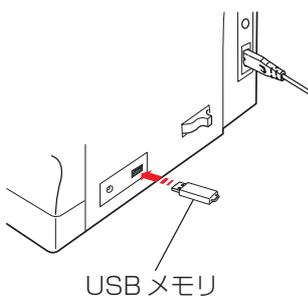
ファイル名が最大2行で表示されるので、パソコンなどで付けた長いファイル名を表示するときに便利です。

ファイル形式

-  ... 模様データが、編集画面上で1つの模様として扱われるファイル
-  ... 複数の模様を組み合わせで保存されている模様データが、編集画面上で複数の模様として扱われるファイル
-  ... デジタイザーにより、背景画像付きで作成したファイル
-  ... フリーアーム用刺しゅう枠（FA10a）でぬい範囲を制限した状態で保存されているファイル

〔ファイルを開く画面〕

USBメモリ選択状態



USBメモリ



USBメモリから呼び出す場合

USBメモリに保存されている模様データを呼び出す場合は、ミシン右側のUSB差し込み口にUSBメモリを差し込み、通常ぬいの模様データの場合はミシンを通常の状態に、刺しゅうの模様データの場合はミシンを刺しゅうの状態にしてからファイルオープンキーを押して「ファイルを開く」画面にし、 を押して、キーの色を黄色にかえます。データの呼び出し方法は、ミシンの内蔵メモリから呼び出す方法と同じです。

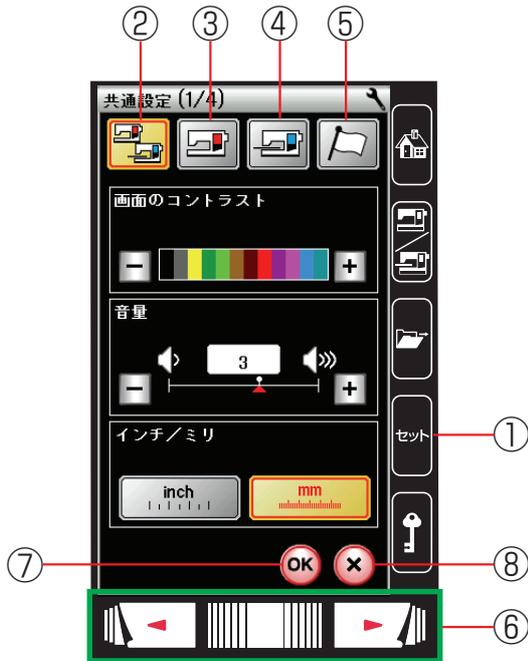
※ ミシンの内蔵メモリやUSBメモリから模様データを呼び出し中（転送中）に電源スイッチを切ったり、USBメモリを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

◎ミシンの設定

セットキーを押すと、ミシンを初期の状態（購入時の設定状態）からお好みの状態に設定することができます。

設定内容は、【共通設定】【通常ぬい設定】【刺しゅうぬい設定】【言語設定】の4つに分かれています。

〔設定の初期画面〕（共通設定 1/4 ページ）



【キーのはたらき】

① セットキー

ミシンの設定内容が変更できる設定画面になります。

② 共通設定キー

通常ぬいと刺しゅうの共通項目の設定画面になります。

③ 通常ぬい設定キー

通常ぬい専用項目の設定画面になります。

④ 刺しゅうぬい設定キー

刺しゅう専用項目の設定画面になります。

⑤ 言語設定キー

画面に表示されている言語の設定画面になります。

⑥ ページキー

現在表示されている設定画面の次または前のページ（画面）を表示させるときに使います。

⑦ OK キー

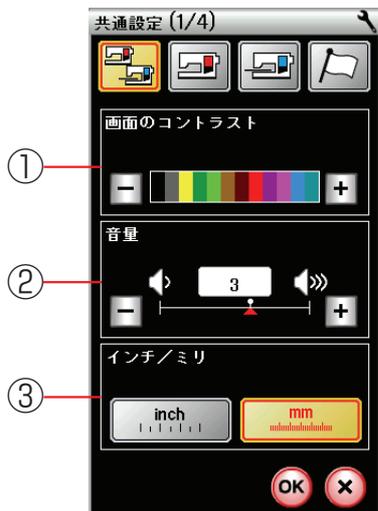
変更した内容を確定し、セットキーを押す前の画面にもどります。

⑧ 閉じるキー

変更した内容を確定しないで、セットキーを押す前の画面にもどります。

※ 設定内容を変更しても、OKキーを押さずに閉じるキーを押した場合は、変更した内容は何も受け付けられず、セットキーを押す前の画面にもどります。

〔共通設定画面〕 1/4 ページ



【共通設定】

4つのページ（画面）に分かれていて、10項目の通常ぬいと刺しゅうの共通項目の設定ができます。

① 画面のコントラスト

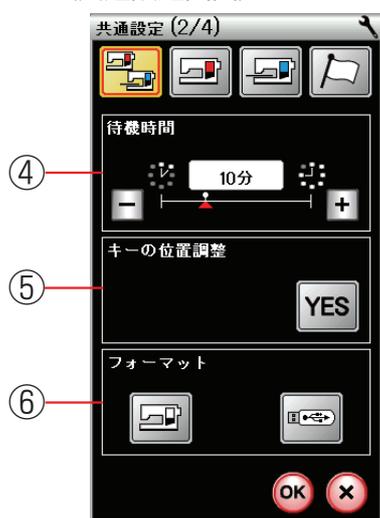
画面のコントラストを調節することができます。

② 音量

キーを操作したときに鳴るブザーの音量を調節することができます。

〈0（消音）～5の6段階、初期値：3〉

〔共通設定画面〕 2/4 ページ



③ インチ/ミリ表示

画面に表示される数値の単位をインチとミリに切りかえることができます。

〈初期：ミリ〉

※ 布ガイド設定時の布ガイドの位置を示す数値や刺しゅうの大きさを示す数値など、画面に単位の「mm」または「inch」が表示されているものが切りかわります。調節画面のぬい目の幅やあらかの数値は変わりません。

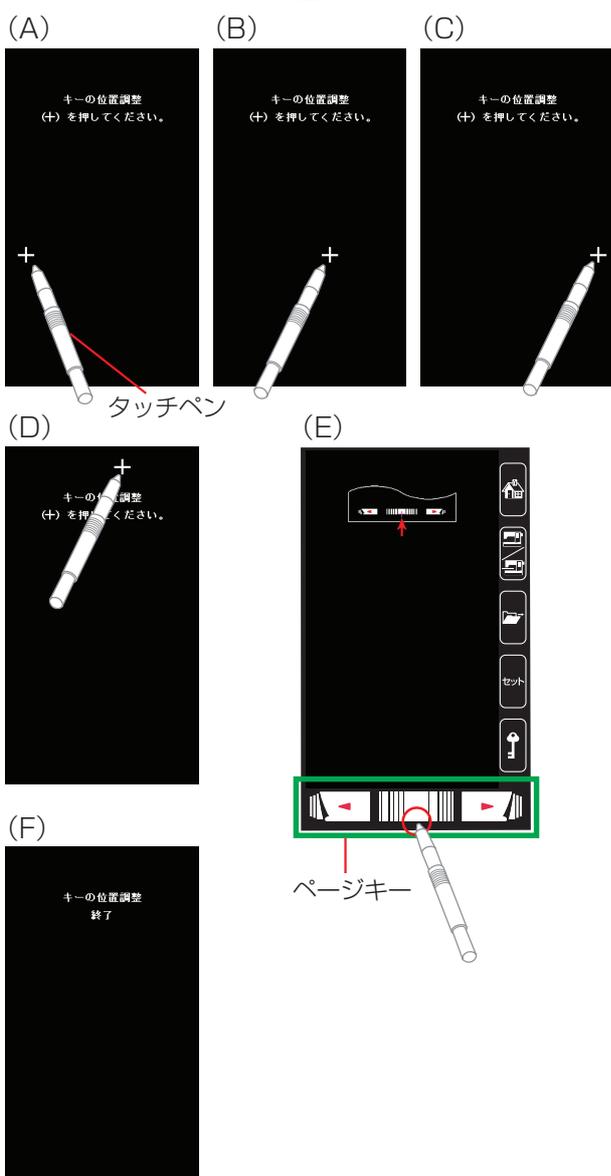
④ 待機時間 (省エネモード)

電源を入れたままミシンを使用しない状態が続いた場合、一定時間が経過するとミシンランプや画面の表示が消えます。その時間を設定することができます。

〈OFF (なし) および 1 ~ 30 分、初期値：10 分〉

※ 省エネモード中は、画面や操作ボタンに触れると使用中のものと画面にもどり、ミシンランプも点灯します。

〔キーの位置調整画面〕



⑤ キーの位置調整

画面上のキー表示の位置と実際のキーの位置がずれていて、押しても受け付けられない場合に調整することができます。

調整する場合は、画面の **YES** キーを押して、キーの位置調整画面を表示させ、付属のタッチペンで「+」の中心を押します。

押すと、次の画面に切りかわるので、順番に (A) ~ (D) の画面の「+」の中心を押します。

(E) の画面は、ページキー中央の下側を押します。

(E) の画面が終了すると (F) の画面を数秒表示し、共通設定画面にもどります。



⑥ フォーマット

ミシンの内蔵メモリおよびUSBメモリをフォーマットします。

フォーマットする場合は、画面（前ページ参照）の  キー（ミシンの場合）または  キー（USBメモリの場合）を押してフォーマット画面を表示させ、OKキーを押します。

※ フォーマットすると、現在保存されている通常ぬいおよび刺しゅうの模様データがすべて消えますのでご注意ください。

〔共通設定画面〕 3/4 ページ



⑦ 上糸切れ検出

ぬい中に上糸が切れたとき、切れたことを知らせてミシンを停止する機能で、その機能のあり（ON）、なし（OFF）を設定することができます。

〈初期：ON〉

※ 通常は、「ON」に設定した状態のままご使用ください。ぬい中に万一上糸が切れてしまったあとの無駄なぬいを防ぎます。

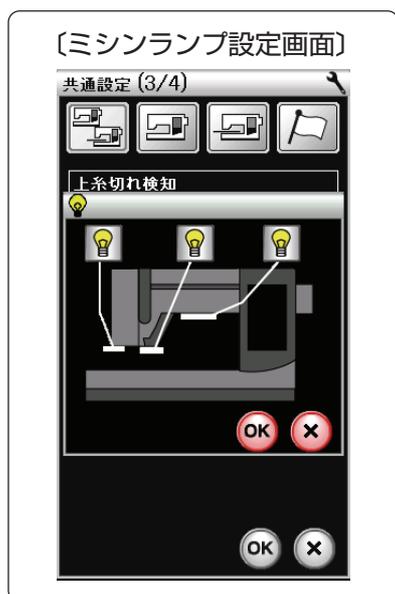
⑧ ミシンランプ

3カ所のミシンランプの「ON」「OFF」を設定することができます。

〈初期：3カ所ともON〉

設定する場合は、画面の  キーを押してミシンランプ設定画面を表示させ、 キーを押してON/OFF状態を変更し、OKキーを押します。内容が決定され、共通設定画面にもどります。

※ 共通設定画面のOKキーが押されるまで確定はされません。



〔共通設定画面〕 4/4 ページ



⑨ 背景色

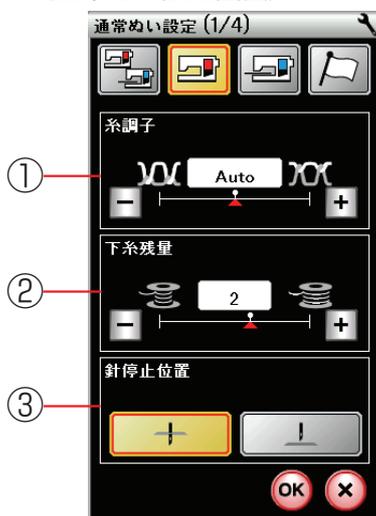
画面の背景色を 3 色から設定することができます。
 〈初期：黒色〉

⑩ すべて初期状態にもどす

通常ぬいと刺しゅうの共通項目、通常ぬい専用項目、刺しゅう専用項目で設定したすべての内容を初期の状態（購入時の設定状態）にもどすことができます。言語の設定はもどりません。

初期の状態にもどす場合は場合は、画面の **YES** キーを押し、続けて OK キーを押します。言語の設定を除く変更したすべての内容が初期の状態にもどり、セットキーを押す前の画面にもどります。

〔通常ぬい設定画面〕 1/4 ページ



【通常ぬい設定】

4 つのページ（画面）に分かれていて、10 項目の通常ぬい専用項目の設定ができます。

① 糸調子

模様を選ぶと、標準的な条件において最適な糸調子に自動セットされますが、この自動セットされる値（オート値）をすべての模様に対して全体的に強くしたり（+）、弱くしたり（-）することができます。
 〈Auto - 5 ~ Auto + 5 の 11 段階、初期値：Auto〉

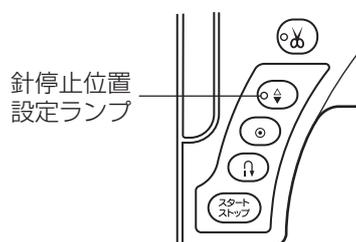
② 下糸残量

下糸の残っている量が少なくなってきたときに検出して知らせる機能で、その検出して知らせる時期を早めにまたは遅めにすることができます。数値が大きいほど、早めに（下糸残量が多いときに）検出します。
 〈OFF（なし）、0.5、1 ~ 4 の 6 段階、初期値：2〉

③ 針停止位置

ミシンを停止したときに、針を上での位置で停止するか下の位置（布にささった位置）で停止するかの設定をすることができます。
 (**+** : 下位置停止、 **-** : 上位置停止)
 〈初期：下位置停止〉

※ 下位置停止に設定されている場合は、ミシンの針停止位置設定ランプが点灯しています。上位置停止に設定されている場合は、針停止位置設定ランプが消えています。



〔通常ぬい設定画面〕 2/4 ページ



④ ⑤ スロースタート調節

ミシンをスタートさせたとき、ゆっくり動きはじめてからスピードコントロールつまみでセットした速さになりますが、その動きはじめの速度を普通 (▶)、やや速め (▶▶)、速め (▶▶▶) の3段階にかえることができます。

上段はスタート/ストップボタン使用時、下段はフットコントローラー使用時の調節ができます。

〈初期：普通〉

〔通常ぬい設定画面〕 3/4 ページ



⑥ 布ガイドの初期位置調整

布ガイドの位置 (中針位置からの距離) を示す数値に対して、移動する布ガイドの実際の位置を調整する (少しずらす) ことができます。

調整する場合は、**YES** キーを押します。

キャリッジが初期位置に移動することを示すメッセージ画面【A】が表示されるので、メッセージ画面のOKキーを押して初期位置調整画面を表示させます。

キャリッジが布ガイドのオート位置 (電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている位置)15mmに移動するので、この位置より右ににずらしたい場合は▶キーを、左にずらしたい場合は◀キーを押します。

OKキーを押すと調整量が決定され、布ガイドのすべての位置でこの調整量が適用されます。(通常ぬい設定画面のOKキーが押されるまで確定はされません。)

画面は、キャリッジが収納位置にもどることを示すメッセージ画面【B】が表示されるので、メッセージ画面のOKキーを押すと、通常ぬい設定画面にもどります。

※ 初期の状態 (購入時の設定状態) にもどす場合は、初期位置調整画面で、初期化キーを押してOKキーを押し、通常ぬい設定画面でOKキーを押してください。

※ 布ガイドは、「◎実用ぬい／●実用ぬいの調節画面／★布ガイド設定キー」(33 ページ) をごらんください。

⑦ 布ガイドの位置記憶

布ガイドを設定したとき、通常はキャリッジが布ガイドのオート位置 (電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている位置)15mmに移動しますが、布ガイドの位置記憶を「ON」にすると、この位置を前回最後に使用した位置にすることができます。

〈初期：OFF〉

※ 布ガイドは、「◎実用ぬい／●実用ぬいの調節画面／★布ガイド設定キー」(33 ページ) をごらんください。



〔通常ぬい設定画面〕 4/4 ページ



⑧ 通常ぬいオートストップ時の糸切り

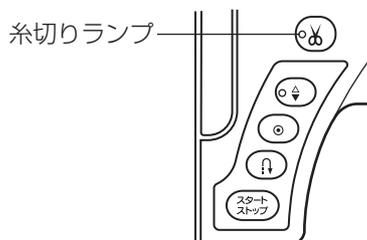
通常ぬいオートストップ時の糸切りを「ON」に設定すると、ぬい終わったあと糸切りボタンを押さなくても自動で糸を切ることができます。

〈初期：OFF〉

※ 「ON」に設定すると、ボタンホールグループの模様および文字ぬいなど、模様の最後にほつれ止めの止めぬいが入っていて、ぬい終わると自動的にミシンが停止する模様は、ミシンが停止すると同時に自動的に糸を切ります。

その他の模様も、止めぬいボタンまたは返しぬいボタンでぬい終わりに止めぬいを入れてミシンを停止した場合、ミシンが停止すると同時に自動的に糸を切ります。

※ 通常ぬいオートストップ時の糸切りが「ON」に設定されている場合、ミシンの糸切りランプが点灯しています。



⑨ ステッチの調整値を保存

模様を選ぶと、模様のぬい目の幅やあらかさ、糸調子などはオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）にセットされますが、ステッチの調整値を保存を「ON」に設定すると、オート値を模様ごとにお好みの値に変更して記憶することができます。オート値をお好みの値に変更して記憶しておく、その模様を選ぶだけで、その設定した値でぬうことができます。

〈初期：OFF〉

※ オート値をお好みの値に記憶した場合、通常ぬい設定画面のステッチの調整値を保存を「OFF」に設定すると、変更した全模様のオート値は初期の状態（購入時の設定状態）にもどります。

変更したオート値は記憶されていますので、再度「ON」に設定すると、変更したオート値にもどすことができます。

全模様の記憶データを削除する場合は、 キーを押してください。確認のためのメッセージ画面【C】が表示されるので、メッセージ画面のOKキーを押します。

※ オート値をお好みの値に変更して記憶する方法は、「◎ 実用ぬい / ● 実用ぬいの調節画面 / ★ ぬい目の幅（針位置）、ぬい目のあらかさ、糸調子のオート値の変更」（32ページ）をごらんください。



⑩ お好み記憶モード

お好み記憶モードを「ON」に設定すると、電源スイッチを入れたとき、前回最後にぬっていた模様の画面を表示し、ぬい目の幅やあかさ、糸調子などの設定値も前回と同じ条件でぬうことができます。

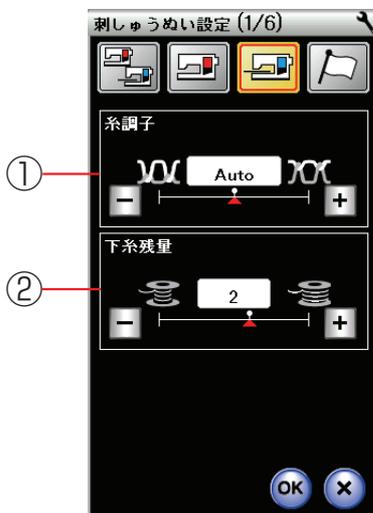
〈初期：OFF〉

- ※ お好み記憶モードが「ON」に設定された状態で電源スイッチを入れたとき、前回のぬい画面を表示するかを確認するためのメッセージ画面が表示されます。メッセージ画面のOKキーを押すと前回最後にぬっていた模様の画面になります。

〔確認のためのメッセージ画面〕



〔刺しゅうぬい設定画面〕 1/6 ページ



【刺しゅうぬい設定】

6つのページ（画面）に分かれていて、13項目の刺しゅう専用項目の設定ができます。

① 糸調子

模様を選ぶと、標準的な条件において最適な糸調子に自動セットされますが、この自動セットされる値（オート値）をすべての模様に対して全体的に強くしたり（+）、弱くしたり（-）することができます。

〈Auto - 5 ~ Auto + 5の11段階、初期値：Auto〉

② 下糸残量

下糸の残っている量が少なくなってきたときに検出して知らせる機能で、その検出して知らせる時期を早めまたは遅めにすることができます。

数値が大きいくほど、早めに（下糸残量が多いときに）検出します。

〈OFF（なし）、0.5、1～4の6段階、初期値：2〉

〔刺しゅうぬい設定画面〕 2/6 ページ



③ 最高ぬい速度

刺しゅうをぬっているあいだのぬい速度は、ぬい目によって変化しますが、その中の最高速度を設定することができます。

〈400 ~ 800 spm の 5 段階、初期値 : 600 spm〉

※ 最高ぬい速度の値は、スピードコントロールつまみの位置がいちばん右側の最高速になっている場合です。ぬい速度を遅くする場合は、スピードコントロールつまみで調節できます。

※ ぬい速度を遅くした方が、刺しゅうはきれいに仕上がります。

④ ぬい開始 1 針停止

ぬい開始 1 針停止を「ON」に設定すると、ぬい始めや色替え後のぬい始め、および上糸切れ検出後のぬい始めにミシンをスタートさせたとき、ミシンは自動的に 1 針ぬって停止し、以下のメッセージ画面が表示されます。

〈初期 : OFF〉

〔ぬい開始 1 針停止「ON」時のメッセージ画面〕



※ ぬい開始 1 針停止は、1 針ぬってミシンを停止後に、上糸を上引いて下糸を布の上に引き出すことで、下糸を布の裏側にぬい込まないようにするための機能です。

⑤ 連続レイヤー自動色まとめ

連続レイヤー自動色まとめを「OFF」に設定すると、外部で作成された刺しゅうデータで刺しゅうする場合、データ上に同色で異なるブロック（レイヤー）が連続しているとき、グループ化しないで色替えのためにミシンを停止することができます。

〈初期 : ON〉

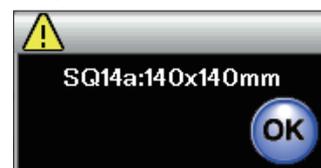
※ 「ON」に設定されている場合はグループ化され、同一グループ（同色）として、ミシンは色替え停止しません。

⑥ 枠種確認メッセージ

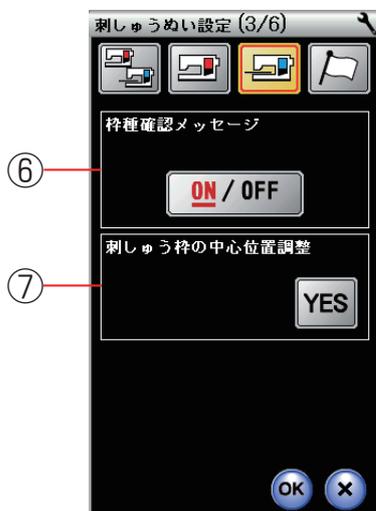
枠種確認メッセージを「OFF」に設定すると、模様を選択して刺しゅう実行画面にかわるときに表示される枠確認のためのメッセージ画面を表示させなくすることができます。

〈初期 : ON〉

〔枠確認のためのメッセージ画面〕



〔刺しゅうぬい設定画面〕 3/6 ページ





⑦ 刺しゅう枠の中心位置調整

刺しゅう枠の中心位置の調整を行っておくと、模様を正確な位置にぬうことができます。(枠の種類ごとに調整が必要です。)

調整する場合は、画面(前ページ参照)の **YES** キーを押して刺しゅう枠位置調整画面を表示させ、続けて画面左上の **□** キーを押して枠選択画面を表示させ、調整したい枠を選びます。

枠選択画面上の枠選択キーを押すと、再度刺しゅう枠位置調整画面にもどります。(画面の上部には、調整できる枠の種類が表示されています。)

画面の中の **◀▶** キーを押して枠を上下左右に移動させ、テンプレートの中心を針に合わせます。OKキーを押すと調整量が決定され、刺しゅうぬい設定画面(前ページ参照)にもどります。(刺しゅうぬい設定画面のOKキーが押されるまで確定はされません。)

※ 初期の状態(購入時の設定状態)にもどす場合は、刺しゅう枠位置調整画面で、初期化キーを押してOKキーを押し、刺しゅうぬい設定画面でOKキーを押してください。



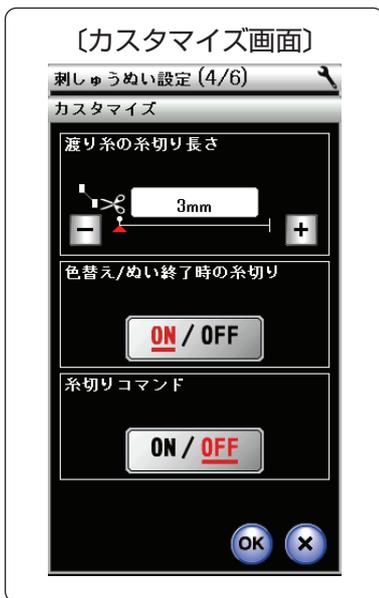
⑧ トリミングモード

基本設定画面または上級設定画面に切りかえることができ、自動糸切りの条件を設定することができます。
〈初期：基本設定〉

- ・「基本設定」を選択すると、色替えおよびぬい終了時の自動糸切りの設定ができます。(次ページ「⑨自動糸切り」参照)
渡り糸(同色で、離れた場所につながっている糸)の自動糸切りは行いません。
- ・「上級設定」を選択すると、色替えおよびぬい終了時の自動糸切り、渡り糸の自動糸切りの設定をカスタマイズ(お好み設定)することができます。

設定する場合は、上級設定画面の **カスタマイズ** キーを押して、カスタマイズ画面(次ページ参照)を表示させ、次ページ(1)～(3)の設定を行います。

※ 上級設定画面には設定内容確認欄が表示されているので、この内容でよければ設定画面のOKキーを押してください。



(1) 渡り糸の糸切り長さ

渡り糸の糸切り長さ（渡り糸の間かくが何mm以上の場合に行うかの数値）を設定することができます。「OFF」に設定すると渡り糸の自動糸切りを行いません。

〈3～30mmの8段階およびOFF、初期値：3mm〉

(2) 色替え / ぬい終了時の糸切り

色替えおよびぬい終了時の自動糸切りを行う（ON）か、行わない（OFF）かを設定することができます。

〈初期：ON〉

(3) 糸切りコマンド

外部で作成された刺しゅうデータの糸切りコマンドに対応する（ON）か、しない（OFF）かを設定することができます。

〈初期：OFF〉

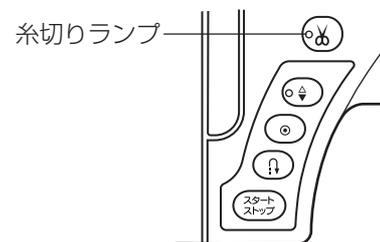
(1)(2)(3)項の内容変更後にカスタマイズ画面のOKキーを押します。内容が決定され、上級設定画面にもどります。（上級設定画面のOKキーが押されるまで確定はされません。）

⑨ 自動糸切り

前記⑧項で「基本設定」を選択した場合、色替えおよびぬい終了時の自動糸切りを行う（ON）か、行わない（OFF）かを設定することができます。

〈初期：ON〉

※ ⑧または⑨で色替えおよびぬい終了時の自動糸切りが行うように設定されている（ON）か、または渡り糸の自動糸切りが行うように設定されている場合は、ミシンの糸切りランプが点灯しています。



〔刺しゅうめい設定画面〕 5/6 ページ



⑩ 糸選択

使用する刺しゅう糸を選ぶと、刺しゅう実行画面の糸色表示が選んだ糸の表示に対応します。

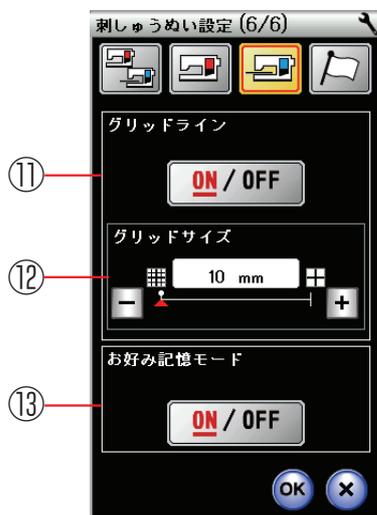
〈初期：JANOME ポリエステル〉

〔刺しゅう実行画面〕



糸色表示

〔刺しゅうめい設定画面〕 6/6 ページ



⑪ グリッドライン

グリッドラインを「OFF」に設定すると、編集画面のグリッドラインを消すことができます。

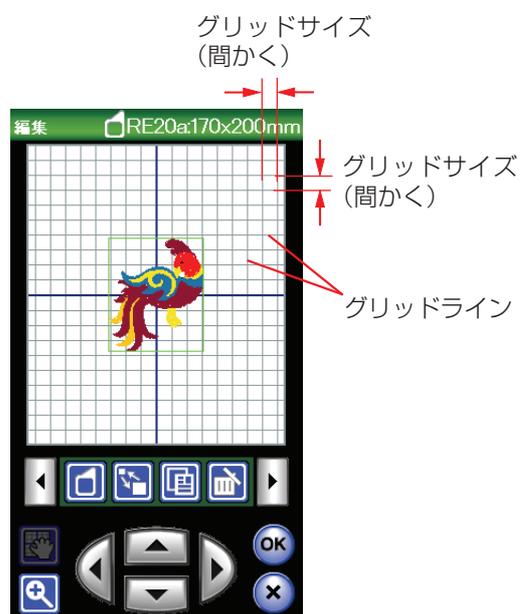
〈初期：ON〉

⑫ グリッドサイズ

編集画面のグリッドラインの間かくを変更することができます。

〈10～30mmの3段階、初期値：10mm〉

〔編集画面〕



⑬ お好み記憶モード

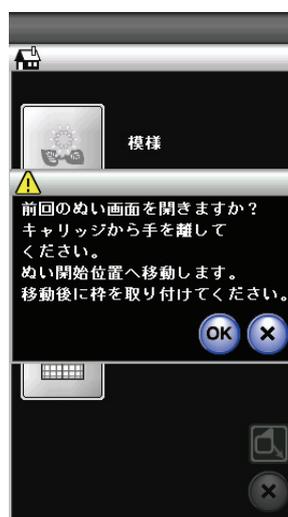
お好み記憶モードを「ON」に設定すると、刺しゅうのぬい実行中（ぬい停止中）に電源スイッチを切っても、次に電源スイッチを入れたとき、前回ぬっていた模様の表示画面になり、前回の続きからぬい始めることができます。

〈初期：ON〉

※ お好み記憶モードが「ON」に設定された状態で電源スイッチを入ると、前回のぬい画面を表示するかのメッセージ画面が出ます。

OKキーを押すと前回最後にぬっていた模様の画面になります。

〔確認のためのメッセージ画面〕



〔言語設定画面〕



【言語設定】

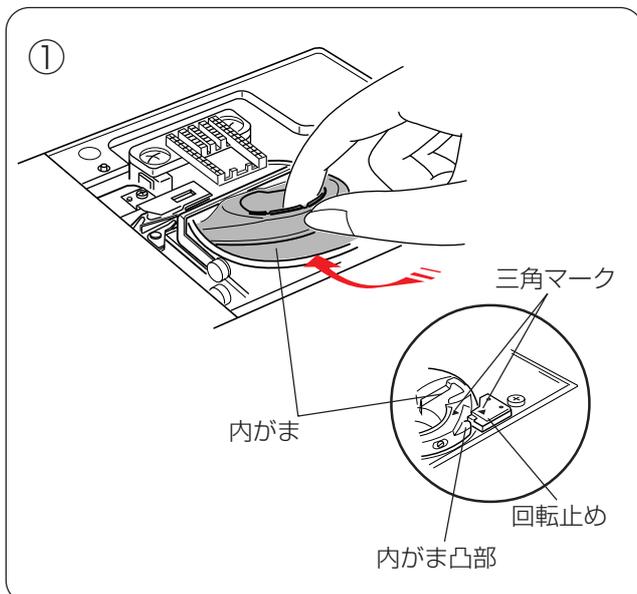
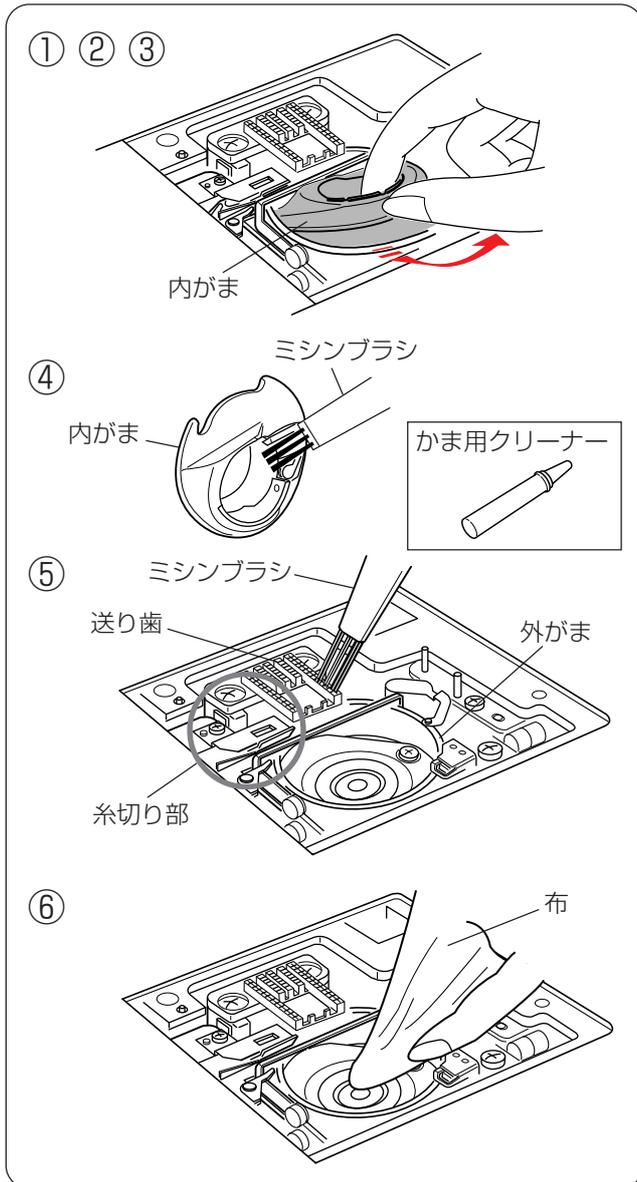
画面に表示されている言語を13カ国の中から設定することができます。

設定する場合は、設定したい言語を選び、OKキーを押します。

〈初期：日本語〉

◎ミシンのお手入れ

●かまと送り歯、糸切り部の掃除



⚠ 注意

- お手入れのときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 説明されている場所以外は、分解しないでください。
- 感電・火災・けがの原因になります。

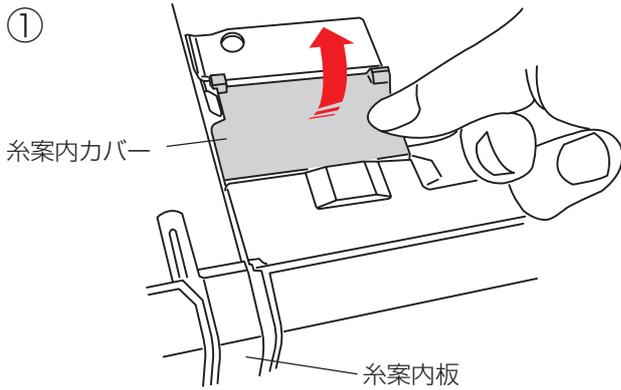
【内がまの取り外しと掃除】

- ① 針と押さえを外します。
 - ② 針板を外し、ボビンを取り出します。
- ※ 針板の外し方、付け方は、「◎操作方法／●針板の外し方、付け方」（17ページ）をごらんください。
- ③ 内がまの手前を上へ引きながら外します。
 - ④ 内がまを付属のミシンブラシで掃除し、やわらかい布に付属のかま用クリーナーを少量含ませて、全体を軽くふきます。
 - ⑤ 送り歯、糸切り部のごみをミシンブラシで手前に落とし、外がまを掃除します。
 - ⑥ かま用クリーナーを少量含ませたやわらかい布で、外がまのまわりや内部全体を軽くふきます。
- ※ ミシンブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは、掃除機などで吸い取ってください。

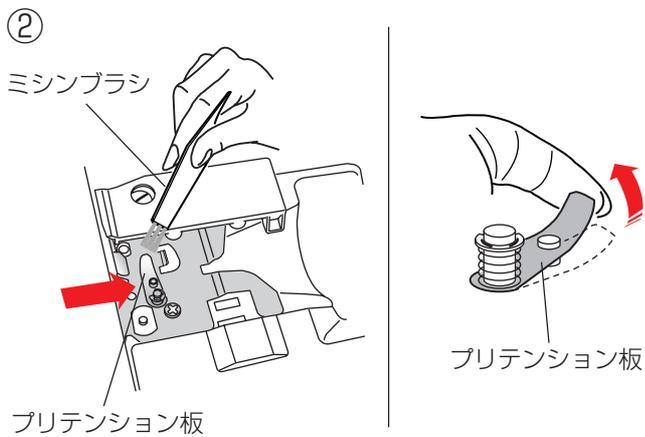
【内がまの組み付け】

- ① 内がまを取り付けます。
内がまの三角マークと回転止めの三角マークを合わせ、内がまの凸部が回転止めの左側にくるように取り付けます。
- ② 針板を取り付けます。
- ③ 押さえ、針を取り付けます。

●糸案内カバーの掃除

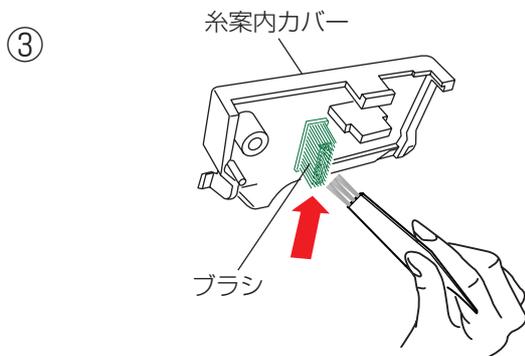


① 糸案内カバーの右側を持ち上げて、ミシンから外します。

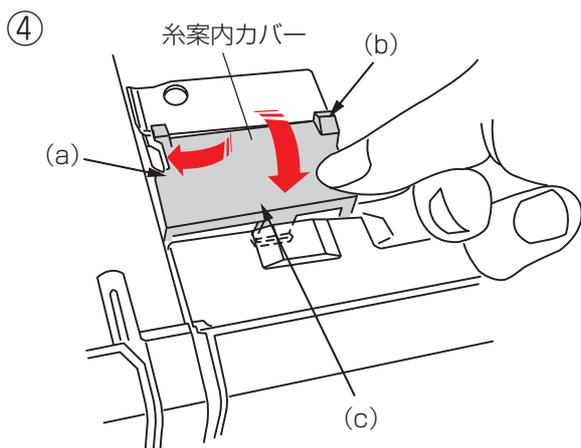


② ミシンの糸の通り道を付属のミシンブラシなどで掃除します。

※ プリテンション板の先端を持ち上げて、内側も掃除してください。



③ 糸案内カバー裏側のブラシを掃除します。



④ 糸案内カバーの取り付けは、先に左側を合わせて上部を軽く押し込み (a)、次に右上側を押しつけ (b)、最後に手前を押しつけて (c)、はめ込みます。

◎ミシンの調子が悪いときの直し方

〔通〕 … 通常ぬいの場合の項目です。

〔刺〕 … 刺しゅうの場合の項目です。

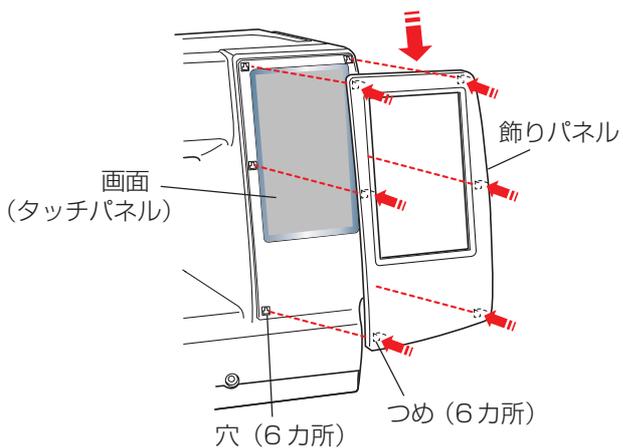
何もなし … 通常ぬいと刺しゅうの共通の項目です。

調子が悪い場合	その原因	直し方
上糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外のところからみついている。 2. 上糸調子が強すぎる。 3. 針の付け方がまちがっている。 4. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。 5. 針に対して糸が太すぎるか、細すぎる。 6. 糸がかまなどにからまっている。 7. 糸こまに上糸が引っかかっている。 〔通〕 8. ぬい始めに上糸を引き出して、押さえで押さえていない。 〔刺〕 9. ぬい始めに上糸を糸押さえにかけていない。 	<p>24ページ参照</p> <p>31ページ参照</p> <p>18ページ参照</p> <p>18ページ参照</p> <p>19ページ参照</p> <p>160ページ参照</p> <p>糸こま押さえを付ける</p> <p>35ページ参照</p> <p>113ページ参照</p>
下糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下糸の通し方がまちがっている。 2. 内がまの中にごみがたまっている。 3. ボビンにきずがあり回転がなめらかでない。 4. 下糸の巻き方がゆるい。 	<p>22ページ参照</p> <p>160ページ参照</p> <p>ボビンを交換する</p> <p>巻く速度を速くする</p>
針が折れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針の付け方がまちがっている。 2. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。 3. 針止めねじのしめつけがゆるんでいる。 4. 布に対して針が細すぎる。 〔通〕 5. ぬい終わったとき布を手前に引いている。 〔通〕 6. 模様合った押さえを使用していない。 	<p>18ページ参照</p> <p>18ページ参照</p> <p>18ページ参照</p> <p>19ページ参照</p> <p>布を向こう側に出す</p> <p>指定の押さえに交換する</p>
ぬい目がとぶ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針の付け方がまちがっている。 2. 針が曲がっているか針先がつぶれているか、品質の悪い針を使用している。 3. 布に対して針と糸が合っていない。 4. ぬい目がとぶようなときに、付属のブルー針やパープル針（または市販SP針）を使っていない。 5. 上糸のかけ方がまちがっている。 6. 押さえ圧が弱い 7. 伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 〔刺〕 8. 刺しゅう枠が正しく取り付けられていない。 〔刺〕 9. 刺しゅう枠に布がきちんと張られていない。 	<p>18ページ参照</p> <p>18ページ参照</p> <p>19ページ参照</p> <p>19ページ参照</p> <p>24ページ参照</p> <p>13ページ参照</p> <p>芯地を貼る</p> <p>113ページ参照</p> <p>112ページ参照</p>
ぬい目がしわになる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸調子が合っていない。 2. 上糸・下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分からみついている。 3. 布に対して針が太すぎる。 4. 布に対してぬい目があらずすぎる。 5. 押さえ圧が合っていない。 6. 薄い布や伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 	<p>31ページ参照</p> <p>22、24ページ参照</p> <p>19ページ参照</p> <p>ぬい目を細かくする</p> <p>13ページ参照</p> <p>芯地を貼る</p>
ぬいずれがおこる	〔通〕 1. 押さえ圧が合っていない。	13ページ参照
布送りがうまくいかない	<ol style="list-style-type: none"> 〔通〕 1. 送り歯に糸くすがたまっている。 〔通〕 2. ぬい目が細かすぎる。 〔通〕 3. 押さえ圧が弱い。 〔通〕 4. 厚手の布のぬい始めに布が送れない。 〔通〕 5. 送り歯がさがっている。 	<p>160ページ参照</p> <p>ぬい目をあらくする</p> <p>13ページ参照</p> <p>35ページ参照</p> <p>13ページ参照</p>
ぬい目に輪ができる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸調子が弱すぎる。 2. 糸に対して針が太すぎるか、細すぎる。 	<p>31ページ参照</p> <p>19ページ参照</p>

調子が悪い場合	その原因	直し方
ボタンホールがうまくぬえない	(通) 1. 布に対してぬい目のあさが合っていない。 (通) 2. 伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 (通) 3. ボタンホール切りかえレバーがさがっていない。	49 ページ参照 45 ページ参照 46、48 ページ参照
模様がきれいにぬえない	1. 上糸調子が強すぎる 2. 薄い布や伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 (通) 3. 指定の押さえを使用していない。 (通) 4. 布の種類や厚さ、ぬい速度などに対してミシンの送り調節が合っていない。 (刺) 5. 刺しゅう枠に布がきちんと張られていない。 (刺) 6. 刺しゅう枠のつまみがゆるんでいる。 (刺) 7. キャリッジ移動時に、ミシン周辺に置いてある物にあたっている。 (刺) 8. キャリッジ移動時に、布がミシンに引っかかっている。	31 ページ参照 芯地を貼る 指定の押さえを使用する 14 ページ参照 112 ページ参照 113 ページ参照 キャリッジ周辺に物を置かない 布を張り直す
糸切りボタン(自動糸切り)でうまく糸が切れない	1. 使用している糸が太すぎる。 2. 糸がからまっている。	9 ページ参照 160 ページ参照
模様の一部しか選べない	(通) 1. 直線ぬい用針板が取り付けられている。(直線ぬい用針板が取り付けられているあいだは、安全のために、実用ぬいグループと用途選択グループの直線ぬい用針板専用の模様しか選択できないようになっています。)	通常の針板に交換する 17、40 ページ参照
ミシンが動かない	1. 電源のつなぎ方がまちがっている。 2. かまに糸やごみがたまっている。 3. ボビンに糸がからまっている。 4. 押さえ上げがさがっていない。 (通) 5. フットコントローラーが接続された状態で、スタート/ストップボタンを使用している。 (刺) 6. フットコントローラーで刺しゅうを行おうとしている。	7 ページ参照 160 ページ参照 ボビンの糸を確認する 12 ページ参照 フットコントローラーを外す スタート/ストップボタンで行う
音が高い	1. かまの部分に糸くずが巻きこまれている。 2. 電源投入時、制御モータからわずかな共鳴音ができる。 (通) 3. 送り歯にごみがたまっている。	160 ページ参照 異常ではありません 160 ページ参照
画面が見にくい	1. 画面のコントラストが合っていない。	148 ページ参照
下糸巻きができない	1. ミシンがロック状態である。 2. 警告メッセージが表示されている。	ロック状態を解除する 警告メッセージを消します

※ 静かな部屋で使うと「ウィーン」という小さな音がする場合があります。内部の制御モータから発生しているもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

※ 長時間使うと操作ボタンやタッチパネル付近の温度が少し高くなります。内部の制御部の発熱によるもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。



飾りパネルの取り付け方

画面(タッチパネル)のまわりの飾りパネルが外れた場合は、下記の方法で取り付けてください。

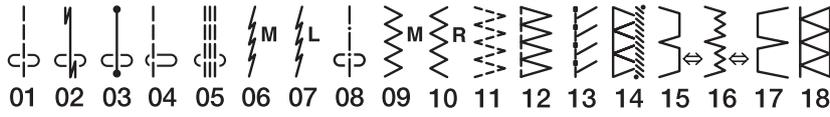
- ① 飾りパネルの6カ所のつめをミシンの6カ所の穴に合わせます。
- ② 飾りパネル全体をミシンに押しつけた状態で、下方にスライドさせて取り付けます。

※ 飾りパネルが浮いた状態で取り付けられていないか確認してください。

◎模様一覧表

【通常ぬい】

じつようぬい



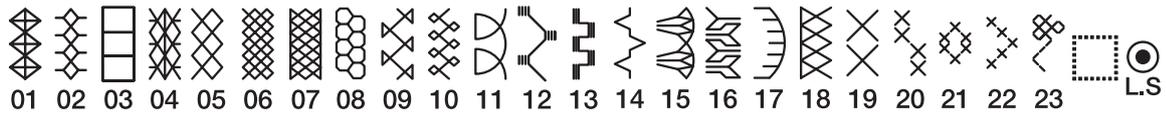
ボタンホール



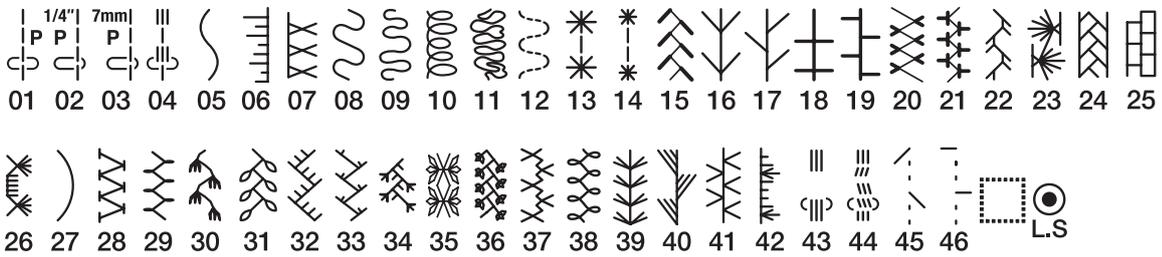
アップリケ



かざりもよう 1

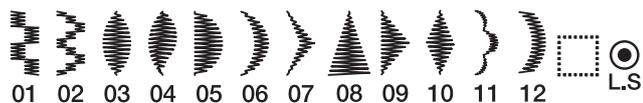


キルト

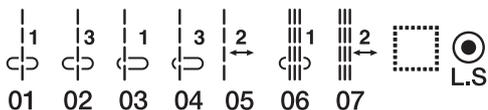


【通常ぬい】

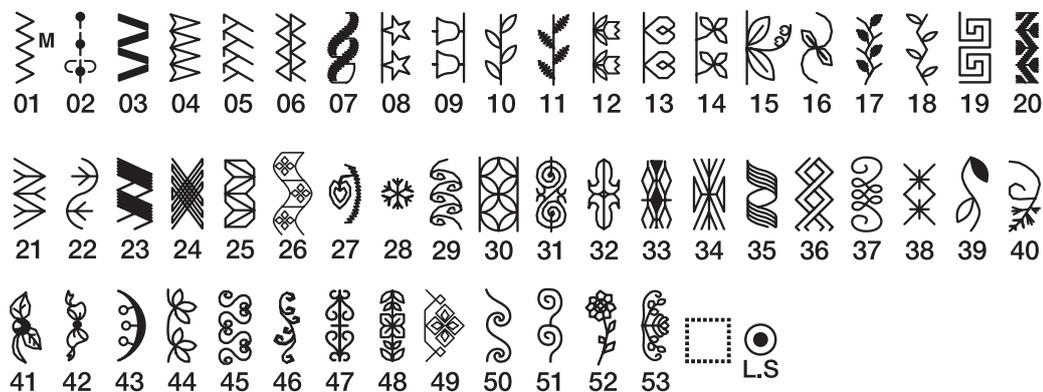
サテン



つなぎもよう



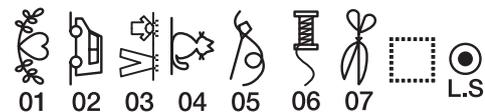
かざりもよう 2



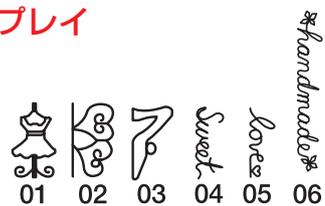
ロングステッチ



ワンポイント



プレイ



【通常ぬい文字】

明朝体 (9mm)

あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ
ま	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	を
ん	、	。	あ	い	う	え	お	っ	や	ゆ	よ	ー	□	▢
が	ぎ	ぐ	げ	ご	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	だ	ぢ	づ	で	ど
ば	び	ぶ	べ	ぼ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	う				
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ
ン	、	。	ア	イ	ウ	エ	オ	ッ	ヤ	ユ	ヨ	ー	□	▢
ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ	ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ	ダ	ヂ	ヅ	デ	ド
バ	ビ	ブ	ベ	ボ	パ	ピ	プ	ペ	ポ	ウ				

まるもじ (9mm)

あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ
ま	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	を
ん	、	。	あ	い	う	え	お	っ	や	ゆ	よ	ー	□	▢
が	ぎ	ぐ	げ	ご	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	だ	ぢ	づ	で	ど
ば	び	ぶ	べ	ぼ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	う				
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ
ン	、	。	ア	イ	ウ	エ	オ	ッ	ヤ	ユ	ヨ	ー	□	▢
ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ	ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ	ダ	ヂ	ヅ	デ	ド
バ	ビ	ブ	ベ	ボ	パ	ピ	プ	ペ	ポ	ウ				

【通常ぬい文字】

ブロック

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N					
O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	.	□	□	□			
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n					
o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	.	□	□	□			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	&	-	\$	@	.	.			
,	?	¿	!	¡	'	'	<	>	()	-	+	=	/	//	%	~	:
À	Á	Â	Ã	Ä	Å	Æ	Ç	È	É	Ê	Ë	Ì	Í	Î	Ï	Ñ		
Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	Ø	Ù	Ú	Û	Ü	ß	À	Ç	È	Ë	Ì	Ï		
Ł	Ń	Œ	Ś	Ş	Ž	Ž												
à	á	â	ã	ä	å	æ	ç	è	é	ê	ë	ì	í	î	ï	ñ		
ò	ó	ô	õ	ö	ø	ù	ú	û	ü	ß	à	ç	è	ë	ì	ï	ij	
ł	ń	œ	ś	ş	ž	ž												

スクリプト

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N					
O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	.	□	□	□			
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n					
o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	.	□	□	□			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	&	-	\$	@	.	.			
,	?	¿	!	¡	'	'	<	>	()	-	+	=	/	//	%	~	:
À	Á	Â	Ã	Ä	Å	Æ	Ç	È	É	Ê	Ë	Ì	Í	Î	Ï	Ñ		
Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	Ø	Ù	Ú	Û	Ü	ß	À	Ç	È	Ë	Ì	Ï		
Ł	Ń	Œ	Ś	Ş	Ž	Ž												
à	á	â	ã	ä	å	æ	ç	è	é	ê	ë	ì	í	î	ï	ñ		
ò	ó	ô	õ	ö	ø	ù	ú	û	ü	ß	à	ç	è	ë	ì	ï	ij	
ł	ń	œ	ś	ş	ž	ž												

ブロック (9mm)

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N					
O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	.	□	□	□			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	&	-	\$	@	.	.			
,	?	¿	!	¡	'	'	<	>	()	-	+	=	/	//	%	~	:

【刺しゅうぬい模様】

デザインセレクション

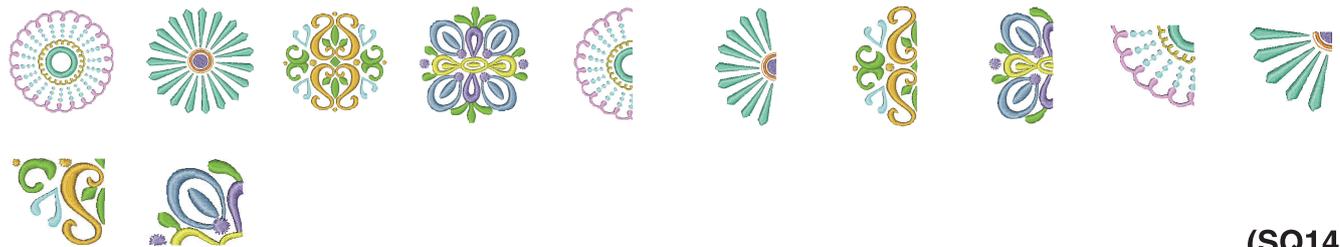


(SQ14a)



(RE20a)

サークルモチーフ

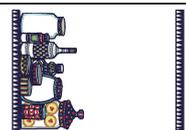


(SQ14a)

パントリー

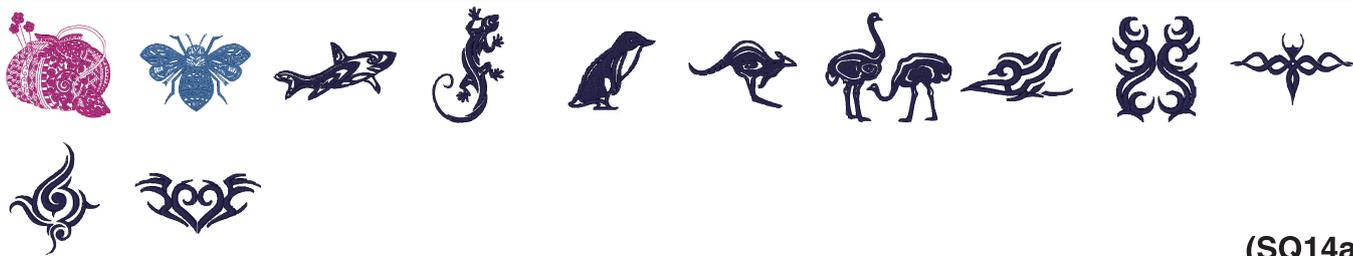


(SQ14a)



(RE20a)

モノクロ

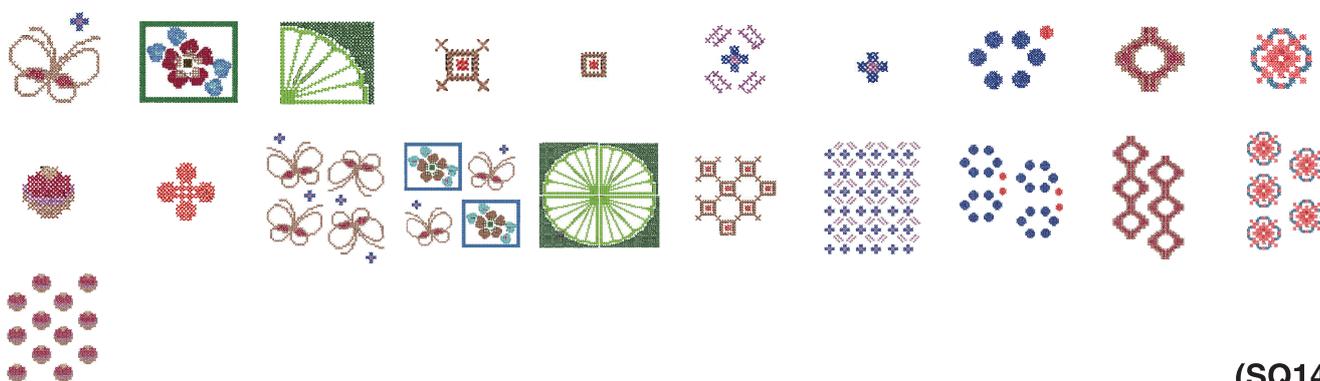


(SQ14a)



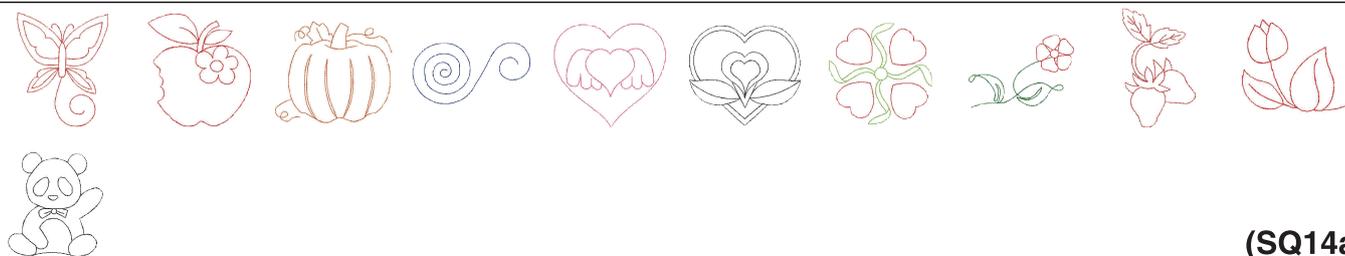
(RE20a)

クロスステッチ



(SQ14a)

キルティング



(SQ14a)



(RE20a)

フリンジ



(SQ14a)



(RE20a)

花文字



(SQ14a)

クロスセッター



【刺しゅうぬい文字】

明朝体

あいうえお かきくけこ さしすせそ
たちつてと なにぬねの はひふへほ
まみむめも やゆよらりる れろわを
ん、。 あいうえお っゃゅょ ー □ □
がぎぐげご ざじずぜぞ だぢづでど
ばびぶべ ぼびぶ ぽ ぐ
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ
タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ
マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ
ン、。 ア イ ウ エ オ ッ ヤ ユ ヨ ー □ □
ガ ギ グ ゲ ゴ ザ ジ ズ ゼ ソ ダ チ ヅ デ ド
バ ビ ブ ベ ボ パ ピ プ ペ ポ ヴ
小 中 学 校 幼 稚 保 育 園 年 組 部 係 班 子
供 父 母 入 卒 式 会 社 祭 男 女 名 前 住 所
春 夏 秋 冬 元 氣 晴 雨 曇 雪 結 婚 御 見 舞
待 引 越 礼 知 慶 新 誕 様 交 通 安 全 祝 休
株 生 才 時 分 曜 日 月 火 水 木 金 土 東 西
南 北 平 成 第 上 下 左 右 花 山 川 百 千 万
○ 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

まるもじ

あいうえお かきくけこ さしすせそ
たちつてと なにぬねの はひふへほ
まみむめも やゆよらりる れろわを
ん、。 あいうえお っゃゅょ ー □ □
がぎぐげご ざじずぜぞ だぢづでど
ばびぶべ ぼびぶ ぽ ぐ
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ
タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ
マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ
ン、。 ア イ ウ エ オ ッ ヤ ユ ヨ ー □ □
ガ ギ グ ゲ ゴ ザ ジ ズ ゼ ソ ダ チ ヅ デ ド
バ ビ ブ ベ ボ パ ピ プ ペ ポ ヴ

仕 様	
使用電圧	100V 50/60Hz
消費電力	55W
外形寸法	本体 幅 47.5cm × 奥行 22.3cm × 高さ 31.6cm
	刺しゅうユニット取り付け時 幅 47.5cm × 奥行 33.6cm × 高さ 31.6cm
質 量	本体 10.4kg
	刺しゅうユニット取り付け時 13.8kg
使用針	家庭用 HA X 1
最高ぬい速度	通常ぬい：毎分 1000 針 刺しゅう：毎分 800 針

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 無料修理保証期間内、およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

修理用部品の保有期間

- 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後 8 年間を基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 取扱説明書にしたがって、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過したあとも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。
ただし、次のような場合は修理できないときがあります。
 1. 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 2. 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 3. お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
 4. お買い上げ店または当社の指定した販売店以外で修理、分解、改造をしたために不調、故障または損傷したとき。
 5. 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は下記にお申しつけください。

蛇の目ミシン工業株式会社

〒 193-0941 東京都八王子市狭間町 1463 番地

お客様相談室 TEL. 0120-026-557 (フリーダイヤル)
042-661-2600

受付 平日 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

メールでのお問い合わせは、ホームページ <http://www.janome.co.jp>
問合せフォームをご利用ください。

